

## 基　本　計　画　書

基　本　計　画　書									
事　項	記　入　欄							備　考	
計　画　の　区　分	大学の収容定員に係る学則変更								
フ　リ　ガ　ナ 設　置　者	ガッコウホウジン コクサイイリョウフクシダイガク 学校法人 国際医療福祉大学								
フ　リ　ガ　ナ 大　学　の　名　称	コクサイイリョウフクシダイガク 国際医療福祉大学 (International University of Health and Welfare)								
大　学　本　部　の　位　置	栃木県大田原市北金丸2600-1								
大　学　の　目　的	国際医療福祉大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断を培い、豊かな人間性を涵養し保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的	入学志願及び入学者状況を鑑み、保健医療学部言語聴覚学科、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の入学定員を減員し、成田看護学部看護学科、成田保健医療学部放射線・情報科学科、小田原保健医療学部看護学科の入学定員を増員して収容定員の適正化を図る。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	保健医療学部 言語聴覚学科	4年	70 (80)	—	280 (320)	学士 (言語聴覚学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	令和8年4月 第1年次	栃木県大田原市 北金丸2600-1
	医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	4年	130 (140)	3年次 5 (5)	530 (570)	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)	社会学・社会福祉学 関係 保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	令和8年4月 第1年次 令和10年4月 第3年次	同上
	成田看護学部 看護学科	4年	105 (100)	—	420 (400)	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	令和8年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-3
	成田保健医療学部 放射線・情報科学科	4年	60 (50)	—	240 (200)	学士 (放射線・情報科学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	令和8年4月 第1年次	同上
	小田原保健医療学部 看護学科	4年	85 (80)	—	340 (320)	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	令和8年4月 第1年次	神奈川県 小田原市 城山1-2-25
	計		450 (450)	3年次 5 (5)	1,810 (1,810)				
同一設置者内における 変　更　状　況 (定員の移行、 名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				

学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人
		教授	准教授	講師	助教	計			
	保健医学部 言語聴覚学科	4 (4)	4 (4)	3 (4)	3 (4)	14 (16)	0 (0)	31 (31)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (4)	3 (4)	3 (4)	14 (16)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	4 (4)	3 (4)	3 (4)	14 (16)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	4 (4)	3 (4)	3 (4)	14 (16)			
	医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	8 (8)	5 (5)	9 (9)	5 (5)	27 (27)	1 (1)	31 (31)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	5 (5)	9 (9)	5 (5)	27 (27)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8 (8)	5 (5)	9 (9)	5 (5)	27 (27)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	8 (8)	5 (5)	9 (9)	5 (5)	27 (27)			
新設分	成田看護学部 看護学科	7 (7)	6 (6)	6 (6)	10 (10)	29 (29)	0 (0)	28 (28)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	6 (6)	6 (6)	10 (10)	29 (29)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	6 (6)	6 (6)	10 (10)	29 (29)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	6 (6)	6 (6)	10 (10)	29 (29)			
	成田保健医療学部 放射線・情報科学科	6 (6)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	18 (18)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	13 (13)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	6 (6)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	6 (6)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	13 (13)			

	小田原保健医療学部 看護学科	6 (6)	11 (11)	8 (8)	4 (4)	29 (29)	0 (0)	20 (20)	
新設分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	11 (11)	8 (8)	4 (4)	29 (29)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数9人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	6 (6)	11 (11)	8 (8)	4 (4)	29 (29)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	6 (6)	11 (11)	8 (8)	4 (4)	29 (29)			
	計	31 (31)	28 (28)	30 (31)	23 (24)	112 (114)	1 (1)	— (—)	
	保健医療学部 看護学科	7 (7)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	27 (27)	0 (0)	38 (38)	
既設分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	27 (27)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数10人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	27 (27)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	27 (27)			
	保健医療学部 理学療法学科	5 (5)	1 (1)	8 (8)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	27 (27)	
既設分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	1 (1)	8 (8)	2 (2)	16 (16)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数7人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (5)	1 (1)	8 (8)	2 (2)	16 (16)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (5)	1 (1)	8 (8)	2 (2)	16 (16)			
	保健医療学部 作業療法学科	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)	0 (0)	27 (27)	
既設分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数6人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)			

既 設 分	保健医療学部 視機能療法学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)	2 (2)	33 (33)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)			
	保健医療学部 医学検査学科	4 (4)	4 (2)	1 (1)	2 (2)	11 (9)	1 (1)	68 (26)	
既 設 分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (2)	1 (1)	2 (2)	11 (9)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	4 (2)	1 (1)	2 (2)	11 (9)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	4 (2)	1 (1)	2 (2)	11 (9)			
	保健医療学部 放射線・情報科学科	9 (9)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	26 (26)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	15 (15)			
薬 学 部	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 7人
	小計（a～b）	9 (9)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	15 (15)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	9 (9)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	15 (15)			
	薬学部 薬学科	17 (17)	8 (8)	10 (10)	3 (3)	38 (38)	1 (1)	26 (26)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	17 (17)	8 (8)	10 (10)	3 (3)	38 (38)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
既 設 分	小計（a～b）	17 (17)	8 (8)	10 (10)	3 (3)	38 (38)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 25人
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	17 (17)	8 (8)	10 (10)	3 (3)	38 (38)			

既 設 分	医学部 医学科	159 (159)	8 (8)	4 (4)	5 (5)	176 (176)	1 (1)	359 (359)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 120人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	159 (159)	8 (8)	4 (4)	5 (5)	176 (176)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	159 (159)	8 (8)	4 (4)	5 (5)	176 (176)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	159 (159)	8 (8)	4 (4)	5 (5)	176 (176)			
	成田保健医療学部 理学療法学科	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)	0 (0)	18 (18)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)			
	成田保健医療学部 作業療法学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	18 (18)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	10 (10)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	10 (10)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	10 (10)			
	成田保健医療学部 言語聴覚学科	4 (4)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	21 (21)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	11 (11)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	11 (11)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	11 (11)			

既 設 分	成田保健医療学部 医学検査学科	4 (4)	4 (4)	3 (3)	4 (4)	15 (15)	0 (0)	18 (18)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (4)	3 (3)	4 (4)	15 (15)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	4 (4)	3 (3)	4 (4)	15 (15)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	4 (4)	3 (3)	4 (4)	15 (15)			
	成田薬学部 薬学科	16 (15)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (25)	0 (0)	56 (18)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	16 (15)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (25)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	16 (15)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (25)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	16 (15)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (25)			
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科	4 (4)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	7 (7)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	15 (15)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	15 (15)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	15 (15)			
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	12 (12)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)			

既 設 分	小田原保健医療学部 理学療法学科	4 (4)	3 (3)	5 (5)	5 (5)	17 (17)	0 (0)	15 (15)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	5 (5)	5 (5)	17 (17)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	3 (3)	5 (5)	5 (5)	17 (17)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	3 (3)	5 (5)	5 (5)	17 (17)			
	小田原保健医療学部 作業療法学科	4 (4)	4 (4)	2 (2)	3 (3)	13 (13)	0 (0)	16 (16)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (4)	2 (2)	3 (3)	13 (13)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	4 (4)	2 (2)	3 (3)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	4 (4)	2 (2)	3 (3)	13 (13)			
	福岡保健医療学部 看護学科	11 (10)	5 (4)	6 (6)	4 (3)	26 (23)	0 (0)	25 (25)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (10)	5 (4)	6 (6)	4 (3)	26 (23)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	11 (10)	5 (4)	6 (6)	4 (3)	26 (23)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	11 (10)	5 (4)	6 (6)	4 (3)	26 (23)			
	福岡保健医療学部 理学療法学科	4 (4)	5 (5)	2 (2)	2 (2)	13 (13)	1 (1)	15 (15)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	5 (5)	2 (2)	2 (2)	12 (12)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	3 (3)	5 (5)	2 (2)	2 (2)	12 (12)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	計（a～d）	4 (4)	5 (5)	2 (2)	2 (2)	13 (13)			

	福岡保健医療学部 作業療法学科	4 (4)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	15 (15)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数6人
既 設 分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	2 (2)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	9 (9)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	2 (2)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	9 (9)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)			
	計（a～d）	4 (4)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	11 (11)			
	福岡保健医療学部 医学検査学科	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	15 (15)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	13 (13)			
既 設 分	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	3 (3)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	計（a～d）	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)			
	福岡薬学部 薬学科	18 (18)	9 (9)	4 (4)	6 (6)	37 (37)	0 (0)	9 (9)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	9 (9)	4 (4)	6 (6)	30 (30)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
既 設 分	小計（a～b）	11 (11)	9 (9)	4 (4)	6 (6)	30 (30)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	7 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)			
	計（a～d）	18 (18)	9 (9)	4 (4)	6 (6)	37 (37)			
	計	301 (299)	93 (89)	83 (82)	70 (65)	547 (535)	6 (6)	— (—)	
	合 計	332 (330)	121 (117)	113 (113)	93 (89)	659 (649)	7 (7)	— (—)	
	職 種	専 属		そ の 他			計	大学全体	
事 務 職 員		1001人 (1001)			264人 (264)		1265人 (1265)		
技 術 職 員		12人 (12)			0人 (0)		12人 (12)		大学全体
図 書 館 職 員		14人 (14)			20人 (20)		34人 (34)		
そ の 他 の 職 員		3280人 (3280)			327人 (327)		3607人 (3607)		
指 導 補 助 者		0人 (0)			47人 (47)		47人 (47)		
計		4307人 (4307)			658人 (658)		4965人 (4965)		

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	373,252m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	373,252m <sup>2</sup>	■校舎敷地:借用面積58,854m <sup>2</sup> 、期間30年 ■運動場用地: ①借用面積3,557m <sup>2</sup> 、期間5年間(道路占用許可。その後、順次更新)②借用面積5,659m <sup>2</sup> 、期間30年③借用面積11,944m <sup>2</sup> 、期間30年			
	その他	114,126m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	114,126m <sup>2</sup>				
	合計	487,378m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	487,378m <sup>2</sup>				
校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		228,213m <sup>2</sup> (219,567m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> (— m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> (— m <sup>2</sup> )	228,213m <sup>2</sup> (219,567m <sup>2</sup> )	■借用面積14,691m <sup>2</sup> 、期間20年			
教室・教員研究室		教室	教室	教員研究室	室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点			
	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)			
	計	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)			
	スポーツ施設	m <sup>2</sup>	講堂	m <sup>2</sup>	厚生補導施設	m <sup>2</sup>			
経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
	教員1人当たり研究費等		500千円	500千円	500千円	500千円	500千円	500千円	
	共同研究費等		5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
	図書購入費	65,000千円	55,000千円	55,000千円	55,000千円	55,000千円	55,000千円	55,000千円	
経費の見積り及び維持方法の概要	設備購入費	2,520,000千円	2,375,000千円	2,375,000千円	2,375,000千円	2,375,000千円	2,375,000千円	2,375,000千円	
	保健医療学部 (看護学科)	1,680千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円	— 千円	
	保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科)								
	成田保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科)	1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生1人当たり納付金	小田原保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科)								
	保健医療学部 (放射線・情報科学科、医学検査学科)								
	成田看護学部								
	成田保健医療学部 (放射線・情報科学科、医学検査学科)	1,610千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	— 千円	— 千円	— 千円	
福岡保健医療学部 (看護学科)	小田原保健医療学部 (看護学科)								
	福岡保健医療学部 (看護学科)	1,410千円	1,330千円	1,330千円	1,330千円	— 千円	— 千円	— 千円	
福岡保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科、医学検査学科)	福岡保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科、医学検査学科)	1,450千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円	— 千円	

経費の見積り及び維持方法の概要 学生1人当り納付金	医療福祉学部	1,060千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	— 千円	— 千円
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部						
	医療福祉学部 (医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース)	960千円	920千円	920千円	920千円	— 千円	— 千円
	薬学部	1,750千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円
	成田薬学部						
	福岡薬学部						
	医学部	4,500千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円

学生納付金以外の維持方法の概要 私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入 等

既設大学等の状況	国際医療福祉大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
保健医療学部		年	人	年次人	人		倍		
看護学科	4	115	—	460	学士 (看護学)	1.02 1.00		平成7年度	栃木県 大田原市 北金丸2600-1
理学療法学科	4	100	—	400	学士 (理学療法学)	1.02		平成7年度	
作業療法学科	4	80	—	320	学士 (作業療法学)	0.99		平成7年度	
言語聴覚学科	4	80	—	320	学士 (言語聴覚学)	0.97		平成7年度	
視機能療法学科	4	50	—	200	学士 (視機能療法学)	1.01		平成14年度	
医学検査学科	4	80	—	80	学士 (医学検査学)	1.07		令和7年度	
放射線・情報科学科	4	110	—	440	学士 (放射線・情報科学)	1.08		平成7年度	
医療福祉学部		3年次							
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)	0.88 0.88		平成21年度	
薬学部									
薬学科	6	180	—	1080	学士 (薬学)	0.97 0.97		平成18年度	
医学部									
医学科	6	140	—	840	学士 (医学)	1.00 1.00		平成29年度	千葉県成田市 公津の杜4-2
成田看護学部									
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.05 1.05		平成28年度	千葉県成田市 公津の杜4-3
成田保健医療学部									
理学療法学科	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	1.05 1.05		平成28年度	
作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	1.05		平成28年度	
言語聴覚学科	4	40	—	160	学士 (言語聴覚学)	1.08		平成28年度	
医学検査学科	4	80	—	320	学士 (医学検査学)	1.04		平成28年度	
放射線・情報科学科	4	50	—	200	学士 (放射線・情報科学)	1.06		令和2年度	

既設 大学等の 状況	成田薬学部 薬学科	6	120	-	240	学士 (薬学)	1.07	1.07	令和6年度	千葉県成田市 公津の杜4-2	
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部 心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	0.98		平成30年度	東京都港区 赤坂4-1-26	
	医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士 (医療マネジメント学)	1.08	0.88	平成30年度		
	小田原保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.06	1.05	平成18年度	神奈川県 小田原市 城山1-2-25	
	理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.07		平成18年度		
	作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.04		平成18年度		
	福岡保健医療学部 看護学科	4	60	-	180	学士 (看護学)	0.97	1.01	令和5年度	福岡県大川市 榎津137-1	
	理学療法学科	4	50	-	210	学士 (理学療法学)	0.97		平成17年度		※令和5年度入学 定員減（△10人）
	作業療法学科	4	30	-	130	学士 (作業療法学)	0.85		平成17年度		※令和5年度入学 定員減（△10人）
	言語聴覚学科	4	-	-	-	学士 (言語聴覚学)	-		平成19年度		※令和5年度 学生募集停止
	医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.00		平成25年度		
	福岡薬学部 薬学科	6	120	-	720	学士 (薬学)	0.99	0.99	令和2年度		
	医療福祉学研究科 保健医療学専攻	2	200	-	400	修士 (保健医療学) (看護学) (助産学) (言語聴覚学) (生殖補助医療学) (医療福祉教育・ 管理学) (臨床検査学) (災害医療学) (遺伝カウンセリング学)	0.95		平成11年度	栃木県 大田原市 北金丸2600-1	
	医療福祉学研究科 保健医療学専攻	3	80	-	240	博士 (保健医療学) (看護学) (助産学) (言語聴覚学) (生殖補助医療学) (医療福祉教育・ 管理学) (臨床検査学) (災害医療学) (医療遺伝学) (医療福祉経営学) (医療福祉学) (診療情報管理学)	1.00		平成13年度		

既設 大学等の 状況	医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学) (診療情報管理学) (医療ビジネス経営学) (医療福祉管理学) (医療福祉国際協力学) (介護福祉・ケアマネジメント学) (自立支援介護学) (自立支援実践ケアマネジメント学) (医療福祉ジャーナリズム学) (医療通訳・国際医療マネジメント学)	0.99	平成13年度			
	臨床心理学専攻	2	35	-	70	修士 (臨床心理学)	0.98	平成19年度	東京都港区 赤坂4-1-26		
	薬科学研究科 生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.00	平成22年度	栃木県 大田原市 北金丸2600-1		
	薬学研究科 医療・生命薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.70	平成24年度			
	医学研究科 医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.32	平成30年度	千葉県成田市 公津の杜4-2		
	医学研究科 公衆衛生学専攻	2	20	-	40	公衆衛生学修士 (専門職)	1.30	令和6年度			
	附属施設の概要	名称：国際医療福祉大学病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：栃木県那須塩原市井口537-3 設置年月：平成19年2月 規模等：建物39,437m <sup>2</sup> 408床  名称：国際医療福祉大学塙谷病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：栃木県矢板市富田77 設置年月：平成21年4月 規模等：建物17,022m <sup>2</sup> 240床									

	<p>名 称：国際医療福祉大学成田病院      目 的：診療及び臨床実習      所 在 地：千葉県成田市畑ヶ田852      設置年月：令和2年3月      規 模 等：建物91,000m<sup>2</sup> 642床</p> <p>名 称：国際医療福祉大学市川病院      目 的：診療及び臨床実習      所 在 地：千葉県市川市国府台6-1-14      設置年月：平成29年9月      規 模 等：建物16,811m<sup>2</sup> 260床</p> <p>名 称：国際医療福祉大学三田病院      目 的：診療及び臨床実習      所 在 地：東京都港区三田1-4-3      設置年月：平成17年3月      規 模 等：建物35,504m<sup>2</sup> 291床</p> <p>名 称：国際医療福祉大学熱海病院      目 的：診療及び臨床実習      所 在 地：静岡県熱海市東海岸町13-1      設置年月：平成14年7月      規 模 等：建物23,257m<sup>2</sup> 269床</p> <p><b>附属施設の概要</b></p> <p>名 称：国際医療福祉大学クリニック      目 的：診療及び臨床実習      所 在 地：栃木県大田原市北金丸2600-6      設置年月：平成9年5月      規 模 等：建物3,574m<sup>2</sup></p> <p>名 称：国際医療福祉大学 介護老人保健施設マロニエ苑      目 的：介護老人保健施設及び臨床実習      所 在 地：栃木県那須塩原市井口533-4      設置年月：平成19年2月      規 模 等：建物7,052m<sup>2</sup> 定員200名（ショートステイ含む）</p> <p>名 称：国際医療福祉大学 にしなすの総合在宅ケアセンター      目 的：在宅介護、通所リハ及び臨床実習      所 在 地：栃木県那須塩原市井口533-11      設置年月：平成19年2月      規 模 等：建物850m<sup>2</sup></p> <p>名称：国際医療福祉大学 しおや総合在宅ケアセンター      目 的：在宅介護、通所リハ及び臨床実習      所 在 地：栃木県矢板市富田77      設置年月：平成26年4月      規 模 等：999m<sup>2</sup></p>	
--	---	--

## 学校法人国際医療福祉大学 設置認可等に関わる組織の移行表

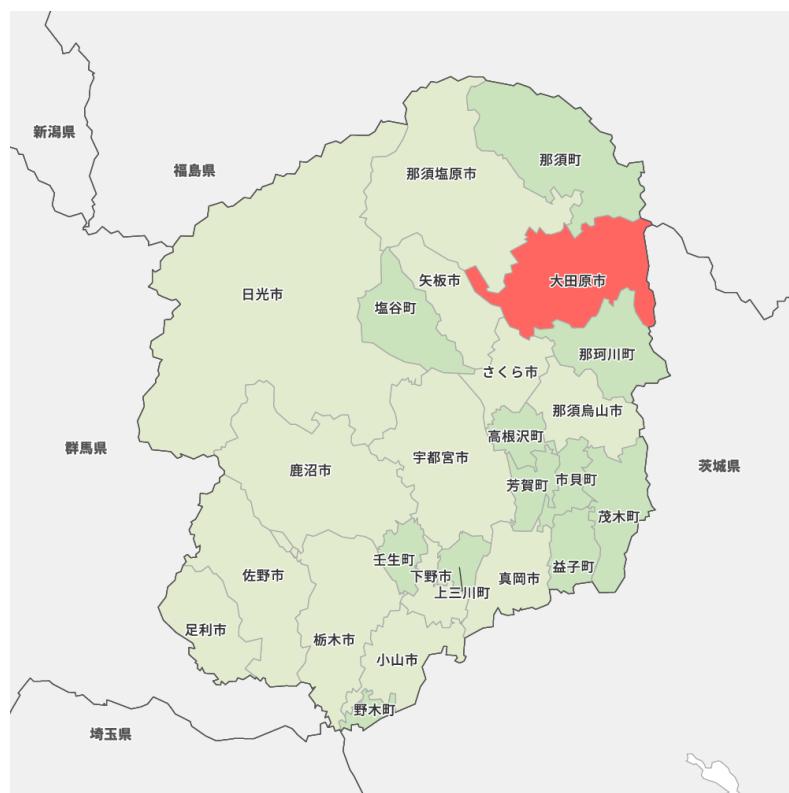
令和7年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和8年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
<b>国際医療福祉大学</b>				<b>国際医療福祉大学</b>				
保健医療学部				保健医療学部				
看護学科	115	-	460	看護学科	115	-	460	
理学療法学科	100	-	400	理学療法学科	100	-	400	
作業療法学科	80	-	320	作業療法学科	80	-	320	
言語聴覚学科	80	-	320	言語聴覚学科	70	-	280	定員変更(△10)
視機能療法学科	50	-	200	視機能療法学科	50	-	200	
医学検査学科	80	-	320	医学検査学科	80	-	320	
放射線・情報科学科	110	-	440	放射線・情報科学科	110	-	440	
医療福祉学部		3年次		医療福祉学部		3年次		
医療福祉・マネジメント学科	140	5	570	医療福祉・マネジメント学科	130	5	530	定員変更(△10)
薬学部				薬学部				
薬学科	180	-	1080	薬学科	180	-	1080	
医学部				医学部				
医学科	140	-	840	医学科	140	-	840	
成田看護学部				成田看護学部				
看護学科	100	-	400	看護学科	105	-	420	定員変更(5)
成田保健医療学部				成田保健医療学部				
理学療法学科	80	-	320	理学療法学科	80	-	320	
作業療法学科	40	-	160	作業療法学科	40	-	160	
言語聴覚学科	40	-	160	言語聴覚学科	40	-	160	
医学検査学科	80	-	320	医学検査学科	80	-	320	
放射線・情報科学科	50	-	200	放射線・情報科学科	60	-	240	定員変更(10)
成田薬学部				成田薬学部				
薬学科	120	-	720	薬学科	120	-	720	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部				赤坂心理・医療福祉マネジメント学部				
心理学科	60	-	240	心理学科	60	-	240	
医療マネジメント学科	60	-	240	医療マネジメント学科	60	-	240	
小田原保健医療学部				小田原保健医療学部				
看護学科	80	-	320	看護学科	85	-	340	定員変更(5)
理学療法学科	80	-	320	理学療法学科	80	-	320	
作業療法学科	40	-	160	作業療法学科	40	-	160	
福岡保健医療学部				福岡保健医療学部				
看護学科	60	-	240	看護学科	60	-	240	
理学療法学科	50	-	200	理学療法学科	50	-	200	
作業療法学科	30	-	120	作業療法学科	30	-	120	
医学検査学科	80	-	320	医学検査学科	80	-	320	
福岡薬学部				福岡薬学部				
薬学科	120	-	720	薬学科	120	-	720	
計	2,245	5	10,110	計	2,245	5	10,110	
国際医療福祉大学大学院				国際医療福祉大学大学院				
医学研究科				医学研究科				
公衆衛生学専攻(P)	20	-	40	公衆衛生学専攻(P)	20	-	40	
医学専攻(D)	20	-	80	医学専攻(D)	20	-	80	
医療福祉学研究科				医療福祉学研究科				
保健医療学専攻(M)	200	-	400	保健医療学専攻(M)	200	-	400	
医療福祉経営専攻(M)	50	-	100	医療福祉経営専攻(M)	50	-	100	
臨床心理学専攻(M)	35	-	70	臨床心理学専攻(M)	35	-	70	
保健医療学専攻(D)	80	-	230	保健医療学専攻(D)	80	-	230	
薬科学研究科				薬科学研究科				
生命薬科学専攻(M)	5	-	10	生命薬科学専攻(M)	5	-	10	
薬学研究科				薬学研究科				
医療・生命薬学専攻(D)	5	-	20	医療・生命薬学専攻(D)	5	-	20	
計	415		950	計	415		950	
国際医療福祉大学塩谷看護専門学校				国際医療福祉大学塩谷看護専門学校				
医療専門課程				医療専門課程				
看護学科	40	-	120	看護学科	40	-	120	
計	40		120	計	40	-	120	

(1) 都道府県内における位置関係の図面

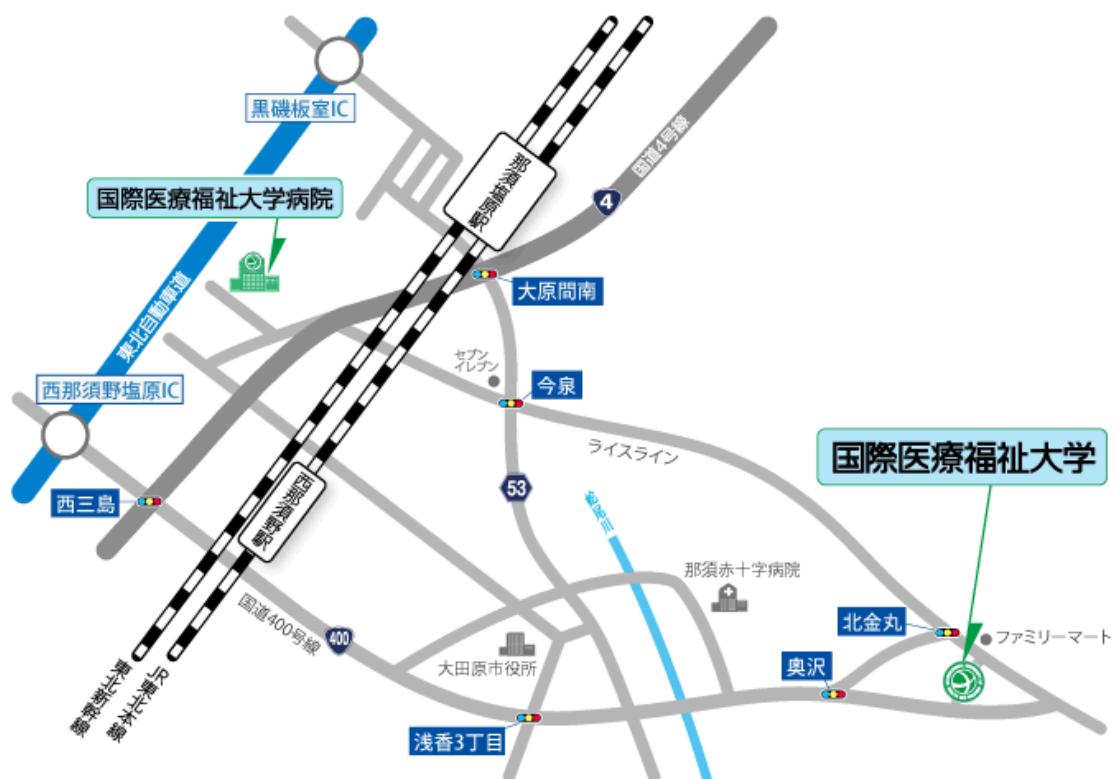
1) 関東における栃木県の位置



2) 栃木県内における大田原市の位置



(2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図



那須塩原駅と大学間にスクールバスを運行しています（所要時間 約 20 分）。

※約 10 km

在学生をはじめ、お客様や受験生も利用いただけるほか、教職員も利用している。

〈運行区間〉 那須塩原駅東口 ⇄ 国際医療福祉大学 大田原キャンパス

〈運行日〉 毎日（土日も運行。但し 12/28～1/3 を除く）

〈料金〉 無料

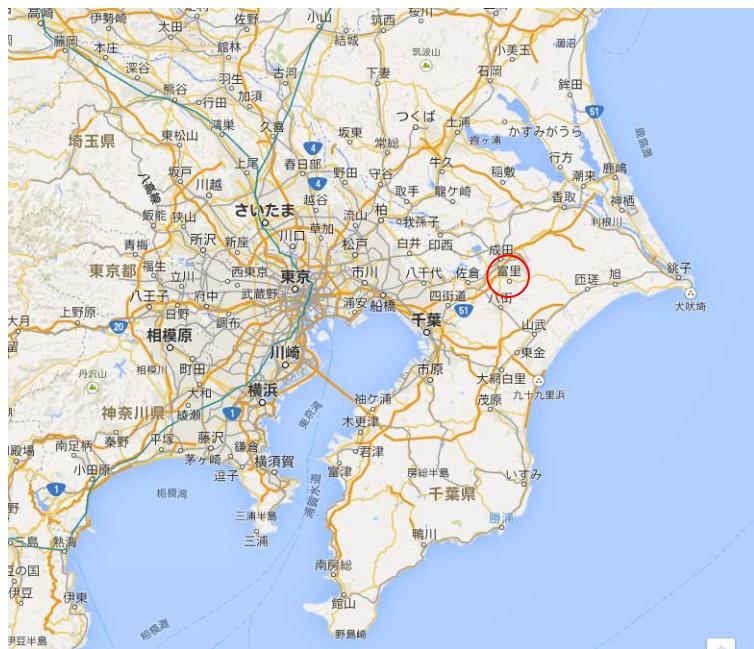
(3) 校舎・運動上等の配置図



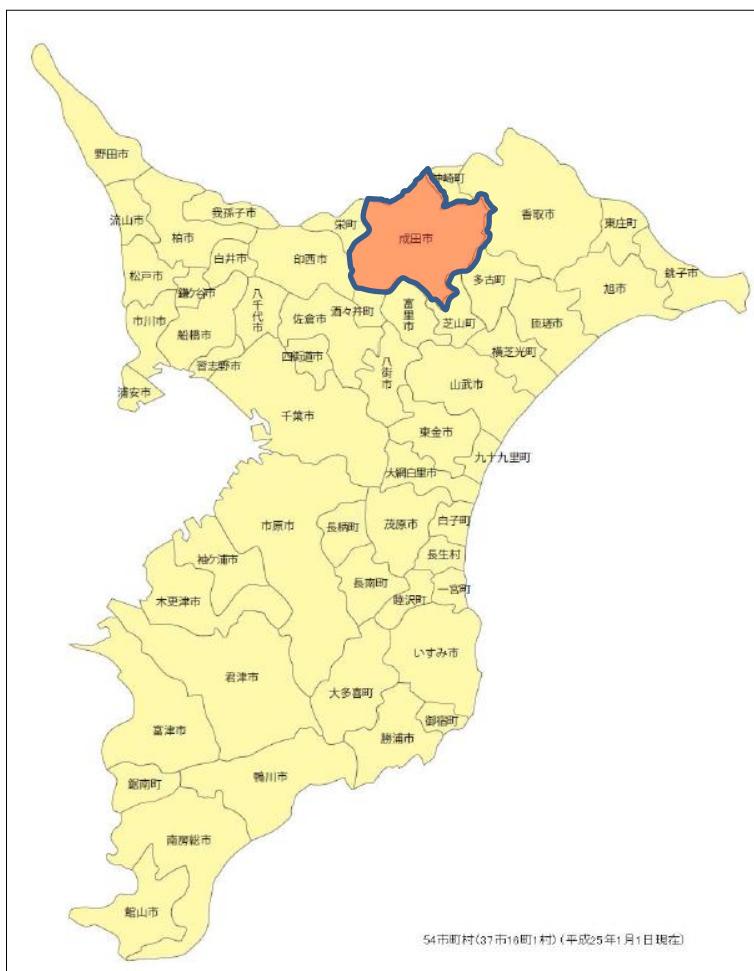
- ①校地 867,678 m<sup>2</sup>
- ②校舎 213,195 m<sup>2</sup>
- ③屋外運動場 88,802 m<sup>2</sup>

### (1) 都道府県内における位置関係の図面

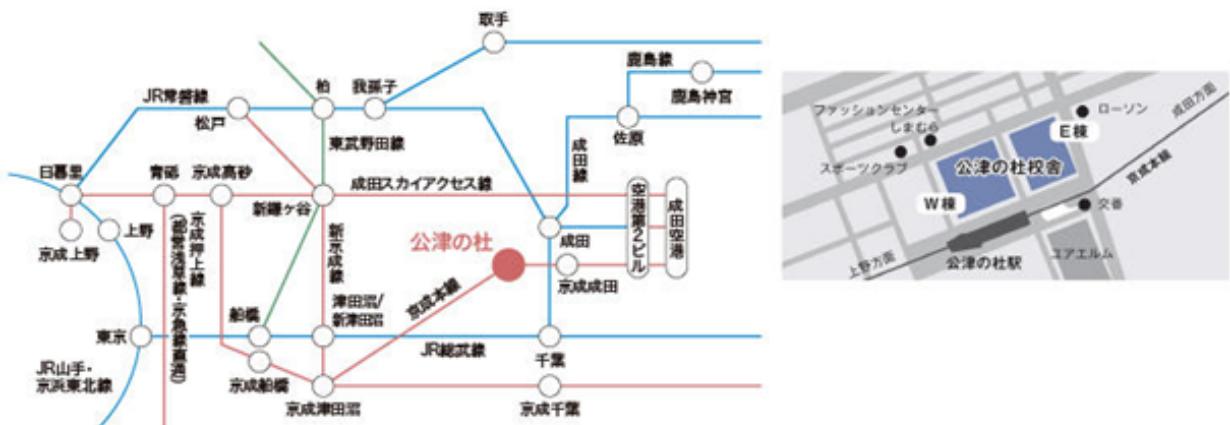
### 1) 首都圏における成田市の位置



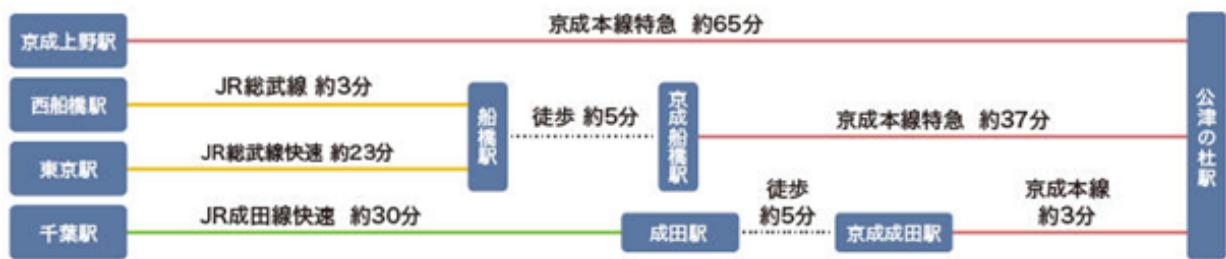
## 2) 千葉県内における成田市の位置



(2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



主要駅からの所要時間



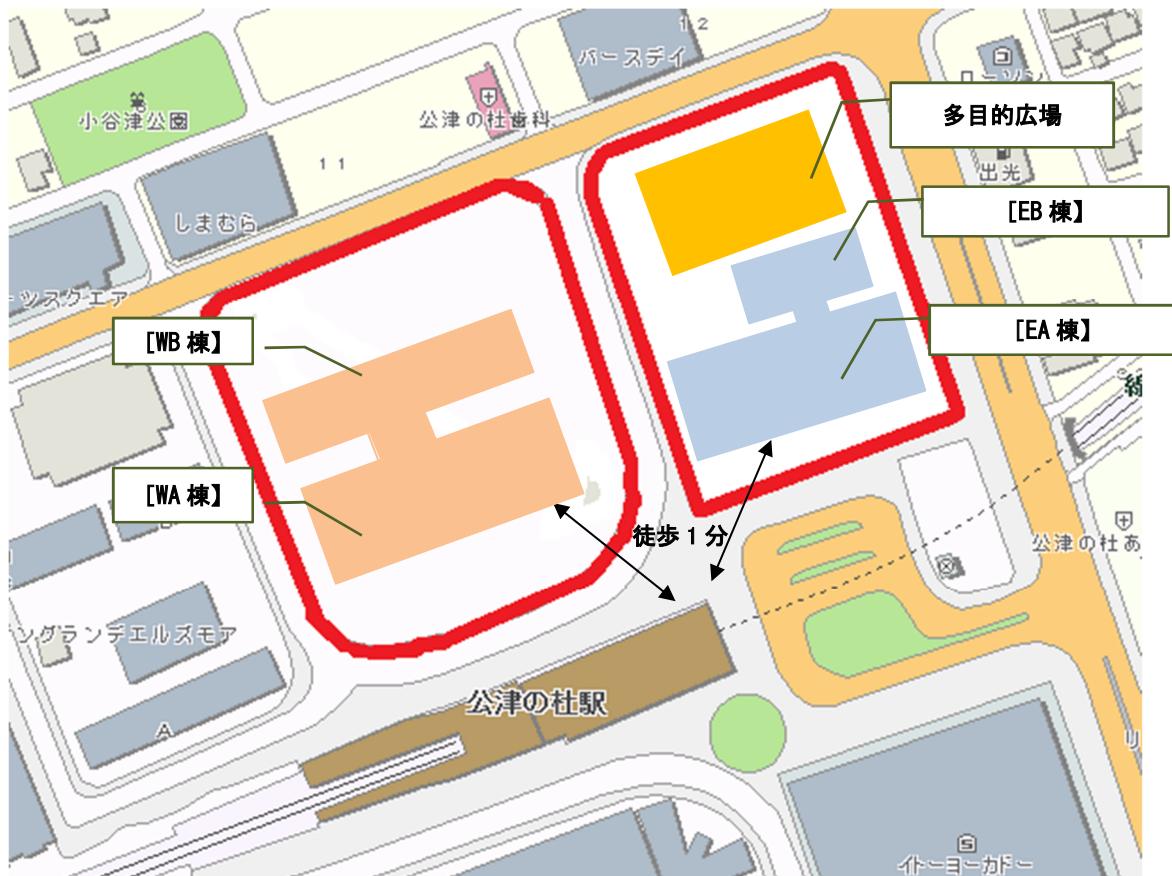
※所要時間は区間における目安の時間(一部乗り換え時間も含む)であり、時間帯により異なります。

最寄駅からの距離 50m

(3)校舎、運動場等の配置図

(4)公津の杜校舎配置図(赤枠内は成田キャンパスの校地)

※医学部、成田看護学部・成田保健医療学部と共に使用する。



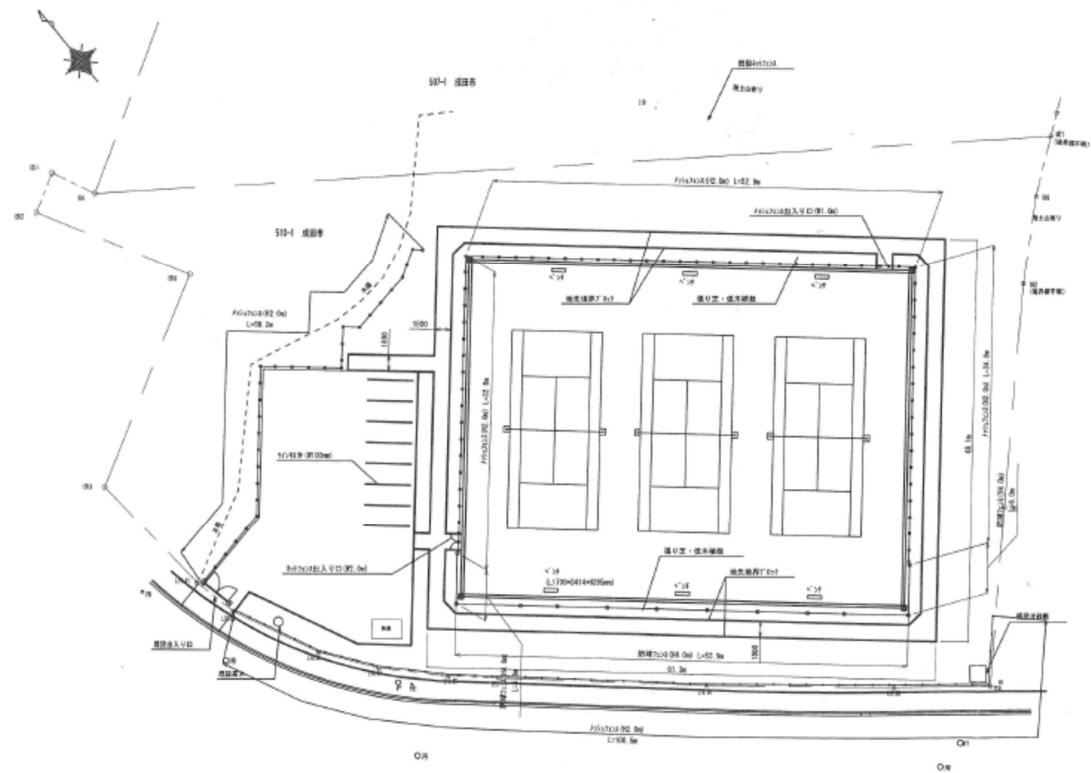
【WA・WB 棟】

- ① 校地 : 14,827.38 m<sup>2</sup>
- ② 校舎 : 47,107.65 m<sup>2</sup>

【EA・EB 棟】

- ① 校地 : 12,781.51 m<sup>2</sup>
- ② 校舎 : 29,145.24 m<sup>2</sup>

## 2) 運動場(テニスコート整備図)



## ①都道府県内における位置関係の図面

### 1) 首都圏における小田原市の位置



【交通】 東京～小田原 新幹線：35分

新宿～小田原 小田急ロマンスカー：1時間10分

### 2) 神奈川県内における小田原市の位置

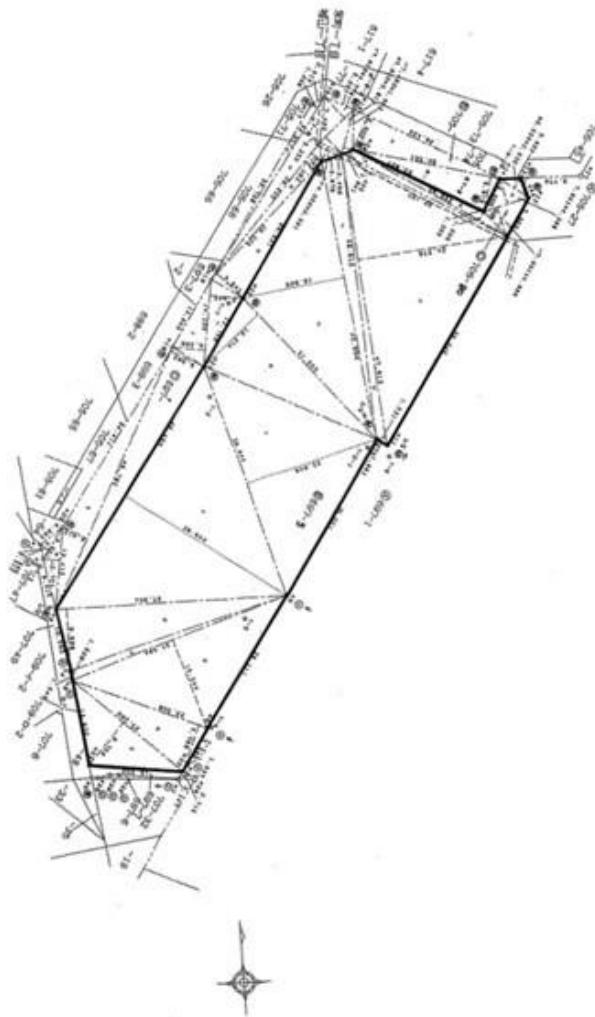
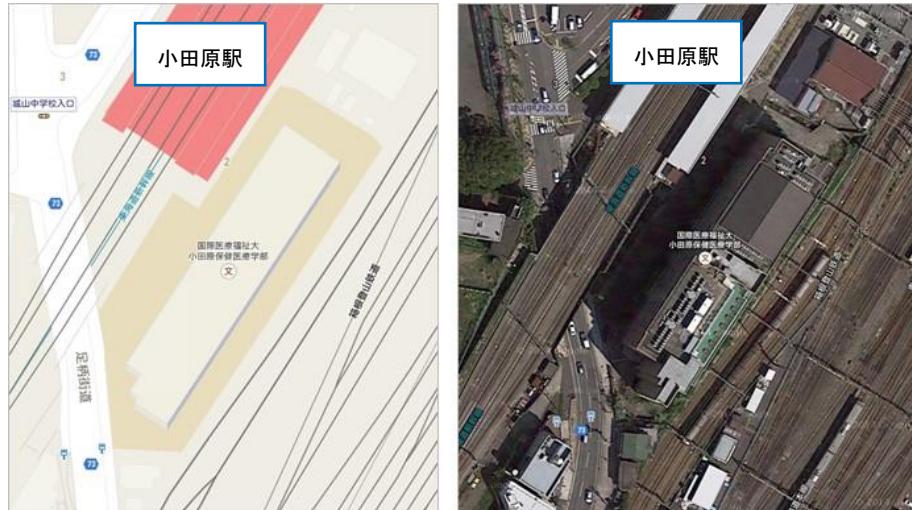


②最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

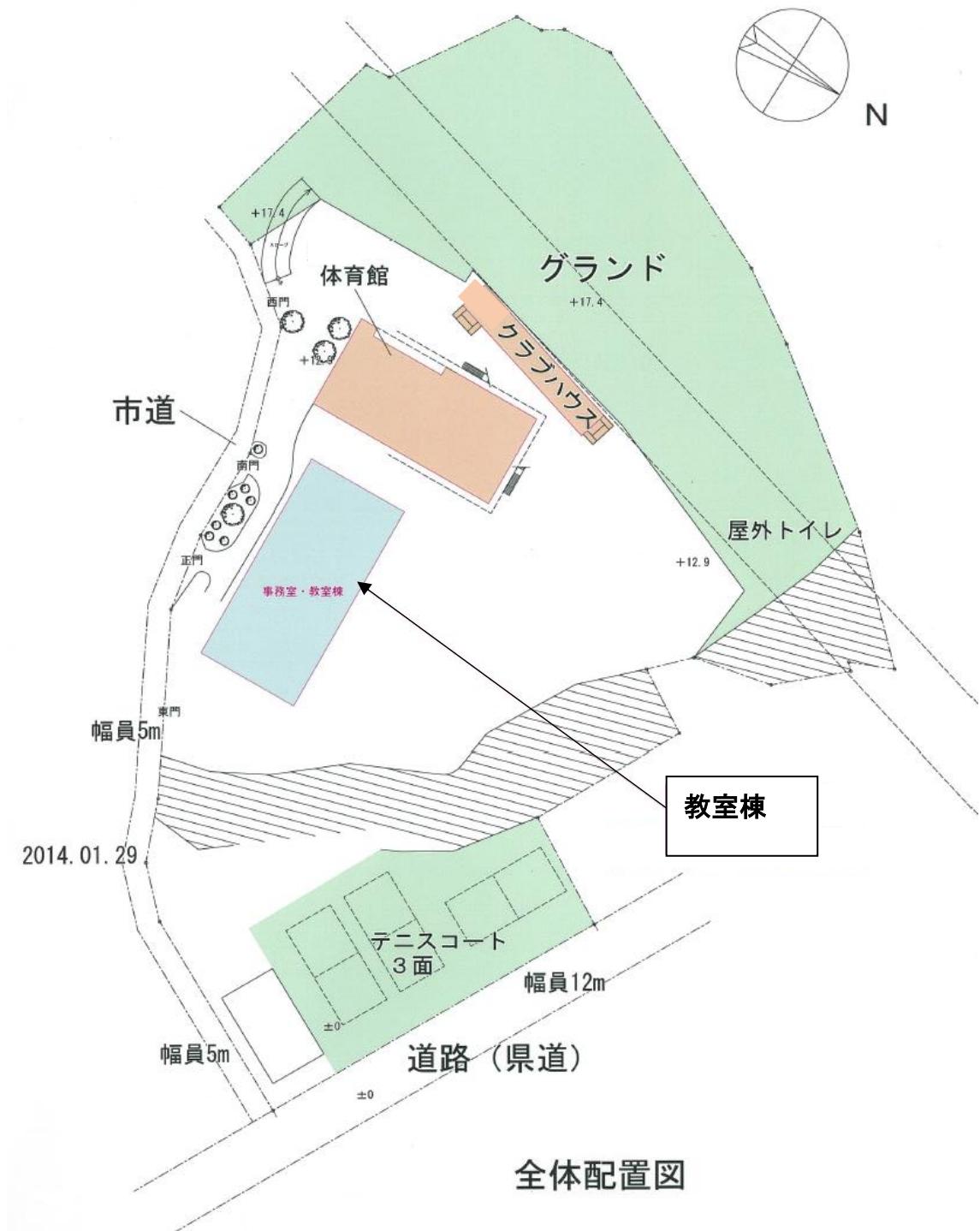


### ③校舎、運動場等の配置図

#### 1)本校舎



2) 城内校舎



# 国際医療福祉大学学則

## 第1章 総 則

### 第1節 目的

(目的)

第1条 国際医療福祉大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。

(自己評価等)

第1条の2 本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 点検及び評価については、別に定める。

3 本学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

(情報の公開)

第1条の3 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第1条の4 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。(社会的・職業的自立に関する指導等)

第1条の5 本学は、学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

(研修の機会等)

第1条の6 本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得・向上させるための研修の機会を設けることとその他の必要な取組を行う。

### 第2節 組織

(学部)

第2条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

#### 一 保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

#### 二 医療福祉学部

医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各

分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の人材を育成する。

### 三 薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

### 四 福岡保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学及び医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び臨床検査技師等の人材を育成する。

### 五 小田原保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等の人材を育成する。

### 六 成田看護学部

看護学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師等の人材を育成する。

### 七 成田保健医療学部

理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学及び放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

### 八 医学部

医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身につけ医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成する。

### 九 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

心理学、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、心理に関する支援もしくは医療福祉の実践を、チームで担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた公認心理師、認定心理士、カウンセラー等の心理の専門職業人、医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人等の人材を育成する。

### 十 福岡薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

### 十一 成田薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、国内外で薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

2 前項の学部に置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。

(大学院)

第2条の2 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関する学則は、別に定める。

(別科)

第2条の3 本学に留学生別科及び介護福祉特別専攻科を置く。

2 留学生別科及び介護福祉特別専攻科に関する事項は、別に定める。

(図書館)

第3条 本学に、図書館を置く。

2 図書館に関する事項は、別に定める。

(附属施設)

第3条の2 本学に、次の附属施設を置く。

国際医療福祉大学病院

国際医療福祉大学熱海病院

国際医療福祉大学三田病院

国際医療福祉大学塩谷病院

国際医療福祉大学市川病院

国際医療福祉大学成田病院

国際医療福祉大学クリニック

国際医療福祉大学健康管理センター

国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑

国際医療福祉大学にしなすの総合在宅ケアセンター

国際医療福祉大学社会保障政策研究所

国際医療福祉大学人口戦略研究所

国際医療福祉大学ゲノム医学研究所

国際医療福祉大学トランスレーショナルニューロサイエンスリサーチセンター

国際医療福祉大学循環器バイオバンクリサーチセンター

2 附属施設に関する事項は、別に定める。

第3条の3 本学に、総合教育、情報教育、臨床教育等の教育研究に関するセンターを置くことができる。

2 センターに関する事項は、別に定める。

(事務局)

第4条 本学に、事務局を置く。

### 第3節 職員組織

(職員)

第5条 本学に、学長を置く。学長は、校務をつかさどり所属職員を統督する。

2 本学に、学長を補佐するため、副学長を置くことができる。

- 3 本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。
- 4 本学に、特任教授、客員教授、非常勤講師及びその他必要な職員を置くことができる。
- 5 本学に、名誉教授を置くことができる。

(職員組織)

- 第6条 学部に、学部長を置く。学部長は、学長の指示を受けて、学部に関する校務を掌理する。
- 2 学部の学科に、学科長を置く。学科長は、学部長を補佐し、学科の校務を掌理する。
  - 3 学部に、副学部長、学科に副学科長を置くことができる。
  - 4 図書館に、図書館長を置く。
  - 5 国際医療福祉大学病院、国際医療福祉大学熱海病院、国際医療福祉大学三田病院、国際医療福祉大学塩谷病院、国際医療福祉大学市川病院及び国際医療福祉大学成田病院に、それぞれ病院長を置く。
  - 6 国際医療福祉大学クリニックに院長を、国際医療福祉大学健康管理センターにセンター長を置く。
  - 7 国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑、国際医療福祉大学にしなすの総合在宅ケアセンターにそれぞれ施設長を置く。
  - 8 研究所に、研究所長を置く。
  - 9 事務局に、事務局長を置く。

#### 第4節 管理運営委員会、学部長・学科長会議、教授会及び学科会 (管理運営委員会)

- 第7条 本学の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため、本学に管理運営委員会を置く。
- 2 管理運営委員会は、学長、総長、副学長、大学院長、副大学院長、研究科長、学部長、附属病院長、顧問、学長が指名した学科長、常任理事、理事長が指名した理事及び事務局長をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の職員を加えることができる。
  - 3 管理運営委員会は、学長が招集し、その議長となる。  
学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。
  - 4 管理運営委員会は、次の事項を審議する。
    - 一 学則その他の重要な規則の制定、改廃に関する事項
    - 二 大学院及び学部・学科の重要な組織の設置及び廃止に関する事項
    - 三 本学の重要な施設の設置及び廃止に関する事項
    - 四 教員人事の基準及び調整に関する事項
    - 五 学生の定員に関する事項
    - 六 学生の身分及びその厚生補導に関する重要事項
    - 七 理事会の諮問事項
    - 八 附属病院の運営に関する重要事項
    - 九 その他、本学の運営に関する重要事項
  - 5 学長は、管理運営委員会において審議された重要事項を常任理事会に報告する。

(学部長・学科長会議)

- 第8条 学部、学科の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学部ごと又は複数学部にまたがって学部長・学科長会議を置く。

- 2 学部長・学科長会議は、学長、副学長、学部長、副学部長、学科長及び学長が指名する専任の教員をもって構成する。ただし、学部ごとに置く学部長・学科長会議は、当該学部長、学科長をもって構成することができる。
- 3 学部長・学科長会議は、学長が招集し、その議長となる。ただし、学長が認めた場合には、学部ごとに置く学部長・学科長会議は、当該学部長が招集し、その議長となることができる。
- 4 学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名する副学長がこれに代わるものとする。
- 5 学部長・学科長会議に関する必要な事項は、別に定める。

(教授会)

第9条 本学に、学部ごと又は複数学部にまたがって教授会を置く。

- 2 教授会は、学長、副学長、学部長、副学部長及び学部の専任教授をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の教員を加えることができる。
- 3 教授会は、学長が招集し、その議長となる。学長が議長を務めることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。
- 4 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
  - 一 学生の入学、卒業及び課程の修了
  - 二 学位の授与
  - 三 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの。
- 5 教授会は、前項に規定するものの他、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 6 教授会に関する事項は、別に定める。

(学科会)

第10条 学科内の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学科に学科会を置く。

- 2 学科会は、学科の専任の教員をもって構成する。
- 3 学科会に関する必要な事項は、別に定める。

(委員会)

第11条 本学に、学長の諮問機関として委員会を置くことができる。

第5節 学年、学期及び休業日

(学年)

第12条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第13条 学年を分けて、次の2学期とする。

前　期　　4月1日から9月30日まで

後　期　　10月1日から3月31日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、医学部医学科については、次の3学期とする。

1学期　4月1日から8月31日まで

2 学期 9月1日から12月31日まで

3 学期 1月1日から3月31日まで

(休業日)

第14条 休業日は、次のとおりとする。

一 日曜日

二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に定める休日

三 本学創立記念日（5月1日）

四 春期休業日（3月1日から3月31日まで）

五 夏期休業日（8月1日から9月20日まで）

六 冬期休業日（12月25日から1月6日まで）

2 学長は、学部の教育上の必要に応じ、前項各号の休業日を変更し、又は休業日に授業を行い、若しくは臨時に休業日を定めることができる。

## 第2章 学部通則

### 第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第15条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の修業年限は、4年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

2 薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部の修業年限は、6年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

(在学年限)

第16条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては8年を、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては12年をそれぞれ超えて在学することができない。ただし、第22条第1項の規定により入学した学生は、別に定める修学年限の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

2 薬学部、成田薬学部及び福岡薬学部においては、前項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、5年次及び6年次については、通算で4年とする。

3 医学部においては、第1項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、4年次及び5年次については、通算で4年とする。

### 第2節 入学

(入学の時期)

第17条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別な場合は、学期の始めに入学を許可することがある。

(入学の資格)

第18条 各学科第1学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれ

に相当する学校教育を修了した者

三 外国において学校教育による 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの

四 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者

七 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

（入学の出願）

第 19 条 入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて、指定期日までに本学に願い出なければならない。

（入学者の選考）

第 20 条 入学者の選考は、学力試験、その他の方法による。

2 選考の方法は、別に定める。

（入学手続及び入学許可）

第 21 条 前条の選考に合格した者は、指定された期日までに、入学金、授業料、その他の学費に保証人連署の誓約書など所定の書類を添えて、入学手続を完了しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者について、入学を許可する。

（編入学、転入学、再入学）

第 22 条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願するものがあるときは、収容定員に欠員のある場合に限り、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

一 大学を卒業した者

二 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

三 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

四 大学に 1 年以上在学し、所定の単位を修得した者又は修得見込みの者

五 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

六 外国において学校教育による 14 年以上の課程を修了した者

七 前各号に定める者に相当する学力を有するものと学長が認めた者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並び修業年限については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

3 編入学、転入学及び再入学に関する必要な事項は、別に定める。

### 第3節 教育課程、単位及び履修方法等

#### (教育課程)

第23条 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを、各学年次に配当して編成するものとする。

#### (授業科目の区分)

第24条 授業科目を分けて、総合教育科目、専門教育科目とする。

#### (授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数)

第25条 授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数は、別に定める。

#### (授業の方法)

第26条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技等により行うものとする。

#### (単位計算方法)

第27条 授業科目の単位計算方法は、次の基準によるものとする。

- 一 講義については、15時間をもって1単位とする。ただし、外国語科目の講義については、30時間をもって1単位とする。
- 二 演習については、30時間をもって1単位とする。
- 三 実験、実習、体育実技等については、45時間をもって1単位とする。
- 四 教育上必要があるときは、講義については30時間の講義、演習については15時間の演習、実験・実習・体育実技については30時間の実験・実習・体育実技をもって1単位とすることができる。
- 五 卒業論文、卒業研究等の授業科目については、単位を授与する。

単位数は、学科ごとに別に定める。

#### (単位の認定、科目の修得及び評価)

第28条 授業科目を履修し、その試験、又は論文等の審査に合格した者には、所定の単位を与える。

- 2 前項の規定にかかわらず、平常点をもって試験に代えることを認められた科目については、この限りでない。
- 3 試験に関する事項は、別に定める。

#### (成績の評価)

第29条 成績の評価は、秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(D)の5種とし、秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)を合格、不可(D)を不合格とする。

#### (授業日数)

第30条 毎学年の授業日数は、定期試験の日数を含め、35週以上とする。

#### (履修方法)

第31条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては本学に4年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上在学し、各学科所定の授業科目を履修しなければならない。

- 2 前項の履修方法については、別に定める履修規程の定めるところによる。

#### (メディアを利用して行う授業)

第31条の2 メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日に情報機器その他の通信手段によって行う。

2 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目的履修等)

第32条 学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目的履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。

(大学以外の教育施設における学修)

第33条 学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目的履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第34条 学生が本学に入学する前に大学、短期大学、高等専門学校又は大学設置基準第29条第1項の規定による専修学校において履修した授業科目について修得した単位(第51条の規定により修得した単位を含む)を、本学に入学した後の本学における授業科目的履修により修得したものとみなすことができる。

2 学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学における授業科目的履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第32条第1項及び第2項並びに前条第1項により、本学で修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

#### 第4節 休学、転学、留学、除籍及び退学

(休学)

第35条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上修学できない見込みの者は、所定の手続により、学長の許可を得て休学することができる。

2 病気のため修学することが適当ないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第36条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、許可を得て更に1年以内に限り、期間を延長することができる。

2 休学の期間は、通算して、4年を超えることはできない。

3 休学の期間は、第16条の在学年限に算入しない。

4 休学期間にその理由が消滅した場合は、所定の手続により、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第37条 本学から他の大学へ転学しようとする者は、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。

(転学部、転学科)

第38条 本学内において、他の学部、学科への転学部、転学科を志願する者があるときは、教

授会において選考のうえ、学長が転学部、転学科を許可することがある。

- 2 転学部、転学科の許可を受けた者の修業年限及び既に取得した単位の取扱は、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

(留学)

第39条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第42条に定める在学期間に含めることができる。

- 3 留学に関する事項は、別に定める。

(退学)

第40条 退学しようとする者は、その事由を付して、保証人連署のうえ、所定の様式により学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(除籍)

第41条 次の各号の一に該当する者は、教授会の意見を聴いて、学長が除籍する。

- 一 学生納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- 二 第16条に定める在学年限を超えた者
- 三 長期間にわたり行方不明の者
- 四 第36条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- 五 死亡した者

## 第5節 卒業及び学士の学位

(卒業)

第42条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては、本学に4年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上それぞれ在学し、別に定める卒業に必要な単位を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

(学士の学位)

第43条 学士の学位については、別に定める。

(教育職員免許状)

第43条の2 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 前項の規定により所要の単位を修得した者が教育職員免許状を取得できる学部学科、教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

学部学科	教育職員免許状の種類
小田原保健医療学部看護学科	養護教諭1種免許状

## 第6節 賞罰

(表彰)

第44条 学生として表彰に値する行為があった者には、学長は、教授会の意見を聴いて、表彰することができる。

(懲戒)

第45条 本学の諸規程に違背し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為をした者は、教授会の意見を聴いて、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は、情状により退学、停学、譴責及び戒告とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 二 学業劣等で成績の見込みがないと認められる者
- 三 正当の理由なくして出席常でない者
- 四 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学期間は在学年限に算入し、修業年限には算入しないものとする。ただし、停学期間が3か月未満の場合は、修業年限に算入することができる。

## 第7節 厚生補導

(学生指導)

第46条 本学は、学生の福利厚生並びに学生生活全般の指導の適切かつ円滑な実施を図るものとする。

2 前項に関する事項は別に定める。

(保健管理)

第47条 本学に保健室を置き、学生の保健管理を行う。

## 第8節 施設利用及び寄宿舎

(施設利用)

第48条 本学の施設は、本学の学生及び職員が使用できる。ただし、本学の運営に支障のない限りにおいて、一般市民の利用に供することができる。

(寄宿舎)

第48条の2 本学に寄宿舎を置くことができる。

2 前項に関する事項は別に定める。

## 第9節 研究生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

(研究生)

第49条 本学において、特定の課題について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者、又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

(聴講生)

第50条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生は学期ごとに許可する。

(科目等履修生)

第51条 本学の学生以外の者で、本学において一又は複数の授業科目の履修を志願する者があ

るときは、教育・研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として、入学を許可することがある。

- 2 前項の科目等履修生に対し単位を与えることができる。
- 3 科目等履修生に対する単位の授与については、第28条の規定を準用する。  
(外国人留学生)

第52条 外国人で、大学において教育を受ける目的で入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。

#### 第10節 入学検定料及び学生納付金

(入学検定料及び学生納付金)

第53条 入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

#### 第54条 削除

(免除等)

第55条 学業優秀である者若しくは経済的理由によって納付が困難な者に対しては、学生納付金の一部又は全部を免除し、徴収を猶予することがある。

- 2 休学期間中及び留学期間中は、授業料の3分の2を免除する。  
(退学等の場合の学生納付金)

第56条 学年の中途において退学し、転学し、又は停学若しくは退学を命ぜられた者もその学年の学生納付金を納めなければならない。

(研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金)

第57条 研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

(返還)

第58条 納付した入学検定料及び学生納付金は、返還しない。

#### 第11節 奨学金

(奨学金)

第59条 本学に奨学金の制度を設けることができる。

- 2 奨学金の支給は、品行方正で学業優秀な学生に対して行う。

#### 第12節 公開講座及び各種講習会等

(公開講座、各種講習会等)

第60条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座、各種講習会を開設することができる。

- 2 社会人の再教育及び教育研究活動に資するため、特別講座等を開設することができる。

### 第3章 補 則

(補則)

第61条 この学則の実施に関し必要な細目は、別に定める。

### 附 則

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する収容定員は、同条にかかわらず、平成7年度から平成10年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成7年度 平成8年度 平成9年度 平成10年度

保健学部

看護学科	100名	200名	300名	400名
理学療法学科	80名	160名	240名	320名
作業療法学科	80名	160名	240名	320名
言語聴覚障害学科	80名	160名	240名	320名
放射線・情報科学科	100名	200名	300名	400名
合 計	440名	880名	1320名	1760名

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する医療福祉学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成9年度から平成11年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成9年度 平成10年度 平成11年度

医療福祉学部

医療経営管理学科	100名	200名	300名
医療福祉学科	100名	200名	300名
合 計	200名	400名	600名

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する保健学部視機能療法学科及び医療福祉学部医療福祉学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成14年度から平成16年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成14年度 平成15年度 平成16年度

視機能療法学科	40名	80名	120名
医療福祉学科	440名	480名	520名

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

- 2 第53条の規定（入学検定料、授業料等）は、平成15年度以前の入学者については、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する薬学部及びリハビリテーション学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成17年度から平成19年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成17年度 平成18年度 平成19年度

##### 薬学部

薬学科	150名	300名	450名
合 計	150名	300名	450名

##### リハビリテーション学部

理学療法学科	40名	80名	120名
作業療法学科	40名	80名	120名
合 計	80名	160名	240名

- 3 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成16年度以前の入学者については、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する薬学部及び小田原保健医療学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成18年度から平成22年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度

##### 薬学部

薬学科	330名	510名	690名	720名	900名
合 計	330名	510名	690名	720名	900名

##### 小田原保健医療学部

看護学科	50名	100名	150名
理学療法学科	40名	80名	120名
作業療法学科	40名	80名	120名
合 計	130名	260名	390名

- 3 第15条第2項の規定にかかわらず、平成17年度薬学部入学者については、なお従前の例による。

- 4 薬学部（4年制）は、平成18年度から学生募集を停止する。ただし、薬学部（4年制）の平成18年度から平成20年度までの収容定員は、次のとおりとする。

平成18年度 平成19年度 平成20年度

##### 薬学部

薬学科	150名	150名	150名
-----	------	------	------

- 5 第25条（授業科目等）の規定は、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡リハビリテーション学部理学療法学科、言語聴覚学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成19年度から平成21年度までは、次のとおりとする。

平成19年度 平成20年度 平成21年度

### 福岡リハビリテーション学部

理学療法学科	160名	240名	280名
言語聴覚学科	40名	80名	120名

- 3 第25条（授業科目等）の規定は、平成18年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科及び福岡看護学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成21年度から平成23年度までは、次のとおりとする。

平成21年度 平成22年度 平成23年度

### 医療福祉学部

医療福祉・マネジメント学科	160名	320名	485名
---------------	------	------	------

### 福岡看護学部

看護学科	80名	160名	240名
------	-----	------	------

- 3 医療福祉学部医療経営管理学科、医療福祉学科は、平成21年度から学生募集を停止する。ただし、医療福祉学部医療経営管理学科、医療福祉学科の平成21年度から平成23年度までの収容定員は、次のとおりとする。

平成21年度 平成22年度 平成23年度

医療経営管理学科	300名	200名	100名
----------	------	------	------

医療福祉学科	425名	280名	140名
--------	------	------	------

- 4 第25条（授業科目等）の規定は、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

- 5 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成21年度以前の入学者については、なお

従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 第53条（入学検定料・授業料等）の規定は、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 第53条（入学検定料・授業料等）の規定は、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成25年度から平成27年度までは、次のとおりとする。

平成25年度 平成26年度 平成27年度

福岡保健医療学部

医学検査学科	80名	160名	240名
--------	-----	------	------

#### 附 則

- 1 医療福祉学部医療経営管理学科及び医療福祉学科については平成26年3月31日をもって廃止する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する小田原保健医療学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成27年度から平成29年度までは、次のとおりとする。

平成27年度 平成28年度 平成29年度

小田原保健医療学部

看護学科	230名	260名	290名
------	------	------	------

#### 附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。

- 2 第2条第2項に規定する福岡看護学部、成田看護学部及び成田保健医療学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成28年度から平成30年度までは、次のとおりとする。

平成28年度 平成29年度 平成30年度

福岡看護学部

看護学科	340名	360名	380名
合計	340名	360名	380名

成田看護学部

看護学科	100名	200名	300名
合計	100名	200名	300名

成田保健医療学部

理学療法学科	80名	160名	240名
作業療法学科	40名	80名	120名
言語聴覚学科	40名	80名	120名
医学検査学科	80名	160名	240名
合計	240名	480名	720名

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年5月23日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する保健医療学部看護学科、保健医療学部理学療法学科、保健医療学部視機能療法学科、保健医療学部放射線・情報科学科、小田原保健医療学部理学療法学科及び医学部医学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成29年度から平成33年度までは、次のとおりとする。

平成29年度 平成30年度 平成31年度

保健医療学部

看護学科	415名	430名	445名
理学療法学科	340名	360名	380名
視機能療法学科	170名	180名	190名
放射線・情報科学科	420名	440名	460名

小田原保健医療学部

理学療法学科	200名	240名	280名
--------	------	------	------

平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 平成33年度

医学部

医学科	140名	280名	420名	560名	700名
-----	------	------	------	------	------

合 計	140 名	280 名	420 名	560 名	700 名
-----	-------	-------	-------	-------	-------

#### 附 則

この学則は、平成29年9月1日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科及び医療マネジメント学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成30年度から平成32年度までは、次のとおりとする。

平成30年度	平成31年度	平成32年度
--------	--------	--------

#### 医療福祉学部

医療福祉・マネジメント学科	630人	610人	590人
合計	630人	610人	590人

#### 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

心理学科	60人	120人	180人
医療マネジメント学科	60人	120人	180人
合計	120人	240人	360人

#### 附 則

- 1 この学則は、令和2（2020）年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部理学療法学科、福岡薬学部薬学科、保健医療学部放射線・情報科学科及び成田保健医療学部放射線・情報科学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和2年度から令和6年度までは、次のとおりとする。

令和2年度	令和3年度	令和4年度
-------	-------	-------

#### 福岡保健医療学部

理学療法学科	300名	280名	260名
--------	------	------	------

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
-------	-------	-------	-------	-------

#### 福岡薬学部

薬学科	120名	240名	360名	480名	600名
-----	------	------	------	------	------

令和2年度	令和3年度	令和4年度
-------	-------	-------

#### 保健医療学部

放射線・情報科学科	470名	460名	450名
-----------	------	------	------

令和2年度	令和3年度	令和4年度
-------	-------	-------

#### 成田保健医療学部

放射線・情報科学科	50名	100名	150名
-----------	-----	------	------

#### 附 則

この学則は、令和2（2020）年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

#### 附 則

1 この学則は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

2 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和5年度から令和7年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
--	-------	-------	-------

#### 福岡保健医療学部

看護学科	60名	120名	180名
理学療法学科	230名	220名	210名
作業療法学科	150名	140名	130名
言語聴覚学科	120名	80名	40名

#### 附 則

この学則は、令和5（2023）年5月23日から施行する。

#### 附 則

1 この学則は、令和6（2024）年4月1日から施行する。

2 第2条第2項に規定する成田薬学部薬学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和6年度から令和10年度までは、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
--	-------	-------	-------	-------	--------

#### 成田薬学部

薬学科	120名	240名	360名	480名	600名
-----	------	------	------	------	------

#### 附 則

1 この学則は、令和7（2025）年4月1日から施行する。

2 第2条第2項に規定する保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和7年度から令和9年度までは、次のとおりとする。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
--	-------	-------	-------

#### 保健医療学部

医学検査学科	80名	160名	240名
--------	-----	------	------

## 附 則

- 1 この学則は、令和8（2026）年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する保健医療学部言語聴覚学科、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科、成田看護学部看護学科、成田保健医療学部放射線・情報科学科及び小田原保健医療学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和8年度から令和10年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
保健医療学部			
言語聴覚学科	310名	300名	290名
医療福祉学部			
医療福祉・マネジメント学科	560名	550名	540名
成田看護学部			
看護学科	405名	410名	415名
成田保健医療学部			
放射線・情報科学科	210名	220名	230名
小田原保健医療学部			
看護学科	325名	330名	335名

別 表

学部名	学科等名	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科	115	-	460
	理学療法学科	100	-	400
	作業療法学科	80	-	320
	言語聴覚学科	70	-	280
	視機能療法学科	50	-	200
	医学検査学科	80	-	320
	放射線・情報科学科	110	-	440
	合 計	605	-	2,420
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科 (うち 介護福祉専攻)	130 (40)	5 (-)	530 (160)
	合 計	130	5	530
	薬学科	180	-	1,080
医学部	合 計	180	-	1,080
	医学科	140	-	840
成田看護学部	合 計	140	-	840
	看護学科	105	-	420
	合 計	105	-	420
成田保健医療学部	理学療法学科	80	-	320
	作業療法学科	40	-	160
	言語聴覚学科	40	-	160
	医学検査学科	80	-	320
	放射線・情報科学科	60	-	240
	合 計	300	-	1,200
	薬学科	120	-	720
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	合 計	120	-	720
	心理学科	60	-	240
	医療マネジメント学科	60	-	240
	合 計	120	-	480
小田原保健医療学部	看護学科	85	-	340
	理学療法学科	80	-	320
	作業療法学科	40	-	160
	合 計	205	-	820
	看護学科	60	-	240
福岡保健医療学部	理学療法学科	50	-	200
	作業療法学科	30	-	120
	言語聴覚学科	0	-	0
	医学検査学科	80	-	320
	合 計	220	-	880
	薬学科	120	-	720
福岡薬学部	合 計	120	-	720

※ 学部等の編入学は、医療福祉学部を除き、収容定員に対する欠員の状況を勘案して行うものとする。

## 国際医療福祉大学学位規程

### (目的)

第1条 この規程は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）、国際医療福祉大学学則（以下「大学学則」という。）第43条及び国際医療福祉大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第10条第2項に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

### (学位)

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士、博士及び修士（専門職）とする。

- 2 学士の学位は、別表1のとおりとする。
- 3 修士の学位は、別表2のとおりとする。
- 4 博士の学位は、別表3のとおりとする。
- 5 修士（専門職）の学位は、別表4のとおりとする。

### (学士の学位授与の要件)

第3条 学士の学位は、大学学則第42条により本学を卒業した者に授与する。

### (修士の学位授与の要件)

第4条 修士の学位は、大学院学則第8条第1項及び第3項により修士課程を修了した者に授与する。

### (博士の学位授与の要件)

第5条 博士の学位は、大学院学則第8条第4項、第5項、第6項及び第7項により博士課程を修了した者には、甲種の学位を授与する。

- 2 前項に定める者のほか、学位は、別に定める資格を持ち、本学に学位論文を提出して、その審査に合格した者には、乙種の学位を授与することができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学した日から3年以内に学位論文を提出し、その審査に合格した場合には、第1項によるものと同様に甲種の学位を授与する。

### (修士（専門職）の学位授与の要件)

第6条 修士（専門職）の学位は、大学院学則第8条第2項及び第3項により修士課程（専門職学位課程）を修了した者に授与する。

### (学位論文の提出)

第7条 第4条及び前条第1項による者の学位論文は、研究科長に提出するものとする。

- 2 前条第2項及び第3項の規定により、学位の授与を申請する者は、学位申請書に学位論文、論文要旨、履歴書及び別に定める学位論文審査料を添え、研究科長に提出しなければならない。

### (学位論文)

第8条 博士及び修士の学位論文は、1篇に限る。ただし、参考として、他の論文を添付することができる。

- 2 受理した学位論文等及び既に納付された学位論文審査料は、返還しない。
- 3 審査のため必要があるときは、学位論文の副本、訳文、模型又は標本等の資料を提出させことがある。

### (審査員)

第9条 研究科会議は、第7条第2項の規定により、学位論文が審査に付されたときは、当該研究科の教員のうちから、3人以上の審査員を選任し、学位論文の審査及び試験を委託しなければならない。

- 2 研究科会議が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、本学の教員又は教

員であった者を学位論文の審査及び試験の審査員に委嘱することができる。

3 研究科会議は必要と認めたときは、第1項の規定にかかわらず、他の大学院又は研究所等の教員等に学位論文の審査を委嘱することができる。

4 研究科会議は、第1項の審査員のうち1人を主任審査員として指名しなければならない。

(審査期間)

第10条 修士の学位の授与に係る論文の審査及び試験は、論文提出後2か月以内に、また、博士の学位の授与に係る論文の審査及び試験は、論文提出後1年以内に終了しなければならない。

(試験)

第11条 修士の学位又は博士の学位の授与を申請した者については、学位論文の審査のほか、面接試験を行う。この試験の方法は研究科会議において定める。

(審査結果の報告)

第12条 修士の学位又は博士の学位に関する審査が終了したときは、審査員はすみやかに審査の結果及び評価に関する意見を記載した審査報告書を研究科会議に提出しなければならない。

(学位論文の判定)

第13条 大学院長は、前条の審査の報告に基づき、研究科会議の審議を経て、学位授与の可否を決定する。

2 前項の判定を行う研究科会議には、構成員の過半数の出席を要し、合格の判定については、出席した構成員の3分の2以上の賛成がなければならない。この場合の定足数の算定に当たっては、外国出張中の者、休職中の者及び所属長の許可を得て出張中の者は、当該研究科会議の構成員の数に算入しない。

3 研究科会議が第1項の合否を決定したときは、大学院長はこれを学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第14条 学長は、前条第3項の規定による報告に基づいて学位を授与し、学位記を交付する。

2 学位を授与できない者には、その旨通知する。

(専門職学位の授与)

第14条の2 専門職学位の授与に関して必要な事項は、専門職学位課程を置く医学研究科において別に定める。

(論文要旨等の公表)

第15条 博士の学位を授与したときは、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査結果の要旨は、インターネットの利用により、当該博士の学位を授与した日から3か月以内にこれを公表する。

(学位論文の公表)

第16条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文をインターネットの利用により、公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に、既に公表されているときは、この限りではない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない理由がある場合には、研究科会議の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えて、その内容を要約したものをインターネットの利用により、公表することができる。この場合、本学はその論文の全文を求めて応じて閲覧に供するものとする。

3 第1項の規定により公表する場合は、当該論文に「国際医療福祉大学審査学位論

文（博士）」と、また前項の規定により公表する場合は、当該論文の要旨に、「国際医療福祉大学審査学位論文（博士）の要旨」と明記しなければならない。

（学位の名称）

第17条 本学の授与する学位には、国際医療福祉大学と付記するものとする。

（学位授与の取消）

第18条 本学において博士、修士又は修士（専門職）の学位を授与された者につき、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、当該研究科会議の議を経て、すでに授与した学位を取り消し、学位記を返還させるものとする。

2 研究科会議において、前項の議決を行う場合は、第13条第2項の規定を準用する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成25年5月27日から施行する。

2 第8条及び第9条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2（2020）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4（2022）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6（2024）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7（2025）年4月1日から施行する。

別表1(第2条第2項関係)

学 部	学 科	学 位(専攻分野)
保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	視機能療法学科	学士(視機能療法学)
	医学検査学科	学士(医学検査学)
	放射線・情報科学科	学士(放射線・情報科学)
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	学士(医療福祉学)、学士(医療マネジメント学)
薬学部	薬学科	学士(薬学)
医学部	医学科	学士(医学)
成田看護学部	看護学科	学士(看護学)
成田保健医療学部	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	医学検査学科	学士(医学検査学)
	放射線・情報科学科	学士(放射線・情報科学)
成田薬学部	薬学科	学士(薬学)
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	心理学科	学士(心理学)
	医療マネジメント学科	学士(医療マネジメント学)
小田原保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
福岡保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	医学検査学科	学士(医学検査学)
福岡薬学部	薬学科	学士(薬学)

別表2(第2条第3項関係)

研究科	専 攻	学 位(専攻分野)
医療福祉学研究科	保健医療学専攻	修士(保健医療学)、修士(看護学)、修士(助産学)、 修士(言語聴覚学)、修士(生殖補助医療学)、 修士(医療福祉教育・管理学)、修士(臨床検査学)、修士(災害医療学)、 修士(遺伝カウンセリング学)
	医療福祉経営専攻	修士(医療福祉学)、修士(診療情報管理学)、 修士(医療ビジネス経営学)、修士(医療福祉管理学)、 修士(介護福祉・ケアマネジメント学)、 修士(自立支援介護学)、 修士(自立支援実践ケアマネジメント学)、 修士(医療福祉ジャーナリズム学) 修士(医療通訳・国際医療マネジメント学)
	臨床心理学専攻	修士(臨床心理学)
薬科学研究科	生命薬科学専攻	修士(薬科学)

別表3(第2条第4項関係)

研究科	専 攻	学 位(専攻分野)
医療福祉学研究科	保健医療学専攻	博士(保健医療学)、博士(看護学)、 博士(助産学)、博士(言語聴覚学)、 博士(生殖補助医療学)、博士(医療福祉教育・管理学)、 博士(臨床検査学)、博士(災害医療学)、博士(医療遺伝学)、 博士(医療福祉経営学)、博士(医療福祉学)、 博士(診療情報管理学)、博士(医療福祉国際協力学)、 博士(介護福祉・ケアマネジメント学)、 博士(臨床心理学)、博士(医療福祉ジャーナリズム学)
薬学研究科	医療・生命薬学専攻	博士(薬学)
医学研究科	医学専攻	博士(医学)

別表4(第2条第5項関係)

研究科	専 攻	学 位
医学研究科	公衆衛生学専攻	公衆衛生学修士(専門職)

# 国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程

## (目的)

第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則第25条に基づき、各学部学科の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定めることを目的とする。

## (授業科目等)

第2条 各学部学科の授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。

## (卒業に必要な単位数)

第3条 各学部学科の卒業に必要な単位数は、別表2のとおりとする。

2 前項において、国際医療福祉大学学則第31条の2第2項に定める授業科目により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

## 附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2（2020）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4（2022）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6（2024）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7（2025）年4月1日から施行する。

別表1 授業科目の名称及び単位数

保健医療学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
	演劇論	1 2 3 4	1	15	
	心理学	1 2 3 4	2	30	
	哲学	1 2 3 4	2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	歴史学	1 2 3 4	2	30	
	倫理学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	文化人類学	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30	
	教育方法論	1 2 3 4	2	30	
社会系	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4	2	30	
	生きがい論	1 2 3 4	2	30	
	法学	1 2 3 4	2	30	
	日本国憲法 ※	1 2 3 4	2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30	
	社会学	1 2 3 4	2	30	
	日本政治経済論	1 2 3 4	2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4	2	30	
	福祉経済学	1 2 3 4	2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4	2	30	
	国際関係論	1 2 3 4	2	30	
	世界の経済	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
総合教育	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4	1	30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4	1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	2	1	30	
	地球環境論	1 2 3 4	2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4	2	30	
	手話入門	1 2 3 4	2	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4	2	30	
	経済の歴史	1 2 3 4	2	30	
	統計学	2	2	30	
	疫学・保健医療統計学	3	2	30	
	数学	1 2 3 4	2	30	
	物理学	1 2 3 4	2	30	
	化学	1 2 3 4	2	30	
自然・情報系	生物学	1 2 3 4	2	30	
	コンピュータの基礎	1	2	30	
	データリテラシー	1	1	30	
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4	1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1 2 3 4	1	30	
	医学／医療史	1 2 3 4	2	30	
	人間工学	1 2 3 4	2	30	
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1	30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4	1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4	1	15	
	総合講義(現代社会をどう見るか)	1 2 3 4	1	15	
総合系	食と人間	1 2		15	
	持続可能な発展	1 2 3 4	2	30	
	ボランティア実践	1 2 3 4	1	15	

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
外 国 語 系	英語講読1 (Primary)	1	1	30	
	英語講読2 (Basic)	1	1	30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
	英語CALL1 (Primary)	1	1	30	
	英語CALL2 (Basic)	1	1	30	
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
	フランス語入門	1 2 3 4	1	30	
	フランス語基礎	1 2 3 4	1	30	
	ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30	
	ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30	
	スペイン語入門	1 2 3 4	1	30	
	スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30	
	中国語入門	1 2 3 4	1	30	
	中国語基礎	1 2 3 4	1	30	
	韓国語入門	1 2 3 4	1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30	
保健体育 系	健康科学理論 ※	1 2 3 4	1	15	
	健康科学実践 ※	1 2 3 4	1	30	
専門 基 礎 ／ 学 部 共 通	公衆衛生学	1	2	30	
	救急医学	2	1	15	
	微生物と病気	1 2 3 4	2	30	
	リハビリテーション概論	2	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	看護論	1	2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4	1	15	
	ケースワーク論	1 2	1	15	
	医療管理学	1 2 3 4	2	30	
	保健医療福祉制度論	1	2	30	
	社会福祉学	1 2	2	30	
	臨床心理学概論	2	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	リスクマネジメント論	3 4	2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4	1	15	
専 門 教 育	エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	2 3 4	1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4	1	15	
	生体形態論 I (運動器系・循環器系)	1	1	30	
	生体形態論 II (内臓学・神経系・感觉器系)	1	1	30	
	生体機能論 I (循環・呼吸・消化・腎臓)	1	1	30	
	生体機能論 II (神経・運動・感觉)	1	1	30	
	栄養学	1	1	30	
	微生物学	1	1	30	
	病理学	1	1	30	
	薬理学	2	1	30	
	老年学	2	1	30	
	機能障害論 I (循環器・呼吸器・血液)	2	1	30	
専 門 基 礎	機能障害論 II (脳神経・消化器・内分泌)	2	1	30	
	機能障害論 III (生殖・腎泌尿器・運動・免疫)	2	1	30	
	機能障害論 IV (精神・小児・老年関連疾患)	2	1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門教育	基礎看護学概論	1	2	30	
	看護理論	1	1	15	
	看護方法論（看護過程）	2	1	30	
	日常生活援助論 I（環境と清潔）	1	1	30	
	日常生活援助論 II（食事と排泄）	1	1	30	
	看護技術論 I（ヘルスアセスメント）	1	1	30	
	看護技術論 II（診療支援技術）	1	1	30	
	基礎看護学実践演習	2	1	30	
	看護管理学	3	2	30	
	基礎看護学実習 I（看護援助の基本）	1	1	45	
	基礎看護学実習 II（看護過程の展開）	2	2	90	
	成人看護学概論	2	1	15	
	急性期看護学方法論	2	1	30	
	慢性期・回復期看護学方法論	2	1	30	
	がん・緩和ケア看護学方法論	2	1	30	
	急性期看護学演習	3	1	30	
	慢性期・回復期看護学演習	3	1	30	
	救急医療とクリティカルケア看護	3	1	15	
	高齢者看護学概論	2	1	15	
	高齢者看護学方法論 I（生活機能を整える看護）	2	1	30	
	高齢者看護学方法論 II（生活・療養の場における看護）	3	1	15	
	高齢者看護学演習	3	1	30	
	小児看護学概論	2	1	15	
	小児看護学方法論	2	2	30	
	小児看護学演習	3	1	30	
	リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1	15	
	リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2	30	
	リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1	30	
	精神看護学概論	2	1	15	
	精神看護学方法論	2	2	30	
	精神看護学演習	3	1	30	
	生活療養支援実習 I（介護予防・生活支援実習）	2	1	45	
	生活療養支援実習 II（周手術期・クリティカルケア看護学実習）	3	2	90	
	生活療養支援実習 III（慢性・回復期看護学実習）	3	3	135	
	生活療養支援実習 IV（施設看護実習）	3	2	90	
	生活療養支援実習 V（地域療養支援サービス実習）	3	1	45	
	小児看護学実習	3	2	90	
	リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2	90	
	精神看護学実習	3	2	90	
	地域・在宅看護学概論	1	2	30	
	地域・在宅看護学方法論 I（生活を支える看護）	2	2	30	
	地域・在宅看護学方法論 II（対象別看護）	3	1	15	
	地域・在宅看護学演習	3	1	15	
	看護研究	3	2	30	
	看護研究ゼミ I（ベーシック）	4	1	30	
	看護研究ゼミ II（アドバンス）	4	1	30	
	看護学統合特論	4	1	45	
	看護管理学演習	4	1	30	
	国際看護学	4	1	15	
	家族看護学	2	1	15	
	看護倫理学	2	1	15	
	災害看護学	4	2	30	
	地域・在宅看護学実習	3	2	90	
	地域統合看護学実習(地域包括生活療養支援実習)	4	3	135	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1	2	30	
	公衆衛生看護方法論	4	2	30	
	対象別保健活動論 I（発達段階別）※	4	2	30	
	対象別保健活動論 II（障害別）※	4	1	15	
	地域診断論 ※	3	1	30	
	健康教育論	3	2	30	
	産業保健論	2	1	15	
	学校保健論	2	1	15	
	健康危機管理論 ※	3	1	15	
	公衆衛生看護管理論 ※	4	2	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
	演劇論	1 2 3 4		1	15	
	心理学	1 2 3 4		2	30	
	哲学	1 2 3 4		2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
	人間学	1 2 3 4		2	30	
	歴史学	1 2 3 4		2	30	
	倫理学	1 2 3 4		2	30	
	宗教学	1 2 3 4		2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
	文化人類学	1 2 3 4		2	30	
	教育学	1 2 3 4		2	30	
	教育方法論	1 2 3 4		2	30	
	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
	生きがい論	1 2 3 4		2	30	
社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
	日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
	法と道德・倫理	1 2 3 4		2	30	
	社会学	1 2 3 4		2	30	
	日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
	福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
	国際関係論	1 2 3 4		2	30	
	世界の経済	1 2 3 4		2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4		1	30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4		1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
総合教育	地球環境論	1 2 3 4		2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
	手話入門	1 2 3 4		2	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
	経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	統計学	1 2 3 4		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
	数学	1 2 3 4		2	30	
	物理学	1 2 3 4		2	30	
	化学	1 2 3 4		2	30	
	生物学	1 2 3 4		2	30	
	コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
	データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
自然・情報系	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4		1	30	
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1 2 3 4	1		30	
	医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	人間工学	1 2 3 4		2	30	
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4		1	15	
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1 2 3 4		1	15	
	食と人間	1 2		1	15	
	持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
	ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	
総合系						

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育 外国语系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語CALL1 (Primary)	1	1	30		
	英語CALL2 (Basic)	1	1	30		
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
	フランス語入門	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4	1	30		
	韓国語入門	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目の名称		配当年次		単位数 必修	時間	備考
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
	救急医学	2 3	1		15	
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
	リハビリテーション概論	1		2	30	
	関連職種連携論	2		2	30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
	臨床心理学概論	2		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク	3		1	30	
	関連職種連携実習		4		1 45	
	リスクマネジメント論		3 4		2 30	
	電子カルテシステム入門		2 3 4		1 15	
専門教育	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2 3 4		1 15	
	レクリエーション概論		2 3 4		1 15	
	解剖学 I (運動器系、内臓器系)	1		1	30	
	解剖学 II (内臓器系、神経系)	1		1	30	
	解剖学実習 I (肉眼)	1		1	45	
	解剖学実習 II (組織)	1		1	45	
	生理学 I (植物性機能)	1		1	30	
	生理学 II (動物性機能)	1		1	30	
	生理学実習	1		1	45	
	運動学 I (基礎)	1		1	30	
	運動学 II (応用)	1		1	30	
	運動生理学	1		2	30	
	病理学		2		1 30	
	臨床医学概論		2		1 30	
	内科学 I (基礎)		2		1 30	
	内科学 II (臨床)		2		1 30	
専門	神経学 I (基礎)		2		1 30	
	神経学 II (臨床)		2		1 30	
	整形外科学 I (基礎)		2		1 30	
	整形外科学 II (臨床)		2		1 30	
	精神医学 I (総論・各論)		2		1 30	
	精神医学 II (各論)		2		1 30	
	運動学実習 I (基礎)		2		1 45	
	運動学実習 II (応用)		2		1 45	
	人間発達学		2		1 30	
	リハビリテーション医学		3		1 30	
	小児科学		2		1 30	
	老年学		2 3 4		1 30	
	神経心理学概論		2 3 4		2 30	
	臨床薬理学概論		2 3 4	1	15	
	スポーツ傷害学		2 3 4		1 15	
	外科学		2 3 4		1 15	
	栄養学		2 3 4		1 15	
専門	パルペーション (運動機能)		1		1 15	
	理学療法概論		1		2 30	
	PTスキル I 演習 (課題発表・PBL)		1		1 30	
	PTスキル II 演習 (課題学習・口頭試問)		2		1 30	
	PTスキル III 演習 (課題学習)		3		1 30	
	PTスキル IV 演習 (口頭試問・OSCE・CBT)		3		2 60	
	病態運動学		3		2 30	
	運動解剖学		2		2 30	
	バイオメカニクス		1 2 3 4		1 15	
	運動心理学		1 2 3 4		1 15	
	スポーツ心理学		1 2 3 4		1 15	
	スポーツ医科学		1 2 3 4		1 15	
	理学療法評価学		2		2 30	
	理学療法診断学 I (基礎)		2		1 30	
	理学療法診断学 II (疾患編)		2		1 30	
	理学療法診断学 III (神経・画像評価学を含む)		2		1 15	
	理学療法診断学 IV (電気診断学)		2 3 4		1 15	
	動作分析学		2 3 4		1 15	

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門教育	臨床動作分析学	2 3 4	1	15	
	運動負荷学	2 3 4	1	15	
	理学療法計測法	2 3 4	1	15	
	クリニカルリーズニング	2 3 4	1	15	
	高次脳機能障害学	2 3 4	1	15	
	物理療法学 I (基礎)	1	1	30	
	物理療法学 II (応用)	2	1	30	
	運動療法学総論	2	1	30	
	癌のリハビリテーション	2 3	1	15	
	生活技術学	3	1	30	
	生活環境学	3	1	30	
	義肢学	3	1	30	
	装具学	3	1	30	
	理学療法治療総論	3	1	15	
	運動系理学療法学 I (基礎)	3	1	30	
	運動系理学療法学 II (応用)	3	1	30	
	神経系理学療法学 I (脳血管)	3	1	30	
	神経系理学療法学 II (神経筋)	3	1	30	
	小児理学療法学	3	1	30	
	循環器系理学療法学	3	1	15	
	呼吸器系理学療法学	3	1	15	
	代謝系理学療法学	3	1	15	
	地域理学療法学演習 (在宅・地域)	3	1	30	
	急性期理学療法学	2 3 4	1	15	
	スポーツ理学療法学	2 3 4	1	15	
	スポーツ傷害治療学	2 3 4	1	15	
	ヘルスプロモーション論	2 3 4	1	15	
	産科理学療法学	2 3 4	1	15	
	理学療法治療学演習 I (神経筋促通治療学)	2 3 4	1	15	
	理学療法治療学演習 II (神経発達学的治療学)	2 3 4	1	15	
	理学療法治療学演習 III (マニュアルセラピー関節)	2 3 4	1	15	
	理学療法治療学演習 IV (マニュアルセラピー脊柱)	2 3 4	1	15	
	理学療法治療学演習 V (マニュアルセラピー徒手)	3 4	1	15	
	基礎実習	1	1	45	
	検査実習	2	2	90	
	地域リハビリテーション実習	3 4	1	45	
	評価実習	3	4	180	
	総合臨床実習	4 12		540	
	理学療法特論 I (基礎)	4 2		30	
	理学療法特論 II (応用)	2 3 4	2	30	
	理学療法研究法	2 3 4	1	15	
	理学療法教育学	2 3 4	1	15	
	理学療法統計法	4	1	15	
	理学療法管理学	2 3 4	2	30	
	障害者スポーツ概論	2 3 4	1	15	
	ジャーナルリーディング	2 3 4	1	15	
	理学療法国際事情	1 2 3 4	1	15	
	卒業研究		4	4	180

別表1 授業科目の名称及び単位数  
保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4		2 30	
	演劇論	1 2 3 4		1 15	
	心理学	1 2 3 4		2 30	
	哲学	1 2 3 4		2 30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2 30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2 30	
	人間学	1 2 3 4		2 30	
	歴史学	1 2 3 4		2 30	
	倫理学	1 2 3 4		2 30	
	宗教学	1 2 3 4		2 30	
	日本近現代史	1 2 3 4		2 30	
	文化人類学	1 2 3 4		2 30	
	教育学	1 2 3 4		2 30	
	教育方法論	1 2 3 4		2 30	
社会系	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2 30	
	生きがい論	1 2 3 4		2 30	
	法学	1 2 3 4		2 30	
	日本国憲法	1 2 3 4		2 30	
	法と道德・倫理	1 2 3 4		2 30	
	社会学	1 2 3 4		2 30	
	日本政治経済論	1 2 3 4		2 30	
	マスメディア論	1 2 3 4		2 30	
	福祉経済学	1 2 3 4		2 30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2 30	
	国際関係論	1 2 3 4		2 30	
	世界の経済	1 2 3 4		2 30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2 30	
	組織運営管理論	1 2 3 4		2 30	
総合教育	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4		1 30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4		1 45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1	30	
	地球環境論	1 2 3 4		2 30	
	ボランティア論	1 2 3 4		2 30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2 30	
	手話入門	1 2 3 4		2 30	
	経済の仕組み	1 2 3 4		2 30	
	経済の歴史	1 2 3 4		2 30	
	統計学	1 2 3 4		2 30	
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2 30	
	数学	1 2 3 4		2 30	
	物理学	1 2 3 4		2 30	
	化学	1 2 3 4		2 30	
自然・情報系	生物学	1 2 3 4		2 30	
	コンピュータの基礎	1 2 3 4		2 30	
	データリテラシー	1 2 3 4	1	30	
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4	1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1 2 3 4	1	30	
	医学/医療史	1 2 3 4		2 30	
	人間工学	1 2 3 4		2 30	
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1 30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1 15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1 15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2 30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4		1 15	
	総合講義(現代社会をどう見るか)	1 2 3 4		1 15	
総合系	食と人間	1 2		1 15	
	持続可能な発展	1 2 3 4		2 30	
	ボランティア実践	1 2 3 4		1 15	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
外国语系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語CALL1 (Primary)	1	1	30		
	英語CALL2 (Basic)	1	1	30		
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	フランス語入門	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	韓国語入門	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目の名称		配当年次		単位数 必修 選択	時間	備考		
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2	3	4	2	30	
	救急医学	2	3	4	1		15	
	微生物と病気	1	2	3	4		2	30
	リハビリテーション概論	1	2	3	4	2	30	
	関連職種連携論		2			2	30	
	看護論		1			2	30	
	ケアマネジメント論		2	3	4	1	15	
	ケースワーク論	1	2	3	4	1	15	
	医療管理学	1	2	3	4	2	30	
	保健医療福祉制度論	1	2	3	4	2	30	
	社会福祉学	1	2	3	4	2	30	
	臨床心理学概論	1	2	3	4	2	30	
	福祉支援工学概論	1	2	3	4	2	30	
	関連職種連携ワーク		3		1		30	
	関連職種連携実習		4			1	45	
	リスクマネジメント論		3	4		2	30	
	電子カルテシステム入門	2	3	4		1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2	3	4		1	15	
	レクリエーション概論	2	3	4		1	15	
専門基礎	解剖学 I（運動器系、循環器系）	1			1		30	
	解剖学 II（内臓学、神経系、感覺器系）	1			1		30	
	解剖学実習	1			1		45	
	生理学 I（植物性機能）	1			1		30	
	生理学 II（動物性機能）	1			1		30	
	生理学実習	1			1		45	
	運動学 I（基礎）	1			1		30	
	運動学 II（応用）	1			1		30	
	運動学実習		2		1		45	
	運動生理学		2		1		30	
	病理学		2		1		30	
	内科学		2		1		30	
	神経学 I（基礎）	2			1		30	
	神経学 II（臨床）	2			1		30	
	整形外科学 I（基礎）	2			1		30	
	整形外科学 II（臨床）	2			1		30	
	精神医学 I（基礎）	2			1		30	
	精神医学 II（臨床）		3		1		30	
	小児科学	2			1		30	
	老年学	3			1		30	
	リハビリテーション医学	3			1		30	
	人間発達学	1			1		30	
専門教育	病態生理学		2			1	15	
	臨床薬理学概論		2		1		15	
	栄養学		2			1	15	
	外科学		2			1	15	
	脳神経外科学		2			1	15	
	神経心理学概論		2			1	15	
	対人援助論		2	3	4	1	15	
	作業療法概論	1			1		15	
	作業学概論	1			1		15	
	作業工程技術学・基礎論	1			1		30	
	作業工程技術学・応用論	1			1		30	
	作業分析学 I（基礎）		2		1		30	
	作業分析学 II（応用）		2		1		30	
	作業応用論		2	3	4	1	30	
	研究法概論		3		1		15	
	研究法演習		3		1		30	
	卒業研究		4		1		30	
	作業療法管理学（倫理・管理）		4	1			15	
	作業療法総括論		4	1			30	
	作業療法評価学概論	2			1		15	
	作業療法評価学各論	2			1		30	
	作業療法評価学演習	2			1		30	
専門	基礎運動機能評価法	2			1		30	
	生活機能論	2			1		30	
	上肢機能評価法	2			1		15	
	日常生活活動評価法	2			1		15	
	認知機能評価法		3			1	15	
	作業療法諸理論		2	3	4	1	15	
	作業療法適用学概論		2		1		15	
	内科系疾患作業療法学		3		1		30	
	運動器疾患作業療法学		3		1		30	
	中枢神経疾患作業療法学 I（総論）		3		1		30	
	中枢神経疾患作業療法学 II（各論）		3		1		30	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育	精神疾患作業療法学 I (総論)	3	1		30	
	精神疾患作業療法学 II (各論)	3	1		30	
	小児作業療法学 I (総論)	3	1		30	
	小児作業療法学 II (各論)	3	1		30	
	老年作業療法学	3	1		30	
	認知障害作業療法学	3	1		30	
	認知症作業療法特論	3		1	15	
	作業療法適用学特論	3		1	15	
	作業療法応用学概論	4	1		15	
	就学・就労支援論	4	1		15	
	生活技術学 I (総論)	2	1		30	
	生活技術学 II (各論)	3	1		30	
	コミュニケーション技術論	2	1		30	
	職業関連技術学	3	1		30	
	作業療法の諸外国事情	2	3	4	1	15
	地域生活作業療法論		4	1		30
	地域ケアシステム論	3	4		1	15
	生活支援計画論	3	4		1	15
	障害代償学概論	2		1		15
	義肢適用論	3		1		15
	装具・副子適用論	3		1		30
	自助具・福祉機器適用論	3		1		30
	住環境整備論	3		1		15
	バリアフリー論	2	3	4	1	15
	臨床実習特論 I (OSCE)	3		1	15	
	臨床実習特論 II (OSCE)		4		1	15
	臨床実習 I (早期臨床見学)	1		1		45
	臨床実習 II (早期臨床体験)	2		1		45
	臨床実習 III (臨床評価)	3		3		135
	臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	3		5		225
	総合実習 I (作業療法実践)		4	6		270
	総合実習 II (作業療法実践)		4	6		270
	地域リハビリテーション実習		4	1		45
	臨床実習ゼミ I (作業療法総論)	1		1	15	
	臨床実習ゼミ II (作業療法実践過程)	2		1	15	
	臨床実習ゼミ III (作業療法計画立案)	3		1	15	
	臨床実習ゼミ IV (作業療法実践)		4		1	15

別表1 授業科目の名称及び単位数  
保健医療学部 言語聴覚学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
	演劇論	1 2 3 4	1	15	
	心理学	1 2 3 4	2	30	
	哲学	1 2 3 4	2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4	2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	歴史学	1 2 3 4	2	30	
	倫理学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	文化人類学	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30	
	教育方法論	1 2 3 4	2	30	
社会系	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4	2	30	
	生きがい論	1 2 3 4	2	30	
	法学	1 2 3 4	2	30	
	日本国憲法	1 2 3 4	2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30	
	社会学	1 2 3 4	2	30	
	日本政治経済論	1 2 3 4	2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4	2	30	
	福祉経済学	1 2 3 4	2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4	2	30	
	国際関係論	1 2 3 4	2	30	
	世界の経済	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
総合教育	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4	1	30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4	1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1	30	
	地球環境論	1 2 3 4	2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4	2	30	
	手話入門	1 2 3 4	2	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4	2	30	
	経済の歴史	1 2 3 4	2	30	
	統計学	1 2 3 4	2	30	
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4	2	30	
	数学	1 2 3 4	2	30	
	物理学	1 2 3 4	2	30	
	化学	1 2 3 4	2	30	
自然・情報系	生物学	1 2 3 4	2	30	
	コンピュータの基礎	1 2 3 4	2	30	
	データリテラシー	1 2 3 4	1	30	
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4	1	30	
	医療必修一医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1 2 3 4	1	30	
	医学／医療史	1 2 3 4	2	30	
	人間工学	1 2 3 4	2	30	
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1	30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4	1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
	総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4	1	15	
総合系	総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4	1	15	
	食と人間	1 2		1	15
	持続可能な発展	1 2 3 4	2	30	
	ボランティア実践	1 2 3 4	1	15	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
外国语系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語CALL1 (Primary)	1	1	30		
	英語CALL2 (Basic)	1	1	30		
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	フランス語入門	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	韓国語入門	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目の名称		配当年次		単位数 必修	時間	備考
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
	救急医学	1 2 3	1		15	
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
	リハビリテーション概論	1 2	2		30	
	関連職種連携論		2	2	30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4		2	30	
	保健医療福祉制度論	1		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
	臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク		3	1	30	
	関連職種連携実習		4		1 45	
	リスクマネジメント論		3 4		2 30	
	電子カルテシステム入門		2 3 4		1 15	
	レクリエーション概論		2 3 4		1 15	
専門教育	解剖学	1		2	30	
	生理学	1		2	30	
	病理学	1		1	15	
	医学概論	1		1	15	
	内科学		3	1	30	
	精神医学	1		1	30	
	リハビリテーション医学	2		1	30	
	小児科学	2		1	30	
	耳鼻咽喉科学		3	1	30	
	臨床神経学	1		1	30	
	形成外科学	2		1	15	
	臨床歯科医学	2		1	15	
	口腔外科学	2		1	15	
	音声言語医学	2		1	15	
	中枢神経機能学	2		1	30	
	聴覚医学	2		1	30	
	児童精神医学	1 2 3 4		1	15	
	老年学	1 2 3 4		1	30	
	遺伝学	1 2 3 4		1	15	
	脳神経外科学	1 2 3 4		1	15	
	臨床心理学	2		1	30	
	生涯発達心理学	1		1	30	
	神経心理学	2		1	30	
	学習・認知心理学	2		2	30	
	心理測定法	2		2	30	
	言語学 I	1		1	30	
	言語学 II	1		1	30	
	言語発達学	2		1	30	
	基礎音声学	1		2	30	
	音声学	2		2	30	
	音声音響学	2		1	30	
	聴覚心理学	2		1	30	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育	言語聴覚障害学概論	1	1		30	
	コミュニケーション技能演習	1	1		30	
	コミュニケーション障害演習	2	1		15	
	言語聴覚障害診断学	3	1		30	
	言語聴覚療法管理学	3	2		30	
	失語症・高次脳機能障害学総論 I	2	1		30	
	失語症・高次脳機能障害学総論 II	2	1		30	
	失語症学 I (評価・診断)	3	1		30	
	失語症学 II (治療)	3	1		30	
	失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
	高次脳機能障害学	3	1		30	
	言語発達障害学総論	2	1		30	
	言語発達障害学各論	2	1		30	
	言語発達障害学 I (評価・診断)	3	1		30	
	言語発達障害学 I 演習(評価・診断)	3	1		30	
	言語発達障害学 II (指導)	3	1		30	
	言語発達障害学 II 演習(指導)	3	1		30	
	発声発語障害学総論	2	2		30	
	構音障害学 I (理論)	2	1		30	
	構音障害学 II (評価・診断)	3	1		30	
	構音障害学演習 (治療)	3	1		30	
	流暢性障害学	3	1		30	
	音声障害学	2	1		30	
	摂食・嚥下障害学 I (理論・評価診断)	3	1		30	
	摂食・嚥下障害学 II (治療)	3	1		30	
	聴覚障害学総論	2	1		30	
	聴覚機能評価学	2	2		60	
	聴覚補償論 (補聴器・人工内耳など)	3	1		30	
	小児聴覚障害学 I (評価・診断)	3	1		30	
	小児聴覚障害学 II (指導)	3	1		30	
	成人聴覚障害学 (二重障害を含む)	3	1		30	
	地域言語聴覚療法学	3	2		30	
	言語聴覚障害学研究法	3		2	30	
	言語聴覚障害基礎演習	3	1		15	
	言語聴覚療法特論	4	1		15	
	言語聴覚障害学特論 (総括)	4	1		15	
	卒業研究	4		4	60	
	見学実習	2	2		90	
	評価実習	3	3		135	
	総合実習	4	10		450	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
保健医療学部 視機能療法学科

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
		必修	選択		
人間系	文学論	1	2 3 4	2	30
	演劇論	1	2 3 4	1	15
	心理学	1	2 3 4	2	30
	哲学	1	2 3 4	2	30
	コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2 3 4	2	30
	人間学	1	2 3 4	2	30
	歴史学	1	2 3 4	2	30
	倫理学	1	2 3 4	2	30
	宗教学	1	2 3 4	2	30
	日本近現代史	1	2 3 4	2	30
	文化人類学	1	2 3 4	2	30
	教育学	1	2 3 4	2	30
	教育方法論	1	2 3 4	2	30
社会系	死生学-死を通して生を考える-	1	2 3 4	2	30
	生きがい論	1	2 3 4	2	30
	法学	1	2 3 4	2	30
	日本国憲法	1	2 3 4	2	30
	法と道德・倫理	1	2 3 4	2	30
	社会学	1	2 3 4	2	30
	日本政治経済論	1	2 3 4	2	30
	マスメディア論	1	2 3 4	2	30
	福祉経済学	1	2 3 4	2	30
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30
	国際関係論	1	2 3 4	2	30
	世界の経済	1	2 3 4	2	30
	国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30
	組織運営管理論	1	2 3 4	2	30
総合教育	海外保健福祉事情 I (講義)	2	3 4	1	30
	海外保健福祉事情 II (実習)	2	3 4	1	45
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2 3 4	1	30
	地球環境論	1	2 3 4	2	30
	ボランティア論	1	2 3 4	2	30
	ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30
	手話入門	1	2 3 4	2	30
	経済の仕組み	1	2 3 4	2	30
	経済の歴史	1	2 3 4	2	30
	統計学	1	2 3 4	2	30
	疫学・保健医療統計学	1	2 3 4	2	30
	数学	1	2 3 4	2	30
	物理学	1	2 3 4	2	30
	化学	1	2 3 4	2	30
自然・情報系	生物学	1	2 3 4	2	30
	コンピュータの基礎	1	2 3 4	2	30
	データリテラシー	1	2 3 4	1	30
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2	3 4	1	30
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2	3 4	1	30
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2 3 4	1	30
	医学/医療史	1	2 3 4	2	30
	人間工学	1	2 3 4	2	30
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30
	郷土論～栃木学～	1	2 3 4	1	15
	医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15
	メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2 3 4	1	15
	総合講義(現代社会をどう見るか)	1	2 3 4	1	15
総合系	食と人間	1	2	1	15
	持続可能な発展	1	2 3 4	2	30
	ボランティア実践	1	2 3 4	1	15

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育 外国语系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語CALL1 (Primary)	1	1	30		
	英語CALL2 (Basic)	1	1	30		
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	フランス語入門	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	韓国語入門	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2	30	
	救急医学	2	1	15	
	微生物と病気	1 2 3 4	2	30	
	リハビリテーション概論	1	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	看護論	1	2	30	
	ケアマネジメント論	2	1	15	
	ケースワーク論	1 2	1	15	
	医療管理学	1 2	2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2	2	30	
	社会福祉学	1	2	30	
	臨床心理学概論	2	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	リスクマネジメント論	3 4	2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4	1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4	1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4	1	15	
専門教育	解剖学 I (運動器系、内臓器系)	1	1	30	
	解剖学 II (内臓器系、神経系)	1	1	30	
	生理学 I (植物性機能)	1	1	30	
	生理学 II (動物性機能)	1	1	30	
	人間発達学	1	1	30	
	病理学	2	1	30	
	関係法規・医学概論	2	1	15	
	内科学 I (基礎)	2	1	30	
	内科学 II (応用)	2	1	30	
	神経学	2	1	30	
	精神衛生	2	1	30	
	リハビリテーション医学	2	1	30	
	小児科学	2	1	30	
	老年学	2	1	30	
	神経心理学概論	2	2	30	
	薬理学	2	1	30	
	外科学	2	1	15	
	栄養学	2	1	15	
	保育	2	1	15	
専門基礎	視能学概論	1	2	30	
	視器解剖生理学	1	2	30	
	視器解剖病態学	2	2	30	
	視覚運動生理学	2	2	30	
	生理光学 I (基礎)	1	2	30	
	視覚臨床生理学	3	2	30	
	高次脳機能障害	3	1	30	
	生理光学 II (応用)	2	2	30	
	生理光学 III (実践)	2	2	30	
	生理光学実習	2	2	90	
	臨床屈折矯正学演習	3	1	30	
	視能障害学 I (基礎)	2	2	30	
	視能障害学 II (応用)	3	2	30	
	神経眼科学	3	2	30	
	視能矯正学 I (外眼筋の作用と眼球運動)	1	2	30	
	視能矯正学 II (両眼視の基礎)	2	2	30	
	視能矯正学 III (弱視・斜視の基本的知識)	2	2	30	
	視能矯正学実習	2	2	90	
専門教育	視能検査学 I (機能検査)	3	2	30	
	視能検査学 II (形態・画像検査)	3	2	30	
	視能検査学実習 I (機能検査)	3	3	135	
	視能検査学実習 II (形態・画像検査)	3	3	135	
	視能訓練学 I (病態評価の基本的知識)	2	2	30	
	視能訓練学 II (弱視・斜視の病態)	3	2	30	
	視能訓練学 III (視能矯正管理の実践)	3	2	30	
	視能学総合演習 I (実践)	3	1	30	
	視能学総合演習 II (発展)	4	2	60	
	臨地実習 I (基本)	3	1	45	
	臨地実習 II (応用)	4	1	45	
	臨地実習 III (発展)	4	12	540	
	視能学評価実習	4	1	45	
	保健福祉実習	3	1	45	
	視覚リハビリテーション	3	1	30	
	視覚リハビリテーション演習	3	1	30	
	視能学研究法 I (文献詳説)	3	1	15	
	視能学研究法 II (データ解析と考察)	3	1	15	
	卒業研究	4	2	60	

別表1 授業科目の名称及び単位数

保健医療学部 放射線・情報科学科

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
	演劇論	1 2 3 4		1	15	
	心理学	1 2 3 4		2	30	
	哲学	1 2 3 4		2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
	人間学	1 2 3 4		2	30	
	歴史学	1 2 3 4		2	30	
	倫理学	1 2 3 4		2	30	
	宗教学	1 2 3 4		2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
	文化人類学	1 2 3 4		2	30	
	教育学	1 2 3 4		2	30	
	教育方法論	1 2 3 4		2	30	
社会系	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
	生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	法学	1 2 3 4		2	30	
	日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
	法と道德・倫理	1 2 3 4		2	30	
	社会学	1 2 3 4		2	30	
	日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
	福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
	国際関係論	1 2 3 4		2	30	
	世界の経済	1 2 3 4		2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
総合教育	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4		1	30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4		1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
	地球環境論	1 2 3 4		2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
	手話入門	1 2 3 4		2	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
	経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	統計学	1 2 3 4		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
	数学	1 2 3 4		2	30	
	物理学	1 2 3 4		2	30	
	化学	1 2 3 4		2	30	
自然・情報系	生物学	1		2	30	
	コンピュータの基礎	1		2	30	
	データリテラシー	1		1	30	
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4		1	30	
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4		1	30	
	医療必修一医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1 2 3 4	1		30	
	医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	人間工学	1 2 3 4		2	30	
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1		1	30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
	総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
総合系	食と人間	1 2		1	15	
	持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
	ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育 外国语系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語CALL1 (Primary)	1	1	30		
	英語CALL2 (Basic)	1	1	30		
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	フランス語入門	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	韓国語入門	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	2	2	30	
	救急医学	2	1	15	
	微生物と病気	1 2 3 4	2	30	
	リハビリテーション概論	1 2 3 4	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	看護論	1		2	30
	ケアマネジメント論	2 3 4	1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4	1	15	
	医療管理学	1 2 3 4	2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4	2	30	
	臨床心理学概論	1 2 3 4	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習		4	1	45
	リスクマネジメント論		3 4	2	30
	電子カルテシステム入門		2 3 4	1	15
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2 3 4	1	15
	レクリエーション概論		2 3 4	1	15
専門基礎	基礎数学	1	1	30	
	基礎統計学	2	1	30	
	自然科学概論	1	2	30	
	基礎物理学	1	1	30	
	基礎化学	1	1	30	
	基礎生物学	1	1	30	
	自然科学実験	1	1	45	
	解剖学 I (運動器系・循環器系・内臓系)	1	1	30	
	解剖学 II (内臓系・神経系・感覚器系)	1	1	30	
	生理学	1	2	30	
	病理学	2	2	30	
	病態生理学	2	1	15	
	臨床解剖学	3	1	30	
	医学概論	1	2	30	
	看護概論		3	1	15
専門教育	応用数学	1		1	30
	放射線物理学 I (基礎)	1	1	30	
	放射線物理学 II (発展)	2	1	30	
	放射線化学	2	1	30	
	放射線生物学	2	1	30	
	放射線科学演習	2		1	30
	放射線計測学	2	1	30	
	放射線計測学実験	2	1	45	
	放射線管理学	2	2	30	
	放射線管理学実験		4	1	45
	放射線関係法規		3	1	15
	画像情報学 I (感光理論・処理)	1	2	30	
	画像情報学 II (画質評価)	1	2	30	
	画像情報学実験	1	1	45	
	画像情報学特論		4	1	30
	コンピュータ演習 I (データ処理)	1		1	30
	コンピュータ演習 II (プログラミング)	2		1	30
	医療情報システム論		3	1	15
	医用工学	1	1	30	
専門	医用工学演習		2	1	30
	X線機器工学	1	2	30	
	診療画像機器工学	2	1	30	
	X線機器工学実験	2	1	45	
	診療画像機器工学実験	2	1	45	
	診療放射線概論	1	1	15	
	診療画像検査学概論	1	1	15	
	X線検査学 I (単純撮影・他)	2	1	30	
	X線検査学 II (造影検査・他)	2	1	30	
	X線CT検査学	2	2	30	
	MR I 検査学	2	2	30	
	MR I 特論		4	1	30
	超音波検査学	2	2	30	
	診療画像学実験 I (X線検査・他)	2	1	45	
	診療画像学実験 II (CT・MRI・超音波検査・他)	2	1	45	
	核医学 I (基礎)	2	2	30	
	核医学 II (臨床)	3	2	30	
	核医学実験	3	2	60	
	核医学特論		4	1	30
	放射線治療学 I (物理・技術)	2	2	30	
	放射線治療学 II (臨床)	3	2	30	
	放射線治療機器工学	2	1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
専門教育	専 門		必修	選択		
放射線治療学実験		3	2		60	
放射線腫瘍特論		4	1		30	
画像解剖学		2	1		30	
画像診断学		4	1		30	
画像診断学演習		4		1	30	
死亡時画像診断学		4		1	30	
臨床医学 I (基礎)		3	1		30	
臨床医学 II (発展)		4	1		30	
臨床病理学		3	1		15	
放射線救急医学		3	2		30	
医療安全概論		3	1		30	
医療安全管理学		4	1		30	
臨床画像学演習		3	2		60	
診療画像臨床実習		3	8		360	
核医学検査臨床実習		3	2		90	
放射線治療臨床実習		3	2		90	
診療放射線特論		4	1		30	
放射線学演習 I (基礎)		4	1		30	
放射線学演習 II (総合)		4	1		30	
卒業研究 I (調査・計画)		4	1		45	
卒業研究 II (研究報告)		4	1		45	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
		必修	選択		
人間系	文学論	1	2 3 4	2	30
	演劇論	1	2 3 4	1	15
	心理学	1	2 3 4	2	30
	哲学	1	2 3 4	2	30
	コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2 3 4	2	30
	人間学	1	2 3 4	2	30
	歴史学	1	2 3 4	2	30
	倫理学	1	2 3 4	2	30
	宗教学	1	2 3 4	2	30
	日本近現代史	1	2 3 4	2	30
	文化人類学	1	2 3 4	2	30
	教育学	1	2 3 4	2	30
	教育方法論	1	2 3 4	2	30
社会系	死生学-死を通して生を考える-	1	2 3 4	2	30
	生きがい論	1	2 3 4	2	30
	法学	1	2 3 4	2	30
	日本国憲法	1	2 3 4	2	30
	法と道德・倫理	1	2 3 4	2	30
	社会学	1	2 3 4	2	30
	日本政治経済論	1	2 3 4	2	30
	マスメディア論	1	2 3 4	2	30
	福祉経済学	1	2 3 4	2	30
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30
	国際関係論	1	2 3 4	2	30
	世界の経済	1	2 3 4	2	30
	国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30
	組織運営管理論	1	2 3 4	2	30
総合教育	海外保健福祉事情 I (講義)	2	3 4	1	30
	海外保健福祉事情 II (実習)	2	3 4	1	45
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2 3 4	1	30
	地球環境論	1	2 3 4	2	30
	ボランティア論	1	2 3 4	2	30
	ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30
	手話入門	1	2 3 4	2	30
	経済の仕組み	1	2 3 4	2	30
	経済の歴史	1	2 3 4	2	30
	統計学	1	2 3 4	2	30
	疫学・保健医療統計学	1	2 3 4	2	30
	数学	1	2 3 4	2	30
	物理学	1	2 3 4	2	30
	化学	1	2 3 4	2	30
自然・情報系	生物学	1	2 3 4	2	30
	コンピュータの基礎	1	2 3 4	2	30
	データリテラシー	1		1	30
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2	3 4	1	30
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2	3 4	1	30
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2 3 4	1	30
	医学／医療史	1	2 3 4	2	30
	人間工学	1	2 3 4	2	30
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30
	郷土論～栃木学～	1	2 3 4	1	15
	医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15
	メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2 3 4	1	15
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2 3 4	1	15
総合系	食と人間	1	2		15
	持続可能な発展	1	2 3 4	2	30
	ボランティア実践	1	2 3 4	1	15

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
外国语系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
	英語C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	フランス語入門	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	韓国語入門	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎 / 学部共通	公衆衛生学	2	2	30	
	救急医学	2 3	1	15	
	微生物と病気	1 2	2	30	
	リハビリテーション概論	1 2	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	看護論	1	2	30	
	ケアマネジメント論	1 2	1	15	
	ケースワーク論	1 2	1	15	
	医療管理学	1 2	2	30	
	保健医療福祉制度論	1	2	30	
	社会福祉学	1 2	2	30	
	臨床心理学概論	1 2	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	リスクマネジメント論	2	2	30	
	電子カルテシステム入門	2	1	15	
	レクリエーション概論	2	1	15	
専門基礎	解剖学 I (総論)	1	2	30	
	解剖学 II (各論)	1	2	30	
	組織学演習	2	1	30	
	生理学	1	1	30	
	病理学	1	2	30	
	臨床医学概論	2	1	30	
	内科学	2	1	30	
	臨床神経学	1 2 3	1	30	
	精神医学	1 2 3	1	30	
	リハビリテーション医学	1 2 3	1	30	
	小児科学	1 2 3	1	30	
	老年学	1 2 3	1	30	
	病態薬理学	1	1	15	
	臨床栄養学	1	1	15	
	遺伝学	1	1	15	
	分析化学	1	1	30	
	生化学	1	1	30	
	生化学実習	1	1	45	
専門教育	医用工学・情報概論	1	2	30	
	医用工学・情報実習	1	1	45	
	検査機器学・情報システム学総論	2	2	30	
	病理検査学	2	2	30	
	病理検査学実習	3	2	60	
	細胞診断学	2	1	30	
	細胞診断学実習	2	1	30	
	血液検査学 I (形態系, 凝固・線溶系の基礎)	2	2	30	
	血液検査学 II (形態系, 凝固・線溶系の応用)	2	2	30	
	血液検査学実習	3	2	60	
専門	一般検査学	1	2	30	
	一般検査学実習	2	1	30	
	臨床化学検査学 I (糖質, タンパク質, 脂質)	1	2	30	
	臨床化学検査学 II (酵素, ホルモン, ビタミン)	2	2	30	
	臨床化学検査学実習	2	2	60	
	遺伝子検査学	1	2	30	
	遺伝子検査学実習	2	1	30	
	微生物検査学 I (細菌)	2	2	30	
	微生物検査学 II (ウイルス, 真菌)	2	2	30	
	微生物検査学実習	3	2	60	
	医動物学演習	2	1	30	
	免疫検査学	2	1	30	
	免疫検査学実習	2	1	30	
	輸血・移植検査学	2	2	30	
	輸血・移植検査学実習	3	2	60	
	生理検査学 I (循環器, 脳・神経, 筋系)	2	2	30	
	生理検査学 II (呼吸器, 感覚器, 平衡機能)	2	2	30	
	生理検査学実習	3	3	90	
	超音波・MRI検査学	2	2	30	
	超音波・MRI検査学実習	2	1	45	
	先進臨床検査技術学	3	2	30	
	臨床検査統計学	2	2	30	
	医療安全管理学演習	2	2	60	
	精度管理学	3	1	15	
	臨床検査特論 I (応用)	3	2	30	
	臨床検査特論 II (発展)	4	4	60	
	臨地実習	3	11	330	
	卒業研究	4	4	120	
	医科分子生物学	1 2 3	1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
専門教育	専門		必修	選択		
	臨床検査研究論	3	2	30		
	循環動態画像診断学	3	1	15		
	臨床検査管理総論	1	2	30		
	臨床検査診断学 (Reversed-CPC) I (基礎)	3	1	15		
	臨床検査診断学 (Reversed-CPC) II (応用)	4	2	30		
	臨床検査基礎演習	1	1	30		
	客観的臨床能力試験	3	1	30		
	入門細胞診断学演習	1		1	30	
	細胞診断学演習 I (婦人科基礎)	2		1	30	
	細胞診断学演習 II (婦人科応用)	2		1	30	
	細胞診断学演習 III (呼吸器, 体腔液基礎)	3		1	30	
	細胞診断学演習 IV (呼吸器, 体腔液応用)	3		1	30	
	臨床検査質量分析学演習	4		1	30	
	遺伝子分析科学演習 I (基礎)	3		1	30	
	遺伝子分析科学演習 II (実践)	4		1	30	
	生殖補助医療胚培養学	2		1	15	
	生殖補助医療胚培養学演習	4		1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
	演劇論	1 2 3 4		1	15	
	心理学	1 2 3 4		2	30	
	哲学	1 2 3 4		2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聞く力～	1 2 3 4		2	30	
	人間学	1 2 3 4		2	30	
	歴史学	1 2 3 4		2	30	
	倫理学	1 2 3 4		2	30	
	宗教学	1 2 3 4		2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
	文化人類学	1 2 3 4		2	30	
	教育学	1 2 3 4		2	30	
	教育方法論	1 2 3 4		2	30	
	生死学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
	生きがい論	1 2 3 4		2	30	
社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
	日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
	社会学	1 2 3 4		2	30	
	日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
	福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
	国際関係論	1 2 3 4		2	30	
	世界の経済	1 2 3 4		2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4		1	30	
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4		1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
	地球環境論	1 2 3 4		2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
自然・情報系	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
	手話入門	1 2 3 4		2	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
	経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	統計学	1 2 3 4		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
	数学	1 2 3 4		2	30	
	物理学	1 2 3 4		2	30	
	化学	1 2 3 4		2	30	
	生物学	1 2 3 4		2	30	
	コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
	データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
	医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	人間工学	1 2 3 4		2	30	
総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1		1	30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
	総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
	食と人間	1 2 3 4		1	15	
	持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
	ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
外 国 語 系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
	英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
	英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
保健体育 系	フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
	フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
	ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
	ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
	スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
	スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
	中国語入門	1 2 3 4		1	30	
保健体育 系	中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
	救急医学	2 3 4		1	15	
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
	リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携論	2	2		30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
	臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク		3	1	30	
	関連職種連携実習		4	1	45	
	リスクマネジメント論		3 4	2	30	
	電子カルテシステム入門		2 3 4	1	15	
	レクリエーション概論		2 3 4	1	15	
専門教育	入門ゼミ	1 2	1		30	
	こころとからだのしくみI（身体）	1 2		2	30	
	こころとからだのしくみII（精神）	1 2		2	30	
	医学概論	1 2		2	30	
	医療概論	1 2		2	30	
	人体構造・機能論	1 2		2	30	
	社会福祉の原理と政策I	1 2		2	30	
	ソーシャルワークの基盤と専門職I	1 2		2	30	
	ソーシャルワークの基盤と専門職II	1 2		2	30	
	介護の基本I（介護福祉士の職務・職業倫理等）	1 2		4	60	
	生活支援技術I（生活支援）	1 2		2	30	
	人間関係とチームケア	1 2		2	30	
	医療管理総論	1 2		2	30	
	経営学I（基礎）	1 2		2	30	
	経営学II（応用）	1 2		2	30	
	簿記論I（基礎）	1 2		2	30	
	簿記論II（応用）	1 2		2	30	
	臨床医学総論	1 2		2	30	
	ソーシャルワーク演習I	1 2		1	30	
専門	診療情報・マネジメント基礎演習	1 2		1	30	
	こころとからだのしくみIII（生活支援）	2 3		4	60	
	コミュニケーション技術	2 3		4	60	
	介護の基本II（自立に向けた介護等）	2 3		4	60	
	介護過程I（介護過程の意義・展開）	2 3		4	60	
	障害の理解	2 3		4	60	
	生活支援技術II（身支度・移動の介護）	2 3		4	60	
	生活支援技術III（入浴・排泄・食事の介護）	2 3		4	60	
	生活支援技術IV（住環境・家事）	2 3		4	60	
	生活支援技術V（睡眠・終末期の介護）	2 3		2	30	
	医療的ケア論I	2 3		1	15	
	介護実習I（多様な施設における実習）	2 3		2	90	
	介護総合演習I（基礎）	2 3		2	60	
	医療管理各論I（病院管理）	2 3		2	30	
	医療管理各論II（医療保険・介護保険制度）	2 3		2	30	
	医療管理各論III（医療安全・医療の質管理）	2 3		2	30	
	保健医療情報学	2 3		2	30	
	医療統計I（統計理論）	2 3		2	30	
	医療統計II（病院統計・疾病統計）	2 3		2	30	
	医療情報統計演習	2 3		1	30	
	臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1 2		2	30	
	臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1 2		2	30	
	臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2 3		2	30	
	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2 3		2	30	
	ゼミナールI（基礎）	2		2	60	
	経営学演習I（基礎）	2 3 4		1	30	
	経営学演習II（応用）	2 3 4		1	30	
	診療報酬請求論I（初級）	2 3		2	30	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育	簿記論Ⅲ（商業簿記）	2 3 4		2	30	
	簿記論Ⅳ（工業簿記）	2 3 4		2	30	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2 3		1	30	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2 3		1	30	
	認知症の理解	2 3		4	60	
	発達と老化の理解	2 3		4	60	
	社会保障Ⅰ	2 3 4		2	30	
	社会保障Ⅱ	2 3 4		2	30	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2 3 4		2	30	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2 3 4		2	30	
	児童・家庭福祉	2 3 4		2	30	
	障害者福祉	2 3 4		2	30	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2 3 4		2	30	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2 3 4		2	30	
	高齢者福祉	2 3 4		2	30	
	精神医学と精神医療	2 3 4		4	60	
	現代の精神保健の課題と支援	2 3 4		4	60	
	精神保健福祉の原理	2 3 4		4	60	
	心理学と心理的支援	2 3 4		2	30	
	医学・医療用語	2 3 4		2	30	
	薬学概論	2 3 4		2	30	
	会計学	2 3 4		2	30	
	ファイナンス論	2 3 4		2	30	
	アカウンティング論Ⅰ（基礎）	2 3 4		2	30	
	アカウンティング論Ⅱ（応用）	3 4		2	30	
	経営戦略論	3 4		2	30	
	ソーシャルワーク実習指導	2 3 4		3	90	
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2		2	90	
	介護の基本Ⅲ（リスクマネジメント・連携等）	3 4		4	60	
	介護過程Ⅱ（介護過程の実践的展開）	3 4		4	60	
	介護過程Ⅲ（介護過程とチームアプローチ）	3 4		2	30	
	介護総合演習Ⅱ（応用）	3 4		2	60	
	生活支援技術Ⅵ（形態別に応じた介護）	3 4		4	60	
	医療的ケア論Ⅱ	3 4		2	30	
	医療的ケア論Ⅲ	3 4		2	30	
	医療的ケア論Ⅳ（演習）	3 4		1	30	
	介護実習Ⅱ（ケアプラン作成）	3 4		4	180	
	介護実習Ⅲ（ケアプラン実施）	3 4		4	180	
	ゼミナールⅡ（応用）	3		2	60	
	診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）	2 3 4		2	30	
	診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）	3 4		2	30	
	診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助・がん登録）	3 4		2	30	
	診療報酬請求論Ⅱ（中級）	2		2	30	
	病院施設管理論	3		2	30	
	病院管理演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	
	病院管理演習Ⅱ（応用）	3		1	30	
	病院実習	3		4	180	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3 4		2	30	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3 4		2	30	
	医療ソーシャルワーク論	3 4		2	30	
	権利擁護を支える法制度	3 4		2	30	
	貧困に対する支援	3 4		2	30	
	刑事司法と福祉	3 4		2	30	
	社会福祉調査の基礎	3 4		2	30	
	福祉サービスの組織と経営	3 4		2	30	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	3 4		2	30	
	メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法	3 4		4	60	
	精神保健福祉制度論	3 4		2	30	
	精神障害リハビリテーション論	3 4		2	30	
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 4		1	30	
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	3 4		1	30	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3 4		4	180	
	保健医療と福祉	3 4		2	30	
	マーケティング論	2 3 4		2	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育	国際統計分類 I (国際疾病分類)	2 3 4		2	30	
	国際統計分類 II (分類コードの実際)	3 4		2	30	
	診療情報管理演習 I (基礎)	3 4		1	30	
	診療情報管理演習 II (専門A)	3 4		1	30	
	診療情報管理演習 III (専門B)	3 4		1	30	
	診療情報管理特別演習	3 4		1	30	
	実践課題演習 I (初級)	3		1	30	
	実践課題演習 II (基礎)	3		1	30	
	実践課題演習 III (応用)		4	1	30	
	実践課題演習 IV (発展)		4	1	30	
	医療ソーシャルワーク実習指導		4	2	60	
	医療ソーシャルワーク実習		4	4	180	
	医療福祉実習指導		4	1	30	
	医療福祉実習		4	2	90	
	介護福祉特別講義 I		4	2	30	
	介護福祉特別講義 II		4	2	30	
	介護福祉特別講義 III		4	2	30	
	社会福祉特別講義 I (人と社会)		4	2	30	
	社会福祉特別講義 II (相談援助)		4	2	30	
	社会福祉特別講義 III (地域福祉)		4	2	30	
	社会福祉特別講義 IV (福祉とサービスの知識)		4	2	30	
	社会福祉特別講義 V (関連サービスの知識)		4	2	30	
	メンタルヘルスソーシャルワーク演習		4	3	90	
	メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導		4	3	90	
	メンタルヘルスソーシャルワーク実習 A		4	4	180	SW実習 I II の履修者はA、それ以外はBを選択
	メンタルヘルスソーシャルワーク実習 B		4	5	225	
	精神保健福祉特別講義 I (基礎)		4	2	30	
	精神保健福祉特別講義 II (応用)		4	2	30	
	医療マネジメント特別講義 I (基礎)		4	1	30	
	医療マネジメント特別講義 II (応用)		4	1	30	
	卒業研究		4	4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数

薬学部 薬学科

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
人間系	文学論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	演劇論	1 2 3 4 5 6		1	15	
	心理学	1		2	30	
	哲学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	コミュニケーション概論	1		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6		2	30	
	人間学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	歴史学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	倫理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	宗教学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2	30	
	文化人類学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	教育学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	教育方法論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4 5 6		2	30	
	生きがい論	1 2 3 4 5 6		2	30	
社会系	法学	1		2	30	
	日本国憲法	1 2 3 4 5 6		2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4 5 6		2	30	
	社会学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	日本政治経済論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	福祉経済学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 5 6		2	30	
	国際関係論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	世界の経済	1 2 3 4 5 6		2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4 5 6		1	30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4 5 6		1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4 5 6	1		30	
	地球環境論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
総合教育	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	手話入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2	30	
	経済の歴史	1 2 3 4 5 6		2	30	
	統計学	1		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	数学	1		2	30	
	物理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	化学	1		2	30	
	生物学	1		2	30	
	コンピュータの基礎	1 2 3 4 5 6		2	30	
	データリテラシー	1		1	30	
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4 5 6		1	30	
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4 5 6		1	30	
自然・情報系	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30	
	医学／医療史	1 2 3 4 5 6		2	30	
	人間工学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4 5 6		1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4 5 6		1	15	
	総合講義(現代社会をどう見るか)	1 2 3 4 5 6		1	15	
	食と人間	1 2 3 4 5 6		1	15	
	持続可能な発展	1 2 3 4 5 6		2	30	
	ボランティア実践	1 2 3 4 5 6		1	15	
総合系						

授業科目的名称		配当年次		単位数 必修 選択	時間	備考
外 國 語 系	英語講読1 (Primary)	1		1	30	
	英語講読2 (Basic)	2		1	30	
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
	英語CALL1 (Primary)	1		1	30	
	英語CALL2 (Basic)	2		1	30	
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1	30	
	フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
	フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
	ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
	ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
	スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
	スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
	中国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
	中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
	韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	

授業科目の名称		配当年次		単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3		2	30	
	救急医学	3 4		1	15	
	微生物と病気	1 2 3 4 5 6		2	30	
	リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	関連職種連携論	2		2	30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4 5 6		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4 5 6		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	臨床心理学概論	1		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク	3		1	30	
	関連職種連携実習		5	1	45	
	リスクマネジメント論	3 4 5 6		2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4 5 6		1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4 5 6		1	15	
専門基礎	医療関連法規 I (医薬品全般に関わる法律)	3		1	15	
	医療関連法規 II (医薬品開発と薬害に関する法律の理解)	4		1	15	
	薬学演習 I (物理・化学・生物:基礎)	2		1	30	
	薬学演習 II (物理・化学・生物:応用)	3		1	30	
	薬学演習 III (医療倫理・ヒューマニズム)	3		1	30	
	病原微生物学	2		2	30	
	コミュニケーション実習	2		1	45	
	基礎薬学実習	1		1	45	
	公衆衛生学 I (保健統計、疫学、制度)	2		2	30	
	公衆衛生学 II (感染症と予防)	3		1	15	
専門教育	薬学概論	1		2	30	
	基礎統計学	1		1	15	
	有機化学 I (脂肪族化合物1)	1		2	30	
	有機化学 II (脂肪族化合物2)	2		2	30	
	有機化学 III (芳香族化合物)	2		2	30	
	生物有機化学	3		1	15	
	生薬学	2		2	30	
	天然物化学	2		1	15	
	医薬品構造化学 I (コア構造と作用機構)	4		1	15	
	医薬品構造化学 II (代表的医薬品の構造と作用)	6	1	15		
	医薬品構造解析演習	2		1	30	
	有機化学演習	1		1	30	
	分析化学 I (化学平衡と滴定)	1		2	30	
	分析化学 II (機器分析)	2		2	30	
	分析化学 III (分離分析と臨床分析)	3		2	30	
	薬品物理化学 I (物性とエネルギー)	1		2	30	
	薬品物理化学 II (平衡と変化)	2		2	30	
	放射化学	2		2	30	
	生化学 I (生体分子)	1		2	30	
	生化学 II (生体エネルギー・代謝)	2		2	30	
	分子生物学	2		2	30	
	細胞生物学	2		1	15	
	解剖生理学 I (器官系概論、神経系等)	1		2	30	
	解剖生理学 II (循環器系、消化器系等)	2		2	30	
	がん薬物療法学	3		2	30	
	ゲノム医療	3		1	15	
	化学療法学	3		2	30	
	免疫学	3		2	30	
	疾病と病態生理学 I (神経精神系疾患、内分泌系疾患等)	2		2	30	
	疾病と病態生理学 II (循環器系疾患、消化器系疾患等)	2		2	30	
	薬理学 I (総論)	2		1	15	
	薬理学 II (末梢神経薬理、中枢神経薬理等)	2		2	30	
	薬理学 III (免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等)	3		2	30	
	薬理学 IV (呼吸器薬理、内分泌薬理等)	3		1	15	
	医薬品安全性学	4		2	30	
	臨床検査医学	4		2	30	
	薬物治療学 I (神経精神系疾患、内分泌系疾患等)	4		2	30	
	薬物治療学 II (循環器系疾患、呼吸器系疾患等)	4		2	30	
	薬物治療学 III (症例・病態解析)		6	1	30	

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
専門教育	物理薬剤学	3	1	15	
	製剤設計とDDS	3	2	30	
	臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2	30	
	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2	30	
	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2	30	
	臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1	15	
	薬物動態学	3	2	30	
	臨床薬物動態学	4	2	30	
	医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2	30	
	医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1	15	
	衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2	30	
	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2	30	
	環境衛生学	3	2	30	
	日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1	15	
	日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）		6 1	15	
	漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2	30	
	漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15
	OTC医薬品概論	3	2	30	
	医療データサイエンス概論	4	1	15	
	医療データサイエンス演習		6 1	30	
	医薬品レギュラトリーサイエンス概論		6 1	15	
	化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1	45	
	化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1	45	
	物理系薬学実習	2	1	45	
	生物系薬学実習	3	1	45	
	分子生物学実習	3	1	45	
	免疫微生物学実習	3	1	45	
	薬剤学実習	4	1	45	
	フィジカルアセスメント実習	4	1	45	
	衛生系薬学実習	3	1	45	
	早期体験実習	1	1	45	
	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1	45	
	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1	45	
	医療系薬学実習Ⅲ（実務実習で必要な基本的技能）	4	1	45	
	実務実習事前演習	4	2	60	
	薬局実務実習	5 6	10	450	
	病院実務実習	5 6	10	450	
	総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1	30	
	総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1	30	
	卒業研究	5 6	8	360	
	先進臨床薬学実習		6	1	45

別表1 授業科目の名称及び単位数  
留学生用日本語科目(保健医療学部・医療福祉学部・薬学部 共通)

授業科目の名称		配当年次						単位数			時間	備 考
		必修	選択	自由								
総合教育	外国語系	作文・読解I（入門）	1	2	3	4	5	6		1	30	
		作文・読解II（応用）	1	2	3	4	5	6	1		30	
		作文・読解III（完成）	1	2	3	4	5	6		1	30	
		文法・語彙I（入門）	1	2	3	4	5	6		1	30	
		文法・語彙II（応用）	1	2	3	4	5	6	1		30	
		文法・語彙III（完成）	1	2	3	4	5	6		1	30	
		発表・討論I（応用）	1	2	3	4	5	6	1		30	
		発表・討論II（完成）	1	2	3	4	5	6		1	30	
		医療福祉専門漢字	1	2	3	4	5	6	1		30	
		医療福祉専門語彙	1	2	3	4	5	6	1		30	
		日本語基礎I（初級）	1	2						3	90	
		日本語基礎II（初級）	1	2						3	90	

別表1 授業科目的名称及び単位数

医学部 医学科

授業科目の名称		配当年次	履修区分・単位数			時間	備 考
			必修	選択	自由		
人間系	大学入門講座 - 医療人・社会人として成長するために -	1 2	1			30	
	死生学	1		1		15	
	医学史	1		1		15	
	芸術政策論	1		1		15	
	日本の近現代史	1		1		15	
	医療プロフェッショナリズム I (入門)	1	2			60	
	医療プロフェッショナリズム II (応用)	2	1			30	
社会系	医療プロフェッショナリズム III (発展)	3	1			30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2	1			30	
	法と医療	1 2	1			15	
	英字新聞で読む社会学・政治学	1			1	15	
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	1			1	15	
全 地 球 的 な 課 題	海外保健福祉事情	2			2	90	
	国際機関論	1		1		15	
	持続可能な発展	1		1		15	
	異文化コミュニケーション	1		1		15	
	国際関係論	1		1		15	
	経済成長をめぐる世界の諸問題	1		1		15	
	国際医療保健学 I (入門)	1	1			15	
数学・自然科学系	国際医療保健学 II (応用)	2	1			15	
	国際医療保健学 III (発展)	3	1			30	
	医療必修 - 医療の倫理とプロ意識・医療情報 -	1 2	1			30	
	データリテラシー	1		1		15	
	数学	1			1	15	
総合教育科目	生物学	1			1	15	
	化学	1			1	15	
	物理学	1			1	15	
	医療生物学	1		1		15	
	医療化学	1		1		15	
	医療物理学・医用工学	1		1		15	
	医療データサイエンス I (DS基礎)	3		1		30	
外 国 語 系	医療データサイエンス II (AI基礎)	3		1		30	
	英語 IA (入門)	1	2			60	
	英語 IB (初級)	1		1		30	
	英語 II (中級)		2	1		30	
	英語 III (上級)		3	1		30	
	英語コミュニケーションA (入門)	1 2 3			2.5	75	
	英語コミュニケーションB (実践)	1 2 3			2.5	75	
	英語コミュニケーションC (発展)	1 2 3			2.5	75	
	ドイツ語入門(会話含む)	1			1	30	
	中国語入門(会話含む)	1			1	30	
	韓国語入門(会話含む)	1			1	30	
	フランス語入門(会話含む)	1			1	30	
	スペイン語入門(会話含む)	1			1	30	
	タイ語入門(会話含む)	1			1	30	
	ベトナム語入門(会話含む)	1			1	30	
	ビルマ語入門(会話含む)	1			1	30	
	ドイツ語応用(会話含む)	1			1	30	
	中国語応用(会話含む)	1			1	30	
	韓国語応用(会話含む)	1			1	30	
	フランス語応用(会話含む)	1			1	30	
	スペイン語応用(会話含む)	1			1	30	
	タイ語応用(会話含む)	1			1	30	
	ベトナム語応用(会話含む)	1			1	30	
	ビルマ語応用(会話含む)	1			1	30	
	日本語 I -A(作文)	1			1	30	
	日本語 I -B(文法・語彙)	1			1	30	
	日本語 II -A(作文)	1			1	30	
	日本語 II -B(文法・語彙)	1			1	30	
	日本語 II -C(発表討論)	1			1	30	
	日本語 II -D(専門日本語)	1			1	30	
	日本語 III -A(作文)	1			1	30	
	日本語 III -B(文法・語彙)	1			1	30	
	日本語 III -C(発表・討論)	1			1	30	
	日本語 III -D(専門日本語)	1			1	30	
	医療福祉専門漢字	1			1	30	
	医療福祉専門語彙	1			1	30	
	日本語IV -C(発表・討論)	2 3			1	30	
	日本語V -C(発表・討論)	2 3			1	30	
	日本語IV -E(読み解き・作文)	2 3			1	30	
	日本語V -E(読み解き・作文)	2 3			1	30	

授業科目の名称		配当年次	履修区分・単位数 必修 選択 自由		時間	備考
専門基礎科目	医学英語 I (基礎)	1	2		60	
	医学英語 II (臨床英語の基本)	2	1		30	
	医学英語 III (臨床英語の応用)	3	1		30	
	医学英語 IV (医学英語の実践: 基本)	4	1		30	
	医学英語 V (医学英語の実践: 応用)	5	1		30	
	医学英語 VI (医学英語の総括)	6	1		30	
	骨学・神経解剖学	2	1		30	
	医療面接・身体診察 I (入門)	1	1		30	
	医療面接・身体診察 II (応用)	2	1		30	
	基礎医学総論 I (生化学)	1	3		45	
	基礎医学総論 II (分子生物学)	1	2		30	
	基礎医学総論 III (免疫学)	1	1		15	
	基礎医学総論 IV (生理学)	1	2		30	
	基礎医学総論 V (薬理学)	1	2		30	
	基礎医学総論 VI (組織学)	1	1		15	
	基礎医学総論 VII (組織学演習)	1	1		30	
	基礎医学総論 VIII (病理学)	1	1		15	
	基礎医学総論 IX (病理学演習)	1	1		30	
	人体発生学	1	1		15	
	生殖・妊娠・分娩	1	1		15	
	器官別統合講義 I (循環器系)	1	5		75	
	器官別統合講義 II (呼吸器系)	2	5		75	
	器官別統合講義 III (消化器系)	2	5		75	
	器官別統合講義 IV (内分泌代謝系)	2	4		60	
	器官別統合講義 V (腎泌尿器系)	2	3		45	
	器官別統合講義 VI (婦人科系 (乳腺含む))	2	4		60	
	器官別統合講義 VII (運動器・皮膚・膠原病)	2	4		60	
	器官別統合講義 VIII (脳神経・精神系)	2	6		90	
	器官別統合講義 IX (感覺器系)	3	3		45	
	器官別統合講義 X (血液系)	3	3		45	
専門教育科目	人体解剖学実習	2	3		135	
	早期体験実習 I (基礎)	1	0.5		15	
	早期体験実習 II (応用)	2	0.5		15	
	早期体験実習 III (発展)	3	0.5		15	
	関連職種連携ワーク	3	1		30	
	関連職種連携実習	5		1	45	
	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	3	2		30	
	感染症	1	3		45	
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	3	3		45	
	救急と集中治療	3	1		15	
専門科目	麻酔	3	1		15	
	予防医学・行動科学	3	1		15	
	老年医学	3	1		15	
	社会医学 I (医療管理学)	3	1		15	
	社会医学 II (衛生学・公衆衛生学)	3	3		45	
	社会医学 III (法医学)	3	1.5		23	
	社会医学 IV (臨床疫学・E B M)	3	1.5		23	
	総合臨床医学	3 4	11		165	
	臨床診断入門	3 4	9.5		285	
	症候と臨床推論	3 4	8		240	
	総括講義	6	8		120	
	医学研究	6	8		360	
	臨床実習 I (基礎)	4	20		900	
	臨床実習 II (発展)	5	20		900	
	臨床実習 III (専門)	5	20		900	
	臨床実習 IV (実践)	6	16		720	
	臨床実習 V (発展)	6	8		360	

別表1 授業科目の名称及び単位数

成田看護学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
	演劇論	1 2 3 4	1	15	
	パフォーマンス表現論	1	2	30	
	心理学	1 2 3 4	2	30	
	哲学	1 2 3 4	2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4	2	30	
	雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1 2 3 4	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	歴史学	1 2 3 4	2	30	
	倫理学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	文化人類学	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30	
	教育方法論	1 2 3 4	2	30	
	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4	2	30	
総合教育科目	法学	1 2 3 4	2	30	
	法と道德・倫理	1 2 3 4	2	30	
	医療関連法規	1	2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4	2	30	
	経済の歴史	1 2 3 4	2	30	
	世界の経済	1 2 3 4	2	30	
	アジア諸国との経済・社会・文化	1 2 3 4	2	30	
	世界の中の和文化	1 2 3 4	1	15	
	経営の仕組み	1 2 3 4	2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
	社会学（人間と社会）	1 2 3 4	2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4	2	30	
	新聞でみた日本と世界	1 2 3 4	2	30	
	国際関係論	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
自然・情報系	海外保健福祉事情I（講義）	1 2	1	30	
	海外保健福祉事情II（実習）	2 3	1	45	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4	2	30	
	手話入門	1 2 3 4	2	30	
	防災と生活デザイン	1 2 3 4	2	30	
	保健統計	1	2	30	
	疫学	1	2	30	
	数学	1 2 3 4	2	30	
	物理学	1 2 3 4	2	30	
総合系	化学	1 2 3 4	2	30	
	生物学	1 2 3 4	2	30	
	データリテラシー	1	1	30	
	医療データサイエンスI（DS基礎）	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンスII（AI基礎）	2 3 4	1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1	30	
	医学/医療史	1 2 3 4	2	30	
	人間工学	1 2 3 4	2	30	

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育科目  外国语系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30	
	英語講読 2 (Basic)	1	1	30	
	英語C A L L 1 (Primary)	1	1	30	
	英語C A L L 2 (Basic)	1	1	30	
	英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
	英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
	英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
	英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
	英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	国際医療通訳入門	1 2 3 4	1	30	
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	上級英語文献講読	1 2 3 4	1	30	
	上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
	上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
	ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	中国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 I-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 I-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 I-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 I-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 II-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 II-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 II-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 II-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 III-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 III-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 III-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 III-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1	30	
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1	30	
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門教育科目	キャンパス共通設置科目	公衆衛生学	1	2	30	
		救急医学	1 2 3 4	1	15	
		感染と免疫	1	2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4	2	30	
		関連職種連携論	2	2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4	1	15	
		ケースワーク論	2 3 4	1	15	
		医療管理学	1 2 3 4	2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4	2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4	2	30	
		医療情報学概論	2 3 4	2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4	2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1	30	
		関連職種連携実習	4	1	45	
		リスクマネジメント論	2 3 4	2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4	1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	4	1	15	
		レクリエーション概論	1 2 3 4	1	15	
	学部設置科目	国際保健医療学	1	1	15	
		異文化体験実習	1 2 3 4	1	45	
		行動科学とモチベーション	1 2	1	15	
		キャリアデザイン	1	1	15	
		からだの構造	1	1	30	
		からだの機能	1	1	30	
		疾病・治療学Ⅰ（呼吸、循環）	1	2	30	
		疾病・治療学Ⅱ（消化、代謝）	2	2	30	
		疾病・治療学Ⅲ（生殖、免疫、運動器）	2	2	30	
		疾病・治療学Ⅳ（小児、感覺器）	2	2	30	
		疾病・治療学Ⅴ（脳神経系、精神系）	2	2	30	
		人間と栄養	1	1	15	
		薬理学	2	2	30	
		人間発達学	1	1	15	
		先端医療とヘルスケアテクノロジー	4	1	15	
		遺伝と医療	1	1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門教育科目	基礎看護学	看護学概論	1	2	30	
		看護理論	1	1	15	
		基礎看護学方法論 I (看護コミュニケーション)	1	1	15	
		基礎看護学方法論 II (看護過程)	2	2	30	
		基礎看護学演習 I (日常生活援助技術)	1	2	60	
		基礎看護学演習 II (ヘルスアセスメント)	1	1	30	
		基礎看護学演習 III (医療支援技術)	2	1	30	
		基礎看護学実習 I (入門)	1	1	45	
	管理看護学	基礎看護学実習 II (基礎)	2	2	90	
		看護情報リテラシー	1	1	15	
		看護管理学概論	4	1	15	
		看護管理学演習	4	1	30	
	看護プロセスイズム	保健事業戦略とマネジメント	4	1	15	
		リブロダクティブヘルス看護学概論	1	1	15	
		リブロダクティブヘルス看護学方法論	2	2	30	
		リブロダクティブヘルス看護学演習	3	1	30	
		リブロダクティブヘルス看護学実習 I (病院・施設実習)	3	1	45	
	小児看護学	リブロダクティブヘルス看護学実習 II (産科病棟外来実習)	3	1	45	
		小児看護学概論	2	1	15	
		小児看護学方法論	3	2	30	
		小児看護学演習	3	1	30	
	成人看護学	小児看護学実習	3	2	90	
		成人看護学概論	2	1	15	
		成人看護学方法論 I	3	2	60	
		成人看護学方法論 II	3	2	60	
		成人看護学方法論 III	3	1	30	
		成人看護学実習 I	3	2	90	
		成人看護学実習 II	3	2	90	
	老年看護学	成人看護学実習 III	3	1	45	
		老年看護学概論	2	1	15	
		老年看護学方法論	3	2	30	
		老年看護学演習	3	1	30	
	精神看護学	老年看護学実習	3	2	90	
		精神看護学概論	2	1	15	
		精神看護学方法論	3	2	30	
		精神看護学演習	3	1	30	
	国際看護学	精神看護学実習	3	2	90	
		国際看護学 I (異文化と看護)	2	1	15	
		国際看護学 II (活動の実際)	2 3 4	1	15	
		国際看護研修 (途上国)	3 4	2	90	
	感染看護学	感染看護論	2	1	15	
		災害関連健康危機管理論	4	1	15	
		国際検疫看護論	4	1	15	
		公衆衛生看護学概論	2	2	30	
	公衆衛生看護学	産業・学校保健	2		2	30
		公衆衛生看護活動方法論 I (公衆衛生看護技術)	2		2	30
		公衆衛生看護活動方法論 II (地域アセスメント)	3		2	30
		公衆衛生看護活動対象論 I (発達段階別保健活動)	2		2	30
		公衆衛生看護活動対象論 II (健康課題別保健活動)	3		2	30
		公衆衛生看護活動対象論 III (地域包括ケア等)	4		1	15
		家族看護論	2		1	15
		公衆衛生看護活動展開論	4		2	30
	地域看護・学在宅	公衆衛生看護学実習 I (行政保健)	4		4	180
		公衆衛生看護学実習 II (産業保健)	4		1	45
		地域・在宅看護学概論	2		1	15
		地域・在宅看護学方法論 I	3		2	30
	統合分野	地域・在宅看護学方法論 II	3		2	30
		地域・在宅看護学演習	3		1	30
		地域・在宅看護学実習	3		2	90
		看護総合実習	4	5		225
		看護倫理学	4	1		15
		看護研究	4	2		30
		研究ゼミナール	4	1		30
		海外看護研修	4	2		90

別表1 授業科目の名称及び単位数  
成田保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30
	演劇論	1 2 3 4		1	15
	パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30
	心理学	1 2 3 4		2	30
	哲学	1 2 3 4		2	30
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30
	人間学	1 2 3 4		2	30
	歴史学	1 2 3 4		2	30
	倫理学	1 2 3 4		2	30
	宗教学	1 2 3 4		2	30
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30
	文化人類学	1 2 3 4		2	30
	教育学	1	2		30
	教育方法論	1 2 3 4		2	30
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30
総合教育科目	法学	1 2 3 4		2	30
	法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30
	医療関連法規	1 2 3 4		2	30
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30
	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30
	経済の歴史	1 2 3 4		2	30
	世界の経済	1 2 3 4		2	30
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30
	世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15
	経営の仕組み	1 2 3 4		2	30
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30
	社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30
	マスマディア論	1 2 3 4		2	30
	新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30
	国際関係論	1 2 3 4		2	30
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30
自然・情報系	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30
	手話入門	1 2 3 4		2	30
	防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30
	統計学	1 2 3 4		2	30
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30
	数学	1 2 3 4		2	30
	物理学	1 2 3 4		2	30
	化学	1 2 3 4		2	30
	生物学	1 2 3 4		2	30
	データリテラシー	1	1		30
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4	1		30
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4	1		30
総合系	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30
	医学/医療史	1 2 3 4		2	30
	人間工学	1 2 3 4		2	30
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30
	郷土論	1 2 3 4		1	15
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
外 國 語 系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
	英語CALL 1 (Primary)	1	1		30	
	英語CALL 2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	国際医療通訳入門	1 2 3 4	1	30		
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語文献講読	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1	30		
保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1 2	2	30	
	救急医学	2	1	15	
	感染と免疫	1 2	2	30	
	リハビリテーション概論	1	1	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	ケアマネジメント論	2 3	1	15	
	ケースワーク論	1 2	1	15	
	医療管理学	1 2	2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2	2	30	
	社会福祉学	1 2	2	30	
	臨床心理学概論	2	2	30	
	医療情報学概論	2 3	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	リスクマネジメント論	3 4	2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3	1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3	1	15	
	レクリエーション概論	3	1	15	
	災害保健学	1 2 3	1	15	
	予防保健学	1 2 3	1	15	
	国際医療保健学	1 2 3 4	1	15	
	異文化体験実習	1 2 3 4	1	45	
専門教育科目	解剖学 I (運動器系、内臓器系)	1	1	30	
	解剖学 II (内臓器系、神経系)	1	1	30	
	解剖学実習 I (肉眼)	1	1	45	
	解剖学実習 II (組織)	1	1	45	
	生理学 I (植物性機能)	1	1	30	
	生理学 II (動物性機能)	1	1	30	
	生理学実習	1	1	45	
	運動学 I (基礎)	1	1	30	
	運動学 II (応用)	1	1	30	
	運動生理学	1	1	30	
	病理学	2	1	30	
	臨床医学概論	2	1	30	
	内科学 I (基礎)	2	1	30	
	内科学 II (臨床)	2	1	30	
	神経学 I (基礎)	2	1	30	
	神経学 II (臨床)	2	1	30	
	整形外科学 I (基礎)	2	1	30	
	整形外科学 II (臨床)	2	1	30	
	精神医学 I (総論・各論)	2	1	30	
	精神医学 II (各論)	2 3	1	30	
	運動学特論	2	2	60	
	人間発達学	2	1	30	
	リハビリテーション医学	2	1	30	
	小児科学	2	1	30	
	老年学	2 3	1	30	
	神経心理学概論	2 3	2	30	
	臨床薬理学概論	2	1	15	
	スポーツ傷害学	2 3	1	15	
	外科学	2 3	1	15	
	栄養学	2 3	1	15	
	国際医療保健学演習	2 3 4	1	15	
	国際医療保健学実習	2 3 4	1	45	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目 専門科目	理学療法概論	1	2		30	
	機能解剖学	2	1		30	
	病態運動学	3	1		30	
	物理療法 I (理論)	2	1		30	
	物理療法 II (実践)	3	1		30	
	PTスキル I 演習(キャリアデザイン)	1	1		30	
	PTスキル II 演習(検査・測定)	2	1		30	
	PTスキル III 演習(専門知識の確認)	2	2		60	
	PTスキル IV 演習(臨床PBL)	3	2		60	
	理学療法評価学	2	2		30	
	理学療法診断学 I (基礎)	2	1		30	
	理学療法診断学 II (神経診断学)	2	1		30	
	理学療法診断学 III (神経・画像評価学を含む)	2	1		30	
	スポーツバイオメカニクス	2		1	15	
	動作分析学	1	1		15	
	運動処方理論	2		1	15	
	運動療法学総論	3	1		30	
	理学療法治療学総論	2	1		30	
	メディカルイングリッシュボキャブラリー	2		1	15	
	グローバルメディカルコミュニケーション I (基礎)	3		1	15	
	グローバルメディカルコミュニケーション II (応用)	3		1	15	
	運動系理学療法学 I (評価)	2	1		30	
	運動系理学療法学 II (治療)	3	1		30	
	神経系理学療法学 I (評価)	2	1		30	
	神経系理学療法学 II (治療)	3	1		30	
	内科系理学療法学 I (評価)	2	1		30	
	内科系理学療法学 II (治療)	3	1		30	
	高齢者理学療法学	3		1	15	
	器具学	2	1		30	
	義肢学	3	1		30	
	生活技術学	2	1		30	
	生活環境学	3	1		30	
	地域理学療法学演習(在宅・地域)	2	1		30	
	小児理学療法学	3	1		30	
	理学療法治療学特論 I (神経系治療手技)	3		1	30	
	理学療法治療学特論 II (運動器系治療手技)	3		1	30	
	先端機能解剖学	3 4		1	15	
	先端運動系理学療法学	3 4		1	15	
	先端神経系理学療法学	3 4		1	15	
	先端内科系理学療法学	3 4		1	15	
	先端スポーツ理学療法学	3 4		1	15	
	先端予防理学療法学	3 4		1	15	
	テーピング治療学	3		1	15	
	クリニックリーズニング	3 4	1		30	
	リハビリテーション栄養学	3		1	15	
	運動心理学	3		1	15	
	理学療法管理学	3 4	2		30	
	ウェメンズヘルス理学療法学	3		1	15	
	理学療法国際実習		4	1	45	
	障がい者スポーツ概論	3		1	15	
	理学療法特論		4	1	30	
	基礎実習	1		1	45	
	地域リハビリテーション実習(訪問・通所)	2	1		45	
	評価実習	3	6		270	
	総合臨床実習		4	12	540	
	理学療法研究のデザイン	3	1		30	
	Individual Study		3		11	165
	卒業研究		4	2		60

別表1 授業科目の名称及び単位数  
成田保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称		配当年次		単位数	時間	備 考
		必修	選択			
人間系	文学論	1	2 3 4	2	30	
	演劇論	1	2 3 4	1	15	
	パフォーマンス表現論	1	2 3 4	2	30	
	心理学	1	2 3 4	2	30	
	哲学	1	2 3 4	2	30	
	コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2 3 4	2	30	
	人間学	1	2 3 4	2	30	
	歴史学	1	2 3 4	2	30	
	倫理学	1	2 3 4	2	30	
	宗教学	1	2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1	2 3 4	2	30	
	文化人類学	1	2 3 4	2	30	
	教育学	1	2 3 4	2	30	
	教育方法論	1	2 3 4	2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1	2 3 4	2	30	
総合教育科目	法学	1	2 3 4	2	30	
	法と道徳・倫理	1	2 3 4	2	30	
	医療関連法規	1	2 3 4	2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30	
	経済の仕組み	1	2 3 4	2	30	
	経済の歴史	1	2 3 4	2	30	
	世界の経済	1	2 3 4	2	30	
	アジア諸国経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30	
	世界の中の和文化	1	2 3 4	1	15	
	経営の仕組み	1	2 3 4	2	30	
	組織運営管理論	1	2 3 4	2	30	
	社会学（人間と社会）	1	2 3 4	2	30	
	マスマディア論	1	2 3 4	2	30	
	新聞でみた日本と世界	1	2 3 4	2	30	
	国際関係論	1	2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30	
	海外保健福祉事情I（講義）	1	2	1	30	
	海外保健福祉事情II（実習）		2 3	1	45	
	ボランティア論	1	2 3 4	2	30	
	ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30	
	手話入門	1	2 3 4	2	30	
	防災と生活デザイン	1	2 3 4	2	30	
自然・情報系	統計学	1	2 3 4	2	30	
	医学・保健医療統計学	1	2 3 4	2	30	
	数学	1	2 3 4	2	30	
	物理学	1	2 3 4	2	30	
	化学	1	2 3 4	2	30	
	生物学	1	2 3 4	2	30	
	データリテラシー	1		1	30	
	医療データサイエンスI（DS基礎）	2	3 4	1	30	
	医療データサイエンスII（AI基礎）	2	3 4	1	30	
	医療必修一医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1		1	30	
	医学/医療史	1	2 3 4	2	30	
	人間工学	1	2 3 4	2	30	
総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1		1	30	
	郷土論	1	2 3 4	1	15	
	医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15	
	メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30	
	食と人間	1	2 3 4	1	15	
	総合講義	1	2 3 4	1	15	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
総合教育科目 外国语系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
	英語CALL 1 (Primary)	1	1		30	
	英語CALL 2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	国際医療通訳入門	1 2 3 4	1	30		
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語文献講読	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1	2	30	
	救急医学	2	1	15	
	感染と免疫	1 2	2	30	
	リハビリテーション概論	1	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	ケアマネジメント論	2 3	1	15	
	ケースワーク論	1 2	1	15	
	医療管理学	2 3	2	30	
	保健医療福祉制度論	3 4	2	30	
	社会福祉学	1 2	2	30	
	臨床心理学概論	2	2	30	
	医療情報学概論	2 3	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	リスクマネジメント論	3 4	2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3	1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3	1	15	
	レクリエーション概論	3 4	1	15	
	災害保健学	1 2	1	15	
	予防保健学	1 2	1	15	
	国際医療保健学	1 2	1	15	
	異文化体験実習	1 2	1	45	
専門教育科目	解剖学 I (運動器系、循環器系)	1	1	30	
	解剖学 II (内臓学、神経系、感觉器系)	1	1	30	
	解剖学実習	1	1	45	
	生理学 I (植物性機能)	1	1	30	
	生理学 II (動物性機能)	1	1	30	
	生理学実習	1	1	45	
	運動学 I (基礎)	1	1	30	
	運動学 II (応用)	1	1	30	
	運動学実習	2	1	45	
	運動生理学	2	1	30	
	病理学	2	1	30	
	内科学	2	1	30	
	神経学 I (基礎)	2	1	30	
	神経学 II (臨床)	2	1	30	
	整形外科学 I (基礎)	2	1	30	
	整形外科学 II (臨床)	2	1	30	
	精神医学 I (基礎)	2	1	30	
	精神医学 II (臨床)	2	1	30	
	小児科学	2	1	30	
	老年学	2	1	30	
	リハビリテーション医学	2	1	30	
	人間発達学	1	1	30	
	病態生理学	2 3	1	15	
	臨床薬理学概論	2	1	15	
	栄養学	2 3	1	15	
	外科学	2 3	1	15	
	脳神経外科学	2 3	1	15	
	神経心理学概論	2 3	1	15	
	対人援助論	1 2	1	15	
	国際医療保健学演習	2 3 4	1	15	
	国際医療保健学実習	2 3 4	1	45	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	作業療法概論	1	1		15	
	作業学概論	1	1		15	
	作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
	作業工程技術学・応用論	3	1		30	
	作業分析学 I (基礎)	1	1		30	
	作業分析学 II (応用)	2	1		30	
	作業応用論	2 3		1	30	
	研究法概論	3	1		15	
	研究法演習	3	1		30	
	卒業研究	4		1	30	
	作業療法管理学 I (基礎)	3	1		15	
	作業療法管理学 II (応用)	4	1		15	
	作業療法総括論	4	1		30	
	作業療法評価学概論	2	1		15	
	作業療法評価学各論	2	1		30	
	作業療法評価学演習	2	1		30	
	基礎運動機能評価法	2	1		30	
	生活機能論	2	1		15	
	基礎精神機能評価法	2	1		30	
	上肢機能評価法	2 3		1	15	
	日常生活活動評価法	2 3		1	15	
	高次脳機能評価法	2 3		1	15	
	作業療法適用学概論	2	1		15	
	内科系疾患作業療法学	3	1		30	
	運動器疾患作業療法学	3	1		30	
	中枢神経疾患作業療法学 I (総論)	3	1		30	
	中枢神経疾患作業療法学 II (各論)	3	1		30	
	精神疾患作業療法学 I (総論)	3	1		30	
	精神疾患作業療法学 II (各論)	3	1		30	
	小児作業療法学 I (総論)	3	1		30	
	小児作業療法学 II (各論)	3	1		30	
	老年作業療法学	3	1		30	
	作業療法諸理論	4		1	15	
	作業療法応用学概論	3	1		15	
	就学・就労支援論	3	1		15	
	生活技術学 I (総論)	2	1		30	
	生活技術学 II (各論)	3	1		30	
	コミュニケーション技術論	1 2		1	30	
	職業関連技術学	3	1		30	
	地域生活作業療法論	3	1		30	
	リハビリテーション英語 I (基礎)	2 3		1	15	
	リハビリテーション英語 II (応用)	2 3		1	15	
	災害リハビリテーション学	3 4		1	15	
	認知症作業療法特論	3 4		1	15	
	先端作業療法特論	1 2		1	15	
	地域生活支援論	3 4		1	15	
	障害代償学概論	3	1		15	
	住環境整備論	3	1		15	
	義肢・装具・副子適用論	3	1		30	
	自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
	バリアフリー論	2 3		1	15	
	臨床実習 I (早期臨床見学)	1	1		45	
	臨床実習 II (早期臨床体験)	2	1		45	
	臨床実習 III (臨床評価)	3	2		90	
	臨床実習 IV (臨床推論)	3	5		225	
	総合実習 I (作業療法実践)	4	7		315	
	総合実習 II (作業療法実践)	4	6		270	
	地域リハビリテーション実習	3	1		45	
	地域生活支援システム実習	4	1		45	
	臨床実習ゼミ I (作業療法総論)	1 2		1	15	
	臨床実習ゼミ II (作業療法実践過程)	2 3		1	15	
	臨床実習ゼミ III (作業療法計画立案)	3 4		1	15	
	臨床実習ゼミ IV (作業療法実践)	4		1	15	
	臨床実習特論	3		1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
成田保健医療学部 言語聴覚学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
人間系	文学論	1 2 3		2 30	
	演劇論	1 2 3		1 15	
	パフォーマンス表現論	1 2 3		2 30	
	心理学	1 2		2 30	
	哲学	1 2 3		2 30	
	コミュニケーション概論	1 2		2 30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3		2 30	
	人間学	1 2		2 30	
	歴史学	1 2		2 30	
	倫理学	1 2		2 30	
	宗教学	1 2		2 30	
	日本近現代史	1 2		2 30	
	文化人類学	1 2 3		2 30	
	教育学	1 2		2 30	
	教育方法論	1 2 3 4		2 30	
	死生学-死を通して生を考える	1 2		2 30	
総合教育	法学	1 2		2 30	
	法と道徳・倫理	1 2		2 30	
	医療関連法規	1 2 3		2 30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	経済の仕組み	1 2 3		2 30	
	経済の歴史	1 2		2 30	
	世界の経済	1 2 3		2 30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2		2 30	
	世界の中の和文化	1 2 3		1 15	
	経営の仕組み	1 2 3		2 30	
	組織運営管理論	1 2 3		2 30	
	社会学(人間と社会)	1 2 3		2 30	
	マスマディア論	1 2		2 30	
	新聞でみた日本と世界	1 2 3		2 30	
	国際関係論	1 2 3		2 30	
社会系	国際医療福祉論	1 2 3		2 30	
	海外保健福祉事情I(講義)	1 2	1	30	
	海外保健福祉事情II(実習)	2 3	1	45	
	ボランティア論	1 2		2 30	
	ボランティアコーディネート論	1 2		2 30	
	手話入門	1 2 3		2 30	
	防災と生活デザイン	1 2 3		2 30	
	統計学	1	2	30	
	医学・保健医療統計学	1 2		2 30	
	数学	1 2 3		2 30	
	物理学	1 2 3		2 30	
	化学	1 2 3		2 30	
	生物学	1 2 3		2 30	
	データリテラシー	1	1	30	
自然・情報系	医療データサイエンスI(DS基礎)	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンスII(AI基礎)	2 3 4	1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1	30	
	医学/医療史	1 2		2 30	
	人間工学	1 2		2 30	
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1	30	
	郷土論	1 2 3		1 15	
	医療福祉教養講義	1 2		1 15	
	メディカルマナー入門	1 2		2 30	
	食と人間	1 2		1 15	
	総合講義	1 2 3 4	1	15	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
外 國 語 系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
	英語C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
	英語C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読 3 (Intermediate)	2 3		1	30	
	英語講読 4 (Advanced)	2		1	30	
	英語会話 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
	英語会話 2 (Basic)	1 2		1	30	
	英語会話 3 (Intermediate)	2 3		1	30	
	英語会話 4 (Advanced)	2		1	30	
	英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
	英語ライティング 2 (Basic)	1 2		1	30	
	国際医療通訳入門	1 2 3		1	30	
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
	資格英語 2 (Basic)	1 2		1	30	
	基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
	基礎英文法 2 (Basic)	1 2		1	30	
	上級英語文献講読	1 2 3		1	30	
	上級英語会話 1 (発展)	1 2 3		1	30	
	上級英語会話 2 (総合)	1 2		1	30	
	ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
	ドイツ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
	中国語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
	中国語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
	韓国語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
	韓国語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
	フランス語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
	フランス語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
	スペイン語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
	スペイン語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
	タイ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
	タイ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
	ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
	ベトナム語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
	ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
	ビルマ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
	日本語 I-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
	日本語 I-B (記述)	1 2 3		1	30	
	日本語 I-C (読解)	1 2		1	30	
	日本語 I-D (会話)	1 2		1	30	
	日本語 II-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
	日本語 II-B (記述)	1 2 3		1	30	
	日本語 II-C (読解)	1 2		1	30	
	日本語 II-D (会話)	1 2		1	30	
	日本語 III-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
	日本語 III-B (記述)	1 2 3		1	30	
	日本語 III-C (読解)	1 2		1	30	
	日本語 III-D (会話)	1 2		1	30	
	医療福祉専門漢字	1 2 3		1	30	
	医療福祉専門語彙	1 2 3		1	30	
保健 体育系	健康科学理論	1		1	15	
	健康科学実践	1		1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修	時間 選択	備考
専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1 2		2	30
	救急医学	2	1		15
	感染と免疫	1 2		2	30
	リハビリテーション概論	1	1		30
	関連職種連携論	2	2		30
	ケアマネジメント論	2 3		1	15
	ケースワーク論	1 2		1	15
	医療管理学	2 3		2	30
	保健医療福祉制度論	1	1		30
	社会福祉学	1 2		2	30
	臨床心理学概論	3		2	30
	医療情報学概論	2 3		2	30
	福祉支援工学概論	1 2		2	30
	関連職種連携ワーク	3	1		30
	関連職種連携実習	4		1	45
	リスクマネジメント論	2		2	30
	電子カルテシステム入門	2		1	15
	エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2 3		1	15
	レクリエーション概論	1 2		1	15
	災害保健学	1 2 3		1	15
	予防保健学	1 2 3		1	15
	国際医療保健学	1 2 3		1	15
	教職教養	2 3		1	30
	異文化体験実習	1 2		1	45
専門教育科目	解剖学	1	1		30
	生理学	1	1		30
	病理学	1	1		15
	医学概論	1	1		15
	内科学	1	1		30
	精神医学	2	1		30
	リハビリテーション医学	2	1		30
	小児科学	2	1		30
	耳鼻咽喉科学	2	1		30
	臨床神経学	2	1		30
	形成外科学	2	1		15
	臨床歯科医学	2	1		15
	口腔外科学	2	1		15
	音声言語医学	1	1		15
	中枢神経機能学	1	1		30
	聴覚医学	1	1		30
	老年学	1 2		1	15
	遺伝学	1 2		1	15
	脳神経外科学	1 2		1	15
	臨床心理学	2	1		30
	生涯発達心理学	1	1		30
	神経心理学	2	1		30
	認知・学習心理学	1	2		30
	心理測定法	2	1		30
	言語学Ⅰ(基礎)	1	1		30
	言語学Ⅱ(発展)	2	1		30
	言語発達学	1	1		30
	基礎音声学	1	2		30
	音声学	2	2		30
	音声音響学	2	1		30
	聴覚心理学	3	1		30
	国際医療保健学演習	2 3 4		1	15
	国際医療保健学実習	2 3 4		1	45

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	言語聴覚障害学概論	1	1		30	
	言語聴覚障害診断学	3	1		30	
	言語聴覚療法管理学	3	2		30	
	地域言語聴覚療法学		4	2	30	
	成人言語障害学総論 I (基礎)	2	1		30	
	成人言語障害学総論 II (発展)	2	1		30	
	失語症学 I (評価・診断)	3	1		30	
	失語症学 II (治療)	3	1		30	
	失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
	高次脳機能障害学	3	1		30	
	言語発達障害学総論	2	1		30	
	言語発達障害学各論	2	1		30	
	言語発達障害学 I (評価・診断)	2	1		30	
	言語発達障害学 I 演習(評価・診断)	3	1		30	
	言語発達障害学 II (指導)	3	1		30	
	言語発達障害学 II 演習(指導)	3	1		30	
	聴覚障害学総論	2	1		30	
	聴覚機能評価学	2	2		60	
	聴覚補聴論 (補聴器・人工内耳など)	3	1		30	
	小児聴覚障害学 I (評価・診断)	3	1		30	
	小児聴覚障害学 II (指導)	3	1		30	
	成人聴覚障害学 (二重障害を含む)	3	1		30	
	发声発語障害学総論	2	2		30	
	構音障害学 I (理論)	2	1		30	
	構音障害学 II (評価・診断)	3	1		30	
	構音障害学演習 (治療)	3	1		30	
	流暢性障害学	3	1		30	
	音声障害学	3	1		30	
	摂食・嚥下障害学 I (理論・評価診断)	2	1		30	
	摂食・嚥下障害学 II (治療)	3	1		30	
	言語聴覚障害学研究法	3	1		30	
	英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎	1 2		1	15	
	言語聴覚療法英語論文抄訳		3 4		1	15
	日本語教授法	1 2		1	15	
	基礎ゼミナール I	1		1	30	
	基礎ゼミナール II	1		1	30	
	言語聴覚障害学特論 I (基礎)		4	1	30	
	言語聴覚障害学特論 II (発展)		4	1	30	
	卒業研究		4	4	60	
	コミュニケーション技能演習	1		1	30	
	コミュニケーション障害演習	2		1	30	
	言語聴覚障害基礎演習		3	2	60	
	見学実習	2		1	45	
	評価実習		3	3	135	
	総合実習 1		4	4	180	
	総合実習 2		4	7	315	
	災害リハビリテーション学		3 4	1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
成田保健医療学部 放射線・情報科学科

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
		必修	選択		
人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
	演劇論	1 2 3 4	1	15	
	パフォーマンス表現論	1 2 3 4	2	30	
	心理学	1 2 3 4	2	30	
	哲学	1 2 3 4	2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4	2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聞く力～	1 2 3 4	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	歴史学	1 2 3 4	2	30	
	倫理学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	文化人類学	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30	
	教育方法論	1 2 3 4	2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4	2	30	
総合教育科目	法學	1 2 3 4	2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30	
	医療関連法規	1 2 3 4	2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4	2	30	
	経済の歴史	1 2 3 4	2	30	
	世界の経済	1 2 3 4	2	30	
	アジア諸国との経済・社会・文化	1 2 3 4	2	30	
	世界の中の和文化	1 2 3 4	1	15	
	経営の仕組み	1 2 3 4	2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
	社会学（人間と社会）	1 2 3 4	2	30	
	マスマディア論	1 2 3 4	2	30	
	新聞でみた日本と世界	1 2 3 4	2	30	
	国際関係論	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1	30	
社会系	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1	45	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4	2	30	
	手話入門	1 2 3 4	2	30	
	防災と生活デザイン	1 2 3 4	2	30	
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4	2	30	
	数学	1 2 3 4	2	30	
	物理学	1 2 3 4	2	30	
	化学	1 2 3 4	2	30	
	生物学	1 2 3 4	2	30	
	データリテラシー	1	1	30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4	1	30	
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1	30	
自然・情報系	医学／医療史	1 2 3 4	2	30	
	人間工学	1 2 3 4	2	30	
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1	30	
	郷土論	1 2 3 4	1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
	食と人間	1 2 3 4	1	15	
	総合講義	1 2 3 4	1	15	
総合系					

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
総合教育科目	英語講読 1 (Primary)	1	1	30	
	英語講読 2 (Basic)	1	1	30	
	英語CALL 1 (Primary)	1	1	30	
	英語CALL 2 (Basic)	1	1	30	
	英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
	英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
	英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
	英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
	英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	国際医療通訳入門	1 2 3 4	1	30	
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	上級英語文献講読	1 2 3 4	1	30	
	上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
	上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
	ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 I-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 I-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 I-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 I-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 II-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 II-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 II-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 II-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 III-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 III-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 III-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
	日本語 III-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1	30	
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1	30	
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎科目／学部共通	統計学	2	1	30	
	公衆衛生学	2	2	30	
	救急医学	2	1	15	
	感染と免疫	2 3 4	2	30	
	リハビリテーション概論	1 2 3 4	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4	1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4	1	15	
	医療管理学	1 2 3 4	2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4	2	30	
	臨床心理学概論	1 2 3 4	2	30	
	医療情報学概論	2 3 4	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習		4	1	45
	リスクマネジメント論	2 3 4	2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4	1	15	
	エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2 3 4	1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4	1	15	
	災害保健学	2 3 4	1	15	
	予防保健学	2 3 4	1	15	
	国際医療保健学	2 3 4	1	15	
	異文化体験実習	2 3 4	1	45	
専門基礎科目	基礎数学	1	1	30	
	自然科学概論	1	2	30	
	基礎物理学	1	1	30	
	基礎化学	1	1	30	
	基礎生物学	1	1	30	
	解剖学 I (運動器系・循環器系・内臓系)	1	1	30	
	解剖学 II (内臓系・神経系・感覚器系)	1	1	30	
	生理学	1	2	30	
	病理学	2	2	30	
	病態生理学	2	1	15	
専門教育科目	医学概論	1	2	30	
	看護概論		3	1	15
	自然科学実験	1	1	45	
	応用数学	1		1	30
	放射線物理学 I (基礎)	1	1	30	
	放射線物理学 II (発展)	2	1	30	
	放射線計測学	2	1	30	
	放射線科学演習	2		1	30
	放射線計測学実験	2	1	45	
	放射化学	2	1	30	
専門科目	放射線生物学	2	1	30	
	画像解剖学	2	2	30	
	医療画像基礎論	1	2	30	
	画像情報学	1	2	30	
	画像情報学実験	1	1	45	
	医用工学	1	1	30	
	医用工学演習	2	1	30	
	コンピュータ演習 I (データ処理)	1		1	30
	コンピュータ演習 II (プログラミング)	2		1	30
	医療情報システム論		3	1	15
	X線機器工学	1	2	30	
	医療安全管理学		4	1	30
	診療放射線概論	1	1	15	
	診療画像検査学概論	1	1	15	
	X線検査学 I		2	1	30
	X線検査学 II	2	1	30	
	X線CT検査学	2	2	30	
	診療画像機器工学	2	1	15	
	MR I 検査学	2	2	30	
	超音波検査学	2	2	30	
	診療画像学実験 I	2	2	90	
	診療画像学実験 II	2	2	90	
	核医学検査技術学	2	2	30	
	核医学		3	2	30
	核医学検査技術学実験	3	2	60	
	放射線治療機器工学	2	1	15	
	放射線治療技術学	2	2	30	
	放射線腫瘍学	3	2	30	
	放射線治療技術学実験	3	2	60	
	臨床医学概論		3	1	30
	臨床医学		4	1	30
	放射線管理学	2	2	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育科目	放射線管理学実験	4	1		45	
	放射線関係法規	3	1		15	
	画像診断学	4	1		30	
	画像診断学演習	4		1	30	
	臨床薬理学	4	1		15	
	放射線救急医学	3	2		30	
	医療安全学概論	3	1		30	
	臨床画像学演習	3	2		60	
	診療画像検査学臨床実習	3	8		360	
	核医学検査技術学臨床実習	3	2		90	
	放射線治療技術学臨床実習	3	2		90	
	診療放射線特論	4	1		30	
	放射線学演習Ⅰ(基礎)	4	2		60	
	放射線学演習Ⅱ(総合)	4	2		60	
	放射線腫瘍学特論	4		1	30	
	核医学特論	4		1	30	
	MR I 検査学特論	4		1	30	
	画像情報学特論	4		1	30	
	死亡時画像診断学	4		1	15	
	卒業研究Ⅰ(調査・計画)	4	1		45	
	卒業研究Ⅱ(研究報告)	4	1		45	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
成田保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30
	演劇論	1 2 3 4		1	15
	パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30
	心理学	1 2 3 4		2	30
	哲学	1 2 3 4		2	30
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30
	人間学	1 2 3 4		2	30
	歴史学	1 2 3 4		2	30
	倫理学	1 2 3 4		2	30
	宗教学	1 2 3 4		2	30
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30
	文化人類学	1 2 3 4		2	30
	教育学	1 2 3 4		2	30
	教育方法論	1 2 3 4		2	30
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30
総合教育科目	法学	1 2 3 4		2	30
	法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30
	医療関連法規	1 2 3 4		2	30
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30
	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30
	経済の歴史	1 2 3 4		2	30
	世界の経済	1 2 3 4		2	30
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30
	世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15
	経営の仕組み	1 2 3 4		2	30
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30
	社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30
	マスマディア論	1 2 3 4		2	30
	新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30
	国際関係論	1 2 3 4		2	30
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30
自然・情報系	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30
	手話入門	1 2 3 4		2	30
	防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30
	統計学	1 2 3 4		2	30
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30
	数学	1 2 3 4		2	30
	物理学	1 2 3 4		2	30
	化学	1 2 3 4	2		30
	生物学	1 2 3 4		2	30
	データリテラシー	1	1		30
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4	1		30
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4	1		30
総合系	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30
	医学/医療史	1 2 3 4		2	30
	人間工学	1 2 3 4		2	30
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30
	郷土論	1 2 3 4		1	15
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
総合教育科目 外国语系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
	英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
	英語CALL 1 (Primary)	1	1		30	
	英語CALL 2 (Basic)	1	1		30	
	英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		
	英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		
	英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	国際医療通訳入門	1 2 3 4	1	30		
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		
	基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語文献講読	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30		
	上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	中国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 I-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 II-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-B (記述)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-C (読解)	1 2 3 4	1	30		
	日本語 III-D (会話)	1 2 3 4	1	30		
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1	30		
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	2	1	30	
	救急医学	2 3	1	15	
	感染と免疫	1 2	2	30	
	リハビリテーション概論	1 2	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	ケアマネジメント論	1 2	1	15	
	ケースワーク論	1 2	1	15	
	医療管理学	1 2	2	30	
	保健医療福祉制度論	1	2	30	
	社会福祉学	1 2	2	30	
	臨床心理学概論	1 2	2	30	
	医療情報学概論	2	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2	2	30	
	関連職種連携ワーク		3 1	30	
	関連職種連携実習		4	1 45	
	リスクマネジメント論		2	2 30	
	電子カルテシステム入門		2	1 15	
	エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)		2	1 15	
	レクリエーション概論		2	1 15	
	災害保健学	1 2	1	15	
	予防保健学	1 2	1	15	
	国際医療保健学	1		1 15	
	異文化体験実習	1 2	1	45	
専門教育科目	解剖学	1	2	30	
	肉眼解剖学実習	1	1	45	
	生理学	1	1	30	
	病理学	1	2	30	
	臨床医学概論		2 1	30	
	内科学	1	1	30	
	臨床神経学	1 2 3	1	30	
	精神医学	1 2 3	1	30	
	リハビリテーション医学	1 2 3	1	30	
	小児科学	1 2 3	1	30	
	老年学	1 2 3	1	30	
	薬理学	1	1	15	
	栄養学	1 2 3	1	15	
	遺伝学	1	1	15	
	微生物学	1	2	30	
	分析化学	1	1	30	
	生化学	1	1	30	
	生化学実習	1	1	45	
	医用工学・情報概論	1	2	30	
	医用工学・情報実習	1	1	45	
	検査機器学・情報システム学総論	2	2	30	
	保健機能食品学	2 3	1	30	
	食の安全管理学	2 3	1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
専門教育科目	病理検査学演習	2	1	30	
	病理検査学	2	2	30	
	病理検査学実習 I (基礎)	3	1	45	
	病理検査学実習 II (応用)	3	1	45	
	細胞診断検査学	3	2	30	
	細胞診断検査学実習	3	1	45	
	血液検査学 I (総論)	2	2	30	
	血液検査学 II (各論)	2	2	30	
	血液検査学実習 I (基礎)	3	1	45	
	血液検査学実習 II (応用)	3	1	45	
	一般検査学	1	2	30	
	一般検査学実習	2	1	45	
	臨床化学検査学 I (総論)	2	2	30	
	臨床化学検査学 II (各論)	2	2	30	
	臨床化学検査学実習	3	1	45	
	遺伝子検査学	1	2	30	
	遺伝子検査学実習	2	1	45	
	医科分子生物学	1 2 3	1	15	
	微生物検査学 I (総論)	2	2	30	
	微生物検査学 II (各論)	2	2	30	
	微生物検査学実習 I (基礎)	3	1	45	
	微生物検査学実習 II (応用)	3	1	45	
	医動物検査学演習	2	1	30	
	免疫検査学	2	2	30	
	免疫検査学実習	2	1	45	
	移植検査学	2	1	15	
	輸血・移植検査学	3	2	30	
	輸血・移植検査学実習	3	1	45	
	生理検査学 I (総論)	1	2	30	
	生理検査学 II (各論)	2	2	30	
	生理検査学実習 I (基礎)	2	1	45	
	生理検査学実習 II (応用)	3	1	45	
	超音波検査学	3	2	30	
	超音波検査学実習	3	1	45	
	循環動態画像診断学	3	1	15	
	臨床検査管理総論	1	2	30	
	精度保証学	3	1	15	
	臨床検査診断学	3	1	15	
	臨床検査基礎演習	1	1	30	
	先進臨床検査技術学	3	1	15	
	臨床検査統計学	3	1	30	
	医療安全管理学	2	2	30	
	臨床検査研究論	3	2	30	
	臨床検査特論 I (応用)	4	1	30	
	臨床検査特論 II (発展)	4	1	30	
	臨地実習	4	11	330	
	客観的臨床能力試験	3	1	30	
	卒業研究	4	4	120	

別表1 授業科目の名称及び単位数

成田薬学部 薬学科

授業科目の名称		配当年次						単位数		時間	備考
		必修	選択	1	2	3	4	5	6		
人間系	文学論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	演劇論	1	2	3	4	5	6		1	15	
	心理学	1						2		30	
	哲学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	コミュニケーション概論	1					2			30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	5	6		2	30	
	人間学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	歴史学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	倫理学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	宗教学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4	5	6		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	教育学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	教育方法論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	5	6		2	30	
社会系	法学	1					2			30	
	法と道徳・倫理	1	2	3	4	5	6		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識					4		1		30	
	経済の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30	
	経済の歴史	1	2	3	4	5	6		2	30	
	世界の経済	1	2	3	4	5	6		2	30	
	アジア諸国経済・社会・文化	1	2	3	4	5	6		2	30	
	世界の中の和文化	1	2	3	4	5	6		1	15	
	経営の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	社会学（人間と社会）	1	2	3	4	5	6		2	30	
	マスメディア論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	5	6		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4	5	6		2	30	
総合教育科目	海外保健福祉事情I（講義）			2				1		30	
	海外保健福祉事情II（実習）			2				1		45	
	ボランティア論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	手話入門	1	2	3	4	5	6		2	30	
	防災と生活デザイン	1	2	3	4	5	6		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	数学	1				2				30	
	物理学	1					2			30	
	化学	1				2				30	
	生物学	1				2				30	
	データリテラシー	1				1				30	
	医療データサイエンスI（DS基礎）	2	3	4	5	6		1		30	
	医療データサイエンスII（AI基礎）	2	3	4	5	6		1		30	
自然・情報系	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1				30	
	医学/医療史	1	2	3	4	5	6		2	30	
	人間工学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1				30	
	郷土論	1	2	3	4	5	6		1	15	
総合系	医療福祉教養講義	1	2	3	4	5	6		1	15	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4	5	6		2	30	
	食と人間	1	2	3	4	5	6		1	15	
	英語講読1(Primary)	1				1				30	
	英語講読2(Basic)	2				1				30	
外国語系	英語CALL1(Primary)	1				1				30	
	英語CALL2(Basic)	2				1				30	
	英語講読3(Intermediate)	2	3	4	5	6		1		30	
	英語講読4(Advanced)	2	3	4	5	6		1		30	
	英語会話1(Primary)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	英語会話2(Basic)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	英語会話3(Intermediate)	2	3	4	5	6		1		30	
	英語会話4(Advanced)	2	3	4	5	6		1		30	
	英語ライティング1(Primary)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	英語ライティング2(Basic)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	国際医療通訳入門	1	2	3	4	5	6		1	30	
	資格英語1(Primary)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	資格英語2(Basic)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	基礎英文法1(Primary)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	基礎英文法2(Basic)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	上級英語文献講読	1	2	3	4	5	6		1	30	
	上級英語会話1(発展)	1	2	3	4	5	6		1	30	
	上級英語会話2(総合)	1	2	3	4	5	6		1	30	

授業科目的名称		配当年次		単位数 必修 選択	時間	備考			
総合教育科目  外国語系	ドイツ語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	ドイツ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	中国語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	中国語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	韓国語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	韓国語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	フランス語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	フランス語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	スペイン語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	スペイン語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	タイ語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	タイ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	ベトナム語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	ベトナム語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	ビルマ語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	ビルマ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 I-A (文法・表現)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 I-B (記述)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 I-C (読解)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 I-D (会話)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 II-A (文法・表現)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 II-B (記述)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 II-C (読解)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 II-D (会話)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 III-A (文法・表現)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 III-B (記述)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 III-C (読解)	1	2	3	4	5	6	1	30
	日本語 III-D (会話)	1	2	3	4	5	6	1	30
保健体育系	医療福祉専門漢字	1	2	3	4	5	6	1	30
	医療福祉専門語彙	1	2	3	4	5	6	1	30
専門基礎科目 / 学部共通	健康科学理論	1	2	3	4	5	6	1	15
	健康科学実践	1	2	3	4	5	6	1	30
専門教育科目	救急医学	1	2	3	4	5	6	1	15
	感染と免疫	1	2	3	4	5	6	2	30
	リハビリテーション概論	1	2	3	4	5	6	2	30
	関連職種連携論	2					2		30
	ケアマネジメント論	1	2	3	4	5	6	1	15
	ケースワーク論	1	2	3	4	5	6	1	15
	医療管理学	1	2	3	4	5	6	2	30
	保健医療福祉制度論	1	2	3	4	5	6	2	30
	社会福祉学	1	2	3	4	5	6	2	30
	臨床心理学概論	1					2		30
	医療情報学概論	1	2	3	4	5	6	2	30
	福祉支援工学概論	1	2	3	4	5	6	2	30
	関連職種連携ワーク	3					1		30
	関連職種連携実習					5		1	45
	リスクマネジメント論	2	3	4	5	6		2	30
	電子カルテシステム入門	2						1	15
	エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	1	2	3	4	5	6	1	15
	レクリエーション概論	1	2	3	4	5	6	1	15
	医療関連法規 I (医薬品全般に関わる法律)	3				1		1	15
専門基礎科目	医療関連法規 II (医薬品開発と薬害に関する法律の理解)					4		1	15
	災害保健学	1	2	3	4	5	6	1	15
	予防保健学	1	2	3	4	5	6	1	15
	国際医療保健学	1	2	3	4	5	6	1	15
	異文化体験実習	1	2	3	4	5	6	1	45
専門科目	公衆衛生学 I (保健統計、疫学、制度)	2				2			30
	公衆衛生学 II (感染症と予防)				3		1		15
	薬学演習 I (物理・化学・生物: 基礎)	2			1				30
	薬学演習 II (物理・化学・生物: 応用)	3			1				30
	薬学演習 III (医療倫理・ヒューマニズム)	3			1				30
	病原微生物学	2				2			30
	コミュニケーション実習	2			1				45
	基礎薬学実習	1				1			45
	薬学概論	1				2			30
	医薬品レギュラトリーサイエンス概論				6	1			15
専門科目	医療データサイエンス概論				4	1			15
	医療データサイエンス演習				6	1			30
	早期体験実習	1			1				45
	分析化学 I (化学平衡と滴定)	1			2				30
	分析化学 II (機器分析)	2			2				30
	分析化学 III (分離分析と臨床分析)	3			2				30
	薬品物理化学 I (物性とエネルギー)	1			2				30
	薬品物理化学 II (平衡と変化)	2			2				30
	放射化学	2			2				30

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
専門教育科目	日本薬局方 I (通則、総則、一般試験法)	3	1	15	
	日本薬局方 II (代表的な医薬品の試験と生産管理)		6 1	15	
	物理系薬学実習	2	1	45	
	有機化学 I (脂肪族化合物1)	1	2	30	
	有機化学 II (脂肪族化合物2)	2	2	30	
	有機化学 III (芳香族化合物)	2	2	30	
	生薬学	2	2	30	
	天然物化学	2	1	15	
	生物有機化学		3 1	15	
	医薬品構造化学 I (コア構造と作用機構)		4 1	15	
	医薬品構造化学 II (代表的医薬品の構造と作用)		6 1	15	
	医薬品構造解析演習	2	1	30	
	化学系薬学実習 I (有機合成)	2	1	45	
	化学系薬学実習 II (天然資源)	2	1	45	
	有機化学演習	1		1	30
	免疫学		3 2	30	
	生化学 I (生体分子)	1	2	30	
	生化学 II (生体エネルギー・代謝)	2	2	30	
	分子生物学	2	2	30	
	細胞生物学	2	1	15	
	解剖生理学 I (外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系)	1	2	30	
	解剖生理学 II (神経系、内分泌系)	2	2	30	
	分子生物学実習		3 1	45	
	免疫微生物学実習		3 1	45	
	基礎統計学	1	1	15	
	疾病と病態生理学 I (内分泌系、神経精神系、循環器系疾患)	2	2	30	
	疾病と病態生理学 II (消化器系、呼吸器系、代謝性疾患)	2	2	30	
	薬理学 I (総論)	2	1	15	
	薬理学 II (末梢神経薬理、中枢神経薬理等)	2	2	30	
	薬理学 III (免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等)	3	2	30	
	薬理学 IV (呼吸器薬理、内分泌薬理等)	3	1	15	
	化学療法学	3	2	30	
	がん薬物療法学	3	2	30	
	ゲノム医療	3	1	15	
	臨床検査医学		4 2	30	
	OTC医薬品概論		3 2	30	
	漢方医学 I (漢方の基礎)	3	2	30	
	漢方医学 II (漢方の応用)		4 1	15	
	医薬品情報学 I (医薬品情報の収集と活用)	3	2	30	
	医薬品情報学 II (EBMと臨床研究)		4 1	15	
	医薬品安全性学		4 2	30	
	薬物治療学 I (神経精神系疾患、内分泌系疾患等)		4 2	30	
	薬物治療学 II (循環器系疾患、呼吸器系疾患等)		4 2	30	
	薬物治療学 III (症例・病態解析)		6 1	30	
	フィジカルアセスメント実習		4 1	45	
	生物系薬学実習	3	1	45	
	物理薬剤学	3	1	15	
	製剤設計とDDS		3 2	30	
	薬物動態学		4 2	30	
	臨床薬物動態学		4 2	30	
	薬剤学実習		3 1	45	
	衛生化学 I (食品・栄養)	2	2	30	
	衛生化学 II (毒性・代謝)	3	2	30	
	環境衛生学		3 2	30	
	衛生系薬学実習		3 1	45	
	臨床薬学 I (調剤の基礎)		3 2	30	
	臨床薬学 II (調剤の実践)		4 2	30	
	臨床薬学 III (薬物療法の実践)		4 2	30	
	臨床薬学 IV (チーム医療・地域医療の実践その前に)		4 1	15	
	医療系薬学実習 I (調剤の基礎と情報収集)		4 1	45	
	医療系薬学実習 II (調剤の実践と服薬指導)		4 1	45	
	医療系薬学実習 III (薬物療法の実践)		4 1	45	
	薬局実務実習		5 6 10	450	
	病院実務実習		5 6 10	450	
	卒業研究		5 6 8	360	
	実務実習事前演習		4 2	60	
	総合薬学演習 I (薬剤師の使命を含む基礎項目の確認)		6 1	30	
	総合薬学演習 II (理解力および問題解決能力の養成)		6 1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	心理学概論	1	2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	30	
	雑談と傾聴	1	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30	
	死生学	1 2 3 4	2	30	
社会系	法学	1	2	30	
	社会学	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4	1	30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4	1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
	経済学	1 2 3 4	2	30	
総合教育	数学	1	2	30	
	医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1	1	30	
	生物学	1 2 3 4	2	30	
	コンピュータの基礎	1 2 3 4	2	30	
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4	1	30	
	生命倫理	1 2 3 4	2	30	
	医学／医療史	1 2 3 4	2	30	
総合系	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1	1	30	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
外国語系	英語講読 I (Primary)	1	1	30	
	英語講読 II (Basic)	1	1	30	
	英語CALL I (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語CALL II (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話 I (Primary)	1	1	30	
	英語会話 II (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	中国語初級 I (基礎)	1 2 3 4	1	30	
	中国語初級 II (応用)	1 2 3 4	1	30	
体育保健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30	
専門教育	公衆衛生学	3	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2	30	
	リスクマネジメント論	1 2 3 4	2	30	
	災害医療論	1 2 3 4	2	30	
	心理学史	1	2	30	
専門基礎	臨床心理学概論	2	2	30	
	知覚・認知心理学	1	2	30	
	学習・言語心理学	1	2	30	
	感情・人格心理学	3	2	30	
	神経・生理心理学	3	2	30	
	人体の構造と機能及び疾病	1	2	30	
	精神疾患とその治療	3	2	30	
	心身医学	3	2	30	
	社会・集団・家族心理学 I (社会・集団)	3	2	30	
	心理学統計法 I (单变量解析講義・データリテラシー)	1	2	30	
	心理学統計法 II (单变量解析演習)	1	1	30	
	心理学実験 I (基礎)	2	1	45	
	心理学実験 II (応用)	2	1	45	
	発達心理学 I (胎児期から青年期)	2	2	30	
	発達心理学 II (成人期から高齢期)	2	2	30	
	心理学研究法 I (量的研究法)	1	2	30	
	心理学研究法 II (質的研究法)	2	2	30	
	障害者・障害児心理学	2	2	30	
	教育・学校心理学	2	2	30	
	心理学入門演習	1	2	60	
	心理学初級演習	2	2	60	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育	公認心理師の職責	3	2		30	
	心理学的支援法	3	2		30	
	心理学中級演習	3	2		60	
	心理学上級演習		4	2	60	
	心理的アセスメントⅠ（講義）	2	2		30	
	心理的アセスメントⅡ（演習）	3	2		60	
	心理演習Ⅰ（人間理解）	3	1		30	
	心理演習Ⅱ（ロールプレイング）	3	1		30	
	心理演習Ⅲ（事例検討）		4	1	30	
	社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）	3	2		30	
	家族援助技法講義	3		2	30	
	家族援助技法演習		4	1	30	
	福祉心理学		4	2	30	
	健康・医療心理学	2	2		30	
	精神保健学		3	2	30	
	産業・組織心理学		4	2	30	
	司法・犯罪心理学	3	2		30	
	心理実習Ⅰ（基礎）	2		1	45	
	心理実習Ⅱ（福祉領域）	3		1	45	
	心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	3		1	45	
	心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	3		1	45	
	心理実習Ⅴ（産業・司法領域）	3		1	45	
	関係行政論		3	2	30	
	メンタルヘルスチェック制度演習	3		1	30	
	メンタルヘルス支援演習		4		1	30
	初級キャリア心理学演習	2		1	30	
	上級キャリア心理学演習		3		1	30

別表1 授業科目の名称及び単位数  
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	心理学概論	1	2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4	2	30	
	雑談と傾聴	1 2 3 4	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30	
	死生学	1 2 3 4	2	30	
社会系	法学	1 2 3 4	2	30	
	社会学	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4	1	30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4	1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
	経済学	1 2 3 4	2	30	
総合教育	数学	1 2 3 4	2	30	
	生物学	1 2 3 4	2	30	
	コンピュータの基礎	1	2	30	
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4	1	30	
	生命倫理	1 2 3 4	2	30	
	医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1	1	30	
	医学／医療史	1 2 3 4	2	30	
総合系	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1	1	30	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
	メディカルマナー入門	1	2	30	
外国語系	英語講読 I (Primary)	1	1	30	
	英語講読 II (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語CALL I (Primary)	1	1	30	
	英語CALL II (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話 I (Primary)	1 2 3 4	1	30	
	英語会話 II (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	中国語初級 I (基礎)	1 2 3 4	1	30	
	中国語初級 II (応用)	1 2 3 4	1	30	
体育保健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30	
専門教育	専門基礎共通	公衆衛生学	3	2	30
		関連職種連携論	2	2	30
		関連職種連携ワーク	3	1	30
		関連職種連携実習	4	1	45
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2	30
		リスクマネジメント論	1 2 3 4	2	30
		災害医療論	1 2 3 4	2	30
	専門基礎	医療概論	1	2	30
		経営学	1	2	30
		会計学	1	2	30
		医療管理総論	1	2	30
		保健医療情報学	2	2	30
		医療福祉関連法規	2	2	30
		医療マネジメント論 I (外部・内部環境分析)	2	2	30

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門教育	人体構造・機能論	1	2	30	
	臨床医学総論	1	2	30	
	医療統計 I(統計理論・データリテラシー)	1	2	30	
	医療統計 II(病院統計・疾病統計)	2	2	30	
	経営学演習	1		1	30
	簿記論 I(初級)	1	2	30	
	簿記論 II(応用)	2		2	30
	簿記演習	2		1	30
	医療財務会計論	2		2	30
	医学・医療用語	1		2	30
	臨床医学各論A(新生生物と消化器・泌尿器系)	1		2	30
	臨床医学各論B(精神・神經・感覺器と皮膚・筋・骨格系)	1		2	30
	臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2		2	30
	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2		2	30
	データ処理 I(初級・データリテラシー)	1	2		30
	データ処理 II(中級)	3		2	30
	データ処理 III(上級)	3		2	30
	ゼミナール I(入門)	1	2		60
	ゼミナール II(基礎)	2	2		60
	ゼミナール III(応用)	3	2		60
	ゼミナール IV(発展)		4	2	60
	診療報酬請求論 I(初級)	2	2		30
	診療報酬請求論 II(中級)	2		2	30
	診療報酬請求論 III(上級)		3	2	30
	医療管理各論 I(病院管理)	2	2		30
	医療管理各論 II(医療保険・介護保険制度)	2	2		30
	医療管理各論 III(医療安全・医療の質管理)	2	2		30
	地域包括ケア論	2		2	30
	医療マネジメント論 II(業務・物流の改善)	2	2		30
	医療マネジメント論 III(パブリック・ヘルス)	3	2		30
	医療マネジメント論 IV(リスクマネジメント)	3	2		30
	人的資源管理論	2		2	30
	診療情報管理 I(法令・諸規則)	2		2	30
	診療情報管理 II(診療情報管理士の実務)	1		2	30
	診療情報管理 III(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	2		2	30
	国際統計分類 I(基礎)	2		2	30
	国際統計分類 II(応用)	3		2	30
	国際統計分類特別講義	3		2	30
	薬学概論	2		2	30
	医療福祉施設実習	3	4		180
	病院施設管理論	3	2		30
	病院管理演習 I(基礎)	3	1		30
	病院管理演習 II(応用)	3	1		30
	経営戦略論	3		2	30
	経営組織論	3		2	30
	医療管理会計論	3		2	30
	経営分析論	3		2	30
	マーケティング論	3	2		30
	病院原価計算論	3		2	30
	社会福祉運営管理論	3		2	30
	地域医療計画論	3		2	30
	医療福祉マーケティング論	3	2		30
	診療情報管理演習 I(基礎科目A)	3		1	45
	診療情報管理演習 II(基礎科目B)	3		1	45
	診療情報管理演習 III(専門科目A)	3		1	45
	診療情報管理演習 IV(専門科目B)	3		1	45
	介護システム論	3		2	30
	ケア・マネジメント論	3		2	30
	保健医療制度論	3		2	30
	医療マネジメント学特別講義 I(基礎)		4	2	30
	医療マネジメント学特別講義 II(応用)		4	2	30

別表1 授業科目の名称及び単位数

小田原保健医療学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
	演劇論	1 2 3 4	1	15	
	心理学	1 2 3 4	2	30	
	哲学	1 2 3 4	2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	歴史学	1 2 3 4	2	30	
	倫理学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	文化人類学	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30	養護教諭一種に必要
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4	2	30	
社会系	法学	1 2 3 4	2	30	養護教諭一種、二種に必要
	法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30	
	社会学	1 2 3 4	2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4	2	30	
	経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4	2	30	
	経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1	30	
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
総合教育	医療関連法規	1		2	30
	統計学	1		2	30
	物理学	1 2 3 4		2	30
	化学	1 2 3 4		2	30
	生物学	1 2 3 4		2	30
	データリテラシー	1		1	30
	データサイエンスとAIの基礎	1		1	30
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30
	医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1		1	30
総合系	医学/医療史	1 2 3 4		2	30
	人間工学	1 2 3 4		2	30
	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1		1	30
	総合講義	1 2 3		1	15
外国語系	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30
	英語A-1（講読基礎）	1		1	30
	英語A-2（講読応用）	1		1	30
	英語B-1（聽解・発話基礎）	1		1	30
	英語B-2（聽解・発話応用）	1		1	30
	英語A-3（講読中級1）	2 3 4		1	30
	英語A-4（講読中級2）	2 3 4		1	30
	英語C-1（英会話初級）	2 3 4		1	30
	英語C-2（英会話中級）	2 3 4		1	30
	資格英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30
	資格英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30
	基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4		1	30
	基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4		1	30
系 体 保 健 健	ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30
	ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30
	中国語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30
	中国語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修	時間 選択	備考
専門基礎（学部共通）	公衆衛生学	1	2	30	
	救急医学	2 3 4	1	15	養護教諭一種に必要
	リハビリテーション概論	1	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	ケアマネジメント論	2	1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4	1	15	
	医療管理学	1 2 3 4	2	30	
	保健医療福祉制度論	1	2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4	2	30	
	臨床心理学概論	1	1	30	
	医療情報学概論	2 3 4	2	30	
	生体情報処理概論	2 3 4	2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4	2	30	
	リスクマネジメント論	1 2 3 4	2	30	
専門基礎	教職入門	1	2	30	
	教育課程論	1 2	2	30	
	道徳教育の理論と実践	2 3	1	15	
	特別活動及び総合的な学習の時間の基礎	2 3	1	15	
	教育方法論	2 3	2	30	
	発達心理学	1 2	1	15	
	特別支援教育概論	1 2	1	15	
	教育相談の基礎と方法	2 3	1	15	
	生徒指導論	2 3	1	15	
	教職実践演習（養護教諭）	4	2	30	
	養護概説	2 3	2	30	
	疫学	2	2	30	
	保健統計学 I（基礎）	2	1	15	
	保健統計学 II（発展）	3	1	15	保健師履修者以外は選択不可
	解剖学 I（運動器系・内臓学・循環器系）	1	1	30	
	解剖学 II（内臓学・神経系）	1	1	30	
専門教育	生理学 I（植物性機能）	1	1	30	
	生理学 II（動物性機能、内分泌）	1	1	30	
	解剖学・生理学演習	2	1	30	
	栄養学	1	1	30	
	微生物学	1	1	30	
	病理学	2	1	30	
	薬理学	2	1	30	
	疾病・治療論 I（呼吸、循環、腎泌尿器系）	2	1	30	
	疾病・治療論 II（消化、代謝・内分泌系）	2	1	30	
	疾病・治療論 III（免疫、脳神経、運動器、精神系）	2	1	30	
	疾病・治療論 IV（感覚器、口腔、皮膚系）	2	1	30	
	疾病・治療論 V（リプロダクティブヘルス、小児）	2	1	30	
	看護英語 I（基礎）	2	1	30	
	看護英語 II（発展）	3	1	30	
	看護学原論	1	1	30	
	看護コミュニケーション論	1	1	15	
専門	看護援助論 I（看護援助の基本）	1	1	30	
	看護援助論 II（生活援助）	1	2	60	
	看護援助論 III（診療援助）	2	2	60	
	看護過程展開論	1	1	30	
	看護過程演習	2	1	30	
	フィールド体験実習	1	1	45	
	フィジカルアセスメント I（基礎）	1	1	30	
	フィジカルアセスメント II（発展）	2	1	15	
	基礎看護学実習 I（基礎）	1	1	45	
	基礎看護学実習 II（発展）	2	2	90	
	リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1	15	
	リプロダクティブヘルス看護学方法論	3	2	60	
	リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1	30	
	リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2	90	
	小児看護学概論	2	1	15	
	小児看護学方法論	3	2	60	
	小児看護学演習	3	1	30	
	小児看護学実習	3	2	90	
	成人看護学概論	2	1	15	
	成人看護学方法論 I（急性期、周手術期看護）	2	2	60	
	成人看護学方法論 II（慢性期看護）	3	2	60	
	成人看護学方法論 III（がん看護、終末期看護）	3	1	30	
	老年看護学概論	2	1	15	
	老年看護学方法論	3	2	60	
	老年看護学演習	3	1	30	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育	成人・老年看護学実習 I (急性期看護)	3	2		90	
	成人・老年看護学実習 II (慢性期看護)	3	2		90	
	成人・老年看護学実習 III (高齢者の理解)	3	1		45	
	成人・老年看護学実習 IV (健康障害のある高齢者の看護)	3	2		90	
	成人・老年看護学実習 V (認知症を有する高齢者の看護)	4	1		45	
	精神看護学概論	2	1		15	
	精神看護学方法論	2	2		60	
	精神看護学演習	3	1		30	
	精神看護学実習	3	2		90	
	地域・在宅看護学概論	2	1		15	
	地域・在宅看護学方法論 I (地域生活の理解)	2	2		60	
	地域・在宅看護学方法論 II (地域療養の支援)	3	2		60	
	地域・在宅看護学演習	4	1		30	
	地域・在宅看護学実習	4	2		90	
	国際看護論	4	1		15	
	災害看護論	3	1		15	
	家族看護論	2		1	15	
	パリアティブケア	3	4		15	
	統合看護演習		4		1	30
	統合技術演習		4		1	30
	看護研究法概説	3		1	15	
	看護研究		4	2	60	
	看護倫理学	2	3	4	15	
	看護管理論	3		1	15	
	看護マネジメント実習		4	1	45	
	統合看護実習		4	2	90	
	公衆衛生看護学実習 I (健康支援)	3		2	90	保健師履修者以外は選択不可
	公衆衛生看護学実習 II (活動の展開)		4		2	
	公衆衛生看護学実習 III (管理)		4		1	
	健康危機管理論		4		15	
	保健医療福祉行政論		4		2	30
	公衆衛生看護学概論	1		2	30	
	健康教育・保健指導論	2		1	30	
	公衆衛生看護学対象別活動論	3		2	30	保健師履修者以外は選択不可 養護教諭一種に必要
	ヘルスアセスメント論	3		1	30	
	公衆衛生看護学方法論 I (基礎)	3		1	30	
	公衆衛生看護学方法論 II (発展)		4		1	30
	産業における看護活動		4		15	保健師履修者以外は選択不可 養護教諭一種の履修者以外は選択不可
	学校における看護活動	3		1	15	
	公衆衛生看護管理論		4		15	
	養護実習		4		150	
	学校看護学実習	3	4		1	45

別表1 授業科目の名称及び単位数

小田原保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称		配当年次		単位数 必修 選択	時間	備 考	
人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
	演劇論	1	2	3	4	1	15
	心理学	1	2	3	4	2	30
	哲学	1	2	3	4	2	30
	コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
	人間学	1	2	3	4	2	30
	歴史学	1	2	3	4	2	30
	倫理学	1	2	3	4	2	30
	宗教学	1	2	3	4	2	30
	日本近現代史	1	2	3	4	2	30
	文化人類学	1	2	3	4	2	30
	教育学	1	2	3	4	2	30
	教育方法論	1	2	3	4	2	30
	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30
社会系	法学	1	2	3	4	2	30
	法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
	社会学	1	2	3	4	2	30
	マスメディア論	1	2	3	4	2	30
	経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1	2	3	4	2	30
	経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1	2	3	4	2	30
	国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
	組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2	3	4		1	30
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2	3	4		1	45
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1			1		30
	ボランティア論	1	2	3	4	2	30
	医療関連法規	1	2	3	4	2	30
総合教育	統計学	1	2	3	4	2	30
	物理学	1	2	3	4	2	30
	化学	1	2	3	4	2	30
	生物学	1	2	3	4	2	30
	データリテラシー	1			1		30
	データサイエンスとAIの基礎	1	2	3		1	30
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2	3	4		1	30
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2	3	4		1	30
	医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1			1		30
	医学/医療史	1	2	3	4	2	30
	人間工学	1	2	3	4	2	30
総合系	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1			1		30
	総合講義	1	2	3		1	15
	医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
	メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
外国語系	英語A-1（講読基礎）	1			1		30
	英語A-2（講読応用）	1			1		30
	英語B-1（聽解・発話基礎）	1			1		30
	英語B-2（聽解・発話応用）	1			1		30
	英語A-3（講読中級1）	2	3	4		1	30
	英語A-4（講読中級2）	2	3	4		1	30
	英語C-1（英会話初級）	2	3	4		1	30
	英語C-2（英会話中級）	2	3	4		1	30
	資格英語1（Primary）	1	2	3	4	1	30
	資格英語2（Basic）	1	2	3	4	1	30
	基礎英文法1（Primary）	1	2	3	4	1	30
	基礎英文法2（Basic）	1	2	3	4	1	30
	ドイツ語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30
	ドイツ語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30
	中国語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30
	中国語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30
系 体 保 健	健康科学理論	1	2	3	4	1	15
	健康科学実践	1	2	3	4	1	30

授業科目の名称		配当年次		単位数 必修	時間	備考
専門基礎（学部共通）	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
	救急医学	1		1	15	
	リハビリテーション概論	1		2	30	
	関連職種連携論	2		2	30	
	関連職種連携ワーク	3		1	30	
	関連職種連携実習		4	1	45	
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
	臨床心理学概論	2		2	30	
	医療情報学概論	2 3 4		2	30	
	生体情報処理概論	2 3 4		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	リスクマネジメント論		3 4	2	30	
	疫学・保健医療統計学	2		2	30	
専門基礎	解剖学 I (運動器系、内臓器系)	1		1	30	
	解剖学 II (内臓器系、神経系)	1		1	30	
	解剖学実習 I (肉眼)	1		1	45	
	解剖学実習 II (組織)	1		1	45	
	生理学 I (植物性機能)	1		1	30	
	生理学 II (動物性機能)	1		1	30	
	生理学実習	1		1	45	
	運動学 I (基礎)	1		1	30	
	運動学 II (応用)	1		1	30	
	運動生理学	1		2	30	
	病理学		2	1	30	
	臨床医学概論		2	1	30	
	内科学 I (基礎)	2		1	30	
	内科学 II (臨床)	2		1	30	
	神経学 I (基礎)	2		1	30	
	神経学 II (臨床)	2		1	30	
	整形外科学 I (基礎)	2		1	30	
	整形外科学 II (臨床)	2		1	30	
専門教育	精神医学 I (総論・各論)	2		1	30	
	精神医学 II (各論)	2		1	30	
	運動学実習 I (基礎)	2		1	45	
	運動学実習 II (応用)	2		1	45	
	人間発達学	2		1	30	
	リハビリテーション医学		3	1	30	
	小児科学		2	1	30	
	老年学	2 3 4		1	30	
	神経心理学概論	2 3 4		2	30	
	臨床薬理学概論	2		1	15	
	スポーツ傷害学	2 3 4		1	15	
	外科学	2 3 4		1	15	
	脳神経外科学	2 3 4		1	30	
	栄養学	2 3 4		1	15	
専門	パルペーション (運動機能)	1		1	15	
	理学療法概論	1		2	30	
	PTスキル I 演習 (課題発表・PBL)	1		1	30	
	PTスキル II 演習 (課題学習・口頭試問)	2		1	30	
	PTスキル III 演習 (課題学習)		3	1	30	
	PTスキル IV 演習 (口頭試問・OSCE・CBT)		3	2	60	
	病態運動学		3	2	30	
	運動解剖学		2	2	30	
	理学療法用語論	1 2 3 4		1	15	
	バイオメカニクス	1 2 3 4		1	15	
	運動心理学	1 2 3 4		1	15	
	スポーツ心理学	1 2 3 4		1	15	
	スポーツ医科学	1 2 3 4		1	15	
	理学療法評価学		2	2	30	
	理学療法診断学 I (基礎)	2		1	30	
	理学療法診断学 II (疾患編)	2		1	30	
	理学療法診断学 III (神経・画像評価学を含む)	2		1	15	
	理学療法診断学 IV (電気診断学)	2 3 4		1	15	
	動作分析学	2 3 4		1	15	
	臨床動作分析学	2 3 4		1	15	
	運動負荷学	2 3 4		1	15	
	理学療法計測法	2		1	15	
	クリニックリーディング	2 3 4		1	15	
	高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
	物理療法学 I (基礎)	1		1	30	
	物理療法学 II (応用)	2		1	30	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育	運動療法学総論	2	1		30	
	癌のリハビリテーション	2 3	1		15	
	呼吸管理	2 3	1		15	
	生活技術学	3	1		30	
	生活環境学	3	1		30	
	義肢学	3	1		30	
	装具学	3	1		30	
	理学療法治療総論	3	1		15	
	運動系理学療法学 I (基礎)	3	1		30	
	運動系理学療法学 II (応用)	3	1		30	
	神経系理学療法学 I (脳血管)	3	1		30	
	神経系理学療法学 II (神経筋)	3	1		30	
	小児理学療法学	3	1		30	
	循環器系理学療法学	3	1		15	
	呼吸器系理学療法学	3	1		15	
	代謝系理学療法学	3	1		15	
	地域理学療法学演習 (在宅・地域)	3	1		30	
	老人理学療法学	2 3 4	1		15	
	急性期理学療法学	2 3 4	1		15	
	スポーツ理学療法学	2 3 4	1		15	
	スポーツ傷害治療学	2 3 4	1		15	
	ヘルスプロモーション論	2 3 4	1		15	
	産科理学療法学	2 3 4	1		15	
	精神科理学療法学	2 3 4	1		15	
	理学療法治療学演習 I (神経筋促通治療学)	2 3 4	1		15	
	理学療法治療学演習 II (神経発達学的治療学)	2 3 4	1		15	
	理学療法治療学演習 III (マニュアルセラピー関節)	2 3 4	1		15	
	理学療法治療学演習 IV (マニュアルセラピー脊柱)	2 3 4	1		15	
	基礎実習	1		1	45	
	検査実習	2		2	90	
	地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
	評価実習	3		4	180	
	総合臨床実習		4	12	540	
	理学療法特論 I (基礎)		4	2	30	
	理学療法特論 II (応用)	2 3 4		2	30	
	理学療法研究法	2 3 4		1	15	
	理学療法教育学	2 3 4		1	15	
	理学療法統計法		4		15	
	理学療法管理学	2		2	30	
	障害者スポーツ概論	2 3 4		1	15	
	ジャーナルリーディング	2 3 4		1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	理学療法国際事情	1 2 3 4		1	15	
	卒業研究		4		4	180

別表1 授業科目の名称及び単位数

小田原保健医療学部 作業療法学科

	授業科目の名称	配当年次	単位数	時間	備 考
			必修		
人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
	演劇論	1 2 3 4	1	15	
	心理学	1 2 3 4	2	30	
	哲学	1 2 3 4	2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4	2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	歴史学	1 2 3 4	2	30	
	倫理学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	文化人類学	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1	2	30	
	教育方法論	1 2 3 4	2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4	2	30	
社会系	法学	1 2 3 4	2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30	
	社会学	1 2 3 4	2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4	2	30	
	経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4	2	30	
	経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1	30	
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1	45	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
	医療関連法規	1 2 3 4	2	30	
総合教育系	統計学	1	2	30	
	物理学	1 2 3 4	2	30	
	化学	1 2 3 4	2	30	
	生物学	1 2 3 4	2	30	
	データリテラシー	1	1	30	
	データサイエンスとAIの基礎	1 2 3	1	30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4	1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4	1	30	
	医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1	1	30	
	医学/医療史	1 2 3 4	2	30	
総合系	人間工学	1 2 3 4	2	30	
	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1	1	30	
	総合講義	1 2 3	1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
外国語系	メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
	英語A-1（講読基礎）	1	1	30	
	英語A-2（講読応用）	1	1	30	
	英語B-1（聽解・発話基礎）	1	1	30	
	英語B-2（聽解・発話応用）	1	1	30	
	英語A-3（講読中級1）	2 3 4	1	30	
	英語A-4（講読中級2）	2 3 4	1	30	
	英語C-1（英会話初級）	2 3 4	1	30	
	英語C-2（英会話中級）	2 3 4	1	30	
	資格英語1（Primary）	1 2 3 4	1	30	
	資格英語2（Basic）	1 2 3 4	1	30	
	基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4	1	30	
	基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4	1	30	
	ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4	1	30	
	ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4	1	30	
系 体 保 健 健	中国語初級1（基礎）	1 2 3 4	1	30	
	中国語初級2（応用）	1 2 3 4	1	30	
	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎（学部共通）	公衆衛生学	1	2	30	
	救急医学	2	1	15	
	リハビリテーション概論	1	2	30	
	関連職種連携論	2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	ケアマネジメント論	2	1	15	
	ケースワーク論	1	1	15	
	医療管理学	1	2	30	
	保健医療福祉制度論	1	2	30	
	社会福祉学	1	2	30	
	臨床心理学概論	1	2	30	
	医療情報学概論	2	2	30	
	生体情報処理概論	2	2	30	
	福祉支援工学概論	1	2	30	
	リスクマネジメント論	3	2	30	
専門基礎	疫学・保健医療統計学	2	2	30	
	解剖学 I (運動器系、循環器系)	1	1	30	
	解剖学 II (内臓器系、神経系、感覺器系)	1	1	30	
	解剖学実習	1	1	45	
	生理学 I (植物性機能)	1	1	30	
	生理学 II (動物性機能)	1	1	30	
	生理学実習	1	1	45	
	運動学 I (基礎)	1	1	30	
	運動学 II (応用)	1	1	30	
	運動学実習	1	1	45	
	運動生理学	2	1	30	
	病理学	2	1	30	
	内科学	2	1	30	
	神経学 I (基礎)	2	1	30	
	神経学 II (臨床)	2	1	30	
	整形外科学 I (基礎)	2	1	30	
専門教育	整形外科学 II (臨床)	2	1	30	
	精神医学 I (基礎)	2	1	30	
	精神医学 II (臨床)	2	1	30	
	小児科学	2	1	30	
	老年学	2	1	30	
	リハビリテーション医学	3	1	30	
	人間発達学	2	1	30	
	臨床薬理学概論	2	1	15	
	栄養学	2	1	15	
	外科学	2	1	15	
	脳神経外科学	2	1	30	
	神経心理学概論	2	1	30	
	レクリエーション概論	3	1	15	
	対人援助論	2	1	15	
専門	専門英語	3	1	30	
	作業療法概論	1	1	15	
	作業学概論	1	1	15	
	作業工程技術学・基礎論	1	1	30	
	作業工程技術学・応用論	3	1	30	
	作業分析学 I (基礎)	2	1	30	
	作業分析学 II (応用)	2	1	30	
	作業応用論	3	1	30	
	研究法概論	3	1	15	
	研究法演習	3	1	30	
	卒業研究	4	1	30	
	作業療法倫理・管理	4	2	30	
	作業療法評価学概論	2	1	30	
	作業療法評価学各論	2	1	30	
	作業療法評価学演習	2	1	30	
	基礎運動機能評価法	2	1	30	
	上肢機能評価法	2	1	15	
	日常生活活動評価法	2	1	15	
	認知機能評価法	3	1	15	
	作業療法諸理論	4	1	15	
	作業療法適用学概論	3	1	15	
	内科系疾患作業療法学	3	1	30	
	運動器疾患作業療法学	3	1	30	
	中枢神経疾患作業療法学 I (総論)	3	1	30	
	中枢神経疾患作業療法学 II (各論)	3	1	30	
	精神疾患作業療法学 I (総論)	3	1	30	
	精神疾患作業療法学 II (各論)	3	1	30	
	小児作業療法学 I (総論)	3	1	30	
	小児作業療法学 II (各論)	3	1	30	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
専門教育	専門		必修	選択		
	老年作業療法学	3	1		30	
	認知障害作業療法学	3	1		30	
	作業療法適用学特論	4	1	15		
	作業療法応用学概論	3	1	15		
	就学・就労支援論	3	1	15		
	生活技術学Ⅰ（総論）	2	1	30		
	生活技術学Ⅱ（各論）	3	1	30		
	コミュニケーション技術論	2	1	30		
	職業関連技術学	3	1	30		
	作業療法の諸外国事情	3	1	15		
	地域生活作業療法論	3	1	30		
	地域ケアシステム論	3	1	15		
	障害代償学概論	3	1	30		
	義肢適用論	3	1	15		
	装具・副子適用論	3	1	30		
	自助具・福祉機器適用論	3	1	30		
	住環境整備論	3	1	30		
	バリアフリー論	3	1	15		
	臨床実習特論	3	1	15		
	作業療法総括論	4	1	30		
	基礎実習	1	1	45		
	検査実習	2	2	90		
	評価実習	3	5	225		
	総合実習Ⅰ（基礎的介入）	4	7	315		
	総合実習Ⅱ（応用的介入）	4	7	315		
	地域リハビリテーション実習	3	4	1	45	
	臨床実習ゼミⅠ（作業療法計画立案）	3		1	15	
	臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践）	3		1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
留学生用日本語科目(小田原保健医療学部)

授業科目の名称		配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育	外国語系	1 2 3 4						
		日本語 I -A(作文)	1	2	3	4	1	30
		日本語 I -B(文法・語彙)	1	2	3	4	1	30
		日本語 II -A(作文)	1	2	3	4	1	30
		日本語 II -B(文法・語彙)	1	2	3	4	1	30
		日本語 II -C(発表討論)	1	2	3	4	1	30
		日本語 II -D(専門日本語)	1	2	3	4	1	30
		日本語 III -A(作文)	1	2	3	4	1	30
		日本語 III -B(文法・語彙)	1	2	3	4	1	30
		日本語 III -C(発表討論)	1	2	3	4	1	30
		日本語 III -D(専門日本語)	1	2	3	4	1	30

別表1 授業科目の名称及び単位数  
福岡保健医療学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
	死生学－死を通して生を考える	1 2 3 4	2	30	
	演劇論	1 2 3 4	1	15	
	心理学	1 2 3 4	2	30	
	哲学	1 2 3 4	2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	30	
	雑談と傾聴～話す力と訊く力～	1 2 3 4	2	30	
	人間学	1 2 3 4	2	30	
	倫理学	1 2 3 4	2	30	
	宗教学	1 2 3 4	2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
	文化人類学	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30	
	経済の仕組み	1 2 3 4	2	30	
社会科学系	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4	1	30	
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4	1	45	
	社会学	1 2 3 4	2	30	
	国際関係論	1 2 3 4	2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
	法学	1 2 3 4	2	30	
	日本国憲法	1 2 3 4	2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	手話入門	1 2 3 4	2	30	
総合教育科目	医療関連法規	1	2	30	
	物理学	1 2 3 4	2	30	
	情報処理 I (基礎)	1	1	30	
	情報処理 II (応用)	1 2 3 4	1	30	
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1	30	
	医学/医療史	1 2 3 4	2	30	
	生物学	1 2 3 4	2	30	
	化学	1 2 3 4	2	30	
	人間工学	1 2 3 4	2	30	
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1	30	
総合系	メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
	郷土論-大川学	1 2 3 4	1	15	
	英語講読1 (Primary)	1	1	30	
外国語系	英語講読2 (Basic)	1	1	30	
	英語CALL1 (Primary)	1	1	30	
	英語CALL2 (Basic)	1	1	30	
	英会話	1 2 3 4	1	30	
	実用英会話	2 3 4	1	30	
	中国語	1 2 3 4	2	60	
	実用中国語会話	2 3 4	1	30	
	韓国語	1 2 3 4	2	60	
	実用韓国語会話	2 3 4	1	30	
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
体育系	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門基礎科目	公衆衛生学	1	2		30	
	救急医学	2 3 4	1	15		
	微生物と病気	1	2	30		
	生化学	1 2 3 4	2	30		
	リハビリテーション概論	3 4	2	30		
	保健医療福祉制度論	1	2	30		
	保健医療福祉行政論	2	1	15		
	保健統計学	2	2	30		
	疫学	3	2	30		
	ケアマネジメント論	2 3 4	1	15		
	ケースワーク論	1 2 3 4	1	15		
	医療管理学	1 2 3 4	2	30		
	社会福祉学	1 2 3 4	2	30		
	リスクマネジメント論	2 3 4	2	30		
	臨床心理学概論	2 3 4	2	30		
	医療情報学概論	2 3 4	2	30		
	国際医療保健学	1 2 3 4	1	15		
	関連職種連携論	2	2	30		
	関連職種連携ワーク	3	1	30		
	関連職種連携実習	4	1	45		
	からだの構造	1	2	30		
	からだの機能	1	2	30		
	臨床薬理学	2	2	30		
	栄養と健康	2	1	15		
	遺伝と医療	1	1	15		
	放射線科学概論	1 2 3 4	1	15		
	疾病の成り立ち(病理学)	1	1	30		
	疾病・治療論I(呼吸、循環、腎泌尿器系)	1	1	30		
	疾病・治療論II(消化、代謝・内分泌系)	1	1	30		
	疾病・治療論III(免疫、脳神経、運動器、精神系)	2	1	30		
	疾病・治療論IV(感覚器、口腔、皮膚系)	2	1	30		
	疾病・治療論V(リプロダクティブヘルス、小児)	2	1	30		

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門教育科目	看護学概論	1	2	30	
	看護理論	1	1	15	
	看護コミュニケーション	1	1	15	
	看護技術論 I (共通基本技術)	1	1	30	
	看護技術論 II (日常生活援助技術)	1	2	60	
	看護技術論 III (医療支援技術)	2	1	30	
	看護過程展開論	2	1	30	
	フィジカルアセスメント I (概論・基本技術・問診・呼吸器系・循環器系)	1	1	30	
	フィジカルアセスメント II (運動器系・消化器系・乳房・中枢神経系・感覺器系)	2	1	30	
	基礎看護学実習 I (生活支援)	1	1	45	
	基礎看護学実習 II (看護過程)	2	2	90	
	地域・在宅看護論 I (地域での暮らしと健康)	1	1	15	
	地域・在宅看護論 II (地域での療養支援)	2	2	30	
	地域・在宅看護方法論	3	2	30	
	地域・在宅看護論演習	3	1	30	
	地域・在宅看護論実習 I (対象理解)	1	1	45	
	地域・在宅看護論実習 II (地域療養支援)	3	2	90	
	地域・在宅看護論実習 III (継続看護)	4	1	45	
	成人看護学概論	2	2	30	
	成人看護学方法論 I (急性期・回復期)	3	2	45	
	成人看護学方法論 II (慢性期・終末期)	2	2	45	
	老年看護学概論	2	1	15	
	老年看護学方法論	2	2	30	
	老年看護学演習	3	1	30	
	成人・老年看護学実習 I (急性期・回復期)	3	3	135	
	成人・老年看護学実習 II (慢性期・終末期)	3	3	135	
	成人・老年看護学実習 III (高齢者施設)	3	1	45	
	小児看護学概論	1	1	15	
	小児看護学方法論	2	2	30	
	小児看護学演習	3	1	30	
	小児看護学実習 I (保育所)	1	1	45	
	小児看護学実習 II (病棟)	3	1	45	
	リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1	15	
	リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2	30	
	リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1	30	
	リプロダクティブヘルス看護学実習 I (地域育児支援)	3	1	45	
	リプロダクティブヘルス看護学実習 II (病棟)	3	1	45	
	精神看護学概論	2	1	15	
	精神看護学方法論	3	2	30	
	精神看護学演習	3	1	30	
	精神看護学実習	3	2	90	
	感染看護論	2	1	15	
	国際看護論	4	1	15	
	看護管理論	4	1	15	
	看護倫理学	2	1	15	
	看護教育学	4	1	15	
	家族看護論	2	1	15	
	災害看護論	4	2	30	
	看護学特論	4	1	15	
	看護研究 I (研究方法)	3	2	30	
	看護研究 II (卒業論文)	4	2	60	
	看護統合実習	4	3	135	
	公衆衛生看護学概論	2	2	30	
	公衆衛生看護活動対象論 I (母子・成人・高齢者保健)	3	2	30	
	公衆衛生看護活動対象論 II (難病・精神・障害等保健活動)	3	2	30	
	公衆衛生看護活動方法論 I (家庭訪問・健康診査等)	4	1	30	
	公衆衛生看護活動方法論 II (地区踏査・地域診断)	4	1	30	
	公衆衛生看護活動展開論	4	2	30	
	産業保健	2		1	15
	学校保健	2		1	15
	健康教育・保健指導論	2		2	30
	公衆衛生看護管理論		4	1	15
	公衆衛生看護学実習 I (行政保健)		4	4	180
	公衆衛生看護学実習 II (産業保健)		4	1	45

別表1 授業科目の名称及び単位数  
福岡保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修	時間 選択	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30
	演劇論	1 2 3 4		1	15
	心理学	1 2 3 4		2	30
	哲学	1 2 3 4		2	30
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30
	人間学	1 2 3 4		2	30
	倫理学	1 2 3 4		2	30
	宗教学	1 2 3 4		2	30
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30
	文化人類学	1 2 3 4		2	30
	教育学	1		2	30
	教育方法論		3 4	2	30
社会系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30
	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4	1		30
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4	1		45
	社会学	1 2 3 4		2	30
	国際関係論	1 2 3 4		2	30
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30
	日本国憲法	1 2 3 4		2	30
	法学	1 2 3 4		2	30
総合教育	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30
	統計学		2	2	30
	物理学	1 2 3 4		2	30
	データリテラシー	1		1	30
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4		1	30
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4		1	30
	医学／医療史	1 2 3 4		2	30
	数学	1 2 3 4		2	30
	生物学	1 2 3 4		2	30
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15
	郷土論-大川学	1 2 3 4		1	15
外国語系	医学英語 I (入門)	1		1	30
	医学英語 II (応用)	1		1	30
	英会話	1		1	30
	中国語 ※1	1 2 3 4		2	60
	韓国語 ※1	1 2 3 4		2	60
	実用英会話 ※2	2		1	30
	実用中国語会話 ※2	2		1	30
	実用韓国語会話 ※2	2		1	30
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15

授業科目の名称		配当年次		単位数 必修	時間	備考	
専門基礎	公衆衛生学	1	2	3	4	2	30
	保健医療福祉制度論	1	2	3	4	2	30
	ケアマネジメント論	1	2	3	4	1	15
	リスクマネジメント論			3	4	2	30
	関連職種連携実習				4	1	45
	リハビリテーション概論	1			2		30
	臨床心理学概論		2		2		30
	救急医学		2		1		15
	関連職種連携論		2		2		30
	関連職種連携ワーク		3		1		30
	解剖学 I (循環器系、消化器系、呼吸器系)	1		1		30	
	解剖学 II (神経系、内分泌系、生殖器系)	1		1		30	
	解剖学実習 I (肉眼)	1		1		45	
	解剖学実習 II (組織)	1		1		45	
	生理学 I (植物性機能)	1		1		30	
	生理学 II (動物性機能)	1		1		30	
	生理学実習	1		1		45	
	病理学		2		1		30
	臨床医学概論	1		1		30	
	内科学 I (基礎)	2		1		30	
	内科学 II (臨床)	2		1		30	
	神経学 I (基礎)	2		1		30	
	神経学 II (臨床)	2		1		30	
	整形外科学 I (基礎)	2		1		30	
	整形外科学 II (臨床)	2		1		30	
	精神医学 I (総論・各論)	2		1		30	
	精神医学 II (各論)	2	3		1	30	
	リハビリテーション医学	1		1		30	
	小児科学	2		1		30	
	老年学	2		1		30	
	臨床薬理学概論	1		1		15	
	栄養学	1	2	3	4	1	15
	人間発達学	1		1		30	
	カウンセリング論	1	2	3	4	1	15
	運動学 I (基礎)	1		1		30	
	運動学 II (応用)	1		1		30	
	運動生理学	1		2		30	
	運動学演習 I (基礎)	2		1		30	
	運動学演習 II (応用)	2		1		30	
専門	理学療法概論	1		2		30	
	PTスキル I 演習	1		1		30	
	PTスキル II 演習		2		1		30
	PTスキル III 演習		3		2		60
	PTスキル IV 演習		4		1		30
	病態運動学		3		2		30
	運動解剖学	1		2		30	
	理学療法用語論	1		1		15	

授業科目的名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育	バイオメカニクス	1	1		15	
	理学療法評価学	1	1		30	
	理学療法診断学 I (基礎)	2	2		60	
	理学療法診断学 II (疾患編)	2	1		30	
	理学療法診断学 III (神経・画像評価学を含む)	2	2		30	
	理学療法診断学 IV (電気診断学)	2 3 4		1	15	
	高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
	物理療法学 I (基礎)	2	1		30	
	物理療法学 II (応用)	2	1		30	
	運動療法学総論	2	1		30	
	生活技術学	2	1		30	
	生活環境学	2	1		30	
	義肢学	2	1		30	
	装具学	2	1		30	
	理学療法治療総論	3	1		15	
	運動系理学療法学 I (基礎)	3	1		30	
	運動系理学療法学 II (応用)	3	1		30	
	神経系理学療法学 I (脳血管)	3	1		30	
	神経系理学療法学 II (神経筋)	3	1		30	
	小児理学療法学	2	1		30	
	呼吸器系理学療法学	3	2		30	
	循環器系理学療法学	3	1		15	
	代謝系理学療法学	3	1		15	
	地域理学療法学演習 (在宅・地域)	3	2		30	
	老人理学療法学	2	1		15	
	スポーツ理学療法学	3 4		1	15	
	障害者スポーツ I (入門)	1 2 3 4		1	15	
	障害者スポーツ II (応用)	3 4		1	45	
	癒のリハビリテーション	2 3 4		1	15	
	福祉住環境論	2 3		1	15	
	理学療法技術学	3 4		1	30	
	理学療法特論 I (基礎)	4	1		30	
	理学療法特論 II (総合)	4	2		30	
	理学療法管理学	3	2		30	
	卒業研究		4		4	120
	基礎実習	1	1		45	
	検査実習	2 3	1		45	
	評価実習	3	1		45	
	地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
	臨床実習 I (入門)	3 4	8		360	
	臨床実習 II (応用)		4	8		360

別表1 授業科目の名称及び単位数  
福岡保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修	時間 選択	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30
	演劇論	1 2 3 4		1	15
	心理学	1 2 3 4		2	30
	哲学	1 2 3 4		2	30
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30
	人間学	1 2 3 4		2	30
	倫理学	1 2 3 4		2	30
	宗教学	1 2 3 4		2	30
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30
	文化人類学	1 2 3 4		2	30
	教育学	1 2 3 4		2	30
	教育方法論		3 4		2 30
社会系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30
	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4	1		30
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4	1		45
	社会学	1 2 3 4		2	30
	国際関係論	1 2 3 4		2	30
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30
	日本国憲法	1 2 3 4		2	30
	法学	1 2 3 4		2	30
総合教育	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30
	統計学		2	2	30
	物理学	1 2 3 4		2	30
	データリテラシー	1		1	30
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4		1	30
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4		1	30
	医学／医療史	1 2 3 4		2	30
	数学	1 2 3 4		2	30
	生物学	1 2 3 4		2	30
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15
	郷土論-大川学	1 2 3 4		1	15
外国語系	医学英語 I (入門)	1		1	30
	医学英語 II (応用)	1		1	30
	英会話	1		1	30
	中国語 ※1	1 2 3 4		2	60
	韓国語 ※1	1 2 3 4		2	60
	実用英会話 ※2	2		1	30
	実用中国語会話 ※2	2		1	30
	実用韓国語会話 ※2	2		1	30
	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
専門基礎科目	公衆衛生学	1	2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2	30	
	ケアマネジメント論	1 2 3 4	1	15	
	リスクマネジメント論	3 4	2	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	リハビリテーション概論	1	2	30	
	臨床心理学概論	2	2	30	
	救急医学	2	1	15	
	関連職種連携論	2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	解剖学 I (循環器系、消化器系、呼吸器系)	1	1	30	
	解剖学 II (神経系、内分泌系、生殖器系)	1	1	30	
	解剖学実習	1	1	45	
	生理学 I (植物性機能)	1	1	30	
	生理学 II (動物性機能)	1	1	30	
	生理学実習	1	1	45	
	病理学	1	1	30	
	臨床医学概論	1 2 3 4	1	30	
	内科学 I (基礎)	2	1	30	
	内科学 II (臨床)	2 3	1	30	
	神経学 I (基礎)	2	1	30	
	神経学 II (臨床)	2	1	30	
	整形外科学 I (基礎)	2	1	30	
	整形外科学 II (臨床)	2	1	30	
	精神医学 I (基礎)	2	1	30	
	精神医学 II (臨床)	2	1	30	
	リハビリテーション医学	1	1	30	
	小児科学	2	1	30	
	老年学	2	1	30	
	臨床薬理学概論	1	1	15	
	栄養学	1 2 3 4	1	15	
	人間発達学	1	1	30	
	カウンセリング論	1 2 3 4	1	15	
	運動学 I (基礎)	1	1	30	
	運動学 II (応用)	1	1	30	
	運動生理学	2	1	30	
	運動学実習	2	1	45	
専門科目	作業療法概論	1	1	15	
	作業学概論	1	1	15	
	作業工芸技術学	1	1	45	
	作業分析学	2	1	45	
	作業応用論	2 3 4	1	30	
	研究法概論	3	1	15	
	研究法演習	3	1	30	
	卒業研究	4	4	120	
専門科目	作業療法管理学	4	1	15	
	作業療法教育学	3	1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育科目	作業療法評価学概論	2	1		15	
	作業療法評価学各論	2	1		30	
	作業療法評価学演習	2	1		30	
	基礎運動機能評価法	2	1		30	
	生活機能評価法	2	1		30	
	上肢機能評価法	2	1		15	
	高次脳機能評価法	2	1		15	
	作業療法諸理論	2 3 4		1	15	
	作業療法適用学概論	2	1		15	
	内科系疾患作業療法学	3	1		30	
	運動器疾患作業療法学	3	1		30	
	中枢神経疾患作業療法学 I (総論)	3	1		30	
	中枢神経疾患作業療法学 II (各論)	3	1		30	
	中枢神経疾患作業療法学 III (特論)	3 4		1	15	
	精神疾患作業療法学 I (総論)	3	1		30	
	精神疾患作業療法学 II (各論)	3	1		30	
	精神疾患作業療法学 III (特論)	3 4		1	15	
	小児作業療法学 I (総論)	3	1		30	
	小児作業療法学 II (各論)	3	1		30	
	小児作業療法学 III (特論)	3 4		1	15	
	老年作業療法学	3	1		30	
	認知障害作業療法学	3	1		30	
	作業療法応用学概論		4 1		15	
	就学・就労支援論		3	1	15	
	生活技術学 I (総論)	3	1		30	
	生活技術学 II (各論)	3	1		30	
	コミュニケーション技術論		3	1	30	
	職業関連技術学		3 4		1	15
	地域生活作業療法論		3	1		15
	地域ケアシステム論		3	1		15
	地域生活支援論		3	1		15
	地域生活支援演習		3	1		30
	障害代償学概論		2	1		15
	義肢適用論		3	1		15
	装具・副子適用論		3	1		30
	自助具・福祉機器適用論		3	1		30
	住環境整備論		3	1		15
	バリアフリー論		2 3		1	15
	作業療法総括論			4 1		30
	基礎実習		1		1	45
	検査実習		2		1	45
	地域作業療法実習		3		1	45
	評価実習		3		3	135
	総合実習			4	18	810
						臨床実習
						臨床実習
						臨床実習
						臨床実習

別表1 授業科目の名称及び単位数  
福岡保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称		配当年次	単位数 必修	時間 選択	備 考
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30
	演劇論	1 2 3 4		1	15
	心理学	1 2 3 4		2	30
	哲学	1 2 3 4		2	30
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30
	人間学	1 2 3 4		2	30
	倫理学	1 2 3 4		2	30
	宗教学	1 2 3 4		2	30
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30
	文化人類学	1 2 3 4		2	30
	教育学	1 2 3 4		2	30
	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30
社会系	海外保健福祉事情 I (講義)	2 3 4	1		30
	海外保健福祉事情 II (実習)	2 3 4	1		45
	社会学	1 2 3 4		2	30
	国際関係論	1 2 3 4		2	30
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30
	日本国憲法	1 2 3 4		2	30
	法学	1 2 3 4		2	30
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30
総合教育科目	統計学	2		2	30
	物理学	1 2 3 4		2	30
	データリテラシー	1		1	30
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2 3 4		1	30
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2 3 4		1	30
	医学／医療史	1 2 3 4		2	30
	数学	1 2 3 4		2	30
	基礎生物学	1		2	30
	基礎化学	1		1	30
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15
	郷土論-大川学	1 2 3 4		1	15
外国語系	医学英語 I (入門)	1		1	30
	医学英語 II (応用)	1		1	30
	英会話	1		1	30
	中国語 ※3	1 2 3 4		2	60
	韓国語 ※3	1 2 3 4		2	60
	実用英会話 ※4	2		1	30
	実用中国語会話 ※4	2		1	30
	実用韓国語会話 ※4	2		1	30
体育系	資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
	資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
体保健	健康科学理論 ※5	1 2 3 4		1	15
	健康科学実践 ※5	1 2 3 4		1	30

授業科目的名称		配当年次	単位数 必修 選択	時間	備考
専門基礎科目	保健医療福祉制度論	1	2	30	
	公衆衛生学	2	1	30	
	臨床心理学概論	1 2 3 4	2	30	
	リスクマネジメント論	2 3 4	2	30	
	救急医学	1 2 3 4	1	15	
	関連職種連携論	2	2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1	30	
	関連職種連携実習	4	1	45	
	解剖学 I (総論)	1	1	30	
	解剖学 II (各論)	1	1	30	
	解剖組織学実習	1	1	45	
	食品栄養学	4	2	30	
	生理学	1	1	30	
	病理学	1	1	30	
	臨床医学概論	1	1	30	
	内科学	2	2	30	
	臨床神経学	2	1	30	
	薬理学	1 2 3 4	1	15	
	遺伝学	1	1	30	
	分析化学	1	1	30	
	生化学	1	1	30	
	生化学実習	1	1	45	
	医用工学・情報概論	1	1	30	
	医用工学・情報実習	2	1	45	
	検査機器学・情報システム学総論	3	2	30	
専門教育科目	保健機能食品学	4	1	30	
	食の安全管理学	3	1	30	
	病理検査学	2	2	30	
	病理検査学実習 I (基礎)	2	1	45	
	病理検査学実習 II (応用)	3	1	45	
	細胞診断検査学	2	2	30	
	細胞検査学実習	2	1	45	
	血液検査学 I (基礎)	1	2	30	
	血液検査学 II (臨床)	2	2	30	
	血液検査学実習 I (形態検査)	2	1	45	
	血液検査学実習 II (分析検査)	2	1	45	
	一般検査学 I (分析)	1	2	30	
	一般検査学 II (形態)	2	2	30	
	一般検査学実習 I (分析)	2	1	45	
	一般検査学実習 II (形態)	2	1	45	
	臨床化学検査学 I (総論)	2	2	30	
	臨床化学検査学 II (各論)	2	2	30	
	臨床化学検査学実習	3	1	45	
	遺伝子検査学	2	2	30	
	遺伝子検査学実習	3	1	45	
	分子病態検査学演習	3	1	30	
	微生物検査学 I (総論)	1	2	30	
	微生物検査学 II (各論)	1	2	30	
	微生物学実習 I (基礎)	2	1	45	
	微生物学実習 II (応用)	2	1	45	
	医動物検査学演習	3	1	30	
専門科目	免疫検査学	2	2	30	
	輸血検査学	2	2	30	
	免疫検査学実習	2	1	45	
	輸血検査学実習	3	1	45	
	生理検査学 I (総論)	1	2	30	
	生理検査学 II (各論)	2	2	30	
	生理検査学実習 I (基礎)	2	1	45	
	生理検査学実習 II (応用)	2	1	45	
	超音波画像検査学	3	2	30	
	超音波検査学実習	3	1	45	
	検査学入門	1	1	30	
	精度管理学	3	2	30	
	検査管理運営学	4	2	30	
	臨床検査統計学	3	2	30	
	臨床検査医学総論	3	2	30	
	医療安全管理学	4	1	15	
	医学検査特論 I (応用)	4	2	60	
	医学検査特論 II (発展)	4	1	30	
	臨地実習	3	12	360	
	総合病態学演習	3	2	60	
	卒業研究	4	4	120	
	移植検査学	3	1	15	
	シミュレーション医学検査演習	2	1	30	
	先端臨床検査学	4	1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数

福岡薬学部薬学科

		授業科目の名称	配当年次						単位数			時間	備 考
			必修			選択		自由					
人間系	人間系	文学論	1	2	3	4	5	6	2		30		
		演劇論	1	2	3	4	5	6	1		15		
		心理学	1						2		30		
		哲学	1	2	3	4	5	6		2	30		
		コミュニケーション概論	1						2		30		
		雑談と傾聴～話す力と聞く力～	1	2	3	4	5	6	2		30		
		人間学	1	2	3	4	5	6	2		30		
		倫理学	1	2	3	4	5	6	2		30		
		宗教学	1	2	3	4	5	6	2		30		
		日本近現代史	1	2	3	4	5	6	2		30		
		文化人類学	1	2	3	4	5	6	2		30		
		教育学	1	2	3	4	5	6	2		30		
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	5	6	2		30		
		法学	1						2		30		
社会系	社会系	日本国憲法	1	2	3	4	5	6	2		30		
		社会学	1	2	3	4	5	6	2		30		
		国際関係論	1	2	3	4	5	6	2		30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4	5	6	2		30		
		組織運営管理論	1	2	3	4	5	6	2		30		
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2						1		30		
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2						1		45		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1						1		30		
		ボランティア論	1	2	3	4	5	6	2		30		
		経済の仕組み	1	2	3	4	5	6	2		30		
総合教育科目	自然・情報系	数学	1						2		30		
		物理学	1	2	3	4	5	6	2		30		
		化学	1						2		30		
		生物学	1						2		30		
		データリテラシー	1						1		30		
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2	3	4	5	6		1		30		
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2	3	4	5	6		1		30		
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1						1		30		
		医学／医療史	1	2	3	4	5	6	2		30		
		大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1						1		30		
外国語系	総合系	郷土論～大川学～	1	2	3	4	5	6	1		15		
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	5	6	1		15		
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	5	6	2		30		
		英語講読1（Primary）	1						1		30		
		英語講読2（Basic）	2						1		30		
		英語CALL1（Primary）	1						1		30		
		英語CALL2（Basic）	2						1		30		
		英会話	1	2	3	4	5	6	1		30		
		実用英会話	2	3	4	5	6		1		30		
		医学英語Ⅰ（入門）	1	2	3	4	5	6	1		30		
外国語系	留学生用日本語科目	医学英語Ⅱ（応用）	1	2	3	4	5	6	1		30		
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4	5	6	1		30		
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4	5	6	1		30		
		中国語	1	2	3	4	5	6	2		60		
		実用中国語会話	2	3	4	5	6		1		30		
		韓国語	1	2	3	4	5	6	2		60		
		実用韓国語会話	2	3	4	5	6		1		30		
		作文・読解Ⅰ（入門）	1	2	3	4	5	6	1		30		
		作文・読解Ⅱ（応用）	1						1		30	留学生は必修	
		作文・読解Ⅲ（完成）	1	2	3	4	5	6	1		30		
外国語系	留学生用日本語科目	文法・語彙Ⅰ（入門）	1	2	3	4	5	6	1		30		
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1						1		30	留学生は必修	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1	2	3	4	5	6	1		30		
		発表・討論Ⅰ（応用）	1						1		30	留学生は必修	
		発表・討論Ⅱ（完成）	1	2	3	4	5	6	1		30		
		医療福祉専門漢字	1						1		30	留学生は必修	
		医療福祉専門語彙	1						1		30	留学生は必修	
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1	2	3	4	5	6		1	30		
		健康科学理論	1	2	3	4	5	6	1		15		
系 体 保 健	系 体 保 健	健康科学実践	1	2	3	4	5	6	1		30		

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備考
学部共通			必修	選択	自由			
	救急医学(救命救急を含む)		2	3		1	15	
	リハビリテーション概論		1	2	3	4	5	6
	微生物と病気		1	2	3	4	5	6
	関連職種連携論		2			2		30
	ケアマネジメント論		2	3	4	5	6	
	保健医療福祉制度論		1	2	3	4	5	6
	臨床心理学概論		1			2		30
	関連職種連携ワーク		3		1		30	
	関連職種連携実習				5		1	45
薬学科	リスクマネジメント論		3	4	5	6		2
	医療関連法規 I (医薬品全般に関わる法律)		3		1		15	
	医療関連法規 II (医薬品開発と薬害に関する法律の理解)			4	1		15	
	薬学演習 I (物理・化学・生物:基礎)		2		1		30	
	薬学演習 II (物理・化学・生物:応用)		3		1		30	
	薬学演習 III (医療倫理・ヒューマニズム)		3		1		30	
	薬学計算		2			1		30
	病原微生物学		2		2		30	
	コミュニケーション実習		2		1		45	
	基礎薬学実習		1		1		45	
専門科目	公衆衛生学 I (保健統計、疫学、制度)		2		2		30	
	公衆衛生学 II (感染症と予防)			3	1		15	
	薬学概論		1		2		30	
	基礎統計学		1		1		15	
	有機化学 I (脂肪族化合物1)		1		2		30	
	有機化学 II (脂肪族化合物2)		2		2		30	
	有機化学 III (芳香族化合物)		2		2		30	
	生物有機化学		3		1		15	
	生薬学		2		2		30	
	天然物化学		2		1		15	
	医薬品構造化学 I (コア構造と作用機構)			4	1		15	
	医薬品構造化学 II (代表的医薬品の構造と作用)			6	1		15	
	医薬品構造解析演習			2		1		30
	有機化学演習		1			1		30
	分析化学 I (化学平衡と滴定)		1		2		30	
	分析化学 II (機器分析)		2		2		30	
	分析化学 III (分離分析と臨床分析)			3	2		30	
	薬品物理化学 I (物性とエネルギー)		1		2		30	
	薬品物理化学 II (平衡と変化)		2		2		30	
	放射化学		2		2		30	
	生化学 I (生体分子)		1		2		30	
	生化学 II (生体エネルギー・代謝)		2		2		30	
	分子生物学		2		2		30	
	細胞生物学		2		1		15	
	解剖生理学 I (器官系概論、神経系等)		1		2		30	
	解剖生理学 II (循環器系、消化器系等)		2		2		30	
	がん薬物療法学			3	2		30	
	ゲノム医療		3		1		15	
	化学療法学		3		2		30	
	免疫学			3	2		30	
	疾病と病態生理学 I (神経精神系疾患、循環器系疾患等)		2		2		30	
	疾病と病態生理学 II (代謝系疾患、消化器系疾患等)		2		2		30	
	薬理学 I (総論)		2		1		15	
	薬理学 II (末梢神経薬理、中枢神経薬理等)		2		2		30	
	薬理学 III (免疫・炎症薬理、循環器薬理等)		3		2		30	
	薬理学 IV (呼吸器薬理、内分泌薬理等)		3		1		15	
	医薬品安全性学			4	2		30	
	臨床検査医学			4	2		30	
	薬物治療学 I (神経精神系疾患、内分泌系疾患等)		4		2		30	
	薬物治療学 II (循環器系疾患、呼吸器系疾患等)		4		2		30	
	薬物治療学 III (症例・病態解析)			6	1		30	
	物理薬剤学		3		1		15	
	製剤設計とDDS		3		2		30	
	臨床薬学 I (調剤の基礎)		3		2		30	
	臨床薬学 II (調剤の実践)			4	2		30	
	臨床薬学 III (薬物療法の実践)			4	2		30	
	臨床薬学 IV (チーム医療・地域医療の実践その前に)		4	5	1		15	
	薬物動態学		3		2		30	
	臨床薬物動態学			4	2		30	
	医薬品情報学 I (医薬品情報の収集と活用)		3		2		30	
	医薬品情報学 II (EBMと臨床研究)			4	1		15	
	衛生化学 I (食品・栄養)		2		2		30	

授業科目の名称		配当年次	単位数			時間	備考
			必修	選択	自由		
専門教育科目	衛生化学II（毒性・代謝）	3	2			30	
	環境衛生学	3	2			30	
	日本薬局方I（通則、総則、一般試験法）	3	1			15	
	日本薬局方II（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1			15	
	漢方医学I（漢方の基礎）	3	2			30	
	漢方医学II（漢方の応用）	4		1		15	
	OTC医薬品概論	3	2			30	
	医療データサイエンス概論	4	1			15	
	医療データサイエンス演習	6	1			30	
	医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1			15	
	化学系薬学実習I（有機合成）	2	1			45	
	化学系薬学実習II（天然資源）	2	1			45	
	物理系薬学実習	2	1			45	
	生物系薬学実習	3	1			45	
	分子生物学実習	3	1			45	
	免疫・微生物学実習	3	1			45	
	薬剤学実習	4	1			45	
	フィジカルアセスメント実習	4	1			45	
	衛生系薬学実習	3	1			45	
	早期体験実習	1	1			45	
	医療系薬学実習I（調剤の基礎と情報収集）	4	1			45	
	医療系薬学実習II（調剤の実践と服薬指導）	4	1			45	
	医療系薬学実習III（実務実習で必要な基本的技能）	4	1			45	
	実務実習事前演習	4	2			60	
	薬局実務実習	5 6	10			450	
	病院実務実習	5 6	10			450	
	総合薬学演習I（主として物理・化学・生物・衛生）	6	1			30	
	総合薬学演習II（主として薬理・薬剤・病態・実務）	6	1			30	
	卒業研究	5 6	8			360	

別表1 授業科目の名称及び単位数  
留学生用日本語科目(福岡保健医療学部)

総合教育	外国語系	授業科目の名称	配当年次	単位数			時間	備考
				必修	選択	自由		
		作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4		1		30	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1 2 3 4	1			30	
		作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4		1		30	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4		1		30	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1 2 3 4	1			30	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4		1		30	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1 2 3 4	1			30	
		発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4		1		30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1			30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1			30	
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2 3 4			3	90	
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2 3 4			3	90	

別表2 卒業に必要な単位数

区分		保健医療学部														医療福祉学部				薬学部			
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		医学検査学科		医療・マネジメント学科		医療福祉コース		診療情報管理・経営コース			
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択										
総合教育	人間系	2	-	4以上	-	4以上	-	6以上	-	2以上	-	5以上	-	3以上	-	12以上	-	2以上	-	16以上	4	3以上	
	社会系	1	-		1		1		1		1		1		1		3	1	3				
	自然・情報系	8	-		2	2以上	2	1以上	4	1以上	12	4以上	4	5以上	4	-	2	12以上	2	16以上	8	3以上	
	総合系	1	-		1		1		1		1		1		1		1	1	1				
	外国語系	4	2以上		4	2以上	4	2以上	4	4以上	4	4以上	4	5以上	4	3以上	4	4以上	4	9以上	4	9以上	
	保健体育系	-	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		
専門教育	専門基礎	23	4以上	34	12以上	33	10以上	42	2以上	36	3以上	24	5以上	30	3以上	9	91以上	71	29以上	17	142		
	専門	75		58		61		54		60		76		83									
卒業に必要な単位数		114	10以上	100	26以上	102	24以上	106	20以上	116	10以上	110	18以上	123	5以上	21	103以上	79	45以上	179	12以上		
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		128単位以上		124単位以上		124単位以上		191単位以上					

区分			医学部		成田看護学部		成田保健医療学部										成田薬学部		赤坂心理・医療福祉マネジメント学部						
			医学科				看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		医学検査学科		放射線・情報科学科		薬学科						
			必修	選択			必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択							
総合教育	人間系	5	1以上	総合教育	人間系	—	6以上	2以上	—	4以上	—	4以上	—	2以上	—	2	4	10以上	人間系	6	2	12以上			
	社会系	2	—		社会系	5		3	2以上	3	2以上	3	2以上	3	2以上	3	—	5	社会系	3	1				
	全地球的な課題	3	1以上		自然・情報系	2		2	2以上	2	2以上	4	1以上	4	2以上	2	—	8	自然・情報系	1	3				
	数学・自然科学系	5	—		総合系	1		1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	総合系	1	3				
	外国語系	5	—		外国語系	4		4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4	4	外国語系	3	2				
					保健体育系	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	保健体育系	—	—				
専門教育	専門基礎	73.5	—	専門教育	専門基礎	27	7以上	30	4以上	33	10以上	37	10以上	26	3以上	23	5以上	17	専門基礎	42	17	38以上			
	専門	123.5	8以上		専門	72		59	11以上	61		56		77		79		142	専門	30	46				
卒業に必要な単位数		217	10以上	卒業に必要な単位数		111	13以上	101	25以上	104	22以上	105	21以上	115	13以上	112	16以上	181	10以上	卒業に必要な単位数		86	38以上	74	50以上
卒業単位数合計		227単位以上		卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		128単位以上		191単位以上		卒業単位数合計		124単位以上		124単位以上	

区分		小田原保健医療学部						福岡保健医療学部		福岡薬学部					
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科				看護学科		理学療法学科		作業療法学科	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
総合教育	人間系	2	-	—	4以上	2	4以上	総合教育	人間系	2	-	8以上	10以上(うち3単位は外國語系選択必修)	8以上(うち3単位は外國語系選択必修)	4
	社会系	1	-	1	2以上	1	2以上		社会系	5	-	13	11	11	5
	自然・情報系	5	2**	2	2以上	4	1***		自然・情報系	2	-	4以上	11	11	8
	総合系	1	—	1	—	1	—		総合系	1	-	—	—	—	1
	外国語系	4	2**	4	2以上	4	2以上		外国語系	4	2	—	—	—	4
	保健体育系	—	2***	—	—	—	1***		保健体育系	—	-	—	—	—	—
専門教育	専門基礎	28	2以上	34	12以上	33	12以上	専門教育	専門基礎	25	5以上	35	5以上	33	24
	専門	70	2以上	58	—	59	—		専門	74	—	65	65	81	142
卒業に必要な単位数		111	13以上	100	26以上	104	22以上	卒業に必要な単位数		113	11以上	113	13以上	109	17以上
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上	
														128単位以上	
														191単位以上	

【注1】小田原保健医療学部看護学科の自然・情報系、外国語系、保健体育系の2\*\*は自然・情報系、外国語系、保健体育系から2単位以上選択の意。

【注2】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1\*\*\*は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

別表2-2 卒業に必要な単位数(留学生用)

区分		保健医療学部														医療福祉学部				薬学部			
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		医学検査学科		医療福祉・マネジメント学科		医療福祉コース		診療情報管理・経営コース		薬学科	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択		
総合教育	人間系	2	—	2以上	—	4以上	2以上	—	4以上	2以上	—	6以上	2以上	—	2以上	5以上	—	—	2	—	—	—	
	社会系	1	—		1	2以上		1	2以上		1	5以上		1	—	1	1	—	3	—	1	—	
	自然・情報系	8	—		2	2以上		2	—		4	1以上		12	—	4	4	—	2	—	2	—	
	総合系	1	—		1	—		1	—		1	—		1	—	1	1	—	1	—	1	—	
	外国語系	5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上		5	3以上または5以上	5	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	
	保健体育系	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
専門教育	専門基礎	23	4以上	34	12以上	33	10以上	42	2以上	36	3以上	24	5以上	30	3以上	9	91以上	71	29以上	17	—		
	専門	75		58		61		54		60		76		83						142			
卒業に必要な単位数		115	9以上または11以上	101	25以上または27以上	103	23以上または25以上	107	19以上または21以上	117	9以上または17以上	111	17以上または19以上	124	6以上または8以上	22	102以上または104以上	80	44以上または46以上	180	11以上または13以上		
卒業単位数合計		124単位以上または126単位以上		126単位以上または128単位以上		126単位以上または128単位以上		126単位以上または128単位以上		126単位以上または128単位以上		128単位以上または130単位以上		130単位以上または132単位以上		124単位以上または126単位以上		124単位以上または126単位以上		191単位以上または193単位以上			

※ 留学生の卒業要件単位数の違いは、日本語能力レベルに応じて、外国語選択科目単位数が増えるため

区分		小田原保健医療学部					
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択
総合教育	人間系	2	—	—	—	2	2以上
	社会系	1	—	1	—	1	1以上
	自然・情報系	5	—	2	—	4	1**
	総合系	1	—	1	—	1	—
	外国語系	—	10以上	—	10以上	—	10以上
	保健体育系	—	—	—	—	—	1**
専門教育	専門基礎	28	2以上	34	12以上	33	12以上
	専門	70	2以上	58	—	59	—
卒業に必要な単位数		107	17以上	96	30以上	100	26以上
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上	

【注1】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1\*\*は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

区分		福岡保健医療学部						福岡薬学部	
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
総合教育	人間系	2	—	—	—	2	2以上	6以上(うち5は日本語の選択必修)	8以上(うち5は日本語の選択必修)
	社会系	5	—	—	—	—	—	13	13
	自然・情報系	2	—	—	—	—	—	—	—
	総合系	1	—	—	—	—	—	—	—
	外国語系	5	本5語(～)日	—	—	—	—	—	—
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	—	—
専門教育	専門基礎	25	5以上	35	5以上	33	7以上	24	4以上
	専門	74	—	65	—	65	—	81	—
卒業に必要な単位数		114	12以上	115	11以上	111	15以上	118	12以上
卒業単位数合計		126単位以上		126単位以上		126単位以上		130単位以上	
								191単位以上 または 193単位以上	

## 国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程

### (目的)

第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則（以下「大学学則」という。）第53条に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）の学部の入学検定料及び学生納付金について定めることを目的とする。

### (定義)

第2条 入学検定料とは、入学試験の出願に際し納付する料金をいう。

2 学生納付金とは、次の各号に定める料金をいう。

一 保健医療学部、薬学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、医学部、福岡薬学部、成田薬学部  
入学金、授業料、実験実習費、施設設備費

二 医療福祉学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部  
入学金、授業料、実習・文献費、施設費

3 前項に定めるもののほか、保健医療学部看護学科保健師履修コース、小田原保健医療学部看護学科保健師履修コース、福岡保健医療学部看護学科保健師履修コース、成田看護学部保健師履修コース、小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程及び「海外保健福祉事情」を履修する者については、別表に定める「履修費」をその学生納付金に含めるものとする。

### (入学検定料の額)

第3条 入学検定料の額は、別表1のとおりとする。

### (学生納付金の額)

第3条の2 学生納付金の額は、別表2のとおりとする。

### (学生納付金の納付)

第4条 学生納付金は、当該学生納付金に係る年度の前年度の3月31日までに、原則として一括して納付しなければならない。ただし、分割納入（以下「分納」という。）及び納付期限後の納付（以下「延納」という。）を認めることがある。

### (学生納付金の分納)

第5条 学生納付金を一括して納付することが困難な場合、その他特別の事情がある場合は、分納の申請により、当該年度の学生納付金を、第1回と第2回の2回に分けて納付することを認めることがある。

2 前項に規定する分納の納付期限は、第1回については、当該年度の前年度の3月31日、第2回については、当該年度の9月30日とする。

3 第1項に規定する分納に係る第1回及び第2回の学生納付金の額は、別表3のとおりとする。

### (学生納付金の延納)

第6条 経済的理由により学生納付金を第4条又は前条第2項に規定する期限までに納付することが困難な者で、延納を希望するものは、所定の様式により願い出ことにより、3箇月以内の延納を認めることがある。

(分納及び延納の手続き)

第7条 学生納付金の分納又は延納を希望する場合は、所定の様式により、分納申請書又は延納願を、保証人連署のうえ、次の各号に定める期限までに提出しなければならない。

一 分納申請書	当該年度の前年度の3月31日
二 延納願	一括納付又は第1回分 当該年度の前年度の3月31日 第2回分 当該年度の9月30日

(学生納付金の特例)

第7条の2 所定の修業年限を超えて在学する者が、学年の前期末までに卒業する場合は、第3条の2の規定にかかわらず、第5条第3項に規定する第1回の学生納付金の額をもって当該年度の学生納付金の額とする。

(滞納処分)

第8条 第4条、第6条に規定する手続きを経ることなく、学生納付金を滞納した場合は、次の各号に規定する資格を停止することができる。

- 一 授業への出席及び定期試験等を受験すること。
  - 二 本学が発行する証明書及び学校学生生徒旅客運賃割引証の発行を受けること。
  - 三 その他学内において、教務事務主管課、学生事務主管課、図書館、大学クリニック等のサービスを受けること。
- 2 学生納付金の督促を受けた者が、指定された期限までに納付しない場合は、大学学則第41条の規定により除籍とする。

別表1 入学検定料

別表2 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

別表3 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の成田看護学部、成田保健医療学部入学検定料につい

ては、平成28年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の医学部入学検定料については、平成29年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の医学部入学検定料及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部入学検定料については、平成30年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和元（2019）年5月27日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和2（2020）年4月1日から施行する。

- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の福岡薬学部入学検定料については、令和2年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

この規程は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和6（2024）年4月1日から施行する。

- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の成田薬学部入学検定料については、令和6年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

この規程は、令和7（2025）年4月1日から施行する。

別表1 入学検定料

単位：円

学部名	入学検定料
保健医療学部 医療福祉学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	30,000
薬学部 福岡薬学部 成田薬学部	35,000
医学部	60,000

- (※1) 大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料は、各学部20,000円とする。但し、医学部は50,000円とする。
- (※2) 特待奨学生特別選抜及び一般選抜前期において、1日の試験で複数学部に出願する場合は、  
2学部目を10,000円引き、3学部目以降は1学部に出願するごとに入学検定料を10,000円とする。
- (※3) 一般選抜前期 日程A・日程B・日程Cにおいて、同一学部に複数回出願する場合は、2回目を10,000円引き、3回目の入学検定料を10,000円とする。  
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料割引を適用する。)
- (※4) 一般選抜前期 日程A・日程B・日程Cにおいて、複数学部に複数回出願する場合は、2学部目の1回目の入学検定料を10,000円引きとし、  
2回目以降は1回出願するごとに入学検定料を10,000円とする。また、3学部目以降は1回出願するごとに入学検定料を10,000円とする。  
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料割引を適用する。)
- (※5) 一般選抜前期で同一学部に2回以上出願し、さらに同一学部の大学入学共通テスト利用選抜に出願する場合、  
大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料を10,000円引きとする。  
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料の割引を適用する。)
- (※6) 当該年度中に実施された入試で、既に入学手続を行っている者（二段階納入方式の1次手続のみ完了者及び手続見込者も含む）が、  
特待奨学生特別選抜で手続済みの学部・学科を第一志望として出願（チャレンジ受験）する場合、入学検定料を10,000円とする。
- (※7) 医学部留学生特別選抜の入学検定料は15,000円とする。  
但し、政府機関による推薦等、本学が特に認めた場合については、入学検定料を減免することがある。

別表2-1 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成26年度～平成28年度入学者（下段：平成25年度以前の入学者）

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部（※2） 小田原保健医療学部（※2）（※3） 福岡保健医療学部 (理学療法学科・作業療法学科 ・言語聴覚学科) 成田看護学部（※2） 成田保健医療学部	1	300,000	900,000	50,000 (200,000)	300,000	1,550,000 (1,700,000)
	2	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
	3	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
	4	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
福岡保健医療学部 (医学検査学科)	1	300,000	800,000	50,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,600,000)
	2	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
	3	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
	4	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
医療福祉学部（※4）	1	250,000	700,000	30,000 (150,000)	100,000	1,080,000 (1,200,000)
	2	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
	3	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
	4	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
薬学部	1	300,000	1,100,000	50,000 (200,000)	250,000	1,700,000 (1,850,000)
	2	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	3	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	4	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	5	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	6	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、平成28年度入学者について、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。但し、平成27年度以前入学者は、小田原保健医療学部看護学科保健師履修コースのみ、上記以外に履修費30,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科介護福祉コースは、上記以外に履修費50,000円(毎年次)を加える。

(※5) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-2 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科 (※2) ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (※4) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	250,000	700,000	30,000	130,000	1,110,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科 (※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
福岡保健医療学部 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
成田看護学部 ・看護学科 (※2) 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科介護福祉コースは、上記以外に履修費50,000円(毎年次)を加える。

(※5) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-3 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外)	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科 (※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科 (※2)	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-4 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000

別表2-4 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-5 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000

別表2-5 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-6 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000

別表2-6 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-7 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2)	1	300,000	900,000	180,000	300,000	1,680,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉専攻以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉専攻	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000

別表2-7 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学生納付金				合計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情II(実習)」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表3-1 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成26年度～平成28年度入学者（下段：平成25年度以前の入学者）

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部（※2） 小田原保健医療学部（※2）（※3） 福岡保健医療学部 (理学療法学科・作業療法学科 ・言語聴覚学科) 成田看護学部（※2） 成田保健医療学部	1	第1回	300,000	450,000	25,000 (100,000)	300,000	1,075,000 (1,150,000)
		第2回	—	450,000	25,000 (100,000)	—	475,000 (550,000)
	2	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
	3	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
	4	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
福岡保健医療学部 (医学検査学科)	1	第1回	300,000	400,000	25,000 (100,000)	300,000	1,025,000 (1,100,000)
		第2回	—	400,000	25,000 (100,000)	—	425,000 (500,000)
	2	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
	3	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
	4	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
医療福祉学部（※4）	1	第1回	250,000	350,000	15,000 (75,000)	100,000	715,000 (775,000)
		第2回	—	350,000	15,000 (75,000)	—	365,000 (425,000)
	2	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
	3	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
	4	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
薬学部	1	第1回	300,000	550,000	25,000 (100,000)	250,000	1,125,000 (1,200,000)
		第2回	—	550,000	25,000 (100,000)	—	575,000 (650,000)
	2	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	3	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	4	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	5	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	6	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)

(※1)～(※5) 別表2-1の脚注に同じ。

別表3-2 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (※4)	1	第1回	250,000	350,000	15,000	130,000	745,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表3-2 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000

(※1)～(※5) 別表2-2の脚注に同じ。

別表3-3 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000

別表3-3 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田看護学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1)～(※4) 別表2-3の脚注と同じ。

別表3-4 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表3-4 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1)～(※4) 別表2-4の脚注と同じ。

別表3-5 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表3-5 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

(※1)～(※4) 別表2-5の脚注に同じ。

別表3-6 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表3-6 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1)～(※4) 別表2-6の脚注と同じ。

別表3-7 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	第1回	300,000	450,000	90,000	300,000	1,140,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉専攻以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉専攻	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科 (※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表3-7 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

別表3－7 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1)～(※4) 別表2-7の脚注に同じ。

## 学則変更の趣旨等を記載した書類(目次)

ア. 学則変更(収容定員変更)の内容	.....	P.2
イ. 学則変更(収容定員変更)の必要性	.....	P.2
ウ. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容	.....	P.2

## 国際医療福祉大学の学則変更の趣旨等を記載した書類

### ア. 学則変更(収容定員変更)の内容

国際医療福祉大学（以下「本学」という。）では現在 11 学部 28 学科擁しているが、このうち以下の 5 学科について収容定員を変更（収容定員減員計 80 名、収容定員増員計 80 名）する。

#### 【収容定員変更の内容】

学 部	学 科	入学定員		収容定員	
		現	新	現	新
保健医療学部	言語聴覚学科	80 名	70 名	320 名	280 名
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科*	140 名	130 名	570 名	530 名
成田看護学部	看護学科	100 名	105 名	400 名	420 名
成田保健医療学部	放射線・情報科学科	50 名	60 名	200 名	240 名
小田原保健医療学部	看護学科	80 名	85 名	320 名	340 名

\*3 年次編入学定員 5 名

### イ. 学則変更(収容定員変更)の必要性

資料 1 の入学志願者数推移に示すとおり、直近 5 か年間の各学科志願者数をみると、医療福祉専門職を目指す志願者数と本学が設定している定員に乖離がみられるようになりつつある。このため、志願動向や就職動向に合うよう定員の設定を見直し、収容定員を変更する。

【資料 1：国際医療福祉大学入学志願者数推移】

### ウ. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

今回の収容定員変更に伴う教育課程や教育方法の変更は予定しておらず、他の学部・学科を含めて変更前と同等の内容を維持する。

また、今回の変更は 1 学科あたり入学定員 5～10 名という小規模な変更であり、収容定員を変更する 5 学科の S/T 比（収容定員/基幹教員数）は以下に示すとおりである。このため、収容定員変更後も変更前と同等な教育内容を継続できるものと考えている。

#### 【収容定員変更後の S/T 比】

学 部	学 科	S/T 比	
		現	新
保健医療学部	言語聴覚学科	22.9	20.0
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	21.1	16.9
成田看護学部	看護学科	14.3	15.0
成田保健医療学部	放射線・情報科学科	15.4	18.5
小田原保健医療学部	看護学科	11.0	11.7

なお、今回収容定員を変更する大田原キャンパス（保健医療学部、医療福祉学部、薬学部）、成田キャンパス（医学部、成田看護学部、成田保健医療学部）、小田原キャンパス（小田原保健医療学部）における図書館やスポーツ施設といった施設・設備については以下に示すとおりであり、当該キャンパスにおける収容定員変更による影響はないものと考えている。

【収容定員変更後の学生1人当たりの図書館・スポーツ施設面積】

キャンパス	図書館		スポーツ施設*	
	現	新	現	新
大田原キャンパス	0.55 m <sup>2</sup>	0.56 m <sup>2</sup>	6.01 m <sup>2</sup>	6.13 m <sup>2</sup>
成田キャンパス	0.60 m <sup>2</sup>	0.59 m <sup>2</sup>	2.64 m <sup>2</sup>	2.59 m <sup>2</sup>
小田原キャンパス	1.39 m <sup>2</sup>	1.36 m <sup>2</sup>	17.17 m <sup>2</sup>	16.75 m <sup>2</sup>

\*スポーツ施設は、体育館、グラウンド、テニスコートの合計

## 学則変更の趣旨等を記載した書類(資料目次)

資料1:国際医療福祉大学入学志願者数推移 ..... P.2

## 資料1:国際医療福祉大学入学志願者数推移

学部	学 科	入学定員	2021	2022	2023	2024	2025	5か年平均志願倍率
保健医療	看 護	115	715	611	422	406	493	4.60
	理 学 療 法	100	468	397	372	351	416	4.01
	作 業 療 法	80	220	159	169	163	170	2.20
	言 語 聴 覚	80	178	173	143	127	135	1.89
	放 射 線・情 報 科	110	882	739	750	650	466	6.34
	視 機 能 療 法	50	170	87	101	66	67	1.96
	医 学 検 查	80	-	-	-	-	311	3.89
	小計	615	2,633	2,166	1,957	1,763	2,058	3.44
医療福祉	医療福祉・マネジメント	140	272	294	245	183	194	1.70
薬	薬	180	1,040	1,126	1,093	798	737	5.33
大田原キャンパス合計		935	3,945	3,586	3,295	2,744	2,989	3.54
成田看護	看 護	100	951	1,083	833	824	906	9.19
成田 保健医療	理 学 療 法	80	636	587	508	369	395	6.24
	作 業 療 法	40	154	127	132	164	135	3.56
	言 語 聴 覚	40	133	111	158	134	106	3.21
	放 射 線・情 報 科	50	776	705	580	540	507	12.43
	医 学 検 查	80	608	497	460	388	357	5.78
	小計	290	2,307	2,027	1,838	1,595	1,500	6.39
成田薬	薬	120	-	-	-	1,038	1,061	8.75
成田キャンパス合計		510	3,258	3,110	2,671	3,457	3,467	6.26
赤坂心理・ 医療福祉 マネジメント	心 理	60	245	232	227	272	286	4.21
	医療マネジメント	60	113	79	84	69	73	1.39
	東京赤坂キャンパス合計	120	358	311	311	341	359	2.80
小田原 保健医療	看 護	80	682	724	553	655	600	8.04
	理 学 療 法	80	450	399	320	241	258	4.17
	作 業 療 法	40	116	111	72	81	79	2.30
	小田原キャンパス合計	200	1,248	1,234	945	977	937	5.34
福岡 保健医療	看 護	60	-	-	220	193	206	3.44
	理 学 療 法	50	214	228	172	131	119	3.46
	作 業 療 法	30	100	69	63	53	41	2.17
	言 語 聴 覚	-	91	61	-	-	-	-
	医 学 検 查	80	375	343	260	232	218	3.57
	小計	220	780	701	715	609	584	3.08
福岡薬	薬	120	1,070	1,097	986	810	807	7.95
大川キャンパス合計		340	1,850	1,798	1,701	1,419	1,391	4.80

## 学生の確保の見通し等を記載した書類(目次)

(1) 収容定員を変更する組織の概要.....	2
① 収容定員を変更する組織の概要[名称、入学定員(編入定員)、収容定員、所在地] .....	2
② 収容定員を変更する組織の特色 .....	2
(2) 人材需要の社会的な動向.....	3
① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析 .....	3
② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析.....	6
③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域.....	7
④ 既設組織の定員充足の状況.....	9
(3) 学生確保の見通し.....	10
① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果.....	10
ア. 既設組織における取組とその目標.....	10
イ. 収容定員を変更する組織における取組とその目標.....	16
ウ. 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数 .....	17
② 競合校の状況分析(立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)....	19
ア. 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性 .....	19
イ. 競合校の入学志願動向等.....	27
ウ. 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等.....	28
エ. 学生納付金等の金額設定の理由 .....	29
③ 先行事例分析.....	30
④ 学生確保に関するアンケート調査.....	30
⑤ 人材需要に関するアンケート調査等 .....	30
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由.....	32

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 収容定員を変更する組織の概要

#### ① 収容定員を変更する組織の概要[名称、入学定員(編入定員)、収容定員、所在地]

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科	70	—	280	栃木県大田原市北金丸 2600-1
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	130	5	530	
成田看護学部 看護学科	105	—	420	千葉県成田市公津の杜 4-3
成田保健医療学部 放射線・情報科学科	60	—	240	
小田原保健医療学部 看護学科	85	—	340	神奈川県小田原市城山 1-2-25

#### ② 収容定員を変更する組織の特色

##### ○ 収容定員を変更する組織の特色及び養成する人材像

本学の教育理念、教育目的に則り、幅広く質の高い知識と技能、及び態度を備え、高い倫理観・探究心・向上心を持った医療人を養成する。それらの能力を生かし病院を始めとした医療機関、福祉施設や研究施設などで多様な求めや変化に応え活躍できる看護師、言語聴覚士、診療放射線技師、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士及び医療事務の養成を目指す。

また、地域における医療福祉の現状と課題について理解し、チーム医療に携わり活躍できる医療福祉人材としての見識を早くから身につけるために、医学部、薬学部、保健系学部等の学生と共に学ぶ関連職種連携教育を実施する。さらに、自らの世界観を育むとともに広い見識を持つため、海外研修や語学教育を通じて国際性を養う。これらにより、栃木県、千葉県、神奈川県及び周辺地域はもとより、全国又は世界の医療・福祉・研究の現場において活躍・貢献できる専門的な知見と高度な技能を有した医療福祉人材、いわゆるエンセンシャルワーカーの養成を目指す。

##### ○ 収容定員を変更する組織と関連する本学の既設組織の予定

医療福祉の総合大学である本学は、設置する全ての学部等において、所在地域及びその近隣地域からの医療福祉専門職に係る社会的需要に応え、全国的な医療福祉人材の地域偏在解消及び医療福祉サービス提供体制の確保に資することを社会に対する責任の一つと考える。

したがって、収容定員を変更する組織と近接する学問分野を持つ、下記3キャンパスにある既設の看護学科、言語聴覚学科及び放射線・情報科学科の改組を行う予定はない。

学部・学科名	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
保健医療学部 看護学科	115	—	460	栃木県大田原市北金丸 2600-1
放射線・情報科学科	110	—	440	
成田保健医療学部 言語聴覚学科	40	—	160	千葉県成田市公津の杜 4-3
福岡保健医療学部 看護学科	60	—	240	福岡県大川市榎津 137-1

## (2) 人材需要の社会的な動向

### ① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

令和4年版厚生労働白書において、2040年に医療・福祉分野の就業者数は974万人（総就業者数の16%）と推計されている。他方、医療・介護サービスの2018年の年齢別利用実績を基に、人口構造の変化を加味して求めた2040年の医療・福祉分野の就業者数は1,070万人（総就業者数の18～20%）が必要になると推計されており、96万人の差が生じているとの報告がなされた。この不足する96万人の中には医療福祉領域の専門職も含まれており、以前より多くの医療福祉職種の地域偏在、業態偏在が課題とされる中で、地域医療や地域包括ケアシステムを担う人材をそれぞれの地域の実態に合わせて養成することは重要であるといえる。

次に収容定員を変更する組織が養成する人材につき、組織の所在地域における状況は以下のとおりであった。

#### 1) 保健医療学部言語聴覚学科が養成する人材について

保健医療学部言語聴覚学科では「言語聴覚士」の養成を行う。組織が所在する栃木県の言語聴覚士の動向を調査するため、本学にて厚生労働省「令和5年人口動態統計」及び同省「令和5年医療施設（静態・動態）調査」をもとに、2023年の人口10万人当たりの従事者数を求めた。これによると、栃木県が13.6人であるに対して、全国平均は14.6人であり、栃木県は全国より低値の充足状況にあった。

一方、栃木県内でみると2020年は12.2人であったが、2023年には13.6人と1.4人増えており充足状況の改善が見られる。しかしながら、全国平均よりも低い充足状況であるため、引き続き栃木県内では言語聴覚士の養成が必要であるといえる。

近年、医師の働き方改革に伴い臨床検査技師等の業務が見直されていることから、今後言語聴覚士においても言語聴覚士法に定める診療の補助「嚥下訓練、人工内耳の調整その他厚生労働省令で定める行為（法第42条）」に関連する業務が追加される可能性が考えられる。加えて、言語聴覚士はその専門性から知的障害（発達障害）が有る子どもの言語訓練やコミュニケーション支援など特別支援教育においても重要な役割を果している。文部科学省にて特別支援教育の現状を調査しており、2025年1月公表の「特

別支援教育資料（令和5年度版）によれば、2024年5月1日時点で特別支援学校数は1,178校、在学者数151,362人（うち知的障害がある者数141,063人）であった。1996年以降、学校数及び在学者数は増加し続けており、また知的障害がある者は在学者全体の9割以上を占めていることから、今後も言語聴覚士が中心となってリハビリテーション及び治療支援を行うことは増え続けるものと考える。以上より、言語聴覚士の必要性は着実に高まるものと推測する。

## 2) 医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科が養成する人材について

医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科では「社会福祉士」「介護福祉士」「精神保健福祉士」「医療事務」の養成を行う。組織が所在する栃木県の上記人材の動向を調査するため、本学にて厚生労働省の前掲資料をもとに、2023年の人口10万人当たりの従事者数を求めた。これによると、栃木県では社会福祉士9.3人、介護福祉士21.1人、精神保健福祉士7.8人、医療事務176.9人であり、いずれの職種も2020年から従事者数が増えており充足状況の改善が見られた。

一方、全国平均は社会福祉士13.0人、介護福祉士31.4人、精神保健福祉士7.5人、医療事務191.3人であり、栃木県は精神保健福祉士を除く職種において全国平均より低値であった。そのため、社会福祉士、介護福祉士及び医療事務の養成は、今後も必要であると考える。なお精神保健福祉士については、全国平均が2017年は9.3人であったのに対して2022年は7.6人、2023年は7.5人と年々減少している。そのため、今後地域的な需要に留まらず全国的に需要が高まるものと推察する。

さらに、2024年4月に民間企業において障害者の法定雇用率が2.5%に引き上げられ、2026年7月には2.7%となり、政策を通じて障害者雇用の促進が図られている。加えて、厚生労働省「令和6年障害者雇用状況の集計結果」によると、特例子会社数は614社（前年598社）、雇用されている障害者数は50,290人（前年46,848人）であると報告されている。以上のとおり、障害者の法定雇用率の引き上げや特例子会社数の増加に加えて、近年の障害者差別解消法の改正による合理的配慮の義務化など、障害のある者が社会で活躍できる環境整備が進んでいる。そのため、今まで以上に障害のある者に対する支援体制の充実を図ることの重要性が増しており、これに伴って社会福祉士を始めとした福祉に携わる専門的な人材養成の必要性も更に高まるものと考える。

## 3) 成田看護学部看護学科、小田原保健医療学部看護学科が養成する人材について

成田看護学部看護学科、小田原保健医療学部看護学科では「看護師」の養成を行う。前者組織が所在する千葉県、後者組織が所在する神奈川県の看護師の動向を調査するため、本学にて厚生労働省の前掲資料をもとに、2023年の人口10万人当たりの従事者数を求めた。これによると、千葉県では533.6人、神奈川県では520.3人であり、全国平均の683.6人と比較して低値であることから、千葉県及び神奈川県は全国と比して

看護師が不足しているといえる。

医師が医療行為をするにあたって看護師による診療の補助は重要であり、医師の働き方改革の推進に伴って診療の補助の重要性は更に増しているものといえる。そのため、人口 10 万人当たりの従事者数が全国平均より少ない千葉県及び神奈川県にて看護師を養成することは社会的需要に沿ったものであり、今後も必要性が高まり続けるものと推測する。

#### 4) 成田保健医療学部放射線・情報科学科が養成する人材について

成田保健医療学部放射線・情報科学科では「診療放射線技師」の養成を行う。組織が所在する千葉県の看護師の動向を調査するため、本学にて厚生労働省の前掲資料とともに、2023 年の人口 10 万人当たりの従事者数を求めた。これによると、千葉県では 34.9 人であり、全国平均の 38.6 人と比較して低値であることから、千葉県は全国と比して診療放射線技師が不足しているといえる。

近年、医師の働き方改革及びタスクシフト/シェアの推進に関連して、診療放射線技師法の一部が改正され 2021 年 10 月に施行された。これに伴い、診療放射線技師の業務範囲に「放射線の人体に対する照射（法第 2 条第 2 項）」及び「画像診断装置を用いた検査等の業務（法第 24 条の 2）」に関する 6 つの業務※が新たに追加されている。以上のとおり、タスクシフト/シェアに関連して、今後も診療放射線技師業務の範囲は広がるものと想定される。そのため、より広がる業務範囲をカバーできる診療放射線技師の必要性が着実に高まることが見込まれる。

以上より、収容定員を変更する組織が養成する人材は、全国的、地域的及び社会的需要に応えるものといえる。

【資料 1：令和 4 年版厚生労働白書（抜粋）】

【資料 2：収容定員を変更する組織が養成する人材の従事者数の推移について】

---

※ 「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律（令和 3 年法律第 49 号）」により診療放射線技師法の一部改正がなされ、以下業務が実施可能となった。

1. 造影剤を使用した検査や RI 検査のために、静脈路を確保する行為、RI 検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
2. RI 検査のために、RI 検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
3. 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為
4. 下部消化管検査（CT コロノグラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為
5. 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為
6. 医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

【資料3：特別支援教育資料（令和5年度版）（抜粋）】

【資料4：令和6年障害者雇用状況の集計結果（抜粋）】

## ② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

2025年1月28日開催の中央教育審議会大学分科会（第181回）・高等教育の在り方に関する特別部会（第15回）合同会議の関連データ集にて、全国における18歳人口の将来推計が示されている。これによると、2025年時点の全国における18歳人口は約109万人であり、収容定員を変更する2026年も約109万人（2025年比1.00倍）が維持され、変更から10年後の2035年は約96万人（同約0.88倍）となり、2030年を境に徐々に減少すると予測されている。

また、リクルート進学総研「マーケットリポート（2025年2月号）」にて、収容定員を変更する組織の主たる学生募集地域である東北地域（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）、北関東地域（茨城県・栃木県・群馬県）及び南関東地域（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）の18歳人口に関する調査結果が報告されている。これによると、東北地域の18歳人口は、2025年時点で約7.3万人であり、2026年に約7.2万人（2025年比約0.99倍）、2035年には約6.0万人（同約0.82倍）になると予測されている。北関東地域では、2025年時点で約6.0万人、2026年に約6.0万人（同約0.99倍）、2035年には約5.1万人（同約0.84倍）になると予測されている。また、南関東地域は2025年時点で約29.9万人、2026年も約29.9万人（同約1.00倍）が維持され、2035年には約27.9万人（同約0.93倍）になると予測されている。東北及び北関東域は2031年を境に2025年比0.9倍を下回り、南関東地域は2035年まで2025年比0.9倍以上を維持する見通しである。加えて、収容定員を変更する組織を設置するキャンパスが所在する各県の18歳人口につき、栃木県は2031年を境に2025年比0.9倍を下回り、千葉県及び神奈川県は2035年まで2025年比0.9倍以上を維持する見通しである。したがって、全国及び学生募集地域などにおける18歳人口は年々少しづつ減少する傾向にある。

一方、2024年度学校基本調査によれば、2024年3月に高等学校または中等教育学校後期課程の卒業者における大学進学者数は全国で約54万人と報告されている。そして、前掲大学分科会資料が示す、2024年時点の18歳人口約105万に占める大学進学者の割合（大学進学率）は約51.2%であった。加えて同資料では、2040年における大学進学率の予測が59.6%と示され、今後も上昇傾向であることが述べられている。

上記の18歳人口推移データ及び2024年時点の大学進学率データをもとに、本学で2035年までの大学進学者数を試算した。これによると、全国では2025年に約55.9万人となり、2026年に約56.6万人（2025年比約1.01倍）、2035年には約54.9万人（同約0.98倍）となった。東北地域では2025年が約3.1万人、2026年も約3.1万人（同約0.99倍）が維持され、2035年に約2.7万人（同約0.87倍）となった。北関東地域では2025年が約3.0万人、2026年も約3.0万人（同約1.00倍）が維持され、2035年に約2.7万人

(同約 0.91 倍) となった。南関東地域では 2025 年が約 17.6 万人、2026 年に約 17.9 万人（同約 1.02 倍）に微増し、2035 年には約 18.3 万人（同約 1.04 倍）となった。東北地域は 2034 年まで 2025 年比 0.9 倍以上が維持され、北関東地域では 2035 年まで 0.9 倍以上が維持されることが見込まれる。また、南関東地域では将来的に 2025 年時点の進学者数を上回ることが見込まれる。加えて、キャンパスが所在する各県の大学進学者数につき、栃木県は 2034 年まで 2025 年比 0.9 倍以上を維持し、千葉県及び神奈川県は 2035 年まで 2025 年時点と同程度の大学進学者数が見込まれる。

以上をまとめると、2040 年まで大学進学率の上昇傾向が続くことから、18 歳人口の減少割合に対して進学者数の減少割合は緩やかなものといえる。また、試算によって進学者数の減少が見込まれる東北地域及び北関東地域を学生募集地域とする大田原キャンパスでは組織の収容定員を減らし、進学者数の維持または増加が見込まれる関東全域を学生募集地域とする成田キャンパス及び小田原キャンパスでは組織の収容定員を増やす計画であることも考慮すると、18 歳人口等の減少幅が学生募集活動に与える影響は少ないものと考える。

さらに、日本私立学校振興・共済事業団「令和 6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」では、2024 年 4 月入学者における保健系学部の全国平均志願倍率は 3.71 倍であると報告されている。保健系学部は、全国的に入学定員以上の志願者数があり、かつ本学は保健系学部のみならず大学全体で十分な志願者数を集め定員充足率 100% を維持していることから、収容定員を変更する組織でも堅調に学生を確保し定員充足できると考える。

【資料 5：中央教育審議会大学分科会（第 181 回）・高等教育の在り方に関する特別部会（第 15 回）合同会議の関連データ集（抜粋）】

【資料 6：リクルート進学総研マーケットリポート（2025 年 2 月号）（抜粋）】

【資料 7：全国及び学生募集地域における人口推計に関する資料】

【資料 8：令和 6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向（抜粋）】

### ③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

今回、収容定員を変更する 5 つの組織は、大田原キャンパス（栃木県大田原市）、成田キャンパス（千葉県成田市）及び小田原キャンパス（神奈川県小田原市）に所在する。上述の 5 組織は、長年にわたってキャンパス所在地である栃木県、千葉県、神奈川県及び周辺地域で学生募集活動を行い、十分な志願者及び入学者を確保していることから、今後も同地域を主な学生募集地域とする。

各キャンパスで設定する主な学生募集地域は、以下のとおりである。なお、地域の分析及び設定にあたっては、学校基本調査「出身高校の所在地県別入学者数」及び本学入学者の出身都道府県データをもとにしている。

### 1) 大田原キャンパス

大田原キャンパスに設置する3学部の2024年4月入学者につき、出身都道府県別の構成比（上位5都道府県）を見ると、栃木県40.1%（335名）、茨城県18.3%（153名）、福島県13.9%（116名）、岩手県4.0%（33名）、宮城県3.5%（29名）であり、入学者の約8割を北関東及び東北地域の出身者が占めている。

また、栃木県の私立大学への入学状況について、学校基本調査をもとに出身高校の所在地県別の入学者数の構成比をみると、栃木県出身者の比率が最も多く、次いで茨城県、福島県、群馬県、埼玉県の順であった。

以上より、収容定員を変更する組織「保健医療学部言語聴覚学科」及び「医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科」においては、引き続き北関東地域（茨城県・栃木県・群馬県）及び東北地域（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）を主な学生募集地域と設定する。

### 2) 成田キャンパス

成田キャンパスに設置する4学部の2024年4月入学者につき、出身都道府県別の構成比（上位5都道府県）を見ると、千葉県43.8%（294名）、茨城県14.1%（95名）、東京都12.1%（81名）、その他4.2%（28名）、栃木県2.7%（18名）であり、入学者の約7割を関東地域の出身者が占めている。なお「その他」の割合が大きい理由は、国家戦略特別区域に国際医療拠点として医学部を開設し、その責任を全うするため、医学部に留学生入学者の特別枠20名を設けていることによる。

また、千葉県の私立大学への入学状況について、学校基本調査をもとに出身高校の所在地県別の入学者数の構成比をみると、千葉県出身者の比率が最も多く、次いで東京都、茨城県、埼玉県、神奈川県の順であった。

以上より、収容定員を変更する組織「成田看護学部看護学科」及び「成田保健医療学部放射線・情報科学科」においては、引き続き関東地域（茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）を主な学生募集地域と設定する。

### 3) 小田原キャンパス

小田原キャンパスに設置する学部の2024年4月入学者につき、出身都道府県別の構成比（上位5都道府県）を見ると、神奈川県56.8%（117名）、静岡県25.7%（53名）、千葉県/東京都が各2.4%（各5名）、岩手県/茨城県が各1.9%（各4名）であり、入学者の約6割以上を関東地域の出身者が占めている。

また、神奈川県の私立大学への入学状況について、学校基本調査をもとに出身高校の所在地県別の入学者数の構成比をみると、神奈川県出身者の比率が最も多く、次いで東京都、千葉県、静岡県、埼玉県の順であった。

以上より、収容定員を変更する組織「小田原保健医療学部看護学科」においては、引

き続き関東地域（茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）を主な学生募集地域と設定する。

以上のとおり、収容定員を変更する各組織の学生募集地域を、本学入学者の出身地傾向及び実績等を踏まえて設定し、後述の学生募集活動を計画的に行うこととする。

【別紙 1：収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況】

【資料 9：国際医療福祉大学入学者の出身都道府県別集計】

#### ④ 既設組織の定員充足の状況

別紙 2 で示すとおり、収容定員を変更する全ての組織で、2019 年度から 2024 年度までの 5 年間の平均において、入学定員充足率概ね 100% を確保している。加えて、収容定員を変更する組織を設置する大田原キャンパス、成田キャンパス及び小田原キャンパス既設学部の直近 2025 年度入学者選抜試験の結果は以下のとおりであった。

【別紙 2：既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）】

##### 1) 大田原キャンパス

保健医療学部、医療福祉学部及び薬学部の 3 学部を設置する。それぞれの学部の入学試験結果は次のとおりであった。

学 部	入学定員	志願者数	志願倍率	入学者数	充足率
保健医療学部	615 名	2,058 名	3.3 倍	659 名	107%
医療福祉学部	140 名	194 名	1.4 倍	104 名	74%
薬学部	180 名	737 名	4.1 倍	194 名	107%

##### 2) 成田キャンパス

医学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び成田薬学部の 4 学部を有する。それぞれの学部の入学試験結果は次のとおりであった。

学 部	入学定員	志願者数	志願倍率	入学者数	充足率
医学部	140 名	4,015 名	28.7 倍	148 名	102%
成田看護学部	100 名	906 名	9.1 倍	109 名	109%
成田保健医療学部	290 名	1,500 名	5.2 倍	310 名	106%
成田薬学部	120 名	1,061 名	8.8 倍	140 名	116%

##### 3) 小田原キャンパス

小田原保健医療学部の 1 学部を設置する。本学部の入学試験結果は以下のとおりであった。

学 部	入学定員	志願者数	志願倍率	入学者数	充足率
小田原保健医療学部	200 名	937 名	4.7 倍	221 名	110%

以上のとおり、収容定員が増加する学科を設置する成田看護学部、成田保健医療学部及

び小田原保健医療学部においては、いずれの学部も入学定員充足率が100%以上であることから、定員変更後も十分な入学者数の確保が可能であると考える。また、収容定員が減少する学科を設置する保健医療学部及び医療福祉学部においては、学部規模の適正化をもって教育の質の更なる向上が図られることで、社会的ニーズを踏まえた魅力ある学問分野として、十分な志願者数の確保につながるものと考える。

加えて、前述（2）②のとおり、全国的に18歳人口の減少が見込まれるが、大学進学率は上昇傾向にあることから、18歳人口等の減少幅が学生募集活動に与える影響は少ないものと考える。加えて、国家資格に結びついている医学、薬学及び保健系の学部は多系統の学部より志願倍率などが安定しており、18歳人口の減少が更に進んだとしても比較的その影響は少ないとと思われる。

本学のこれまでの定員充足状況及び18歳人口の動向を踏まえたうえで、今後も全ての既設組織において、適正な入学者選考を行える十分な志願者数及び定員相当の入学者数の確保が可能であると考える。

### （3）学生確保の見通し

#### ① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

##### ア. 既設組織における取組とその目標

本学では、学生募集の取組として、各種学生募集イベントの開催、高等学校への訪問や様々な情報媒体を活用して次のとおり実施している。なお、学生募集活動への参加状況から入学者選抜試験の受験状況までのデータは、年度ごとに一元的に管理している。これらのデータを精緻に分析し効果等の検証を行い、翌年度の学生募集活動等の改善に活用している。

##### 【別紙3：既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績】

###### 1) 各種学生募集イベント

本学は医療福祉系分野の大学であるため、オープンキャンパスなどの各種イベントにおいても医療福祉専門職の資格取得を目指す参加者が大部分を占めている。資格取得については、実習参加を含む特長的なカリキュラムのもと学修を進めることを説明し、参加者が専門教育及び大学生活を具体的にイメージできるよう工夫している。さらに、イベントで得られた要望をフィードバックし、学科教員及び在学生とも密に連携しながら、模擬授業や学科説明会・相談会を実施するなど、十分な理解のうえ入学できるよう充実を図っている。

学生募集イベント参加者の多くは、本学に興味関心を持つ者であり、ある程度自らの進路について理解している。それでも参加者が入学前と後で大学生活にギャップを感じることがないように、これらの取組においては教育環境をはじめとした大学の空気

感を伝えるよう細心の注意を払っている。このような受験生の立場に立った丁寧な対応を継続し、志願者数の確実な増加につなげることを目標としている。

#### ○オープンキャンパス

例年3月から8月にかけて4～5回程度のオープンキャンパスを実施している。本取組では、高校生とその保護者に対して、大学・学科説明や進学・入試相談、受験対策講座、模擬授業や学科体験、各種展示、キャンパスツアーや個別相談などのイベントをとおして、本学の特色や学生生活についての理解に繋げている。

2023年度に実施したオープンキャンパスの参加者総数は、大田原キャンパス2,666人、成田キャンパス（医学部除く）4,049人、小田原キャンパス803人であった。今後もオープンキャンパス参加者数の増加に向けて継続的に取り組む予定であり、大田原キャンパスでは4,000人、成田キャンパスでは5,000人、小田原キャンパスでは1,500人の参加者数を目指している。

なお、2023年度に実施した本取組につき、収容定員を変更する組織及び各組織が所在するキャンパスの実績は以下のとおりであった。

#### (大田原キャンパス)

2023年度に実施した大田原キャンパスのオープンキャンパスの参加者総数2,666人のうち、2024年4月入学生選抜試験の受験対象者数（高校3年生）は1,203人、受験者数が629人、受験率（受験者数/受験対象者数）は52.3%、入学者数が466人、入学率（入学者数/受験対象者数）は38.7%であった。また、収容定員を変更する組織についてみると、受験対象者数1,203人のうち、保健医療学部言語聴覚学科では受験者数73人、入学者数40人、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科では受験者数96人、入学者数56人であった。

言語聴覚学科は入学定員を80人、医療福祉・マネジメント学科は入学定員140人としているため、前者学科の入学定員の50%分、後者学科の入学定員の40%分をオープンキャンパスに参加した入学者が占めていることが分かる。したがって、本取組は学生募集及び確保において十分な実績を有する効果的かつ重要な取組といえる。

【表1】大田原キャンパス オープンキャンパス参加者の受験・入学状況

2023年度オープンキャンパス			うち2024年4月入学生選抜試験	
集計区分	参加者数	うち受験対象者数 (高校3年生)	受験者数	入学者数
全体			629人	466人
言語聴覚学科			73人	40人
医療福祉・マネジメント学科			96人	73人

#### (成田キャンパス)

2023 年度に実施した成田キャンパス（医学部除く）のオープンキャンパスの参加者総数 4,049 人のうち、2024 年 4 月入学生選抜試験の受験対象者数（高校 3 年生）は 1,025 人、受験者数が 515 人（受験率 50.2%）、入学者数が 277 人（入学率 27.0%）であった。また、収容定員を変更する組織についてみると、受験対象者数 1,025 人のうち、成田看護学部看護学科の受験者数は 175 人、入学者数が 65 人、成田保健医療学部放射線・情報科学科の受験者数は 141 人、入学者数は 25 人であった。

看護学科は入学定員を 100 人、放射線・情報科学科は入学定員を 50 人としているため、前者学科の入学定員の 65% 分、後者学科の入学定員の 50% 分をオープンキャンパスに参加した入学者が占めていることが分かる。したがって、本取組は学生募集及び確保において十分な実績を有する効果的かつ重要な取組といえる。

【表 2】成田キャンパス オープンキャンパス参加者の受験・入学状況

2023 年度オープンキャンパス（医学部除く）			うち 2024 年 4 月入学生選抜試験	
集計区分	参加者数	うち受験対象者数 (高校 3 年生)	受験者数	入学者数
全体	4,049 人	1,025 人	515 人	277 人
看護学科			175 人	65 人
放射線・情報科学科			141 人	25 人

#### （小田原キャンパス）

2023 年度に実施した小田原キャンパスのオープンキャンパスの参加者総数 803 人のうち、2024 年 4 月入学生選抜試験の受験対象者数（高校 3 年生）は 416 人、受験者数が 250 人（受験率 60.1%）、入学者数が 63 人（入学率 15.1%）であった。また、収容定員を変更する組織についてみると、受験対象者数 416 人のうち、小田原保健医療学部看護学科の受験者数は 115 人、入学者数が 61 人であった。

看護学科は入学定員を 80 人としているため、入学定員の 76% 分をオープンキャンパスに参加した入学者が占めていることが分かる。したがって、本取組は学生募集及び確保において十分な実績を有する効果的かつ重要な取組といえる。

【表 3】小田原キャンパス オープンキャンパス参加者の受験・入学状況

2023 年度オープンキャンパス			うち 2024 年 4 月入学生選抜試験	
集計区分	参加者数	うち受験対象者数 (高校 3 年生)	受験者数	入学者数
全体	803 人	416 人	250 人	63 人
看護学科			115 人	61 人

本学ではオープンキャンパスなどへの参加から実際に入学するまでの間、一人一人の情報を一元的に管理し、入学者数予測の精度向上につなげる体制を構築している。また、設置する学科が医療福祉系分野に限定されていることから進路分析が行いやすい利点があり、オープンキャンパスなどを経て実際に入学する人数をある程度正確に予測している。そのため、これらの取組の結果が、入学試験で適正な選抜が担保できる志

願者数及び入学定員を充足する入学者数の確保に結びついており、今後も受験生のニーズ等を調査・分析して、さらに内容の充実を図ることとしている。

#### ○学外における進学イベント

一年をとおして、高校生を対象とした進学関連企業などが開催する進学イベント（外部移設や高校内の施設を利用した進学ガイダンス）に積極的に参加している。関東圏を中心とした様々な地域の高校生に向けて、職業紹介や大学全体の概要説明及び進学相談など、キャリア教育支援を行うとともに医療福祉専門職の道を志す高校生を一人でも増やす啓発活動を行いながら、本学の認知度向上を図り学生募集へと繋げている。

#### ○地方会場での個別相談及び説明会（大田原キャンパスのみ実施）

大田原キャンパスでは、5月から7月にかけて地方入学試験会場を設置する主要都市5か所を中心に、高校生及びその保護者を対象とした入試説明会及び個別相談会を実施している。説明会は初参加者（オープンキャンパス未参加者）にも対応できるよう大学・学科紹介を含めたプログラムとしている。各会場では学科教員1～2人及び職員2人が、各キャンパスの同じ学問分野の学科も含めて総合的に説明を行い、オンライン相談なども含めて参加者のニーズに合わせて柔軟に対応している。なお、2023年度は全説明会を通して300人の参加があり、そのうち2024年4月入学生選抜試験の受験対象者数（高校3年生）は193人であった。

本取組は高校生や保護者から直接意見を聞くことができる好機であるため、実施内容の充実を図りながら、現在と同程度の開催回数を維持しつつ、参加者数を増加させることとしている。

#### ○ミニオープンキャンパス（小田原キャンパスのみ実施）

小田原キャンパスでは、3月から11月にかけて4回程度、午後半日開催の小規模なオープンキャンパスを実施している。本取組では、高校生とその保護者に対して、学科紹介、模擬授業、個別相談、入試ガイダンスや構内案内などのイベントをとおして、本学の特色や学生生活についての理解に繋げている。2023年度は全イベントを通して346人の参加があり、そのうち2024年4月入学生選抜試験の受験対象者数（高校3年生）は135人であった。

積極的にキャンパスを開放して、高校生や保護者がキャンパスや学科の雰囲気、教育環境を知ることができる機会の充実を図っている。今後も開催回数を維持しながら、参加者数を増加させていくこととしている。

#### ○キャンパス見学会

一年をとおして予約制のキャンパス見学会を実施している。見学者はイベント開催のない平時のキャンパスの様子を見る能够ため、より具体的に学生生活をイ

メージできるものと考えている。入学前と後でのギャップが少なくなるようにキャンパスの積極的な開放を行っている。

## 2) 高等学校への訪問

本学では、高等学校長などの経験者を、主に学生募集や高等学校などへの訪問を担当する専任職員として採用している。当該職員は、高等学校や予備校等とのパイプ役として密接に情報交換を行っている。現在 17 人の職員が、青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・千葉県・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県・静岡県の各エリアを担当している。職員は、大田原キャンパスで 11 人、成田キャンパスで 3 人、小田原キャンパスで 3 人が活動しており、募集活動として各県の高等学校を訪問することに加えて、高大連携事業や教員の出張講義など高等学校との関係性を強化する取組の推進にも携わっている。

高等学校への訪問は、1 年間を 5 つの期間に分け、各時期に応じた目的のもと、計画的に入学試験の案内、イベント案内などを行っている。2023 年度においては、それぞれのキャンパスの学生募集地域である関東・東北・甲信越地域に所在する高等学校を中心に、I 期～V 期で延べ 4,335 校（大田原 2,785 校、成田 607 校、小田原 943 校）へ訪問を実施している。年々訪問校数を増やしており、今後も同地域を中心に訪問を実施する予定である。

加えて、訪問には学科教員も同行し、学科の 3 つのポリシーやカリキュラムなどに関して具体的に説明することとしており、まずは本学に興味や関心を持ってもらい、出願の機会につなげるよう尽力している。このように、本学では多数の高等学校への訪問を通じて、進路指導教員などとの強固な信頼関係を築いており、これらが安定的な学生募集に繋がっているものと考えている。

以上のとおり、高等学校への訪問は、本学の各種イベントへの参加がない高校生を含めて、広く本学の活動を周知するいわゆる広報的な要素をもつ機会である。引き続き計画的かつ精力的な訪問を行い現在の訪問校数を維持すると同時に、徐々に訪問校数を拡充して志願者数のさらなる確保を目指している。

【表 4】高等学校訪問スケジュール

実施時期	目的	配付資料
I 期(5 月～6 月)	新年度挨拶／大学案内告知／6 月オープンキャンパスの案内	新年度パンフレット イベント案内
II 期(7 月～8 月)	大学紹介／入学試験説明／志願者調査／8 月オープンキャンパスの案内	学生募集要項 イベント案内
III 期(9 月～10 月)	入学試験説明・入試アドバイス／志願者調査	入学試験ガイド 本学赤本
IV 期(11 月～12 月)	高等学校教員に入学試験結果の説明／出願御礼及び出願促進の依頼	入学試験ガイド イベント案内
V 期(2 月～3 月)	出願御礼／出張講義の案内／3 月オープンキャンパスの案内	出張講義案内 イベント案内

### 3) 情報媒体の活用

#### ○本学ウェブサイト・SNS等の活用

本学ウェブサイトにおいて、受験生及び保護者向けにオープンキャンパス等の各種イベント情報や、入学試験の情報などを集約した特設ページを設けている（サイトURL：<https://admissions.iuhw.ac.jp/index.html>）。

特設ページをはじめとして大学ウェブサイトは、受験生が本学の情報を得る要の手段であるため、特にイベント及び入学試験の概要や各種日程等に関する情報の充実に加え、医療福祉専門職の職種理解を深めるための情報を発信するなど、常に新しい情報を更新するよう努めている。また、X（旧Twitter）やInstagramなどのSNSを活用した情報発信も行っている。オープンキャンパスやガイダンスなどの学生募集に関するイベント情報、入学試験の日程や出願スケジュールなどを積極的に発信している。加えて、大学内の学生の様子や、入学式・卒業式、大学祭など行事の雰囲気が伝わるよう写真やショート動画を各種SNSやYouTubeなどに投稿し、受験生や保護者が本学での学生生活について具体的なイメージを持つことができるよう努めている。

各種SNSにおいては、多くの「いいね」数を集め、特に反応が良い投稿（オープンキャンパスや大学祭、入学式・卒業式などの各種イベントや行事の様子、授業風景やサークル活動など大学生活が垣間見える写真など）を中心に、1週間に1回以上の投稿を目標として積極的に発信している。また、入学試験やイベント情報の案内は、出願開始日及び受付開始日の1か月半前を目安に告知を行い、受験生や保護者に興味関心を持ってもらえるよう努めている。ウェブサイトやSNSは受験生が進学先を知るために重要な情報源となっているため、引き続き内容に工夫を行い、コンテンツの充実を図って、アクセス数の向上に努めることとしたい。

#### ○パンフレット

パンフレットでは、各学科のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー及び特長、入試日程、入学試験の概要等に関する情報を限られた紙面の中でわかりやすくまとめている。パンフレットは、本学に対するすべての資料請求者及び全国の高等学校、主要予備校、学習塾などに配布している。また、本学ウェブサイト内でもデジタルパンフレットとして閲覧できるようにしている。

#### ○受験雑誌・新聞広告

複数の受験雑誌により、各学科の特長、入試日程、入学試験の概要等に関する情報を周知している。また、新聞広告を一社に限定せず、様々な新聞社に掲載している。そこでは、各学科の進学説明会等と連動し、各職種の職業理解、将来性、本学の教育の特長について理解が深まるような内容を掲載している。

以上のとおり、あらゆる情報媒体を活用して知名度アップを図るとともに、多くの方々に広報を行うことで、受験生が本学を知るきっかけを作ることを目標としている。

#### **イ. 収容定員を変更する組織における取組とその目標**

収容定員を変更する組織では、前記ア「既設組織における取組とその目標」にて述べた各種取組をとおして、これまで学生の確保を確実に行ってきている。そのため、収容定員を変更した後においても、これらの広報活動（各種学生募集イベント、高等学校への訪問、ウェブサイト/SNS 及びパンフレットでの紹介）を踏まえながら、さらに効果的かつ幅広く大学情報を発信するべく、多様な情報媒体を活用して学生募集活動に取り組んでいくこととしている。

##### 1) 各種学生募集イベント

###### ○オープンキャンパス

3月から8月にかけて4～5回程度のオープンキャンパスを実施予定である。収容定員を変更する組織の教員陣が、学科の特長、教育内容及び3つのポリシー（アドミッション、ディプロマ、カリキュラム）を丁寧に説明する。加えて、医療機関や福祉施設での実務経験を有する教員が、専門職種に求められる役割や業務内容などを丁寧に説明する。これらの取組により、各組織の養成する人材像を具体的にイメージできるよう努め、本学への受験及び入学の機会につなげることを目標とする。

###### ○学外における進学イベント

一年をとおして、高校生を対象とした進学関連企業などが開催する進学イベント（外部移設や高校内の施設を利用した進学ガイダンス）に積極的に参加して、収容定員を変更する組織の概要説明及び進学相談などを行う予定である。本イベントでは、高校3年生に進級する者を主な対象と想定しているため、特に本学の入試制度や学修内容に関する内容を充実させて、受験及び進学の具体的なイメージにつなげて、志願者及び入学者の確保することを目標とする。

###### ○地方会場での個別相談及び説明会

5月から7月にかけて11県17か所（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・長野県）で実施を予定している。各会場では、学科教員1～2名及び職員3～4名が大学紹介や入試ガイダンスなどを行うこととしている。

## 2) 高等学校への訪問

前述アと同様の計画で、学科教員及び専任職員による高等学校の訪問を予定している。高等学校への訪問は、各種イベントへの参加のない高校生に対しても広く情報を発信できる機会であるため、2023年度よりも訪問校数を増やして、各組織の説明や紹介、入学試験の案内、イベント案内など精力的に行う。これにより、本学に興味や関心を持ってもらい、出願の機会に結びつけることを目標とする。

## 3) 情報媒体の活用

大学ウェブサイトやX（旧Twitter）やInstagramを活用して、大学情報、オープンキャンパスや各種ガイダンスなどの学生募集イベントの情報、入学試験日程や出願スケジュールなどを発信していく。

以上の学生募集活動に関する取組を、本学既設の多様な学科で培ったノウハウや積み上げてきた実績を踏まえて計画的かつ効果的に行っていく。これにより、入学試験で適正な選抜が担保できる十分な志願者数及び、定員相当数の入学者数の確保を行うこととしている。

### ウ. 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

入学後の調査により、イベント参加者における受験者数及び入学者数を結びつけることができる「オープンキャンパス」及び「地方説明会」の実績をもとに、収容定員を変更する組織での入学者数を以下のとおり見込んでいる。

なお、本項目の各表で用いる数値は、いずれも別表3の(a)から(d)までの内数である。

【別紙3：既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績（再掲）】

#### 1) オープンキャンパス

2022年度及び2023年度に実施したオープンキャンパスにおいて、収容定員を変更する組織の実績は次のとおりであった。

【表5-1】保健医療学部言語聴覚学科の実績

年度	学科名	受験者数	入学者数
2022	言語聴覚学科	77	52
2023	言語聴覚学科	73	40
平均	言語聴覚学科	75	46

【表5-2】医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の実績

年度	学科名	受験者数	入学者数
2022	医療福祉・マネジメント学科	141	86
2023	医療福祉・マネジメント学科	96	73
平均	医療福祉・マネジメント学科	119	80

【表 5-3】成田看護学部看護学科の実績

年度	学科名	受験者数	入学者数
2022	看護学科	154	70
2023	看護学科	175	65
平均	看護学科	165	68

【表 5-4】成田保健医療学部放射線・情報科学科の実績

年度	学科名	受験者数	入学者数
2022	放射線・情報科学科	230	27
2023	放射線・情報科学科	141	25
平均	放射線・情報科学科	186	26

【表 5-5】小田原保健医療学部看護学科の実績

年度	学科名	受験者数	入学者数
2022	看護学科	113	58
2023	看護学科	115	61
平均	看護学科	114	60

オープンキャンパスによる入学者の実績は、COVID-19 流行下を除いて長年にわたり大きな変動はなく、例年同程度の人数で推移している。そのため、収容定員を変更する組織では、本取組をとおして上記各表の平均人数以上の入学者数を確保できるものと推測する。具体的には、保健医療学部言語聴覚学科で「46 人以上」、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科で「80 人以上」、成田看護学部看護学科で「68 人以上」、成田保健医療学部放射線・情報科学科で「26 人以上」、小田原保健医療学部看護学科で「60 人以上」を見込むことができると言える。

上述の入学者の見込数は、それぞれの学科の入学定員の約 6 割程度の人数に当たるため、現状の定員充足の状況及びその他の学生募集活動を通じて、入学定員を充足できることを確信する。

## 2) 地方説明会

さらに、大田原キャンパスでは、個別の取組として地方説明会を実施している。2022 年度及び 2023 年度に実施した本取組につき、「保健医療学部言語聴覚学科」及び「医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科」の実績は次のとおりであった。

【表 6-1】保健医療学部言語聴覚学科の実績

年度	学科名	受験者数	入学者数
2022	言語聴覚学科	27	17
2023	言語聴覚学科	25	13
平均	言語聴覚学科	26	15

【表 6-2】医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の実績

年度	学科名	受験者数	入学者数
2022	医療福祉・マネジメント学科	11	6
2023	医療福祉・マネジメント学科	18	12
平均	医療福祉・マネジメント学科	15	9

地方説明会においても、オープンキャンパスと同様に、長年にわたって参加者数等に大きな変動はなく、例年同程度の人数で推移している。そのため、保健医療学部言語聴覚学科及び医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科確保では、本取組によって上記各表の平均人数以上の入学者数を確保できるものと推測する。具体的には、前者で「15人以上」、後者で「9人以上」を見込むことができると言える。

以上2つの学生募集活動を通じて、保健医療学部言語聴覚学科では「計61人以上」、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科では「計89人以上」の入学者を最低限確保できるものと考える。そのうえで、今回当該組織の定員規模の適正化が図られることも考慮すると定員充足の可能是十二分にあると確信する。

以上の結果分析を踏まえて、このたび収容定員を変更する全ての組織で、定員相当数の入学生を確保することが可能であると考える。

## ② 競合校の状況分析(立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

### ア. 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

#### ○ 競合校の選定理由

収容定員を変更する組織の競合校については、それぞれの組織が所在する各キャンパスにて設定する学生募集地域、受験者の出身地域及び養成する人材の特色を考慮して、以下の理由のもと選定を行った。なお、競合校の選定にあたって調査した、私立大学の一覧は【資料10】のとおりである。

#### 【資料10：看護師等を養成する私立大学一覧】

##### 1) 大田原キャンパスに設置する収容定員を変更する組織の競合校について

大田原キャンパスには、収容定員を変更する組織「保健医療学部言語聴覚学科」及び「医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科」を設置している。当該キャンパスは栃木県北部の大田原市に位置しており、受験者は北関東及び東北地域出身の者が多い傾向にある。これより、主たる学生募集地域を北関東及び東北地域と想定し、この地域内に所在する学校種、設置者、学問分野、学力層及び入学定員に類似性のある学校を競合校とする。

前者「保健医療学部言語聴覚学科」と類似性のある学問分野の学科等を設置し、同じく言語聴覚士を養成する私立大学は、北関東及び東北地域に4校所在する。栃木県

内で当該人材を養成する4年制大学は本学1校のみであるため、4校のうち比較的に距離が近く学力層が同程度である「群馬パース大学（群馬県）」を「競合校」と想定する。

次いで、後者「医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科」と類似性のある学問分野の学科等を設置し、同じく社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士及び医療事務の4人材を養成する私立大学は、北関東及び東北地域に2校所在する。栃木県内で当該人材を養成する4年制大学は本学1校のみであるため、2校のうち学力層及び定員規模が同程度と思われる「高崎健康福祉大学（群馬県）」を「競合校」と想定する。

## 2) 成田キャンパスに設置する収容定員を変更する組織の競合校について

成田キャンパスには、収容定員を変更する組織「看護学部看護学科」及び「成田保健医療学部放射線・情報科学科」を設置している。当該キャンパスは千葉県西部の成田市に位置しており、受験者は関東地域出身の者が多い傾向にある。これより、主たる学生募集地域を関東地域と想定し、この地域内に所在する学校種、設置者、学問分野、学力層及び入学定員に類似性のある学校を競合校とする。

前者「成田看護学部看護学科」と類似性のある学問分野の学科等を設置し、同じく看護師を養成する私立大学は、千葉県内に17校所在する。このうち、学力層及び定員規模が同程度と思われる「東京医療保健大学（千葉県）」を「競合校」と想定する。

次いで、後者「成田保健医療学部放射線・情報科学科」と類似性のある学問分野の学科等を設置し、同じく診療放射線技師を養成する私立大学は、関東地域に8校所在する。千葉県内で当該人材を養成する4年制大学は本学1校のみであるため、8校のうち最も距離が近い「つくば国際大学（茨城県）」を「競合校」と想定する。

## 3) 小田原キャンパスに設置する収容定員を変更する組織の競合校について

小田原キャンパスには、収容定員を変更する組織「小田原保健医療学部看護学科」を設置している。当該キャンパスは神奈川県西部の小田原市に位置しており、受験者は関東地域出身の者が多い傾向にある。これより、主たる学生募集地域を関東地域と想定し、この地域内に所在する学校種、設置者、学問分野、学力層及び入学定員に類似性のある学校を競合校とする。

「小田原保健医療学部看護学科」と類似性のある学問分野の学科等を設置し、同じく看護師を養成する私立大学は、神奈川県内に10校所在する。このうち、学力層及び定員規模が同程度と思われる「東海大学（神奈川県）」を「競合校」と想定する。

## ○ 競合校との比較分析

### ・教育内容と方法

本学は、従前より実践的な専門職教育に全学で取り組んでおり、職能に直結する実習

教育を重視し、さらに医療福祉の総合大学として関連医療施設及び福祉施設を有し、少人数制での細やかな教育を実践している。加えて、語り合う体験を通して、様々な人々が共に生きる社会を学生に実感させること、英語による医療コミュニケーションの実践など大学における知識・理論の講義と臨床現場での臨床実習を一体化させることなどにより国際性を有した医療人として成長を促す教育にも取り組んでいる。

さらには、多職種連携・協働やチーム医療・チームケアの一層の成熟を目指して、本学では従前より関連医療施設等と医学部・薬学部・医療福祉系学部などが連携した独自のカリキュラムを構築し、いわゆる関連職種連携教育を取り入れた教育研究活動に取り組んでいる。具体的には、施設見学、講義、グループワーク、臨床実習を通して学部・学科の垣根を越えたチームで実践しながら学年ごとに学びを深めていき、チーム医療の一翼を担える医療人を目指している。

本学既設組織は長年の経験に基づいた確かな教育実績を有している。開設から現在に至るまでの着実な教育実績及び前述の専門職教育の特色を生かしつつ、基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、関連職種連携論、関連職種連携ワークや関連職種連携実習等といった本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムを通して対人援助職としての医療人教育を行っている。さらに、本学の先進設備を備えた関連医療施設及び多彩な福祉施設における臨床実習により、高度な専門性を備え、医療人としてチーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな医療福祉人材を養成する全人教育を行っている。

そのうえで、本学では次のとおり特長ある教育を行い、内容を充実させていく。なお、競合校の教育内容と方法は、各大学のホームページを参照し資料にまとめている。

#### 【資料 11：競合校の教育内容と方法の概要】

##### ( i 充実した医療福祉施設を活用した実践的な専門職教育)

本学は充実した医療福祉施設を設置しており、特に 6 つの大学病院をはじめとした多数の病院・施設を栃木県・千葉県・東京都・静岡県・福岡県に有している。

収容定員を変更する組織を設置する大田原キャンパスの所在地である栃木県には、大学附属病院として「国際医療福祉大学病院（449 床）」及び「国際医療福祉大学塩谷病院（199 床）」を置いている。このうち国際医療福祉大学病院は、1998 年に開設して以来、質の高い医療を提供し、栃木県のみならず広く関東地方北部や東北地方南部から、多くの来院者を迎える中核的な総合病院となっている。加えてキャンパス内に、障害者支援施設やリハビリテーション施設、特別養護老人ホーム、児童心理治療施設、認定こども園、言語聴覚センターを持つ大学クリニックなど、多様なミッションを担う医療福祉施設を設置している。

成田キャンパスが所在する千葉県には、大学附属病院として「国際医療福祉大学成田病院（642 床）」及び「国際医療福祉大学市川病院（260 床）」を置いている。特に国際

医療福祉大学成田病院は、成田国際空港至近に在ることから、国内のみならず国外の患者にも高度先進医療を提供するべく、多様な文化・言語に対応できる体制を整え国際的なハブ病院を目指している。また、2025年に国際医療福祉大学成田病院の隣地に特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の事業を提供する「国際医療福祉大学成田老年医療福祉センター」を開設し、同病院と連携して地域の医療・介護・福祉を担う拠点としてサービス提供を行っている。

さらに、小田原キャンパスの近隣地域である、東京都及び静岡県には、大学附属病院として「国際医療福祉大学三田病院（291床）」及び「国際医療福祉大学熱海病院（269床）」を置いている。後者の国際医療福祉大学熱海病院は、災害拠点病院として災害時における医療拠点の役割を担うと共に、質の高い医療を提供して静岡県東部、伊豆半島及び神奈川県西部の人々の健康を支える中核的な総合病院である。

これらの病院・施設と連携して、臨床実習や関連職種連携プログラムなどの教育を展開し、医療福祉現場に必要な実践的かつ専門性の高い知識及び技術を学ぶ理想的な教育環境を整えている。この点は、他の学校と比較して優れた点であると考える。

#### ( ii チーム医療・チームケアに対応した教育)

タスクシフト/シェアの円滑な実施にあたっては、具体的な役割分担・連携の在り方、導入方法などの個別論点を整理する必要がある。そのため、今まで以上にチーム医療・チームケアの理解が必要であり、大学教育においても重要性が増している。

これらに対応した教育として、本学では従前より独自のカリキュラム「関連職種連携教育（IPE : Interprofessional Education）」を学年進行で構築している。これによって、学部・学科の垣根を越えて、医療福祉の臨床現場に不可欠の「チーム医療・チームケア」を段階的に学ぶ機会や環境を整えている。

具体的には、「チーム医療・チームケア」を支える医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師に加えて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、さらには社会福祉士や精神保健福祉士、介護福祉士、医療事務という全ての領域の専門職を目指す学生らが共に学びあうことにより、学生時代に「チーム医療・チームケア」を学修することになる。このような充実した多職種との連携教育は我が校の伝統であり、競合校のみならず全国的にも優れているといえる。

なお、関連職種連携教育の進め方は以下のとおりである。

1年次に、「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」を開講し、本学が養成する医療福祉専門職の職域や職務について、実際に資格を有する教員が授業を行い、チーム医療・チームケアの概要を学修する。

2年次は、「関連職種連携論」により、各職種の共通用語である「国際生活機能分類（ICF）」の活用方法を始めとした、チーム医療・チームケアの実践に必須となる知識などを学修したうえで、実例をとおして様々な患者に対するチームによる介入方法や自

立支援の方法を学ぶ。

3年次は、「関連職種連携ワーク」により、各学科の学生から構成される少人数制グループで、模擬症例をもとに患者と家族へのアプローチ方法をチューター教員の指導のもと検討する。そして、グループワークの成果を学内報告会で発表し、第三者からの評価や第三者への説明を通じて、学生が主体的に学びや気づきを得る教育を行う。

4年次には、選択科目として「関連職種連携実習」を開講する。本学附属病院や関連施設に加えて、本学のチーム医療・チームケア教育に理解をいただいた地域の基幹病院にて、キャンパスの垣根を越えて12学科14職種を目指す学生による混成チームを作り、1週間ほどの実習を行う。なお、2023年度は252名の学生が31チームに分かれ21か所の病院・施設で実習を行い、2024年度においては履修者が増え286名の学生が31チームに分かれ21か所の病院・施設で実習を行った。

実習では、実際にケースカンファレンスへの参加や、患者に対するアプローチ方法を検討して、チームでアセスメントサマリー・総合サービス計画の作成と評価を実施する。実習後は学内報告会で実習指導者及び教員、他チームの学生を前に発表を行う。

また、関連職種連携教育に関する一連の科目群において、2種類のアンケート(RIPLS: Readiness for Interprofessional Learning Scale/IEPS: Interdisciplinary Education Perception Scale)を実施する。本アンケートは、受講者に授業の教育効果の認識(前者)、自職種に対する認識(後者)を調査するものであり、これらのアンケート結果をもとに、関連職種連携教育に関する会議体(臨床教育委員会)にて、教育効果が高まるよう議論及び検討を行っている。

### (iii) 専門性を支える幅広い総合科目の開講及び継続学習への対応)

資格取得を目指す授業科目の設定に加えて、特に低学年においては幅広い教養と豊かな人間性を涵養するための多彩な総合教育科目を用意している。約2週間海外の医療機関などで実習を行う「海外保健福祉事情」や、英語のみならず幅広い外国語教育科目などの選択科目を提供し、国際的なコミュニケーション能力の向上にも注力している。一方、高学年では、専門教育科目にて医療福祉分野の知識と技術を養い、臨床実習で各職種に係る知識と技術を統合し専門性と実践力を高める。また、「卒業研究」「看護研究」を通して、リサーチマインドを涵養しモチベーションを高めるプログラムを用意している。本学は、卒業後も大学院への入学を通じて専門的な知識と技術の研鑽に励む学生への対応として、大学院医療福祉学研究科を開設している。2025年度の修士課程入学者は保健医療学専攻185名(うち本学卒業者71名)、医療福祉経営専攻49名(同2名)であった。また、保健医療学専攻博士課程においては、看護学など保健医療系分野に61名(うち本学卒業者41名)、社会福祉学など医療福祉経営系分野に17名(同10名)の入学者があり、充実した研究施設の下で研究を継続できる環境は、医療福祉専門職としてのキャリアアップの醸成に貢献できるものである。

このような国際性と専門性の強化及び継続教育は本学の教育理念に基づくものであるが、在学生及び卒業生が長期にわたり自らのキャリアを維持しつつ、社会に貢献するために欠かせないものである。これらの点についても競合校にはない強みといえる。

以上をまとめると、収容定員を変更する組織においては、これまでに築きあげてきた本学独自のカリキュラムによる教育に加えて、社会からの要請に積極的に耳を傾けて時世時節に応じた医療福祉現場と直結した専門職教育を実践しており、これらは比較的優位な点であると考えられる。

#### ・入試(競合校の受験時期、入学手続時期との関係)

本学の選抜試験の日程及び入学手続期間については、受験生の学業の妨げにならないよう細心の注意を払うとともに、他の競合校等の動向をみて設定する。具体的には、10月及び12月に総合型選抜、11月に学校推薦型選抜、12月に特待奨学生特別選抜、2月に一般選抜前期、3月に一般選抜後期を実施予定である。また、本学では、基本的に選抜試験から2週以内に合格発表を行い、発表日から概ね2週間後に入学手続期限を設定することとしている。競合校においても、概ね同様のスケジュールのもと試験日及び入学手続期限を設けていることから、受験生のニーズに沿ったスケジュールと考える。

これに加えて、本学では特待奨学生特別選抜、一般選抜前期及び大学入学共通テスト利用選抜において、学生納付金の分割納入方式を導入している。これにより、合格者の一時的な経済的負担の緩和を図ることとしている。また、特待奨学生特別選抜については、12月に試験日を設定し、年内に合格発表を行う。これによって、受験生は早い段階で合否を知ることができるために、自身の希望に沿った幅広く柔軟な進路選択が可能になると考える。さらに本学は関東及び九州地域に5キャンパスを有する強みを生かして、1都20県に23試験場を設置して、多様な地域の受験生に対応をしている。

以上、受験生本位の選抜試験の実施は特長ある優位点と考える。

【資料12：2026年度国際医療福祉大学入試ガイド（抜粋）】

【資料13：試験日及び入学手続期間】

#### ・学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容

本学では、独自の奨学制度等として全学部を対象に4つの給付型と1つの貸与型の学費支援制度を用意している。まず、給付型の制度として、具体的には、入学試験で優秀な成績を収めた合格者（特待奨学生）への制度、成績優秀な在学生への制度、卒業生に父母若しくは兄弟姉妹又は在学生に兄弟姉妹がいる者への制度、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と連携した制度を用意して学生の経済的負担の軽減に力を注いでいる。また、災害など不測の事態による家計急変者に対する貸与型の学費支援制度を設けて、学生が学業を継続できるよう体制を整えている。

とりわけ、特待奨学生奨学金制度の区分 S で採用された場合、正規の在学期間中において授業料 100%相当額を給付しており、負担すべき学費総額の大幅な低減を図っている。これにより、国公立大学と同程度の学費総額にて修学できる環境を整えている。さらに看護学科及び医療福祉・マネジメント学科介護福祉専攻では、卒業後に看護師・介護福祉士として本学附属病院または関連福祉施設で所定年限就業することで、返還が免除となる貸与型の奨学金制度も用意し、雇用も含めた支援体制を整えている。

以上のとおり、本学では特待奨学生及び在学生に対する奨学金制度を複数用意し、経済的負担の軽減措置を講じており、これらの取組は競合校との比較優位点であると考える。

#### 【資料 14：競合校の奨学金制度等の概要】

##### ・就職支援の内容

収容定員を変更する組織で養成する人材は医療福祉の現場で欠かせない専門職種であり、国家試験に合格すれば、就職は難しくないといえる。しかしながら、本人と就職先とのマッチングには様々な条件が必要とされるため、本学では丁寧な就職支援活動に取り組んでいる。その結果、2021 年度から 2024 年度において就職希望者の就職率 100% を維持している。加えて、各地に所在する本学附属病院及び関連病院並びに関連施設において多くの就職希望者を受け入れている。また、本学は各キャンパスに届いた就職求人情報を一つのデータベースに集約し共有して、WEB サイト上から閲覧できるようにしている。進路の選択肢を多く用意することで、学生が希望に合った進路の選択及び実現ができる環境を整えている。2024 年度に本学に届いた求人件数は 12,335 件および、本学が養成する人材の需要の高さを示していると考える。

このような各キャンパス間の連携にとどまらず、大学附属病院をはじめ本学グループの医療福祉機関と共同して行う一連の就職支援は競合校との比較優位点であると考える。

本学の就職支援の具体的な取組内容は以下のとおりである。

##### (就職活動を支援する専属部署の設置と取組)

就職活動を支援する専属部署として「キャリア支援センター」を設置している。キャリア支援センターにはキャリアコンサルタントの国家資格を有した専門職員を配置して就職支援体制を強化している。専門職員は、予約制の個別相談枠を設定して、学生の希望に応じ対面及びオンラインにて、面接指導及び履歴書・エントリーシートの添削指導などを行っている。これ加えて、就職情報コーナーを設置して、就職に関する各種情報を集め、開室時間中は自由に閲覧することできるよう整備している。この就職情報コーナーは、学生間の情報交換、コミュニケーションの場としての役割も果たしている。

このように、国家資格を有した専門職員によるサポート体制に加えて、学生間での情報交換及びコミュニケーションの場を整備している点は本学の優位点といえる。

#### (全学的な就職支援体制の構築)

本学では学科教員から構成される就職委員会と学生課が連携し、積極的な情報収集ときめ細やかな情報共有を図り全学的な就職支援体制を構築している。情報共有は各キャンパスの垣根を越えて実施している。各キャンパスの同学問分野の学科間では、就職担当教職員がオンライン会議システムなどを活用して、求人情報、就職内定情報など各キャンパスの取組状況を話し合い常に情報を共有している。また、同じ学問分野の学科間のみならず、5キャンパス合同（大田原キャンパス、成田キャンパス、東京赤坂キャンパス、小田原キャンパス、大川キャンパス）による情報交換も積極的に行っている。

このように全学的な就職支援体制を構築することで、広域の就職関連情報や人材需要動向を収集することができ、学生の希望に沿った学生本位の就職指導が可能になる。キャンパスを多地域に展開している強みを生かして、広域の情報を収集し行う就職支援は、競合校に優っている点と考える。

#### (本学独自テキストの活用)

本学では、学生及び就職担当教員に本学独自テキストの「キャリア支援セミナーBasic」を配付し、学科の予定にあわせた年次計画のもと、自己分析、マナー講習、履歴書作成、面接指導に関する必修セミナーを実施している。これに加えて、就職活動の心構え、求人情報の収集方法、就職内定までのスケジュールなどを説明すると共に、社会人としての成長を見据えた就職活動の在り方を伝えている。保護者には「キャリア支援ハンドブック」を配付して、医療系職種の就職活動の情報や依頼・留意事項を伝えている。

以上のとおり、学科間で支援内容に差が生じないよう、各学科の予定を考慮して各種セミナーを開催し、学生全員が受講できる均等の機会を確保している。また、保護者とも協働した就職支援を実施していることは、本学の優っている点と考える。

#### (WEB サイトを活用した就職支援の実施)

本学に届いた求人情報は、求人票を受領した各キャンパスの就職担当者により、就職支援システム（IUHW キャリアサポート、以下同じ）で随時最新の情報へ更新を行っている。学生は IUHW キャリアサポートをとおして、どのキャンパスに届いた求人情報であっても学生は閲覧することが可能となっている。求人情報の他にも、就職活動を経験した学生が、卒業時にまとめた就職活動の留意点、試験や面接の内容等に関する報告書や、病院見学・インターンシップの情報及び企業等の募集要項などの資料も掲載している。なお、病院見学・インターンシップの情報及び企業等の募集要項などの資料については、WEB 上だけでなく紙媒体でも閲覧できるよう各キャンパスで管理している。

以上のとおり、WEB サイトをとおして、学内外から全国的な求人情報などの就職関連情報を閲覧できるよう整備している点は、学生の利便性確保に重きをおいた本学の優っている点と考える。

【資料 15：国際医療福祉大学 2024 年度の地域別求人数及び就職率】

【資料 16：国際医療福祉大学 2021 年度から 2023 年度までの就職率】

【資料 17：キャリア支援セミナーBasic（抜粋）】

【資料 18：キャリア支援ハンドブック（抜粋）】

#### ・取得できる資格

収容定員を変更する組織では、看護師等の国家試験の受験資格を取得できるカリキュラムを編成する。加えて、学生が希望する専門職に就くことができるよう、模擬試験や国家試験対策講座開講などの充実を図り、きめ細やかなキャリア形成支援を行うことで、全国上位の高い合格率を維持している。さらに、医療福祉の総合大学である強みを最大限に生かして、学生の学びを支援している。それぞれの資格に係る専門知識及び技術を有し、実際に臨床現場で活躍する教員陣によって系統的に授業を開講して、単なる資格取得に留まらず、臨床現場での実践も想定し専門性を高めている。

以上の取組を通して、学生のニーズに的確に応えたキャリア形成支援及びキャリアアップに資する授業を提供している点は、本学の最大の特長であり競合校に対する優位性であると考える。

【資料 19：国家試験の合格率（令和 4 年度～令和 6 年度）】

【表 7】 収容定員を変更する組織で取得できる国家試験の受験資格

収容定員を変更する組織	取得できる受験資格
保健医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士
医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科	社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士
成田看護学部看護学科	看護師、保健師
小田原保健医療学部看護学科	
成田保健医療学部放射線・情報科学科	診療放射線技師

#### イ. 競合校の入学志願動向等

保健医療学部言語聴覚学科の競合校と想定する、群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科は、2024 年度から過去 3 年間の平均入学者数は 32 人（定員充足率 106%）、2024 年 4 月入学者数は 28 人（同 93%）であった。また、過去 3 年間の平均志願倍率は 4.5 倍であるため、毎年適正な入学者選抜を担保できる十分な志願者数を集め、着実に入学者を確保している。

医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の競合校と想定する、高崎健康福祉大学健康福祉学部の社会福祉学科及び医療情報学科は、2024 年度から過去 3 年間の平均入学者数につき、前者学科は 82 人（同 117%）、後者学科は 85 人（同 110%）であった。また、2024 年 4 月入学者数は、前者学科では 80 人（同 107%）、後者学科では 78 人（同 98%）

であり着実に入学者を確保している。また、過去3年間の平均志願倍率については、両学科ともに3.2倍であるため、毎年適正な入学者選抜の実施にあたって十分な志願者数を確保している。

成田看護学部看護学科の競合校と想定する、東京医療保健大学千葉看護学部看護学科は、2024年度から過去3年間の平均入学者数は115人（同115%）、2024年4月入学者数は99人（同99%）であった。また、過去3年間の平均志願倍率は5.7倍であるため、毎年適正な入学者選抜を担保できる十分な志願者数を集め着実に入学者を確保している。

成田保健医療学部放射線・情報科学科の競合校と想定する、つくば国際大学医療保健学部診療放射線学科は、2024年度から過去3年間の平均入学者数は104人（同130%）、2024年4月入学者数は104人（同130%）であった。また、2024年4月入学者選抜の志願倍率は3.2倍であるため、適正な入学者選抜の実施にあたって十分な志願者数を集め着実に入学者を確保している。

小田原保健医療学部看護学科の競合校と想定する、東海大学医学部看護学科は、2024年度から過去3年間の平均入学者数は97人（同102%）、2024年4月入学者数は93人（同98%）であった。また、過去3年間の平均志願倍率は7.2倍であるため、毎年適正な入学者選抜を担保できる十分な志願者数を集め着実に入学者を確保している。

以上のとおり、比較した各大学は入学定員充足率を概ね100%にて維持しており、また入学定員の2倍以上の志願者数を確保し続けている。このことから、4年制大学保健系学部に対する受験生の継続的な興味関心の高さを伺うことができ、今回収容定員を変更する組織においても安定的に志願者及び入学者を確保できるものと考える。

#### 【資料20：競合校の入学志願動向】

##### ウ. 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等

前述のとおり、収容定員を変更する組織の競合校として想定する私立大学は、いずれも入学定員充足率につき概ね100%を維持している。また、単年度の定員充足率が100%に届かない大学も見受けられるが、入学定員と入学者数の差は▲1～3人であり誤差の範囲内であるといえる。さらに、いずれの大学も志願倍率が3倍以上であることから、堅調に志願者数及び受験者数を確保している状況にある。

加えて、日本私立学校振興・共済事業団「令和6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、私立大学が設置する保健系学部は、2024年度時点で全国に279学部あり、志願者数（倍率）は153,563人（3.71倍）、入学者数（充足率）は37,724人（91.04%）と報告されている。これをもとに競合校の志願動向を見てみると、いずれの大学も保健系学部全体の入学定員充足率を上回り、かつ志願倍率も同等またはそれ以上の実績を有することから、今後も順調に定員相当の入学者数を確保できると考える。

以上のとおり、保健系学部は、競合校及び全国ともに志願倍率と定員充足率を高水準にて維持している。このような志願動向のなかで、本学は確かな実績を有する学生募集活動

と、チーム医療・チームケアなど社会的ニーズを押さえた特長的な教育を実践することで、今後も安定的かつ継続的な学生確保が可能であると確信する。

【資料 8：令和 6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向（抜粋）（再掲）】

## エ. 学生納付金等の金額設定の理由

本学においては、できる限り家庭環境により教育を受ける機会に差が生じないよう低廉な負担で教育機会を提供しており、学生・保護者の負担軽減を図り、学生が安心して勉学に打ち込めるよう学生納付金の金額を設定している。今回収容定員を変更する組織の学生納付金の4年間総額は次のとおりである。

### 【学生納付金（4年間総額）】

- ・保健医療学部言語聴覚学科・・・・・・・・・・・・・・・・ 610万円
- ・医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科（介護福祉専攻除く）・・・ 412万円
- ・医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科（介護福祉専攻）・・・・ 372万円
- ・成田看護学部看護学科・・・・・・・・・・・・・・・・ 614万円
- ・成田保健医療学部放射線・情報科学科・・・・・・・・・・・・ 614万円
- ・小田原保健医療学部看護学科・・・・・・・・・・・・・・・・ 614万円

保健医療学部言語聴覚学科の学生納付金総額610万円は、学生募集地域（東北・北関東地域）に所在する、言語聴覚士を養成する私立大学5校の中でも低廉であり、同5校の平均学費637万円より27万円ほど低い金額設定としている。また、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の学生納付金総額412万円（介護福祉専攻：372万円）は、学生募集地域（東北・北関東地域）に所在する、3福祉士及び医療事務を養成する私立大学3校の中で最も低廉な金額設定としている。

成田保健医療学部看護学科の学生納付金総額614万円は、千葉県内に所在する、看護師を養成する私立大学17校の中でも低廉であり、同17校の平均学費645万円より41万円ほど低い金額設定としている。また、成田保健医療学部放射線・情報科学科の学生納付金総額614万円は、学生募集地域（関東地域）に所在する、診療放射線技師を養成する私立大学9校の中で最も低廉であり、同9校の平均学費678万円より64万円ほど低い金額設定としている。

小田原保健医療学部看護学科の学生納付金総額614万円は、神奈川県内に所在する、看護師を養成する私立大学11校の中でも低廉であり、同11校の平均学費650万円より46万円ほど低い金額設定としている。

以上のとおり、本学は学生及びその家庭の経済的負担を抑制する考えを堅持して、近隣大学の金額設定及び学生募集地域内の平均学費を考慮し、できる限り低廉な学生納付金の金額を設定している。

【資料 21：収容定員を変更する組織の学生納付金】

## 【資料 22：看護師等を養成する私立大学の学生納付金（4 年間総額）】

### ③ 先行事例分析

該当なし

### ④ 学生確保に関するアンケート調査

収容定員を変更する全ての組織は、別紙 2 のとおり 2019 年度から 2024 年度までの直近 5 年間の平均において、入学定員充足率が概ね 100% である。そのため、このたび収容定員を増やす「成田看護学部看護学科」「成田保健医療学部放射線・情報科学科」及び「小田原保健医療学部看護学科」においては、定員変更後も定員充足が確保と考える。

一方、直近 5 年間のうち入学定員未充足の年度がある「保健医療学部言語聴覚学科」及び「医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科」においては、それぞれ入学定員を 10 人ずつ減らすこととしており、これにより定員規模の適正化がなされ定員充足が可能となる見通しである。

以上、学生確保に係る過去実績などを踏まえて、このたびの収容定員変更により全ての組織において定員充足が可能になるとを考えている。

## 【別紙 2：既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）（再掲）】

### ⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

本学では、毎年、卒業生の就職先に対してアンケート調査を実施し、その結果をもとに養成する人材及び教育内容が社会の需要を踏まえたものであるかどうかを検証している。

#### [アンケート調査の概要]

##### ◆対象事業者：

過去 3 年間（2021 年度から 2023 年度）において、本学卒業生の就職実績が多い上位 7 割以上の事業者から 571 事業者を選び対象とした。

##### ◆調査方法：

上記 571 事業者に対して案内書類を郵送し、WEB 方式（Google Forms）または書面方式（アンケート用紙）にて、アンケート調査への協力を依頼した。

##### ◆回答期間：2025 年 1 月 10 日～2025 年 1 月 31 日

##### ◆回答件数：169 件（回答率 29.6%）

##### ◆質問内容/集計結果：【資料 23】のとおり。

#### [アンケート集計結果の分析]

本学卒業生の就職者数が多い、全国 571 事業者に対して「卒業生の就職先に対するアンケート」（以下「本アンケート」とする。）を実施し、169 事業者（29.6%）から回答が得られた。本アンケートの分析結果は次のとおりである。

( i 本学卒業生の社会的ニーズなどについて)

本アンケートでは、本学卒業生が有する社会人基礎力（質問 5）及び、採用時に重視する社会人基礎力（質問 8）を調査している。それぞれの質問における集計結果は以下のとおりであった。なお、質問 5 及び質問 8 では、以下の選択肢による 4 段階評価としており、いずれの質問においても選択肢の平均値よりグラフを作成している。

【選択肢】

質問 5 (4) 優れている、(3) やや優れている、(2) あまり優れていない、

(1) 優れていない

質問 8 (4) 重視している、(3) やや重視している、(2) あまり重視していない、

(1) 重視していない



質問 8 の結果によると、事業者が最も重視する基礎力は「協働するためのコミュニケーション力」「自覚と責任ある態度・行動」であり、次いで「多職種との連携」「物事に進んで取り組む力」、そして「社会的責務と倫理観」「新しい知識を追求する力」が続

いている。

一方、質問5の結果によると、本学卒業生が有する基礎力の大部分にて「やや優れている」以上の高い評価を得ている。加えて、質問8の事業者が特に重視する6つの基礎力については、いずれも「やや優れている」以上の評価を得られていることから、本学卒業生及び本学の教育内容は、社会的な需要を踏まえたものであると考える。

(ii) 本学卒業生に対する継続的な採用意向について)

質問7「次年度以降も、本学の卒業生を入職させたいと思いますか。」について、以下の回答が得られた。

質問7 内訳 (N=169件)

・思う	145件	85.8%
・やや思う	24件	14.2%
・あまり思わない	0件	0.0%
・思わない	0件	0.0%
計	169件	100.0%

以上のとおり、「思う」の回答が145事業者(85.8%)、「やや思う」の回答が24事業者(14.2%)からあり、アンケート回答のあった全ての事業者から、次年度以降の採用に関して前向きな回答を得ることができた。本学卒業生への期待の現れであると同時に、本学が養成する人材が社会的需要に応えていることを証左するものと考える。

以上より、本学が養成する人材は、社会的な人材需要の見通しを踏まえたものであると確信する。

【資料23：卒業生の就職先に対するアンケート】

#### (4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由

養成する人材の従事者数の状況、学生募集地域の18歳人口の推移及び直近5年間の収容定員を変更する各組織の入学定員の充足状況を考慮し、以下のとおり入学定員を変更する。

大田原キャンパスに設置する「保健医療学部言語聴覚学科」及び「医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科」では、栃木県内の言語聴覚士等の充足状況が改善傾向にあることを考慮して、それぞれの入学定員を10名ずつ減らし、前者学科の定員を70名、後者学科の定員を130名とする。直近5年間の各学科の平均入学者数(前者82名、後者136名)を踏まえて、定員充足率が100%以上になるよう設定している。

成田キャンパスに設置する「成田看護学部看護学科」及び「成田保健医療学部放射線・情報科学科」では、千葉県内の看護師等の需要に応えるため、入学定員を前者学科で5名増やし105名、後者学科で10名増やし60名とする。

また、小田原キャンパスに設置する「小田原保健医療学部看護学科」においても、神奈川

県内の看護師の需要に応えるため、入学定員を 5 名増やし 85 名とする。

上記 3 学科においては、いずれも延べ志願者数が入学定員の 8 倍を超えて集まっていることから、より多くの入学ニーズに応えるため増員する。また定員増員後においても志願状況を鑑みて定員充足は十分に可能であると考える。

以上、本学はいわゆるエッセンシャルワーカーの輩出する大学として、社会的需要や全国及び地域の動向を鑑みて、医療サービスの偏在性を解消するため、適切に入学定員を改める。

# 学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

## 目 次

別紙 1	新設組織が置かれる都道府県への入学状況	2頁
別紙 2	既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）	3頁
別紙 3	既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績	8頁
資料 1	令和4年版厚生労働白書（抜粋）	10頁
資料 2	収容定員を変更する組織が養成する人材の従事者数の推移について	17頁
資料 3	特別支援教育資料（令和5年度）（抜粋）	19頁
資料 4	令和6年障害者雇用状況の集計結果（抜粋）	27頁
資料 5	中央教育審議会大学分科会（第181回）・高等教育の在り方に関する特別部会 （第15回）合同会議の関連データ集（抜粋）	31頁
資料 6	リクルート進学総研マーケットリポート（2025年2月号）（抜粋）	37頁
資料 7	全国及び学生募集地域における人口推計に関する資料	43頁
資料 8	令和6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向（抜粋）	44頁
資料 9	国際医療福祉大学入学者の出身都道府県別集計	48頁
資料 10	看護師等を養成する私立大学一覧	49頁
資料 11	競合校の教育内容と方法の概要	50頁
資料 12	2026年度国際医療福祉大学入試ガイド（抜粋）	60頁
資料 13	試験日及び入学手続期間	61頁
資料 14	競合校の奨学制度等の概要	63頁
資料 15	国際医療福祉大学 2024年度の地域別求人数及び就職率	70頁
資料 16	国際医療福祉大学 2021年度から2023年度までの就職率	73頁
資料 17	キャリア支援セミナーBasic（抜粋）	74頁
資料 18	キャリア支援ハンドブック（抜粋）	78頁
資料 19	国家試験の合格率	82頁
資料 20	競合校の入学志願動向	83頁
資料 21	収容定員を変更する組織の学生納付金	84頁
資料 22	看護師等を養成する私立大学の学生納付金（4年間総額）	85頁
資料 23	卒業生の就職先に対するアンケート	86頁

## 収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近2024年度

### 栃木県について

	都道府県名	人 数	構成比
1	栃木県	1,915人	49.38%
2	茨城県	483人	12.45%
3	福島県	279人	7.19%
4	群馬県	237人	6.11%
5	その他	139人	3.58%
6	埼玉県	122人	3.15%
	全 体	3,878人	100.00%

### 千葉県について

	都道府県名	人 数	構成比
1	千葉県	9,497人	39.47%
2	東京都	3,996人	16.61%
3	茨城県	2,126人	8.84%
4	埼玉県	1,694人	7.04%
5	その他	1,051人	4.37%
6	神奈川県	761人	3.16%
	全 体	24,059人	100.00%

### 神奈川県について

	都道府県名	人 数	構成比
1	神奈川県	16,807人	37.96%
2	東京都	9,605人	21.69%
3	千葉県	2,067人	4.67%
4	静岡県	1,844人	4.16%
5	その他	1,828人	4.13%
6	埼玉県	1,730人	3.91%
	全 体	44,275人	100.00%

○収容定員を変更する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	関東(埼玉、千葉、東京、神奈川を除く)	99.49%	97.47%	102.35%
2	千葉	97.46%	95.48%	94.52%
3	神奈川	100.33%	98.85%	96.29%

○収容定員を変更する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	保健系学部（大学）	99.28%	96.79%	91.04%

## 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-1

## 大学学部学科等名：国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科

(大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。)

## 1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	28人	31人	32人	23人	18人	26人
	志願者数	28人	30人	32人	23人	18人	26人
	受験者数	23人	24人	24人	21人	17人	22人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	0人	1人	1人	1人
	辞退者数	1人	1人	0人	1人	1人	1人
	実人数	28人	31人	32人	23人	18人	26人
	志願者数	28人	30人	32人	23人	18人	26人
	受験者数	23人	24人	24人	21人	17人	22人
学校推薦型選抜	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	0人	1人	1人	1人
	入学者数	22人	23人	24人	20人	16人	21人
	募集人数	22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	37人	31人	42人	33人	40人	37人
	志願者数	37人	31人	42人	33人	40人	37人
	受験者数	37人	31人	39人	33人	40人	36人
	合格者数	0人	0人	0人	2人	4人	1人
	うち追加合格者数	0人	3人	5人	1人	3人	2人
	辞退者数	0人	3人	34人	32人	37人	34人
一般選抜	入学者数	37人	28人	34人	32人	37人	34人
	募集人数	25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	29人	41人	17人	39人	25人	30人
	志願者数	29人	41人	16人	39人	24人	30人
	受験者数	25人	12人	12人	25人	22人	19人
	合格者数	0人	0人	1人	5人	5人	2人
	うち追加合格者数	14人	8人	8人	14人	11人	11人
	辞退者数	9人	9人	3人	6人	13人	8人
	実人数	9人	9人	2人	6人	12人	8人
	志願者数	8人	0人	2人	3人	12人	5人
共通テスト利用入試	受験者数	0人	0人	0人	1人	2人	1人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	11人	4人	4人	11人	11人	8人
	募集人数	11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	22人	15人	14人	14人	14人	16人
	志願者数	22人	15人	14人	14人	14人	16人
	受験者数	22人	9人	7人	9人	12人	12人
	合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	うち追加合格者数	16人	6人	6人	8人	11人	9人
	辞退者数	16人	6人	6人	8人	11人	9人
	実人数	16人	11人	10人	7人	6人	10人
	志願者数	16人	11人	10人	7人	6人	10人
	受験者数	16人	11人	10人	7人	6人	10人
	合格者数	16人	7人	5人	5人	5人	8人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	6人	3人	1人	1人	1人	2人
	募集人数	12人	12人	12人	12人	12人	12人
合計	延べ人数	72人	59人	69人	43人	51人	59人
	志願者数	72人	59人	68人	40人	50人	58人
	受験者数	26人	39人	26人	32人	22人	29人
	合格者数	0人	8人	0人	12人	3人	5人
	うち追加合格者数	15人	16人	9人	13人	10人	13人
	辞退者数	48人	58人	32人	48人	47人	47人
	実人数	48人	50人	57人	31人	47人	47人
	志願者数	12人	17人	15人	7人	13人	13人
	受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	2人	5人	5人	2人	4人	4人
	辞退者数	87人	81人	80人	83人	77人	82人

## 3. 入学定員充足率

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.09	1.01	1.00	1.04	0.96	1.02	
歩留率	0.65	0.70	0.74	0.69	0.68	0.69	

(備考) 特記事項がある場合は記載すること。

## 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-2

## 大学学部学科等名：国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

(大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。)

## 1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	20人	30人	30人	30人	30人	28人
	延べ人数	49人	37人	44人	28人	36人	39人
	志願者数	48人	37人	44人	28人	35人	38人
	受験者数	48人	36人	44人	27人	35人	38人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	3人	2人	1人	2人
	辞退者数	49人	37人	44人	28人	36人	39人
	志願者数	48人	37人	44人	28人	35人	38人
	受験者数	48人	36人	44人	27人	35人	38人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	3人	2人	1人	2人
	入学者数	47人	35人	41人	25人	34人	36人
学校推薦型選抜	募集人数	52人	52人	52人	52人	52人	52人
	延べ人数	43人	54人	55人	69人	41人	52人
	志願者数	43人	54人	55人	69人	41人	52人
	受験者数	43人	54人	55人	69人	41人	52人
	合格者数	3人	12人	0人	1人	6人	4人
	うち追加合格者数	1人	4人	0人	4人	1人	2人
	志願者数	43人	54人	55人	69人	41人	52人
	受験者数	43人	54人	55人	69人	41人	52人
	合格者数	3人	12人	0人	1人	0人	3人
	うち追加合格者数	1人	4人	0人	4人	1人	2人
	入学者数	42人	50人	55人	65人	40人	50人
一般選抜	募集人数	35人	25人	25人	25人	25人	27人
	延べ人数	64人	78人	71人	68人	48人	66人
	志願者数	64人	78人	70人	67人	48人	65人
	受験者数	56人	58人	49人	54人	45人	52人
	合格者数	16人	15人	9人	18人	15人	15人
	うち追加合格者数	32人	37人	26人	30人	22人	29人
	志願者数	37人	29人	18人	17人	18人	24人
	受験者数	37人	29人	18人	17人	18人	24人
	合格者数	6人	1人	0人	3人	0人	2人
	うち追加合格者数	2人	0人	1人	0人	0人	1人
	入学者数	24人	21人	23人	24人	23人	23人
共通テスト利用入試	募集人数	18人	18人	18人	18人	16人	18人
	延べ人数	40人	37人	40人	35人	23人	35人
	志願者数	40人	36人	40人	34人	23人	35人
	受験者数	39人	30人	35人	33人	22人	32人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
	うち追加合格者数	28人	25人	31人	30人	19人	27人
	志願者数	34人	29人	30人	26人	15人	27人
	受験者数	34人	28人	30人	26人	15人	27人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	11人	5人	4人	3人	3人	5人
その他の特別選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	17人	15人
	延べ人数	97人	82人	85人	56人	53人	75人
	志願者数	95人	82人	84人	55人	53人	74人
	受験者数	63人	55人	38人	31人	39人	45人
	合格者数	17人	11人	2人	6人	19人	11人
	うち追加合格者数	37人	24人	18人	14人	27人	24人
	志願者数	80人	66人	74人	49人	46人	63人
	受験者数	78人	66人	74人	48人	46人	62人
	合格者数	30人	30人	29人	20人	18人	25人
	うち追加合格者数	1人	1人	1人	1人	0人	1人
	辞退者数	2人	0人	3人	1人	1人	1人
	入学者数	26人	31人	20人	17人	12人	21人
合計	募集人数	140人	140人	140人	140人	140人	140人
	延べ人数	293人	288人	295人	256人	201人	267人
	志願者数	290人	287人	293人	253人	200人	265人
	受験者数	249人	233人	221人	214人	182人	220人
	合格者数	36人	38人	11人	25人	43人	31人
	うち追加合格者数	99人	91人	78人	80人	70人	84人
	志願者数	243人	215人	221人	189人	156人	205人
	受験者数	240人	214人	221人	188人	155人	204人
	合格者数	188人	165人	173人	158人	126人	162人
	うち追加合格者数	10人	14人	1人	5人	0人	6人
	辞退者数	7人	6人	7人	7人	3人	6人
	入学者数	150人	142人	143人	134人	112人	136人

## 3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140人
入学定員充足率	1.07	1.01	1.02	0.96	0.80	0.97
歩留率	0.60	0.61	0.65	0.63	0.62	0.62

(備考) 特記事項がある場合は記載すること。

## 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-3

## 大学学部学科等名：国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科

(大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。)

## 1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	32人	32人	32人	32人	32人	32人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	92人 92人 43人 0人 1人	78人 78人 45人 0人 0人	101人 101人 46人 0人 2人	63人 62人 49人 0人 0人	83人 82人 50人 0人 0人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	92人 92人 43人 0人 1人	78人 78人 45人 0人 0人	101人 101人 46人 0人 2人	63人 62人 49人 0人 0人	81人 80人 50人 0人 0人
	入学者数	42人	45人	44人	49人	50人	46人
	募集人数	42人	42人	42人	42人	42人	42人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	432人 418人 93人 24人 49人	530人 506人 81人 17人 45人	589人 572人 78人 27人 37人	457人 447人 62人 6人 33人	415人 403人 65人 18人 36人
一般選抜	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	161人 155人 47人 9人 3人	135人 124人 34人 5人 1人	125人 120人 25人 5人 1人	88人 86人 18人 0人 1人	109人 103人 25人 2人 3人
	入学者数	44人	36人	41人	29人	29人	36人
	募集人数	16人	16人	16人	16人	16人	16人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	160人 159人 35人 0人 32人	152人 151人 31人 0人 29人	146人 145人 20人 0人 20人	108人 106人 20人 0人 19人	127人 125人 21人 1人 18人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	136人 136人 31人 0人 0人	117人 116人 28人 0人 1人	124人 123人 20人 0人 0人	92人 90人 17人 0人 0人	105人 104人 18人 1人 1人
	入学者数	3人	2人	0人	1人	3人	2人
	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	219人 217人 56人 0人 37人	188人 186人 59人 0人 34人	244人 238人 71人 0人 48人	202人 201人 60人 0人 37人	194人 192人 69人 0人 47人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	155人 154人 36人 0人 2人	134人 132人 42人 0人 2人	174人 171人 57人 0人 4人	146人 146人 40人 0人 2人	141人 139人 50人 0人 3人
	入学者数	19人	25人	23人	23人	22人	22人
共通テスト利用入試	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	903人 886人 227人 24人 119人	948人 921人 216人 17人 108人	1080人 1056人 215人 27人 107人	830人 816人 191人 6人 89人	819人 802人 205人 19人 101人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	544人 537人 157人 9人 6人	464人 450人 149人 5人 4人	524人 515人 148人 5人 7人	389人 384人 124人 0人 3人	436人 426人 143人 3人 7人
	入学者数	108人	108人	108人	102人	104人	106人
	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	903人 886人 227人 24人 119人	948人 921人 216人 17人 108人	1080人 1056人 215人 27人 107人	830人 816人 191人 6人 89人	819人 802人 205人 19人 101人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	544人 537人 157人 9人 6人	464人 450人 149人 5人 4人	524人 515人 148人 5人 7人	389人 384人 124人 0人 3人	436人 426人 143人 3人 7人
	入学者数	108人	108人	108人	102人	104人	106人
	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	544人 537人 157人 9人 6人	464人 450人 149人 5人 4人	524人 515人 148人 5人 7人	389人 384人 124人 0人 3人	436人 426人 143人 3人 7人
その他の特別選抜	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	155人 154人 36人 0人 2人	134人 132人 42人 0人 2人	174人 171人 57人 0人 4人	146人 146人 40人 0人 2人	141人 139人 50人 0人 3人
	入学者数	19人	25人	23人	23人	22人	22人
	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	219人 217人 56人 0人 37人	188人 186人 59人 0人 34人	244人 238人 71人 0人 48人	202人 201人 60人 0人 37人	194人 192人 69人 0人 47人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	155人 154人 36人 0人 2人	134人 132人 42人 0人 2人	174人 171人 57人 0人 4人	146人 146人 40人 0人 2人	141人 139人 50人 0人 3人
合計	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	544人 537人 157人 9人 6人	464人 450人 149人 5人 4人	524人 515人 148人 5人 7人	389人 384人 124人 0人 3人	436人 426人 143人 3人 7人
	入学者数	108人	108人	108人	102人	104人	106人
	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	903人 886人 227人 24人 119人	948人 921人 216人 17人 108人	1080人 1056人 215人 27人 107人	830人 816人 191人 6人 89人	819人 802人 205人 19人 101人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	544人 537人 157人 9人 6人	464人 450人 149人 5人 4人	524人 515人 148人 5人 7人	389人 384人 124人 0人 3人	436人 426人 143人 3人 7人

## 3. 入学定員充足率

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人	100人
入学定員充足率	1.08	1.08	1.08	1.02	1.04	1.06	
歩留率	0.48	0.50	0.50	0.53	0.51	0.50	

(備考) 特記事項がある場合は記載すること。

## 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-4

## 大学学部学科等名：国際医療福祉大学 成田保健医療学部 放射線・情報科学科

(大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。)

## 1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人	0人 0人 0人 0人 0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	27人 27人 16人 0人 0人	74人 74人 15人 0人 1人	56人 56人 15人 0人 2人	54人 54人 16人 0人 0人	34人 34人 18人 0人 1人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	27人 27人 16人 0人 0人	74人 74人 15人 0人 1人	56人 56人 15人 0人 2人	53人 53人 16人 0人 0人	34人 34人 18人 0人 1人
	入学者数	16人	14人	13人	16人	17人	15人
	募集人数	22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	344人 340人 40人 9人 19人	421人 412人 43人 5人 20人	365人 358人 23人 0人 9人	295人 289人 42人 16人 20人	290人 283人 36人 13人 16人
一般選抜	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	107人 106人 19人 4人 1人	81人 78人 19人 4人 0人	59人 56人 7人 0人 0人	45人 44人 12人 1人 1人	56人 54人 8人 1人 0人
	入学者数	21人	23人	14人	22人	20人	20人
	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	171人 170人 19人 0人 16人	135人 132人 19人 1人 16人	140人 138人 10人 0人 9人	104人 104人 13人 0人 13人	108人 107人 8人 0人 7人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	122人 121人 14人 0人 0人	94人 91人 16人 1人 1人	93人 93人 8人 0人 0人	74人 74人 10人 0人 0人	73人 72人 6人 0人 0人
	入学者数	3人	3人	1人	0人	1人	1人
	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	145人 145人 33人 0人 19人	136人 134人 31人 0人 17人	133人 130人 37人 0人 10人	122人 120人 30人 0人 14人	98人 98人 27人 0人 13人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	67人 67人 15人 0人 1人	74人 73人 19人 0人 0人	68人 68人 21人 0人 1人	65人 64人 19人 0人 1人	48人 48人 14人 0人 2人
	入学者数	14人	14人	27人	16人	14人	17人
共通テスト利用入試	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	687人 682人 108人 9人 54人	766人 752人 108人 6人 54人	694人 682人 85人 0人 30人	575人 567人 101人 0人 47人	530人 522人 89人 16人 37人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	323人 321人 64人 4人 2人	323人 316人 69人 5人 2人	276人 273人 51人 0人 3人	237人 235人 57人 1人 2人	211人 208人 46人 1人 3人
	入学者数	54人	54人	55人	54人	52人	54人
	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	687人 682人 108人 9人 54人	766人 752人 108人 6人 54人	694人 682人 85人 0人 30人	575人 567人 101人 0人 47人	530人 522人 89人 16人 37人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	323人 321人 64人 4人 2人	323人 316人 69人 5人 2人	276人 273人 51人 0人 3人	237人 235人 57人 1人 2人	211人 208人 46人 1人 3人
	入学者数	54人	54人	55人	54人	52人	54人
	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	687人 682人 108人 9人 54人	766人 752人 108人 6人 54人	694人 682人 85人 0人 30人	575人 567人 101人 0人 47人	530人 522人 89人 16人 37人
その他の特別選抜	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	67人 67人 15人 0人 1人	74人 73人 19人 0人 0人	68人 68人 21人 0人 1人	65人 64人 19人 0人 1人	48人 48人 14人 0人 2人
	入学者数	14人	14人	27人	16人	14人	17人
	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	145人 145人 33人 0人 19人	136人 134人 31人 0人 17人	133人 130人 37人 0人 10人	122人 120人 30人 0人 14人	98人 98人 27人 0人 13人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	67人 67人 15人 0人 1人	74人 73人 19人 0人 0人	68人 68人 21人 0人 1人	65人 64人 19人 0人 1人	48人 48人 14人 0人 2人
合計	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	323人 321人 64人 4人 2人	323人 316人 69人 5人 2人	276人 273人 51人 0人 3人	237人 235人 57人 1人 2人	211人 208人 46人 1人 3人
	入学者数	54人	54人	55人	54人	52人	54人
	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	687人 682人 108人 9人 54人	766人 752人 108人 6人 54人	694人 682人 85人 0人 30人	575人 567人 101人 0人 47人	530人 522人 89人 16人 37人
	実人数	志願者数 受験者数 合格者数 うち追加合格者数 辞退者数	323人 321人 64人 4人 2人	323人 316人 69人 5人 2人	276人 273人 51人 0人 3人	237人 235人 57人 1人 2人	211人 208人 46人 1人 3人
	入学者数	54人	54人	55人	54人	52人	54人

## 3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50人
入学定員充足率	1.08	1.08	1.10	1.08	1.04	1.08
歩留率	0.50	0.50	0.65	0.53	0.58	0.55

(備考) 特記事項がある場合は記載すること。

## 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-5

## 大学学部学科等名：国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科

(大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。)

## 1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	87人	67人	50人	48人	64人	63人
	志願者数	87人	67人	50人	48人	64人	63人
	受験者数	86人	66人	50人	48人	64人	63人
	合格者数	26人	25人	25人	26人	31人	27人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	87人	67人	50人	48人	64人	63人
	志願者数	87人	67人	50人	48人	64人	63人
	受験者数	86人	66人	50人	48人	64人	63人
学校推薦型選抜	合格者数	26人	25人	25人	26人	31人	27人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数	26人	25人	25人	25人	31人	26人
	募集人数	18人	18人	18人	18人	18人	18人
	延べ人数	32人	33人	29人	23人	43人	32人
	志願者数	32人	33人	29人	23人	41人	32人
	受験者数	32人	33人	29人	23人	41人	32人
	合格者数	18人	19人	25人	20人	34人	23人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	実人数	32人	33人	29人	23人	43人	32人
	志願者数	32人	33人	29人	23人	41人	32人
	受験者数	32人	33人	29人	23人	41人	32人
	合格者数	18人	19人	25人	20人	34人	23人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数	18人	19人	25人	19人	33人	23人
	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	289人	365人	370人	297人	287人	322人
共通テスト利用入試	志願者数	278人	358人	362人	288人	271人	311人
	受験者数	278人	358人	362人	288人	271人	311人
	合格者数	76人	83人	78人	75人	46人	72人
	うち追加合格者数	10人	13人	15人	9人	10人	11人
	辞退者数	41人	54人	51人	46人	32人	45人
	実人数	117人	90人	95人	54人	75人	86人
	志願者数	110人	89人	88人	51人	72人	82人
	受験者数	110人	111人	125人	69人	122人	108人
	合格者数	47人	34人	38人	23人	26人	34人
	うち追加合格者数	5人	4人	11人	2人	0人	4人
その他の特別選抜	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	35人	29人	27人	29人	14人	27人
	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	111人	111人	125人	69人	122人	108人
	志願者数	110人	111人	125人	69人	122人	107人
	受験者数	35人	26人	26人	23人	24人	27人
	合格者数	0人	0人	1人	1人	1人	1人
	うち追加合格者数	33人	24人	24人	20人	23人	25人
	辞退者数	33人	24人	24人	20人	23人	25人
	実人数	98人	93人	104人	59人	109人	93人
合計	志願者数	97人	93人	104人	59人	109人	92人
	受験者数	33人	22人	24人	21人	22人	24人
	合格者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	0人	0人	1人	2人	1人
	辞退者数	1人	0人	0人	1人	2人	1人
	入学者数	2人	2人	2人	3人	1人	2人
	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	154人	105人	149人	112人	131人	130人
	志願者数	151人	102人	143人	107人	128人	126人
	受験者数	29人	30人	40人	39人	33人	34人
入学定員充足率	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	23人	18人	32人	33人	29人	27人
	辞退者数	104人	80人	101人	80人	96人	92人
	実人数	102人	77人	97人	76人	93人	89人
	志願者数	20人	22人	31人	28人	23人	25人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	1人	1人	2人	2人	1人	1人
	うち追加合格者数	1人	1人	2人	2人	1人	1人
	辞退者数	6人	12人	8人	6人	4人	7人
	入学者数	80人	80人	80人	80人	80人	80人

## 3. 入学定員充足率

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.09	1.09	1.09	1.03	1.04	1.07	
歩留率	0.47	0.48	0.45	0.45	0.49	0.47	
入学者数	87人	87人	87人	82人	83人	85人	

(備考) 特記事項がある場合は記載すること。

## 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

### ①募集を行った学科等名称及び取組の名称:国際医療福祉大学大田原キャンパスのオープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	2887人	2666人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学部学科の紹介、模擬授業、保護者ガイダンス、個別相談、入試ガイドンス、大学案内等の配布、大田原市内バスマスター、構内案内などを実施。 ・R5年度入試対象(R4開催):計6回開催(3/26, 6/5, 7/31, 8/11, 8/21, 9/23) ・R6年度入試対象(R5開催):計5回開催(3/19, 6/11, 7/30, 8/11, 8/19)
うち受験対象者数(b)	1124人	1203人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 R4及びR5に実施した本取組につき、収容定員を変更する組織「保健医療学部言語聴覚学科」及び「医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科」の(c)と(d)実績は以下のとおりであった。 i 収容定員を変更する組織の(c)と(d)実績(いずれも左記(c)と(d)の内数)。 ・R4取組実績:言語聴覚学科(c)77人/(d)52人、医療福祉・マネジメント学科(c)141人/(d)86人 ・R5取組実績:言語聴覚学科(c)73人/(d)40人、医療福祉・マネジメント学科(c)96人/(d)73人 ii 上記 i で記載した(c)と(d)実績の平均 ・R4～R5平均:言語聴覚学科(c)75人/(d)46人、医療福祉・マネジメント学科(c)119人/(d)80人 本取組による実績は、COVID-19流行下を除き、長年にわたって大きな変動はなく同程度の人数で推移しているため、収容定員を変更する組織の入学者数の見込みは、上記 ii で記載した人数になると推測する。 以上を踏まえ、本取組を通した入学者数について、言語聴覚学科では「46人」、医療福祉・マネジメント学科では「80人」を見込むことができると考える。
うち受験者数(c)	728人	629人	
うち入学者数(d)	541人	466人	
(受験率 c/b)	64.8%	52.3%	
(入学率 d/b)	48.1%	38.7%	③うち受験対象者数の判断基準 参加者等総数のうち、当該年度の受験対象となる高校3年生の人数を集計した

### ②募集を行った学科等名称及び取組の名称:国際医療福祉大学成田キャンパス(医学部除く)のオープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	3320人	4049人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学部学科の紹介、模擬授業、保護者ガイダンス、個別相談、入試ガイドンス、大学案内等の配布、構内案内などを実施。 ・R5年度入試対象(R4開催):計4回開催(3/20, 6/4, 8/7, 8/20) ・R6年度入試対象(R5開催):計4回開催(3/19, 6/4, 8/6, 8/19)
うち受験対象者数(b)	1148人	1025人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 R4及びR5に実施した本取組につき、収容定員を変更する組織「成田保健医療学部看護学科」及び「成田保健医療学部放射線・情報科学科」の(c)と(d)実績は以下のとおりであった。 i 収容定員を変更する組織の(c)と(d)実績(いずれも左記(c)と(d)の内数)。 ・R4取組実績:看護学科(c)154人/(d)70人、放射線・情報科学科(c)230人/(d)27人 ・R5取組実績:看護学科(c)175人/(d)65人、放射線・情報科学科(c)141人/(d)25人 ii 上記 i で記載した(c)と(d)実績の平均 ・R4～R5平均:看護学科(c)165人/(d)68人、放射線・情報科学科(c)186人/(d)26人 本取組による実績は、COVID-19流行下を除き、長年にわたって大きな変動はなく同程度の人数で推移しているため、収容定員を変更する組織の入学者数の見込みは、上記 ii で記載した人数になると推測する。 以上を踏まえ、本取組を通した入学者数について、看護学科では「68人」、放射線・情報科学科では「26人」を見込むことができると考える。
うち受験者数(c)	540人	515人	
うち入学者数(d)	222人	277人	
(受験率 c/b)	47.0%	50.2%	
(入学率 d/b)	19.3%	27.0%	③うち受験対象者数の判断基準 参加者等総数のうち、当該年度の受験対象となる高校3年生の人数を記載した

### ③募集を行った学科等名称及び取組の名称:国際医療福祉大学小田原キャンパスのオープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	764人	803人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学部学科の紹介、模擬授業、保護者ガイダンス、個別相談、入試ガイドンス、英語対策講座、大学案内等の配布、構内案内などを実施。 ・R5年度入試対象(R4開催):計4回開催(6/4, 8/7, 8/21, 8/25) ・R6年度入試対象(R5開催):計4回開催(6/3, 7/30, 8/6, 8/20)
うち受験対象者数(b)	465人	416人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 R4及びR5に実施した本取組につき、収容定員を変更する組織「小田原保健医療学部看護学科」の(c)と(d)実績は以下のとおりであった。 i 収容定員を変更する組織の(c)と(d)実績(いずれも左記(c)と(d)の内数)。 ・R4取組実績:看護学科(c)113人/(d)58人 ・R5取組実績:看護学科(c)115人/(d)61人 ii 上記 i で記載した(c)と(d)実績の平均 ・R4～R5平均:看護学科(c)114人/(d)60人 本取組による実績は、COVID-19流行下を除き、長年にわたって大きな変動はなく同程度の人数で推移しているため、収容定員を変更する組織の入学者数の見込みは、上記 ii で記載した人数になると推測する。 以上を踏まえ、本取組を通した入学者数について、看護学科では「60人」を見込むことができると考える。
うち受験者数(c)	254人	250人	
うち入学者数(d)	60人	63人	
(受験率 c/b)	54.6%	60.1%	
(入学率 d/b)	12.9%	15.1%	③うち受験対象者数の判断基準 参加者等総数のうち、当該年度の受験対象となる高校3年生の人数を記載した

④募集を行った学科等名称及び取組の名称:国際医療福祉大学大田原キャンパスの地方会場説明会

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	284人	300人	①取組概要 地方入学試験会場を設置する主要都市を中心に、受験希望者及びその保護者を対象として説明会を開催し、学部学科の紹介、入試制度の説明やオンライン相談などを実施。 ・R5年度入試対象(R4開催):計5回開催(6/11、6/26、7/10、7/17、9/4) ・R6年度入試対象(R5開催):計4回開催(5/21、6/25、7/2、7/8)
うち受験対象者数(b)	213人	193人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 R4及びR5に実施した本取組につき、収容定員を変更する組織「保健医療学部言語聴覚学科」及び「医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科」の(c)と(d)実績は以下のとおりであった。 i 収容定員を変更する組織の(c)と(d)実績 (いずれも左記(c)と(d)の内数)。 ・R4取組実績: 言語聴覚学科(c)27人／(d)17人、医療福祉・マネジメント学科(c)11人／(d)6人 ・R5取組実績: 言語聴覚学科(c)25人／(d)13人、医療福祉・マネジメント学科(c)18人／(d)12人 ii 上記 i で記載した(c)と(d)実績の平均 ・R4～R5平均: 言語聴覚学科(c)26人／(d)15人、医療福祉・マネジメント学科(c)15人／(d)9人 本取組による実績は、COVID-19流行下を除き、長年にわたって大きな変動はなく同程度の人数で推移しているため、収容定員を変更する組織の入学者数の見込みは、上記 ii で記載した人数になると推測する。 以上を踏まえ、本取組を通した入学者数について、言語聴覚学科では「15人」、医療福祉・マネジメント学科では「13人」を見込むことができると考える。
うち受験者数(c)	174人	143人	
うち入学者数(d)	114人	90人	
(受験率 c/b)	81.7%	74.1%	
(入学率 d/b)	53.5%	46.6%	③うち受験対象者数の判断基準 参加者等総数のうち、当該年度の受験対象となる高校3年生の人数を集計した

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称:国際医療福祉大学小田原キャンパス見学会

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	49人	31人	①取組概要 キャンパス業務日内の予約制として、受験希望者及びその保護者を対象に、構内案内や学部学科の紹介などを実施。 ・R5年度入試対象(R4開催):計42回開催(4/1～12/28) ・R6年度入試対象(R5開催):計27回開催(4/1～12/28)
うち受験対象者数(b)	34人	26人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 R4及びR5に実施した本取組につき、収容定員を変更する組織「小田原保健医療学部看護学科」の(c)と(d)実績は以下のとおりであった。 i 収容定員を変更する組織の(c)と(d)実績 (いずれも左記(c)と(d)の内数)。 ・R4取組実績: 看護学科(c)5人／(d)3人 ・R5取組実績: 看護学科(c)8人／(d)5人 ii 上記 i で記載した(c)と(d)実績の平均 ・R4～R5平均: 看護学科(c)7人／(d)4人 本取組による実績は、COVID-19流行下を除き、長年にわたって大きな変動はなく同程度の人数で推移しているため、収容定員を変更する組織の入学者数の見込みは、上記 ii で記載した人数になると推測する。 以上を踏まえ、本取組を通した入学者数について、看護学科では「4人」を見込むことができると考える。
うち受験者数(c)	21人	18人	
うち入学者数(d)	3人	6人	
(受験率 c/b)	61.8%	69.2%	
(入学率 d/b)	8.8%	23.1%	③うち受験対象者数の判断基準 参加者等総数のうち、当該年度の受験対象となる高校3年生の人数を集計した

⑥募集を行った学科等名称及び取組の名称:国際医療福祉大学小田原キャンパスのミニオープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	317人	346人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学部学科の紹介、模擬授業、個別相談、入試ガイダンス、構内案内などを実施。 ・R5年度入試対象(R4開催):計4回開催(3/26、6/25、10/2、11/6) ・R6年度入試対象(R5開催):計4回開催(3/25、6/24、10/1、11/5)
うち受験対象者数(b)	115人	135人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 R4及びR5に実施した本取組につき、収容定員を変更する組織「小田原保健医療学部看護学科」の(c)と(d)実績は以下のとおりであった。 i 収容定員を変更する組織の(c)と(d)実績 (いずれも左記(c)と(d)の内数)。 ・R4取組実績: 看護学科(c)36人／(d)17人 ・R5取組実績: 看護学科(c)43人／(d)20人 ii 上記 i で記載した(c)と(d)実績の平均 ・R4～R5平均: 看護学科(c)40人／(d)19人 本取組による実績は、COVID-19流行下を除き、長年にわたって大きな変動はなく同程度の人数で推移しているため、収容定員を変更する組織の入学者数の見込みは、上記 ii で記載した人数になると推測する。 以上を踏まえ、本取組を通した入学者数について、看護学科では「19人」を見込むことができると考える。
うち受験者数(c)	74人	82人	
うち入学者数(d)	17人	21人	
(受験率 c/b)	64.3%	60.7%	
(入学率 d/b)	14.8%	15.6%	③うち受験対象者数の判断基準 参加者等総数のうち、当該年度の受験対象となる高校3年生の人数を集計した

令和4年版

# 厚生労働白書

(令和3年度厚生労働行政年次報告)

—社会保障を支える人材の確保—

厚生労働省

## 第1部 社会保障を支える人材の確保

はじめに	2
<b>第1章 社会保障を支える人材を取り巻く状況</b>	<b>3</b>
第1節 現役世代の急減による担い手不足の加速化と医療・福祉の就業者数の見通し	3
第2節 これまでの取組成果	8
1 医師	9
2 歯科医師	18
3 看護師等	21
4 薬剤師	29
5 理学療法士・作業療法士	32
6 管理栄養士	35
7 介護分野の職員	36
8 障害保健福祉分野の職員	47
9 保育人材、放課後児童クラブ職員	52
10 行政機関の保健福祉担当職員	68
<b>第2章 担い手不足の克服に向けて</b>	<b>77</b>
第1節 医療・福祉サービスの提供の在り方及び人材確保に関する今後の方向性	77
1 医療・福祉サービスを必要とする方の増加の抑制	77
2 特に医療・福祉人材を必要とする分野への対応	80
3 ケアの質の確保や職員の負担軽減を実現する取組みの推進	90
4 人口減少等の地域の実情に応じた提供の在り方及び人材確保に関する方向性	99
第2節 担い手不足の克服に向けて	118
1 処遇の改善	118
2 医療・福祉現場のサービス提供の効率化と労働環境の改善	119
3 地域や診療科の偏在対策	145
4 医療法人・社会福祉法人の多事業経営・法人間連携	150
5 地域共生社会の取組み	151

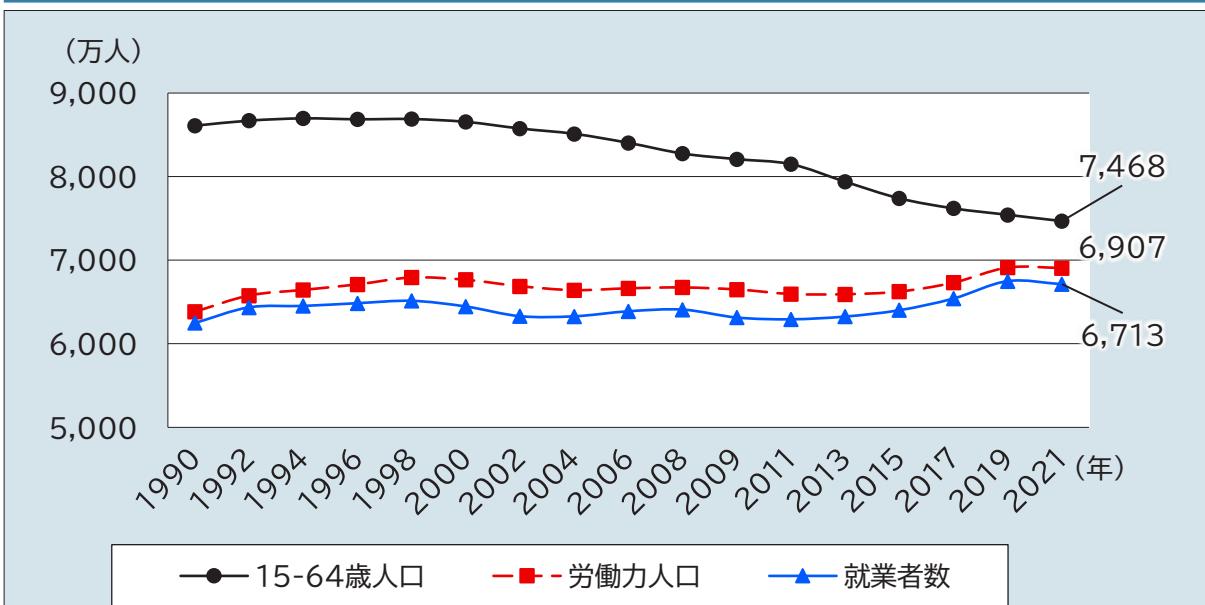
# 第1章 社会保障を支える人材を取り巻く状況

## 第1節 現役世代<sup>\*1</sup>の急減による担い手不足の加速化と医療・福祉の就業者数の見通し

(労働力人口や就業者数は女性や高齢者の就業率上昇により、1990年代後半の水準を維持)

我が国の人口は、2008（平成20）年をピークに減少に転じた。人口減少が続く中にもあっても2021（令和3）年の就業者数は6,713万人と、1990年代後半の水準を維持している（図表1-1-1）。年齢階級別・男女別の就業率の推移をみると、特に女性や60歳以上の方の就業率が上昇しており、女性の活躍推進や高齢者の就労促進等に関する各種施策の推進が、労働力人口や就業者数の底上げに寄与していると考えられる（図表1-1-2）。

図表1-1-1 労働力人口・就業者数の推移

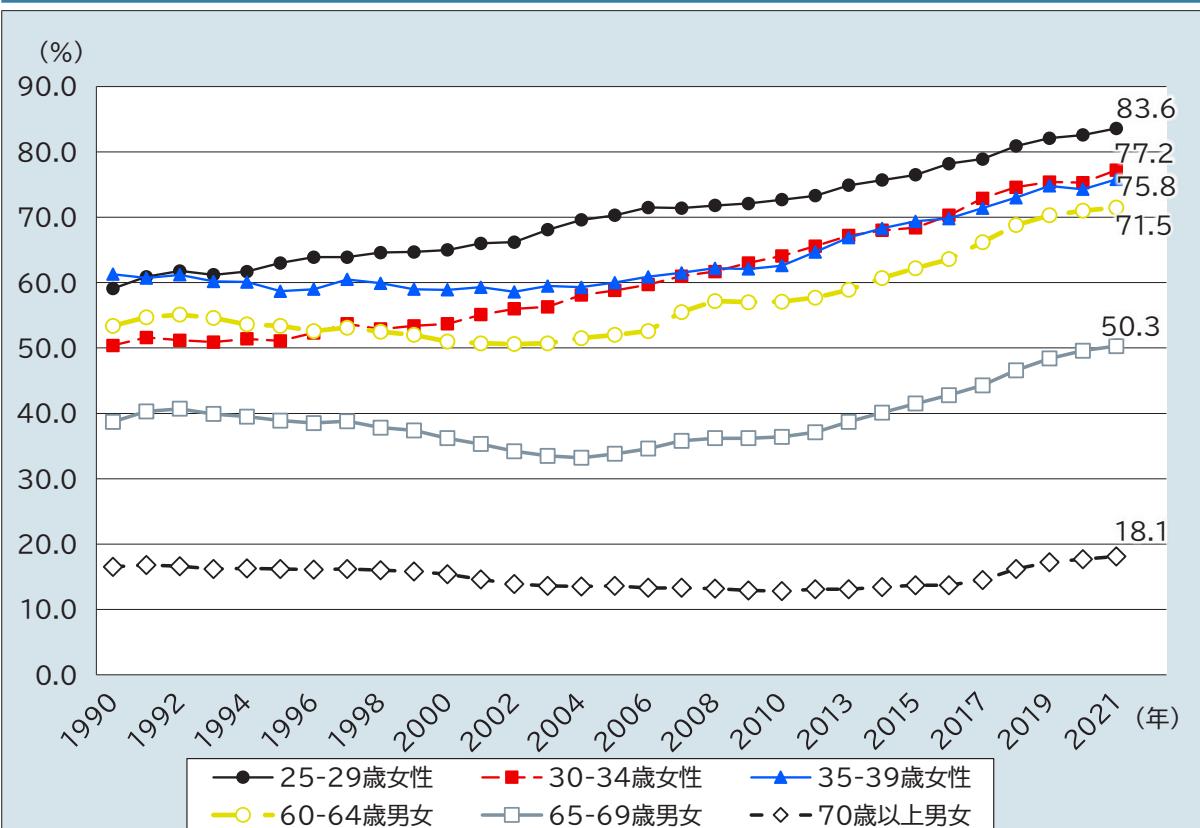


資料：総務省統計局「労働力調査（基本集計）（令和3年）平均結果」より厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室において作成。

(注) 2022年3月4日に公表されたベンチマーク人口の新基準に基づいて遡及集計した数値を用いている。

\*1 第1部では、20～64歳を指すこととしている。

図表1-1-2 就業率の推移



資料：総務省統計局「労働力調査（基本集計）（令和3年）平均結果」より厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室において作成。

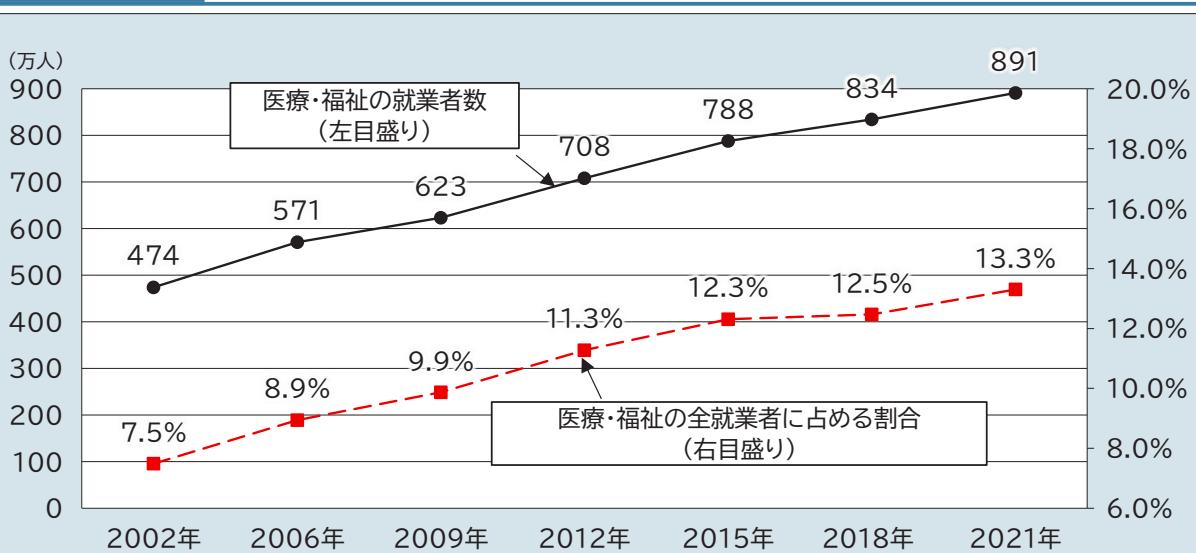
(注) 2022年3月4日に公表されたベンチマーク人口の新基準に基づいて遡及集計した数値を用いている。

### (医療・福祉分野の就業者数は、約20年間で410万人増加し、約8人に1人が医療・福祉分野で就業)

社会保障の担い手である医療・福祉分野の就業者は、保健、医療、社会福祉など国民生活の基礎をなす極めて広い分野にまたがっている。専門的知識・技術を有し公的資格を取得して医療機関や社会福祉施設等でサービス提供を行っている方や、保健所、福祉事務所等の行政機関に保健や福祉の担当者として勤務している方など幅広い層に支えられている。これら医療・福祉分野の就業者数（事務職を含む。）は、2021（令和3）年現在で891万人となっている。総務省統計局「労働力調査」を基に産業大分類で把握できるようになった2002（平成14）年以降についてみると、就業者数は右肩上がりで増加し、2021年は2002年の約1.9倍となっている。全産業に占める医療・福祉の就業者の割合についても、2002年段階では7.5%（約13人に1人）だったものが、2021年には13.3%にまで増え、就業者の約8人に1人が医療・福祉分野で働いている（図表1-1-3）。

図表1-1-3

医療・福祉の就業者数の推移



資料：総務省統計局「労働力調査（基本集計）（令和3年）平均結果」より厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室において作成。

(注) 2022年3月4日に公表されたベンチマーク人口の新基準に基づいて遡及集計した数値を用いている。

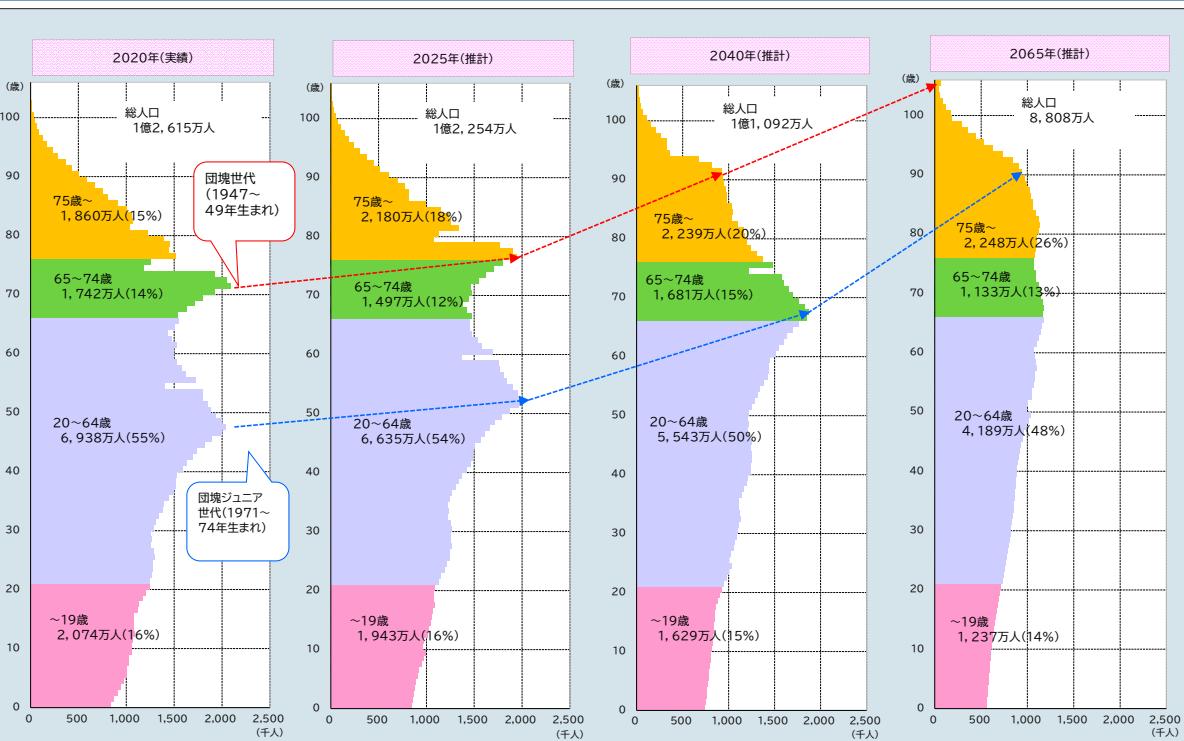
### (20~64歳の人口は今後20年間で約1,400万人減少する見込み)

我が国の人団塊世代は、1971（昭和46）年から1974（昭和49）年生まれの団塊ジュニア世代が65歳超となる2040（令和22）年には、20~64歳人口が5,543万人（50%）となり人口全体のちょうど半分を占めるまでに減少すると推計されている（図表1-1-4）。2020（令和2）年と比較すると、2040年の20~64歳人口は約1,400万人減少すると見込まれている。

なお、2021（令和3）年4月1日から、定年年齢を65歳以上70歳未満に定めている事業主又は継続雇用制度（70歳以上まで引き続き雇用する制度を除く。）を導入している事業主は、70歳まで定年年齢を引き上げるなど、70歳までの就業機会の確保に努めることとされた<sup>\*2</sup>。今後、働く意欲がある高年齢者がその能力を十分に発揮できるよう、高年齢者が活躍できる環境を整備していくことが重要とされている。2040年における20~69歳の人口をみると、6,450万人（58%）となることが見込まれる（図表1-1-5）。

\* 2 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号）

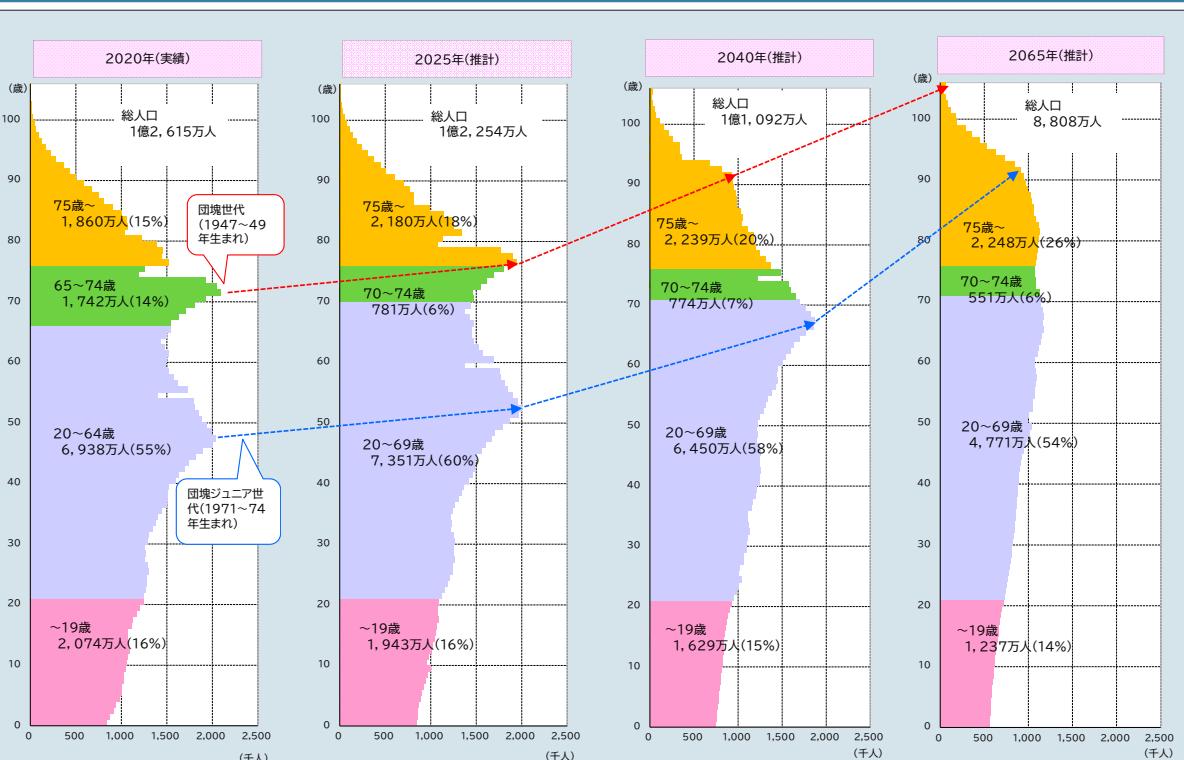
図表1-1-4 人口ピラミッドの変化（20～64歳区分を含む）



資料：実績値（2020年）は総務省統計局「国勢調査」、推計値（2025年、2040年、2065年）は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）により厚生労働省政策統括官付政策統括室において作成。

(注) 2020年の実績値は、図に掲載している推計値の後に公表されたものであることに留意が必要である。

図表1-1-5 人口ピラミッドの変化（20～69歳区分を含む）



資料：実績値（2020年）は総務省統計局「国勢調査」、推計値（2025年、2040年、2065年）は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）により厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室において作成。

(注) 2020年の実績値は、図に掲載している推計値の後に公表されたものであることに留意が必要である。

(経済成長と労働参加が進むと仮定するケースでも2040(令和22)年には医療・福祉分野の就業者数が96万人不足する見込み)

厚生労働省職業安定局「雇用政策研究会報告書」(2019(令和元)年7月)によれば、今後の就業者数については、経済成長と労働参加が進むと仮定するケース<sup>\*3</sup>では、2040(令和22)年に6,024万人となると推計されている。2021年現在の6,713万人から減少するものの、2040年は大幅な人口減少下にあることに鑑みればその減少は相当程度抑えられているといえる。この経済成長と労働参加が進むと仮定するケースでは、医療・福祉分野の就業者数は974万人(総就業者数の16%)と推計されている。他方、医療・介護サービスの2018(平成30)年の年齢別利用実績を基に、人口構造の変化を加味して求めた2040年の医療・介護サービスの需要から推計した医療・福祉分野の就業者数は1,070万人(総就業者数の18~20%)が必要となると推計されており、96万人の差が生じている(図表1-1-6)。

図表1-1-6 医療・福祉分野の就業者数の見通し

	2018年	2025年	2040年	
	【実績】	【実績・人口構造を踏まえた必要人員】	【実績・人口構造を踏まえた必要人員】	【経済成長と労働参加が進むケース】
医療福祉分野の就業者数(かっこ内は総就業者数に占める割合)	826万人 (12%)	940万人 (14~15%)	1,070万人 (18~20%)	974万人 (16%)

資料:「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論素材)」に基づくマンパワーシミュレーション(2019年5月厚生労働省)を基に作成。

### (小括)

急速な少子高齢化の中でも、女性や高齢者の就業率の上昇により、就業者数は人口減少が始まった2008(平成20)年以前の水準を維持している。今後、現役世代の人口が急減する中で、活力ある経済の維持を考えると女性、高齢者等をはじめとした一層の労働参加が不可欠であるといえる。また、社会保障の担い手である医療・福祉分野の就業者数は急速に増加しており、引き続き2040(令和22)年に向けて、更に担い手が必要となることが見込まれている。

第2節では、医療・福祉分野の人材の確保について、個別具体的にこれまでの取組成果を見ていく。

\*3 「未来投資戦略2018」(2018(平成30)年6月15日閣議決定)を踏まえた高成長が実現し、かつ、労働市場への参加が進むケース

## 収容定員を変更する組織が養成する人材の従事者数の推移について

## 保健医療学部言語聴覚学科、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科関係

## 言語聴覚士の従事者数の推移

地域	2017	2020	2023
全国	16,639	16,799	17,703
福島	208	218	214
茨城	311	306	367
栃木	250	230	252
群馬	282	270	229
埼玉	726	725	805

## 人口10万人あたりの言語聴覚士の従事者数

地域	2017	2020	2023
全国	13.3	13.6	14.6
福島	11.1	12.0	12.2
茨城	10.9	10.9	13.4
栃木	13.0	12.2	13.6
群馬	14.7	14.4	12.5
埼玉	10.1	10.1	11.3

## 社会福祉士の従事者数の推移

地域	2017	2020	2023
全国	14,290	14,643	15,761
福島	203	236	245
茨城	243	271	270
栃木	179	147	171
群馬	253	268	253
埼玉	627	660	703

## 人口10万人あたりの社会福祉士の従事者数

地域	2017	2020	2023
全国	11.5	11.9	13.0
福島	10.9	13.0	14.0
茨城	8.5	9.7	9.9
栃木	9.3	7.8	9.3
群馬	13.2	14.2	13.8
埼玉	8.7	9.2	9.9

## 介護福祉士の従事者数の推移

地域	2017	2020	2023
全国	60,219	38,966	38,066
福島	930	509	474
茨城	906	482	482
栃木	997	397	389
群馬	791	449	489
埼玉	2,136	1,272	1,421

## 人口10万人あたりの介護福祉士の従事者数

地域	2017	2020	2023
全国	48.3	31.6	31.4
福島	49.7	28.0	27.1
茨城	31.8	17.2	17.5
栃木	51.7	21.0	21.1
群馬	41.3	23.9	26.7
埼玉	29.8	17.8	20.0

## 精神保健福祉士の従事者数の推移

地域	2017	2020	2023
全国	11,531	9,374	9,144
福島	159	134	142
茨城	195	154	172
栃木	175	111	145
群馬	182	170	181
埼玉	462	319	285

## 人口10万人あたりの精神保健福祉士の従事者数

地域	2017	2020	2023
全国	9.3	7.6	7.5
福島	8.5	7.4	8.1
茨城	6.8	5.5	6.3
栃木	9.0	5.9	7.8
群馬	9.5	9.1	9.9
埼玉	6.4	4.5	4.0

## 医療事務の従事者数の推移

地域	2017	2020	2023
全国	391,296	223,064	231,855
福島	5,701	3,470	3,400
茨城	8,264	4,797	5,169
栃木	5,762	2,929	3,270
群馬	6,327	3,641	3,432
埼玉	17,683	10,102	10,435

## 人口10万人あたりの医療事務の従事者数

地域	2017	2020	2023
全国	313.9	180.8	191.3
福島	304.7	190.7	194.2
茨城	290.3	171.2	188.4
栃木	298.6	154.9	176.9
群馬	330.7	193.7	187.4
埼玉	246.5	141.1	146.7

## 成田看護学部看護学科、成田保健医療学部放射線・情報科学科関係

## 看護師の従事者数の推移

地域	2017	2020	2023
全国	943,728	827,451	828,480
茨城	17,024	14,131	14,942
埼玉	36,521	32,604	34,190
千葉	34,916	31,985	32,451
東京	87,644	74,607	73,505

## 人口10万人あたりの看護師の従事者数

地域	2017	2020	2023
全国	757.1	670.5	683.6
茨城	598.0	504.4	544.5
埼玉	509.1	455.4	480.7
千葉	568.6	522.4	533.6
東京	660.3	553.3	546.6

## 診療放射線技師の従事者数の推移

地域	2017	2020	2023
全国	54,213	45,177	46,795
茨城	1,172	959	1,032
埼玉	2,445	2,073	2,197
千葉	2,256	1,938	2,123
東京	5,927	4,593	4,682

## 人口10万人あたりの診療放射線技師の従事者数

地域	2017	2020	2023
全国	43.5	36.6	38.6
茨城	41.2	34.2	37.6
埼玉	34.1	29.0	30.9
千葉	36.7	31.7	34.9
東京	44.7	34.1	34.8

小田原保健医療学部看護学科関係

看護師の従事者数の推移

地域	2017	2020	2023
全国	943,728	827,451	828,480
神奈川	51,726	44,693	46,669
山梨	5,934	5,420	5,339
静岡	23,990	20,836	20,851

人口10万人あたりの看護師の従事者数

地域	2017	2020	2023
全国	757.1	670.5	683.6
神奈川	575.4	496.2	520.3
山梨	731.7	682.3	688.0
静岡	665.5	588.4	604.6

※各地域の人口は「令和5年人口動態統計」(厚生労働省)(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>)を参照

※2017年の各職種の従事者数は「平成29年医療施設(静態・動態)調査」(厚生労働省保健統計室)(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html>)を参照

※2020年の各職種の従事者数は「令和2年医療施設(静態・動態)調査」(厚生労働省保健統計室)(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html>)を参照

※2023年の各職種の従事者数は「令和5年医療施設(静態・動態)調査」(厚生労働省保健統計室)(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html>)を参照

※各職種の10万人あたりの従事者数は以下の計算式で求めた

$$\text{10万人あたりの従事者数} = \frac{\text{各職種の従事者数}}{\text{各地域の人口} \div 10\text{万}}$$

※比較した地域は、収容定員を変更する組織が所在する地域と隣接する都道府県より選定した

# 特別支援教育資料

(令和5年度)

令和7年1月

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

# 特 別 支 援 教 育 資 料

- 本資料のデータは、学校基本統計及び特別支援教育課業務調査等を用いた。
- 特に断りのない限り、本資料のデータは各年度5月1日現在のものである。  
(最新のデータは令和5年5月1日現在。)
- 平成18年度以前のデータ等については、特殊教育、盲学校・聾学校・養護学校、特殊学級等の旧名称で表記しているところがある。
- 本文で使用している略称は以下のとおりである。

【障害種別】	視…視覚障害	聴…聴覚障害	知…知的障害
	肢…肢体不自由	病…病弱・身体虚弱	
【学 部】	幼…幼稚部	小…小学部	
	中…中学部	高…高等部	
【設 置 者】	国…国立	公…公立	私…私立
- 「-」はデータなしを示す。
- 割合については、値を四捨五入しているため、各区分の割合の合計が100%にならない場合がある。

# 目 次

## 【第1部 データ編】

1 概要	
(1) 特別支援学校の概況（設置者別）	2
(2) 特別支援学級の概況（設置者別）	3
(3) 特別支援学校在籍者数、特別支援学級在籍者数	4
(4) 通級による指導を受けている児童生徒数	4
(5) 児童生徒一人当たりの学校教育費（公立）	4
(6) 就学猶予・免除者数の推移及び理由	5
2 特別支援学校	
(1) 特別支援学校対応障害種別学校数、設置学級基準学級数及び在籍者数	6
(2) 特別支援学校における障害種別教員数（設置者別）	6
(3) 特別支援学校（設置学級基準）障害種別学級数及び在籍者数	7
(4) 特別支援学校数の推移	8
(5) 特別支援学校在学者数の推移	9
(6) 重複障害学級在籍状況の推移（特別支援学校小・中学部）	10
(7) 訪問教育対象児童生徒数の推移（特別支援学校小・中・高等部）	10
(8) 特別支援学校高等部における訪問教育の実施状況	11
(9) 特別支援学校の概況（学校設置基準）	12
(10) 特別支援学校（学校設置基準）障害種別重複障害学級児童生徒数及び在籍率	13
(11) 特別支援学校（学校設置基準）障害種別重複障害学級在籍率の推移	14
(12) 特別支援学校の学級数及び幼児児童生徒数（設置者別）	15
(13) 特別支援学校の学校数及び教員数（設置者別）	19
(14) 特別支援学校数、幼稚部・高等部設置学校数、学級数、幼児児童生徒数及び教員数（障害種別）	20
(15) 特別支援学校高等部への進学率の推移	21
(16) 特別支援学校高等部の学校数、生徒数（本科・専攻科別）	22
(17) 特別支援学校高等部の学科数、学科別生徒数（本科・専攻科別）	22
(18) 特別支援学校と小・中・高等学校との転入・転出状況	23
3 特別支援学級	
(1) 特別支援学級数及び在籍児童生徒数の推移	24
(2) 特別支援学級数及び特別支援学級在籍児童生徒数（障害種別、都道府県別）	25
4 通級による指導	
(1) 通級による指導を受けている児童生徒数（設置者別）	28
(2) 通級による指導を受けている児童生徒数の推移	28
5 就学・卒業後の状況	
(1) 義務教育段階の長期欠席児童生徒数の推移及び理由	30
(2) 特別支援学校中学部及び中学校特別支援学級卒業者の状況	31
(3) 特別支援学校高等部（本科）卒業者の状況	31
(4) 特別支援学校高等部（本科）卒業者の職業別就職者数	32
(5) 特別支援学校高等部（本科）卒業者の就職率の推移	33

## 【第2部 調査編】

- |                                    |    |
|------------------------------------|----|
| ○ 令和4年度「通級による指導実施状況調査結果」           | 35 |
| ○ 令和5年度「学校における医療的ケアに関する実態調査結果」（概要） | 54 |
| ○ 特別支援学校教諭等免許状の保有状況                | 60 |
| ○ 令和5年度「特別支援教育体制整備状況調査結果」          | 61 |

## 【第3部 資料編】

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| ○ 参考資料 特別支援教育に関するリンク集 |    |
| 1. 通知、事務連絡等           | 72 |
| 2. その他 ガイド、Q&A 等      | 80 |



## 1 概要

### (1) 特別支援学校の概況（設置者別）

学校数

	国立 校	公立 校	私立 校	計 校
本校	45	996	15	1,056
分校	0	122	0	122
計	45	1,118	15	1,178

学級数

	国立 学級	公立 学級	私立 学級	計 学級
幼稚部	17	452	10	479
小学部	164	14,589	33	14,786
中学部	144	9,128	23	9,295
高等部	165	12,770	81	13,016
計	490	36,939	147	37,576

在籍者数

	国立 人	公立 人	私立 人	計 人
幼稚部	53	1,101	35	1,189
小学部	851	50,105	162	51,118
中学部	811	32,481	118	33,410
高等部	1,141	63,921	583	65,645
計	2,856	147,608	898	151,362

教員数

	国立 人	公立 人	私立 人	計 人
本務教員数	1,513	86,042	314	87,869
兼務教員数	230	6,590	82	6,902
計	1,743	92,632	396	94,771

職員数

	国立 人	公立 人	私立 人	計 人
本務職員数	174	13,683	109	13,966
本務職員数のうち、寄宿舎指導員数	32	3,994	37	4,063

学校医等の数

	国立 人	公立 人	私立 人	計 人
学校医	166	4,218	26	4,410
学校歯科医	47	1,161	15	1,223
学校薬剤師	44	1,125	11	1,180

出典：「学校基本調査」（文部科学省）

※本務教員数及び兼務職員数は、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師の合計である。

※職員とは、事務職員、寄宿舎指導員、学校栄養職員、技術職員、実習助手、養護職員（看護師等）、学校給食調理従事員、用務員、警備員・その他の職員のことである。

※学校医には、学校医・学校歯科医・学校薬剤師として、発令（委嘱）されている者を計上している。

(4) 特別支援学校数の推移(国・公・私立計)

区分	計	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱
昭和23年度	校 138 24 25	校 74 74 76	校 64 78 82	校 — — 1	校 — — —	校 — 1 2
26	163 (12)	76 (4)	84 (8)	1	—	2
27	166 (14)	77 (5)	86 (9)	1	—	2
28	175 (11)	78 (3)	92 (8)	1	1	3
29	178 (12)	77 (2)	96 (10)	1	1	3
30	181 (12)	77 (2)	99 (10)	1	1	3
31	186 (13)	77 (3)	99 (9)	2	4 (1)	4
32	196 (16)	76 (3)	101 (10)	8 (1)	5 (2)	6
33	205 (17)	76 (3)	103 (11)	9 (1)	9 (2)	8
34	216 (15)	76 (3)	102 (10)	14	13 (2)	11
35	225 (16)	76 (3)	103 (10)	18 (1)	16 (2)	12
36	243 (18)	76 (3)	103 (9)	25	22 (2)	17 (2)
37	269 (23)	78 (3)	105 (8)	30	33 (4)	23 (6)
38	289 (25)	77 (1)	105 (8)	36	43 (6)	28 (8)
39	309 (30)	77 (2)	106 (8)	44 (2)	50 (9)	32 (9)
40	335 (33)	77 (2)	107 (7)	58 (3)	59 (12)	34 (9)
41	353 (34)	77 (2)	108 (7)	65 (2)	68 (15)	35 (8)
42	374 (42)	75 (2)	107 (6)	72 (4)	82 (19)	38 (11)
43	388 (46)	75 (2)	107 (6)	77 (5)	90 (22)	39 (11)
44	406 (51)	75 (2)	107 (6)	89 (10)	95 (22)	40 (11)
45	417 (54)	75 (2)	108 (6)	96 (13)	98 (22)	40 (11)
46	438 (57)	75 (2)	108 (6)	111 (14)	102 (24)	42 (11)
47	459 (61)	75 (2)	108 (6)	122 (15)	105 (22)	49 (16)
48	500 (63)	76 (2)	108 (6)	154 (19)	110 (21)	52 (15)
49	552 (69)	77 (2)	107 (6)	187 (24)	119 (21)	62 (16)
50	577 (75)	77 (5)	107 (9)	201 (21)	122 (21)	70 (19)
51	603 (70)	77 (5)	107 (8)	221 (18)	126 (21)	72 (18)
52	635 (68)	76 (5)	107 (8)	243 (23)	132 (17)	77 (15)
53	685 (65)	73 (2)	110 (10)	282 (18)	139 (17)	81 (18)
54	837 (119)	73 (2)	110 (9)	400 (62)	158 (21)	96 (25)
55	860 (119)	73 (2)	110 (9)	414 (59)	168 (24)	95 (25)
56	877 (121)	72 (2)	110 (9)	428 (63)	175 (26)	92 (21)
57	882 (115)	72 (2)	110 (9)	431 (60)	174 (23)	95 (21)
58	895 (113)	72 (2)	110 (9)	437 (57)	181 (25)	95 (20)
59	902 (107)	72 (2)	110 (8)	442 (55)	184 (26)	94 (16)
60	912 (103)	72 (2)	107 (6)	453 (56)	185 (23)	95 (16)
61	918 (96)	70 (1)	107 (6)	460 (53)	186 (21)	95 (15)
62	924 (93)	70 (1)	107 (6)	466 (51)	185 (19)	96 (16)
63	931 (92)	70 (1)	107 (7)	472 (49)	186 (19)	96 (16)
平成元年年度	938 (93)	70 (1)	108 (7)	475 (48)	188 (20)	97 (17)
2	947 (95)	70 (1)	108 (8)	482 (48)	188 (21)	99 (17)
3	960 (96)	70 (1)	107 (7)	493 (47)	193 (24)	97 (17)
4	963 (93)	70 (1)	107 (7)	498 (48)	191 (20)	97 (17)
5	964 (91)	70 (1)	107 (7)	500 (48)	190 (18)	97 (17)
6	968 (88)	70 (1)	107 (8)	502 (44)	191 (19)	98 (16)
7	967 (86)	70 (1)	107 (8)	501 (42)	192 (20)	97 (15)
8	975 (82)	71 (1)	107 (8)	511 (42)	191 (17)	95 (14)
9	978 (79)	71 (1)	107 (8)	512 (38)	192 (16)	96 (16)
10	983 (81)	71 (1)	107 (8)	514 (39)	195 (17)	96 (16)
11	988 (80)	71 (1)	107 (8)	519 (38)	196 (17)	95 (16)
12	992 (78)	71 (1)	107 (8)	523 (37)	196 (16)	95 (16)
13	996 (78)	71 (1)	107 (8)	525 (37)	198 (16)	95 (16)
14	993 (77)	71 (1)	106 (8)	523 (37)	198 (15)	95 (16)
15	995 (77)	71 (1)	106 (8)	523 (37)	199 (15)	96 (16)
16	999 (78)	71 (1)	106 (8)	528 (39)	202 (15)	92 (15)
17	1,002 (82)	71 (1)	106 (8)	535 (42)	198 (15)	92 (16)
18	1,006 (87)	71 (2)	104 (9)	543 (45)	197 (15)	91 (16)
19	1,013 (86)	71 (2)	102 (9)	592 (46)	249 (15)	106 (16)
20	1,026 (95)	84 (4)	116 (10)	619 (56)	282 (20)	124 (19)
21	1,030 (95)	83 (4)	116 (10)	632 (59)	295 (21)	129 (19)
22	1,039 (99)	82 (4)	116 (10)	656 (62)	296 (20)	131 (19)
23	1,049 (100)	86 (4)	118 (10)	673 (66)	314 (20)	138 (19)
24	1,059 (104)	87 (4)	120 (11)	681 (69)	324 (24)	139 (19)
25	1,080 (105)	85 (3)	120 (11)	706 (71)	334 (24)	143 (19)
26	1,096 (113)	85 (3)	118 (11)	725 (79)	340 (25)	145 (19)
27	1,114 (109)	83 (3)	118 (10)	745 (76)	345 (25)	145 (16)
28	1,125 (109)	84 (3)	120 (10)	761 (76)	349 (26)	149 (16)
29	1,135 (108)	82 (2)	116 (9)	776 (75)	350 (24)	149 (15)
30	1,141 (110)	81 (2)	117 (9)	781 (75)	350 (23)	152 (17)
令和元年年度	1,146 (111)	82 (2)	118 (8)	786 (75)	352 (25)	151 (18)
2	1,149 (110)	86 (2)	119 (8)	790 (74)	352 (24)	158 (18)
3	1,160 (112)	84 (2)	119 (8)	801 (77)	354 (23)	154 (18)
4	1,171 (116)	82 (2)	118 (8)	814 (82)	357 (21)	153 (18)
5	1,178 (122)	82 (2)	120 (9)	823 (87)	351 (21)	156 (18)

出典：「学校基本調査」（文部科学省）

※( )内は分校数であり、内数である。

※平成18年までは学校種（視覚障害＝盲学校、聴覚障害＝聾学校、知的障害＝知的障害養護学校、肢体不自由＝肢体不自由養護学校、病弱＝病弱養護学校）ごとに集計。平成19年以降は、複数の障害種を対象としている学校はそれぞれの障害種ごとに重複してカウントしている。

(5) 特別支援学校在学者数の推移（国・公・私立計）

区分	計	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱
昭和23年度	人	人	人	人	人	人
24	12,387	4,457	7,930	—	—	—
25	14,449	4,396	9,964	—	—	89
	16,865	5,155	11,600	28	—	82
26	19,671	6,161	13,345	40	—	125
27	22,091	7,136	14,784	31	—	140
28	24,312	7,901	16,143	25	46	197
29	26,485	8,604	17,555	不 明	不 明	不 明
30	28,142	9,090	18,694	60	61	237
31	29,575	9,460	19,505	不 明	不 明	不 明
32	31,609	9,864	20,044	690	484	527
33	33,193	10,126	20,397	866	1,094	710
34	34,753	10,264	20,744	1,264	1,608	873
35	35,778	10,261	20,723	1,676	2,123	995
36	37,130	10,235	20,489	2,437	2,750	1,219
37	38,595	10,127	20,180	3,013	3,791	1,484
38	40,533	10,099	20,036	3,350	5,203	1,845
39	42,757	10,011	19,890	4,026	6,968	1,862
40	44,316	9,933	19,684	4,923	7,931	1,845
41	46,330	10,038	19,280	5,892	9,185	1,935
42	48,409	10,101	18,650	6,617	10,830	2,211
43	49,284	9,955	18,026	7,008	12,134	2,161
44	50,183	9,722	17,288	7,914	13,080	2,179
45	50,796	9,510	16,586	8,584	13,713	2,403
46	52,228	9,412	15,916	9,874	14,483	2,543
47	54,508	9,296	15,372	11,524	15,223	3,093
48	58,507	9,244	15,119	14,650	16,031	3,463
49	61,395	8,938	14,558	17,055	16,693	4,151
50	63,548	9,015	13,897	19,081	16,927	4,628
51	65,666	8,802	13,342	21,449	17,073	5,000
52	67,643	8,579	12,673	23,768	17,267	5,356
53	71,774	8,589	12,393	27,353	17,547	5,892
54	88,847	8,330	11,911	40,422	19,871	8,313
55	91,812	8,113	11,577	43,891	20,492	7,739
56	94,069	7,830	11,308	46,755	20,214	7,962
57	94,864	7,557	10,786	48,379	19,889	8,253
58	94,371	7,273	10,328	48,852	19,891	8,027
59	94,868	7,013	9,716	50,486	19,947	7,706
60	95,401	6,780	9,404	52,061	19,937	7,219
61	95,857	6,551	9,088	52,847	20,369	7,002
62	96,028	6,432	8,851	53,918	20,073	6,754
63	95,825	6,257	8,538	54,729	19,872	6,429
平成元年度	95,008	6,006	8,319	54,976	19,600	6,107
2	93,497	5,599	8,169	54,457	19,248	6,024
3	91,534	5,228	8,149	53,624	19,113	5,420
4	89,584	4,919	7,997	52,634	18,859	5,175
5	88,041	4,773	7,842	52,145	18,438	4,843
6	87,219	4,696	7,557	51,657	18,396	4,913
7	86,834	4,611	7,257	52,102	18,131	4,733
8	86,293	4,442	6,999	52,102	18,314	4,436
9	86,444	4,323	6,841	52,824	18,046	4,410
10	87,445	4,199	6,826	53,561	18,464	4,395
11	88,814	4,172	6,824	54,987	18,467	4,364
12	90,104	4,089	6,818	57,078	17,886	4,233
13	92,072	4,001	6,829	58,866	18,289	4,087
14	94,171	3,926	6,719	61,243	18,362	3,921
15	96,473	3,882	6,705	63,382	18,537	3,967
16	98,796	3,870	6,573	65,690	18,756	3,907
17	101,612	3,809	6,639	68,328	18,713	4,123
18	104,592	3,688	6,544	71,453	18,717	4,190
19	108,173	5,637	8,340	92,912	29,917	18,919
20	112,334	5,763	8,413	96,924	30,363	18,934
21	117,035	5,798	8,461	102,084	31,086	18,926
22	121,815	5,774	8,591	106,920	31,530	19,337
23	126,123	5,882	8,660	111,468	31,612	19,589
24	129,994	5,894	8,533	115,355	32,007	19,190
25	132,570	5,940	8,624	118,225	32,050	19,653
26	135,617	5,750	8,569	121,568	31,814	19,955
27	137,894	5,716	8,625	124,164	32,089	20,050
28	139,821	5,587	8,425	126,541	31,889	19,559
29	141,944	5,317	8,269	128,912	31,813	19,435
30	143,379	5,315	8,164	130,817	31,676	19,277
令和元年度	144,434	5,083	8,175	131,985	31,094	18,864
2	144,823	4,978	7,850	133,308	30,905	19,240
3	146,285	4,775	7,651	134,962	30,456	18,896
4	148,635	4,764	7,623	137,801	30,705	19,360
5	151,362	4,696	7,457	141,063	30,161	19,339
(单一障害)	113,977	1,500	3,722	104,058	2,802	1,895
(重複障害)	37,385	3,196	3,735	37,005	27,359	17,444

出典：「学校基本調査」（文部科学省）

\*昭和47年度以前のデータには沖縄県分を含まない。

\*平成18年までは学校種（視覚障害＝盲学校、聴覚障害＝聾学校、知的障害＝知的障害養護学校、肢体不自由＝肢体不自由養護学校、病弱＝病弱養護学校）ごとに集計。平成19年以降は、複数の障害種を対象としている学校はそれぞれの障害種に重複してカウントしている。

報道関係者 各位

令和6年12月20日

【照会先】

職業安定局

障害者雇用対策課

課長 西澤 栄晃

主任障害者雇用専門官 藤井 剛

課長補佐 武田 和也

(代表電話) 03-5253-1111 (内線) 5829、5868

(直通電話) 03-3502-6775

## 令和6年 障害者雇用状況の集計結果

厚生労働省では、このほど、令和6年の「障害者雇用状況」集計結果を取りまとめましたので、公表します。

障害者の雇用の促進等に関する法律では、事業主に対し、常時雇用する従業員の一定割合（法定雇用率。民間企業は2.5%。）以上の障害者を雇うことを義務付けています。

今回の集計結果は、同法に基づき、民間企業や公的機関などにおける毎年6月1日現在の身体障害者、知的障害者及び精神障害者の雇用状況について、障害者の雇用義務のある事業主などに報告を求め、これを集計したものです。

### 【集計結果の主なポイント】

<民間企業>（法定雇用率2.5% ※本年3月までの法定雇用率は2.3%）

○雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新。

・雇用障害者数は67万7,461.5人、

対前年差3万5,283.5人増加、対前年比5.5%増加、

・実雇用率2.41%、対前年比0.08ポイント上昇

○法定雇用率達成企業の割合は46.0%、対前年比4.1ポイント低下

<公的機関>（同2.8%（2.6%）、都道府県等の教育委員会は2.7%（2.5%））

○雇用障害者数、実雇用率ともに対前年で上回る。※（ ）は前年の値。

- ・国：雇用障害者数 1万428.0人（9,940.0人）、  
実雇用率 3.07%（2.92%）

- ・都道府県：雇用障害者数 1万1,030.5人（1万627.5人）、  
実雇用率 3.05%（2.96%）

- ・市町村：雇用障害者数 3万7,433.5人（3万5,611.5人）、  
実雇用率 2.75%（2.63%）

- ・教育委員会：雇用障害者数 1万7,719.0人（1万6,999.0人）、  
実雇用率 2.43%（2.34%）

<独立行政法人など>（同2.8%（2.6%））

○雇用障害者数、実雇用率ともに対前年で上回る。※（ ）は前年の値。

- ・雇用障害者数1万3,419.0人（1万2,879.5人）、実雇用率 2.85%（2.76%）

## 障害者雇用状況報告の集計結果（概要）

### 1 民間企業における雇用状況

#### ○ 雇用されている障害者の数、実雇用率、法定雇用率達成企業の割合

- ・ 民間企業（常用労働者数が40.0人以上の企業：法定雇用率2.5%）に雇用されている障害者の数は677,461.5人で、前年より35,283.5人増加（対前年比5.5%増）し、21年連続で過去最高を更新した。
- ・ 雇用者のうち、身体障害者は368,949.0人（対前年比2.4%増）、知的障害者は157,795.5人（同4.0%増）、精神障害者は150,717.0人（同15.7%増）と、いずれも前年より増加し、特に精神障害者の伸び率が大きかった。
- ・ 実雇用率は、13年連続で過去最高の2.41%（前年は2.33%）、法定雇用率達成企業の割合は46.0%（同50.1%）であった。

[総括表1、グラフ(1)、詳細表1(1)・(4)]

#### ○ 企業規模別の状況

- ・ 企業規模別にみると、雇用されている障害者の数は、今年から新たに報告対象となった常用労働者数が40.0～43.5人未満規模の企業では4,962.5人であった。また、従来から報告対象であった企業を規模別に見ると、43.5～100人未満で73,317.5人（前年は70,302.5人）、100～300人未満で124,637.0人（同122,195.0人）、300～500人未満で57,178.5人（同54,084.5人）、500～1,000人未満で76,515.5人（同73,435.5人）、1,000人以上で340,850.5人（同322,160.5人）と、全ての企業規模で前年より増加した。
- ・ 実雇用率は、今年から新たに報告対象となった常用労働者数が40.0～43.5人未満規模の企業では2.10%であった。また、従来から報告対象であった企業を規模別に見ると、43.5～100人未満で1.95%（前年は1.95%）、100～300人未満で2.19%（同2.15%）、300～500人未満で2.29%（同2.18%）、500～1,000人未満で2.48%（同2.36%）、1,000人以上で2.64%（同2.55%）と、全ての企業規模で前年より増加した（※）。

なお、1,000人以上規模の企業は、実雇用率が法定雇用率を上回っている。

※小数点第3位で比較した場合、43.5～100人未満においても増加している。

- ・ 法定雇用率達成企業の割合は、今年から新たに報告対象となった常用労働者数が40.0～43.5人未満規模の企業では33.3%であった。また、従来から報告対象であった企業を規模別に見ると、43.5～100人未満で45.4%（前年は47.2%）、100～300人未満で49.1%（同53.3%）、300～500人未満で41.1%（同46.9%）、500～1,000人未満で44.3%（同52.4%）、1,000人以上で54.7%（同67.5%）となり、全ての企業規模で前年より低下（※）した。

※昨年比で法定雇用率が0.2ポイント上がっていることの影響による低下を含む。

[グラフ(2)・(3)、詳細表1(2)]

## ○ 産業別の状況

- ・ 産業別にみると、雇用されている障害者の数は、全ての業種で前年よりも増加した。
- ・ 産業別の実雇用率では、「医療、福祉」(3.19%)が法定雇用率を上回っている。  
[グラフ(4)・(5)、詳細表1(3)]

## ○ 法定雇用率未達成企業の状況

- ・ 令和6年の法定雇用率未達成企業は63,364社。そのうち、不足数が0.5人または1人である企業（1人不足企業）が、64.1%と過半数を占めている。
- ・ また、障害者を1人も雇用していない企業（0人雇用企業）は36,485社であり、未達成企業に占める割合は、57.6%となっている。

[詳細表1(5)]

## ○ 特例子会社の状況

- ・ 令和6年6月1日現在で特例子会社（※）の認定を受けている企業は614社（前年より16社増）で、雇用されている障害者の数は、50,290.5人（前年は46,848.0人）であった。
- ・ 雇用者のうち、身体障害者は12,488.5人（同12,134.0人）、知的障害者は25,553.5人（同24,062.0人）、精神障害者は12,248.5人（同10,652.0人）であった。

※親会社の実雇用率に算入できる、障害者の雇用に特別の配慮をした子会社

[詳細表1(7)]

## 2 公的機関における在職状況

### (1) 国の機関（法定雇用率2.8%）

国の機関に在職している障害者の数は10,428.0人で、前年より4.9%、488.0人増加しており、実雇用率は3.07%と、前年に比べ0.15ポイント上昇した。

国の機関は44機関中43機関が達成（現時点において、未達成であった1機関も達成済みとなっている。）。

[総括表2(1)、詳細表2(1)、4(1)]

### (2) 都道府県の機関（法定雇用率2.8%）

都道府県の機関に在職している障害者の数は11,030.5人で、前年より3.8%、403.0人増加しており、実雇用率は3.05%と、前年に比べ0.09ポイント上昇した。

知事部局は47機関中45機関が達成（現時点において、未達成であった2機関のうち、1機関が達成済みで、もう1機関も達成見込みとなっている。）、知事部局以外は121機関中105機関が達成。

[総括表2(2)、詳細表2(2)、4(2)・(3)]

### (3) 市町村の機関（法定雇用率2.8%）

市町村の機関に在職している障害者の数は37,433.5人で、前年より5.1%、1,82

2. 0人増加しており、実雇用率は2.75%と、前年に比べ0.12ポイント上昇した。  
2,488機関中1,769機関が達成。

[総括表2(3)、詳細表2(3)]

#### (4) 都道府県等の教育委員会（法定雇用率2.7%）

都道府県等の教育委員会に在職している障害者の数は17,719.0人で、前年より4.2%、720.0人増加しており、実雇用率は2.43%（都道府県教育委員会は2.43%、市町村教育委員会は2.47%）と、前年に比べ0.09ポイント上昇した。

都道府県教育委員会は47機関中22機関が達成、市町村教育委員会は46機関中28機関が達成。

[総括表2(4)、詳細表2(4)、4(4)]

### 3 独立行政法人等における雇用状況

独立行政法人等（法定雇用率2.8%）に雇用されている障害者の数は13,419.0人で、前年より4.2%、539.5人増加しており、実雇用率は2.85%と、前年に比べ0.09ポイント上昇した。

独立行政法人等（国立大学法人等を除く）は94法人中80法人が達成、国立大学法人等は86法人中65法人が達成、地方独立行政法人等は193法人中140法人が達成。

[総括表3、詳細表3、4(5)]

# 関係データ集

令和7年1月28日版

# 関係データ集 目次

## (1) 近年の社会の変化

・出生数と人口推計	(1) - 1
・世界情勢・経済・産業・雇用の変化	(1) - 2
・デジタル化の進展	(1) - 3
・社会ニーズの変化	(1) - 4
・若者の現状	(1) - 5
・学術研究を取り巻く動向	(1) - 6

## (2) 高等教育の現状

・18歳人口と高等教育機関への進学状況	(2) - 1
・学校数・学生数・入学定員等の状況	(2) - 2
・進学率・学校数・入学定員・進学者収容力等の状況（都道府県別）	(2) - 3
・大学院の現状	(2) - 4
・高等教育機関修了後の進路	(2) - 5
・多様な学生の受入れ	(2) - 6
・入学者選抜・大学教育の現状	(2) - 7
・大学通信教育	(2) - 8
・留学生交流	(2) - 9
・教員を取り巻く環境	(2) - 10
・少子化を見据えた大学経営の状況	(2) - 11

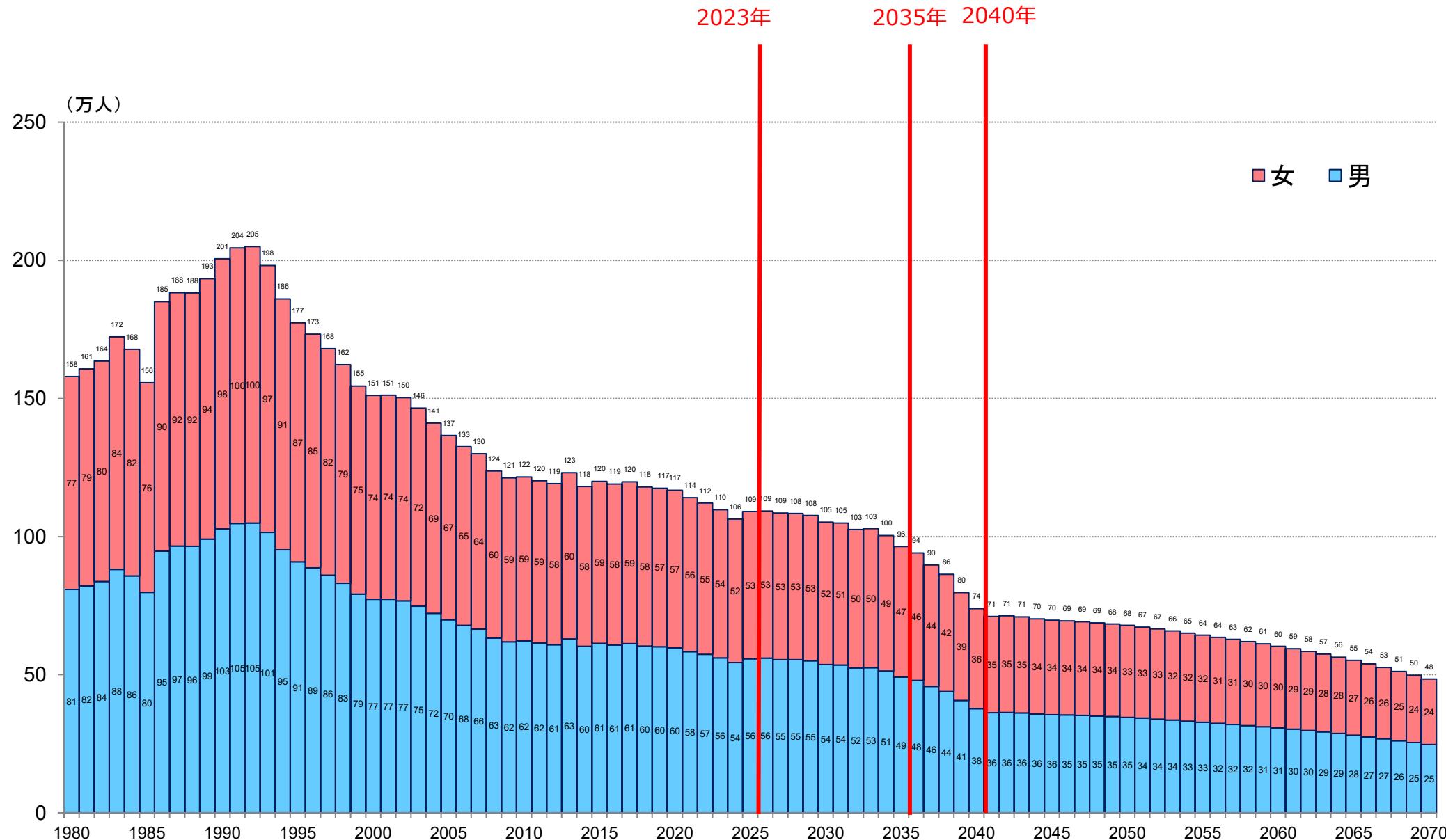
(3) 国公私の設置者別等の状況	(3) - 1
------------------	---------

(4) 高等教育の財政措置	(4) - 1
---------------	---------

(別添) 将来推計	(5) - 1
-----------	---------

# 18歳人口(男女別)の将来推計

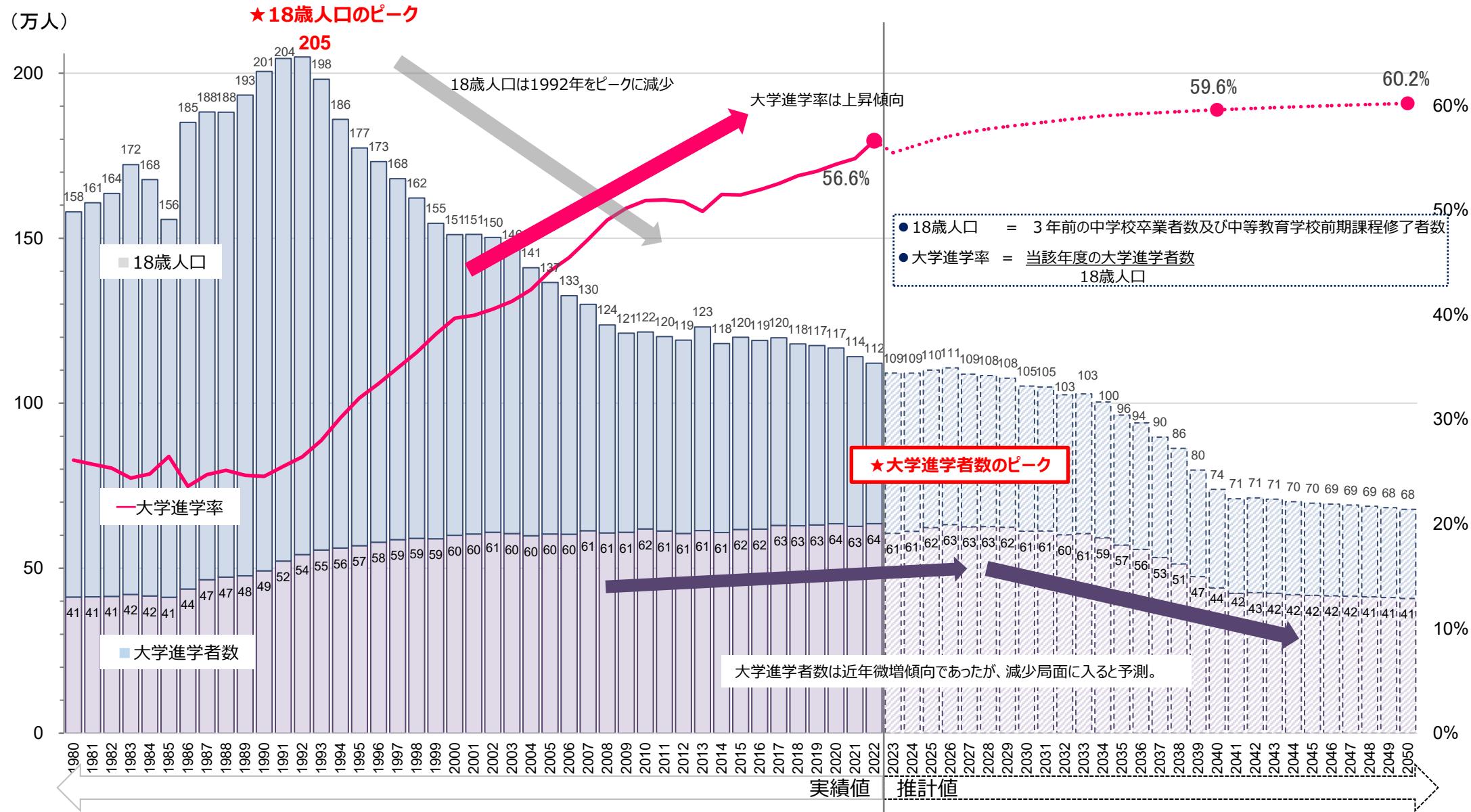
- 我が国の18歳人口の推移を見ると、2005年には約137万人であったものが、現在は約109万人まで減少している。
- 今後、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約74万人にまで減少するという推計もある。



(出典) 2027年以前は文部科学省「学校基本統計」、  
2028年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和五年推計）（出生低位・死亡低位）」を元に作成  
（資料）厚生労働省「平成33年版統計年報」

# 大学進学者数等の将来推計について

18歳人口が減少し続ける中でも、大学進学率は上昇し、大学進学者数も増加傾向にあったが、2026年以降は18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少局面に突入すると予測される。



\* 出生低位・死亡低位での推計

\* 18歳人口：3年前の中学校卒業者数及び中等教育学校前期課程修了者数-学生確保（資料）-34-

（出典）推計値：国立社会保障・人口問題研究所

(5) - 1 - 5

# 2040年の各都道府県進学者等推計（出生低位・死亡低位）①

	北海道		青森県		岩手県		宮城県		秋田県		山形県		福島県		茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県													
18歳人口【2021】	45,007		11,830		11,379		20,998		8,171		10,269		17,622		27,454		18,417		18,806		64,508		54,908													
高校等卒業者数【2021】	40,596		11,056		10,585		19,412		7,586		9,555		16,130		25,234		17,183		16,849		56,216		49,294													
大学進学者数【2021】	21,039		4,975		4,460		9,982		3,345		4,097		7,215		14,797		9,063		8,971		35,056		30,362													
大学進学率【2021】	46.7%		42.1%		39.2%		47.5%		40.9%		39.9%		40.9%		53.9%		49.2%		47.7%		54.3%		55.3%													
大学進学率(国公私別)【2021】	10.0%	3.4%	33.4%	12.0%	5.1%	25.0%	11.2%	5.4%	22.6%	9.3%	2.6%	35.6%	14.4%	4.4%	22.2%	11.0%	2.7%	26.2%	7.6%	3.2%	30.1%	8.5%	2.1%	43.3%	8.5%	2.0%	38.8%	7.9%	3.7%	36.0%	4.2%	0.9%	49.3%	4.3%	0.6%	50.4%
短大進学率【2021】	4.1%		4.8%		4.2%		4.6%		5.9%		4.7%		5.0%		2.7%		4.0%		4.2%		3.5%		3.1%													
専門学校進学率(現役)【2021】	20.8%		14.8%		17.8%		16.2%		16.5%		18.1%		15.6%		17.2%		16.9%		15.5%		16.1%		17.6%													
大学数【2021】	37		10		6		14		7		6		8		10		9		15		27		27													
大学数(国公私別)【2021】	7	6	24	1	2	7	1	1	4	2	1	11	1	3	3	1	2	5	3	1	6	1	0	8	1	4	10	1	1	25	1	1	25			
入学定員【2021】	18,806		3,363		2,509		11,511		2,090		2,766		3,579		6,461		4,668		5,785		28,855		25,751													
入学定員(国公私別)【2021】	5,600	1,345	11,861	1,322	516	1,525	1,030	440	1,039	2,722	420	8,369	955	665	470	1,663	145	958	945	599	2,035	3,760	170	2,531	910	0	3,758	1,098	1,482	3,205	1,535	395	26,925	2,592	180	22,979
大学入学者数【2021】	19,119		3,407		2,544		11,713		2,075		2,792		3,451		6,697		4,823		5,983		28,847		27,402													
(国公私別)【2021】	5,756	1,434	11,929	1,371	549	1,487	1,068	473	1,003	2,779	453	8,481	985	694	396	1,690	148	954	991	605	1,855	3,829	171	2,697	929	0	3,894	1,142	1,551	3,290	1,598	406	26,843	2,635	180	24,587
県外から流入【2021】	4,954		1,363		1,281		6,061		1,194		1,868		1,822		3,727		2,639		3,249		18,497		17,051													
県内から流出【2021】	6,874		2,931		3,197		4,330		2,464		3,173		5,586		11,827		6,879		6,237		24,706		20,011													
流入出差(流入-流出)【2021】	-1,921		-1,568		-1,916		1,731		-1,270		-1,305		-3,764		-8,101		-4,240		-2,988		-6,209		-2,961													
自県進学率【2021】	67.3%		41.1%		28.3%		56.6%		26.3%		22.6%		22.6%		20.1%		24.1%		30.5%		29.5%		34.1%													
18歳人口推計【2040】	25,440		5,732		5,609		12,328		3,865		5,334		8,873		15,183		10,379		10,284		41,712		35,741													
大学進学者数推計【2040】	14,472		2,575		2,373		6,248		1,792		2,250		4,077		9,274		5,305		5,213		25,180		21,885													
大学進学率推計【2040】	56.9%		44.9%		42.3%		50.7%		46.4%		42.2%		46.0%		61.1%		51.1%		50.7%		60.4%		61.2%													
大学入学者数推計【2040】	13,186		1,939		1,465		7,223		1,250		1,691		2,093		4,832		3,034		4,702		21,388		20,123													
(国公私別)【2040】	3,970	989	8,227	780	313	846	615	272	578	1,714	279	5,230	593	418	239	1,024	90	578	601	367	1,125	2,763	123	1,946	584	0	2,450	897	1,219	2,585	1,185	301	19,902	1,935	132	18,056
入学定員充足率推計【2040】	70.1%		57.7%		58.4%		62.7%		59.8%		61.1%		58.5%		74.8%		65.0%		81.3%		74.1%		78.1%													
(国公私別)【2040】	70.9%	73.5%	69.4%	59.0%	60.6%	55.5%	59.7%	61.9%	55.6%	63.0%	66.5%	62.5%	62.1%	62.9%	50.8%	61.6%	61.8%	60.3%	63.6%	61.2%	55.3%	73.5%	72.6%	76.9%	64.2%	-	65.2%	81.7%	82.2%	80.7%	77.2%	76.2%	73.9%	74.7%	73.4%	78.6%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-6,567	(-31%)	-2,400	(-48%)	-2,087	(-47%)	-3,734	(-37%)	-1,553	(-46%)	-1,847	(-45%)	-3,138	(-43%)	-5,523	(-37%)	-3,758	(-41%)	-3,758	(-42%)	-9,876	(-28%)	-8,477	(-28%)												
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-5,932	(-31%)	-1,468	(-43%)	-1,079	(-42%)	-4,490	(-38%)	-825	(-40%)	-1,101	(-39%)	-1,358	(-39%)	-1,864	(-28%)	-1,789	(-37%)	-1,281	(-21%)	-7,459	(-26%)	-7,278	(-27%)												

(参考)

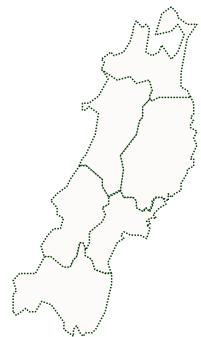
大学進学者…各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者  
大学入学者…各県に所在する大学に入学した者

# 2040年の各都道府県進学者等推計（出生低位・死亡低位）②

	東京都			神奈川県			新潟県			富山県			石川県			福井県			山梨県			長野県			岐阜県			静岡県			愛知県					
18歳人口【2021】	104,150			78,433			19,807			9,656			10,574			7,584			7,768			20,242			20,034			34,622			71,537			17,458		
高校等卒業者数【2021】	101,997			67,477			18,071			8,898			10,073			7,246			7,874			18,424			17,986			31,948			63,402			15,401		
大学進学者数【2021】	78,180			44,498			8,698			4,561			5,607			4,104			5,018			9,269			9,760			16,879			38,573			7,864		
大学進学率【2021】	75.1%			56.7%			43.9%			47.2%			53.0%			54.1%			64.6%			45.8%			48.7%			48.8%			53.9%			45.0%		
大学進学率(国公私別)【2021】	6.7%	1.0%	67.3%	3.7%	1.2%	51.8%	9.6%	4.0%	30.4%	13.5%	5.6%	28.2%	13.7%	5.2%	34.1%	14.6%	6.3%	33.3%	9.5%	5.7%	49.4%	8.5%	4.1%	33.2%	9.1%	3.2%	36.4%	8.4%	3.9%	36.4%	9.6%	3.0%	41.3%	8.7%	2.5%	33.8%
短大進学率【2021】	1.9%			2.9%			3.8%			6.4%			5.7%			4.8%			5.4%			6.9%			5.4%			3.5%			3.1%			4.9%		
専門学校進学率(現役)【2021】	11.8%			14.7%			24.6%			15.8%			13.5%			13.9%			17.9%			19.5%			12.4%			15.7%			12.1%			12.8%		
大学数【2021】	146			32			22			5			14			6			7			11			13			14			52			7		
大学数(国公私別)【2021】	12	2	132	2	2	28	3	4	15	1	1	3	2	4	8	1	2	3	1	2	4	1	4	6	1	3	9	2	4	8	4	3	45	1	1	5
入学定員【2021】	153,377			44,893			6,699			2,575			6,502			2,300			4,169			4,020			4,940			8,090			41,964			3,190		
入学定員(国公私別)【2021】	9,716	1,570	142,091	1,662	1,130	42,101	2,467	765	3,467	1,770	495	310	1,726	590	4,186	855	450	995	825	990	2,354	1,978	960	1,082	1,240	200	3,500	2,145	935	5,010	3,976	1,764	36,224	1,310	100	1,780
大学入学者数【2021】	153,519			45,619			6,592			2,588			6,492			2,362			4,245			4,163			4,825			7,970			42,461			3,303		
(国公私別)【2021】	10,055	1,592	141,872	1,697	1,174	42,748	2,547	826	3,219	1,832	480	276	1,764	620	4,108	895	485	982	851	1,075	2,319	2,023	1,007	1,133	1,265	220	3,340	2,166	1,051	4,753	4,092	1,830	36,539	1,335	102	1,866
県外から流入【2021】	100,599			28,384			3,132			1,640			3,813			1,083			3,012			2,276			2,679			3,165			14,960			1,554		
県内から流出【2021】	25,261			27,263			5,238			3,613			2,928			2,825			3,785			7,382			7,614			12,074			11,072			6,115		
流入出差(流入-流出)【2021】	75,339			1,121			-2,106			-1,973			885			-1,742			-773			-5,106			-4,935			-8,909			3,888			-4,561		
自県進学率【2021】	67.7%			38.7%			39.8%			20.8%			47.8%			31.2%			24.6%			20.4%			22.0%			28.5%			71.3%			22.2%		
18歳人口推計【2040】	92,106			52,183			11,136			5,640			6,596			4,651			4,521			11,393			10,969			19,553			49,082			10,378		
大学進学者数推計【2040】	74,182			32,200			5,417			3,070			3,958			2,826			3,308			6,113			6,176			9,720			28,536			5,082		
大学進学率推計【2040】	80.5%			61.7%			48.6%			54.4%			60.0%			60.8%			73.2%			53.7%			56.3%			49.7%			58.1%			49.0%		
大学入学者数推計【2040】	121,312			34,648			4,163			1,773			4,473			1,648			3,025			2,831			3,307			5,082			30,368			2,276		
(国公私別)【2040】	7,946	1,258	112,109	1,289	892	32,468	1,609	522	2,033	1,255	329	189	1,215	427	2,831	624	338	685	606	766	1,652	1,376	685	770	867	151	2,289	1,381	670	3,031	2,927	1,309	26,132	920	70	1,286
入学定員充足率推計【2040】	79.1%			77.2%			62.1%			68.8%			68.8%			71.6%			72.6%			70.4%			67.0%			62.8%			72.4%			71.4%		
(国公私別)【2040】	81.8%	80.1%	78.9%	77.6%	78.9%	77.1%	65.2%	68.2%	58.6%	70.9%	66.4%	61.0%	70.4%	72.4%	67.6%	73.0%	75.2%	68.8%	73.5%	77.4%	70.2%	69.5%	71.3%	71.2%	69.9%	75.4%	65.4%	64.4%	71.7%	60.5%	73.6%	74.2%	72.1%	70.2%	70.3%	72.2%
大学進学者数【2021】－大学進学者数推計【2040】	-3,998			(-28%)			-3,281			(-38%)			-1,491			(-33%)			-1,649			(-2														

## 18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 東北版

- 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県 -



### 【将来予測 2024~2036年】

#### ▶ 18歳人口予測 P2~P4

- ・2024年71,820人→2036年57,718人（14,102人減少）
- ・減少率が高いのは、秋田県（2024年比較28.5%減少）
- ・減少数が多いのは、福島県（2024年15,899人→2036年12,862人、3,037人減少）

### 【経過推移 2015~2024年】

#### ▶ 進学者数・進学率（現役）の推移 P5~P10

##### 進学者数

- ・大学は、2015年31,806人→2024年30,374人（1,432人減少）と、4.5%減少
- ・短期大学は、2015年4,641人→2024年2,552人（2,089人減少）と、45.0%減少
- ・専門学校は、2015年14,429人→2024年11,119人（3,310人減少）と、22.9%減少

##### 進学率（現役）

- ・大学は、2015年39.0%→2024年47.7%（8.7ポイント上昇）
- ・短期大学は、2015年5.7%→2024年4.0%（1.7ポイント低下）
- ・専門学校は、2015年17.7%→2024年17.5%（0.2ポイント低下）

#### ▶ 地元残留率の推移 P11~P13

- ・大学は、2015年34.1%→2024年35.3%（1.2ポイント上昇）
- ・短期大学は、2015年66.5%→2024年69.3%（2.8ポイント上昇）

#### ▶ 東北エリア概要（全体：県別） P14~P16

##### ■ 分析・データについて

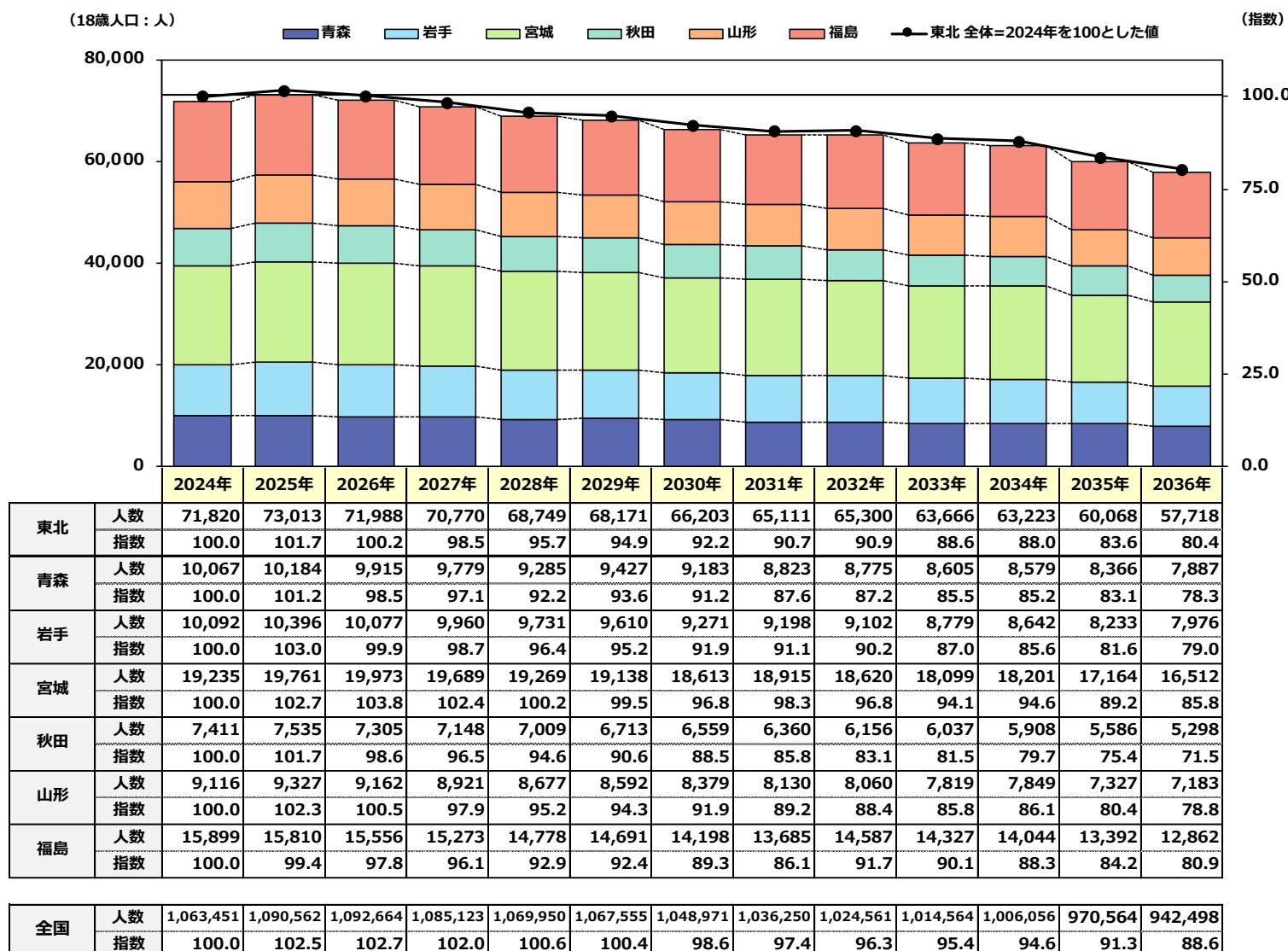
- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
    - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数と義務教育学校卒業者数
    - ・ 中学校卒業者数 = 高校生 + フリーター + 就職者 全て含む
  - ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
  - ③ 表内の「指標」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
  - ④ 卒業者数とは、高等学校を卒業した人数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）。
  - ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数。
  - ⑥ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専門学校（※）） ÷ 高等学校卒業者数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）で算出した。
  - ⑦ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）。
  - ⑧ 図表で利用している百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。
- ※専門学校 = 専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】  
 株式会社リクルート リクルート進学総研  
<https://souken.shingakunet.com/>

# 18歳人口予測（全体：東北：2024～2036年）

## ■2024年71,820人→2036年57,718人（14,102人減少）

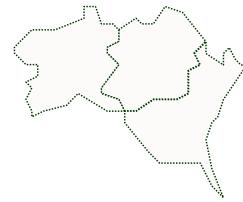
- ・東北エリアは14,102人・19.6%減少し、全国の減少率11.4%を8.2ポイント上回る。
- ・2025年に73,013人まで増加するが、その後減少に転じ、2032年に微増するものの、2036年までに14,102人減少する。
- ・減少率が高いのは、秋田県（2024年比較28.5%減少）。
- ・減少数が多いのは、福島県（2024年15,899人→2036年12,862人、3,037人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

# 18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 北関東版

- 茨城県・栃木県・群馬県 -



## 【将来予測 2024~2036年】

### ▶ 18歳人口予測 P2~P4

- ・2024年59,826人→2036年48,791人（11,035人減少）
- ・減少率が高いのは、群馬県（2024年比較20.8%減少）
- ・減少数が多いのは、茨城県（2024年25,061人→2036年21,195人、3,866人減少）

## 【経過推移 2015~2024年】

### ▶ 進学者数・進学率（現役）の推移 P5~P10

#### 進学者数

- ・大学は、2015年28,744人→2024年28,956人（212人増加）と、0.7%増加
- ・短期大学は、2015年2,582人→2024年1,382人（1,200人減少）と、46.5%減少
- ・専門学校は、2015年11,235人→2024年9,256人（1,979人減少）と、17.6%減少

#### 進学率（現役）

- ・大学は、2015年47.0%→2024年54.9%（7.9ポイント上昇）
- ・短期大学は、2015年4.2%→2024年2.6%（1.6ポイント低下）
- ・専門学校は、2015年18.4%→2024年17.5%（0.9ポイント低下）

### ▶ 地元残留率の推移 P11~P13

- ・大学は、2015年23.2%→2024年24.1%（0.9ポイント上昇）
- ・短期大学は、2015年61.6%→2024年65.8%（4.2ポイント上昇）

### ▶ 北関東エリア概要（全体：県別） P14~P15

#### ■ 分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
  - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数と義務教育学校卒業者数
  - ・ 中学校卒業者数 = 高校生 + フリーター + 就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指標」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 卒業者数とは、高等学校を卒業した人数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）。
- ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数。
- ⑥ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専門学校（※）） ÷ 高等学校卒業者数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑦ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）。
- ⑧ 図表で利用している百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。

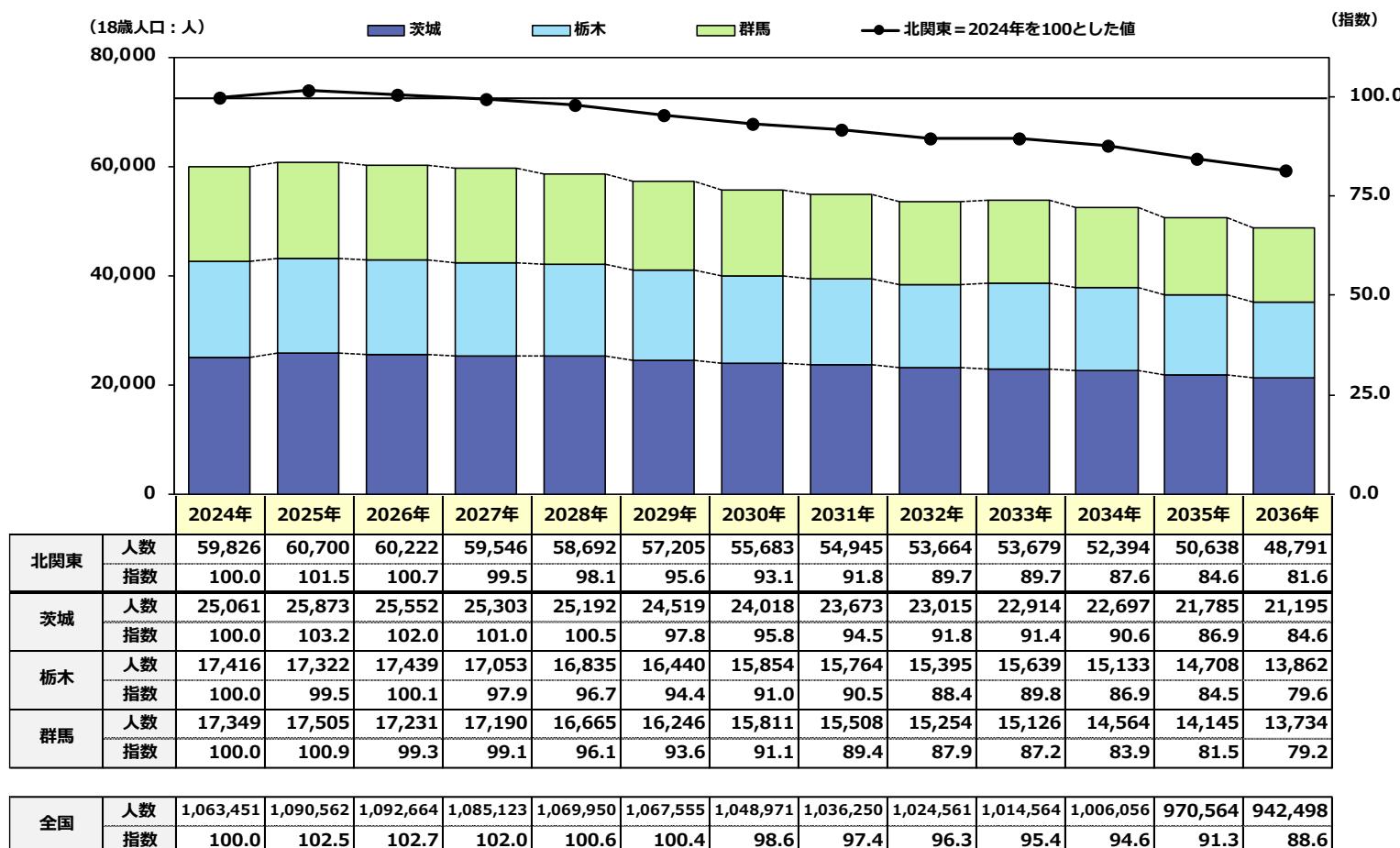
※専門学校 = 専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルート リクルート進学総研  
<https://souken.shingakunet.com/>

# 18歳人口予測（全体：北関東：2024～2036年）

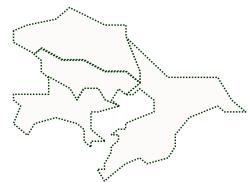
## ■2024年59,826人→2036年48,791人（11,035人減少）

- ・北関東エリアは11,035人・18.4%減少し、全国の減少率11.4%を7.0ポイント上回る。
- ・2025年に874人増加するが、2026年以降減少に転じる。2032年から2033年は横ばい、2034年から再び減少傾向。
- ・減少率が高いのは、群馬県（2024年比較20.8%減少）。
- ・減少数が多いのは、茨城県（2024年25,061人→2036年21,195人、3,866人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

## 18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 **南関東版** - 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 -



### 【将来予測 2024~2036年】

#### ▶ 18歳人口予測 P2~P4

- ・ 2024年287,188人→2036年271,794人 (15,394人減少)
- ・ 減少率が高いのは、埼玉県 (2024年比較9.3%減少)
- ・ 減少数が多いのは、神奈川県 (2024年74,296人→2035年68,577人、5,719人減少)

### 【経過推移 2015~2024年】

#### ▶ 進学者数・進学率（現役）の推移 P5~P10

##### 進学者数（現役）

- ・ 大学は、2015年157,421人→2024年168,489人 (11,068人増加) と、7.0%増加
- ・ 短期大学は、2015年10,419人→2024年4,811人 (5,608人減少) と、53.8%減少
- ・ 専門学校は、2015年41,657人→2024年33,566人 (8,091人減少) と、19.4%減少

##### 進学率（現役）

- ・ 大学は、2015年57.7%→2024年67.7% (10.0ポイント上昇)
- ・ 短期大学は、2015年3.8%→2024年1.9% (1.9ポイント低下)
- ・ 専門学校は、2015年15.3%→2024年13.5% (1.8ポイント低下)

#### ▶ 地元残留率の推移 P11~P13

- ・ 大学は、2015年47.8%→2024年49.0% (1.2ポイント上昇)
- ・ 短期大学は、2015年61.6%→2024年66.3% (4.7ポイント上昇)

#### ▶ 南関東エリア概要（全体：都県別） P14~P15

##### ■ 分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
  - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数と義務教育学校卒業者数
  - ・ 中学校卒業者数 = 高校生 + フリーター + 就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 卒業者数とは、高等学校を卒業した人数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）。
- ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数。
- ⑥ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専門学校（※）） ÷ 高等学校卒業者数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑦ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）。
- ⑧ 図表で利用している百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。

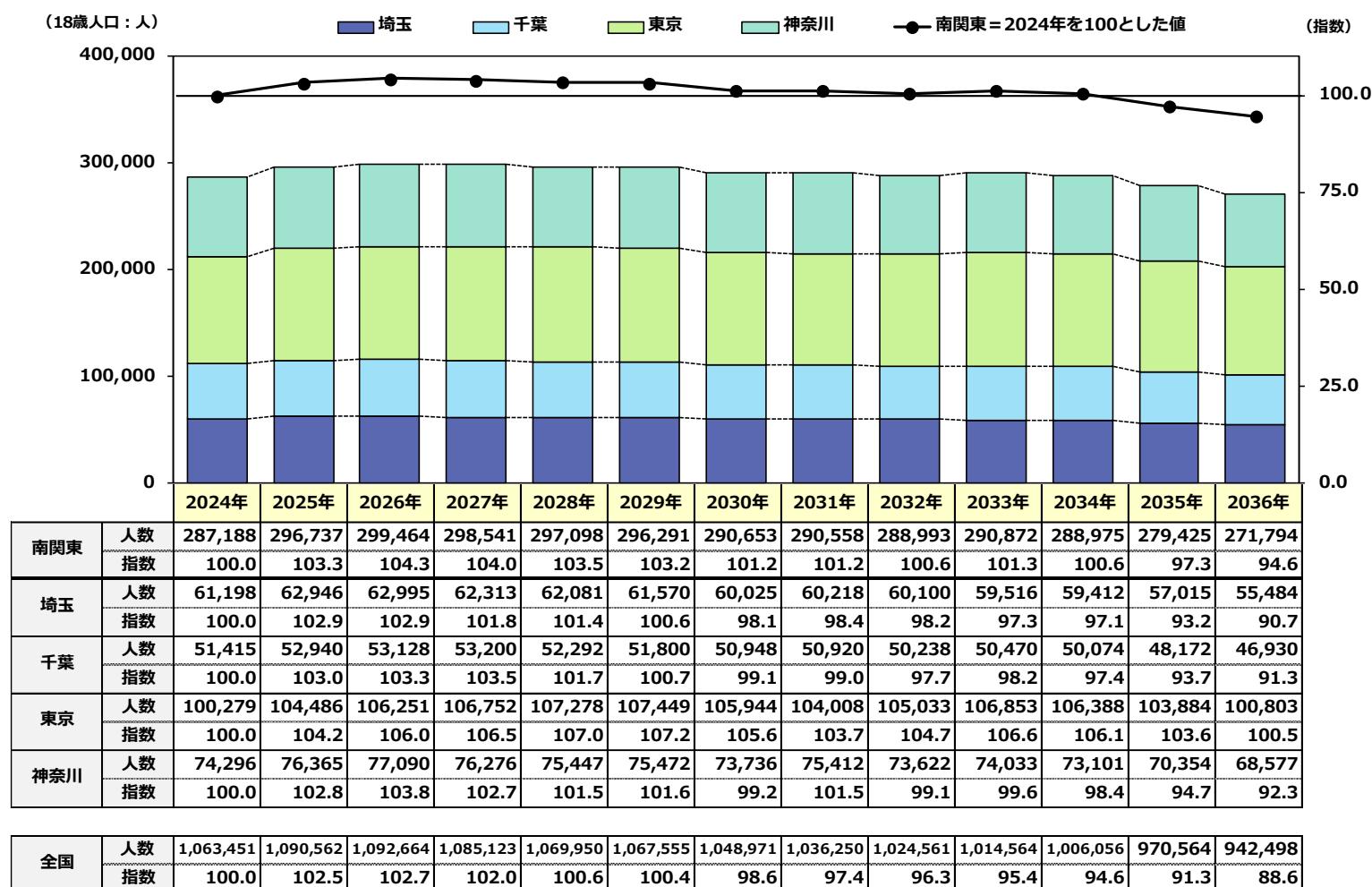
※専門学校 = 専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルート リクルート進学総研  
<https://souken.shingakunet.com/>

# 18歳人口予測（全体：南関東：2024～2036年）

## ■2024年287,188人→2036年271,794人（15,394人減少）

- ・南関東エリアは15,394人・5.4%減少し、全国の減少率11.4%を6.0ポイント下回る。
- ・2026年に299,464人まで増加し、2027年以降は減少に転じる。2033年に再び増加するが、2034年以降は再び減少に転じる。
- ・減少率が高いのは、埼玉県（2024年比較9.3%減少）。
- ・減少数が多いのは、神奈川県（2024年74,296人→2035年68,577人、5,719人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

## 全国及び学生募集地域における人口推計に関する資料

表1.18歳人口の将来推計

【単位:万人】

地域	項目	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
全 国	人数	105	109	109	109	108	108	105	105	102	103	100	96
	2025年比(倍)	0.97	1.00	1.00	1.00	0.99	0.99	0.96	0.96	0.94	0.94	0.92	0.88
東 北	人数	7.2	7.3	7.2	7.1	6.9	6.8	6.6	6.5	6.5	6.4	6.3	6.0
	2025年比(倍)	0.98	1.00	0.99	0.97	0.94	0.93	0.91	0.89	0.89	0.87	0.87	0.82
北関東	人数	6.1	6.0	6.0	5.9	5.7	5.6	5.5	5.4	5.4	5.2	5.1	5.1
	2025年比(倍)	1.01	1.00	0.99	0.97	0.95	0.92	0.91	0.89	0.89	0.87	0.84	0.84
南関東	人数	29.7	29.9	29.9	29.7	29.6	29.1	29.1	28.9	29.1	28.9	27.9	27.9
	2025年比(倍)	0.99	1.00	1.00	0.99	0.99	0.97	0.97	0.97	0.97	0.96	0.93	0.93
栃木県	人数	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5	1.5
	2025年比(倍)	1.01	1.00	1.01	0.98	0.97	0.95	0.92	0.91	0.89	0.90	0.87	0.85
千葉県	人数	5.1	5.3	5.3	5.3	5.2	5.2	5.1	5.1	5.0	5.0	5.0	4.8
	2025年比(倍)	0.97	1.00	1.00	1.00	0.99	0.98	0.96	0.96	0.95	0.95	0.95	0.91
神奈川県	人数	7.4	7.6	7.7	7.6	7.5	7.5	7.4	7.5	7.4	7.4	7.3	7.0
	2025年比(倍)	0.97	1.00	1.01	1.00	0.99	0.99	0.97	0.99	0.96	0.97	0.96	0.92

※全国の18歳人口は、中央教育審議会大学分科会(第181回)・高等教育の在り方に関する特別部会(第15回)資料を参考し本学で編集した

※東北地域以下の18歳人口は、リクルート進学総研の「マーケットリポート(2025年2月号)」を参考し本学で編集した

※2025年比は、2025年を1倍とした際の各年の倍率(各年人数/2025年人数)を記載

表2.18歳人口における大学進学者数の推移予測

【単位:万人】

地域	項目	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
全 国	人数	54.0	55.9	56.6	56.8	56.6	57.0	56.6	56.4	56.3	56.4	56.4	54.9
	2025年比(倍)	0.96	1.00	1.01	1.02	1.01	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	0.98
東 北	人数	3.0	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7
	2025年比(倍)	0.98	1.00	0.99	0.98	0.96	0.96	0.93	0.92	0.93	0.91	0.91	0.87
北関東	人数	2.9	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7
	2025年比(倍)	0.98	1.00	1.00	1.00	0.99	0.98	0.96	0.95	0.94	0.95	0.93	0.91
南関東	人数	16.8	17.6	17.9	18.1	18.2	18.3	18.1	18.3	18.4	18.7	18.7	18.3
	2025年比(倍)	0.96	1.00	1.02	1.03	1.03	1.04	1.03	1.04	1.04	1.06	1.06	1.04
栃木県	人数	0.83	0.83	0.84	0.82	0.82	0.80	0.78	0.78	0.76	0.78	0.75	0.74
	2025年比(倍)	1.00	1.00	1.01	0.99	0.98	0.97	0.94	0.93	0.92	0.93	0.91	0.89
千葉県	人数	2.7	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	2.8	2.9	2.9	2.8
	2025年比(倍)	0.96	1.00	1.01	1.03	1.02	1.02	1.01	1.02	1.02	1.04	1.04	1.01
神奈川県	人数	4.1	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2
	2025年比(倍)	0.97	1.00	1.02	1.01	1.01	1.02	1.00	1.03	1.02	1.03	1.02	0.99

※2024年進学者数は、令和6年度学校基本調査を参考し(高等学校卒業者のうち大学進学者数+中等教育学校卒業者のうち大学進学者数)を記載。

※2025年比は、2025年を1倍とした際の各年の倍率(各年人数/2025年人数)を記載

※2025年以降の進学者数は、以下の資料及び計算式により算出。

(1)2040年進学率は前掲中央審議会等資料を参照

(2)2024年進学率=2024年進学者数÷2024年18歳人口

(3)2025年以降の進学率=前年進学率+1年毎の進学率の上昇値(  $(1)2040\text{年進学率} - (2)2024\text{年進学率} \over 16$  )で求めた次の値を用いる

全国=0.5ポイント、東北=0.2ポイント、北関東=0.4ポイント、南関東=0.6ポイント、栃木県=0.2ポイント、千葉県=0.5ポイント、神奈川県=0.4ポイント

(4)2025年以降の進学者数=表1人数×(3)2025年以降の進学率

令和6(2024)年度  
私立大学・短期大学等  
入学志願動向



この「私立大学・短期大学等 入学志願動向」は、日本私立学校振興・共済事業団が令和6（2024）年度に実施した「学校法人基礎調査」から、入学定員、志願者数及び入学者数等を集計し、入学定員充足率や志願倍率等の動向を規模別、地域別、学部系統別にまとめたものです。

本報告書は、平成11年度に刊行して以来、本年度で26年目を迎えました。この間、私立大学・短期大学等は、人口動態、社会や学生のニーズの変化に対応し、学部・学科の見直しを行ってきました。私学事業団が私立大学等の学部・学科の動向や入学定員充足率等の推移を毎年度継続して分析し、広く公表することは、学校法人の今後の経営改善・教育改革の一助となるものと考えています。

令和6年度は、18歳人口が前年度に比べ約3.4万人減少しました。18歳人口の減少期にある中、学生募集の取組みにさらなる工夫・努力が必要となります。

志願者数、入学者数の動向は、学校法人の経営を考えるうえで重要な要素の一つです。本報告書が学校法人をはじめ私学関係者の皆様に広くご活用いただけることを願っております。

最後に、お忙しい中、「学校法人基礎調査」にご協力くださいました学校法人の皆様に厚く御礼を申し上げます。

令和6（2024）年9月  
日本私立学校振興・共済事業団  
私学経営情報センター 私学情報室

## 令和6（2024）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向 目次

集計の概要	15
-------	----

### 大 学

#### I 大学の概況

1. 志願者数等の増減状況	2
2. 志願倍率、合格率、歩留率、 入学定員充足率の状況	3

#### II 区分ごとの動向（大学）

1. 規模別の動向（大学）	4
2. 地域別の動向（大学・学校別）	8
3. 地域別の動向（大学・学部別）	14
4. 学部系統別の動向（大学）	20
5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）	25

#### III 収容定員ごとの動向（大学）

1. 全体の動向（大学）	28
2. 地域別の動向（大学）	29

#### IV 入学定員充足率等の推移（大学）

### 短期大学

#### V 短期大学の概況

1. 志願者数等の増減状況	36
2. 志願倍率、合格率、歩留率、 入学定員充足率の状況	37

#### VI 区分ごとの動向（短期大学）

1. 規模別の動向（短期大学）	38
2. 地域別の動向（短期大学・学校別）	42
3. 地域別の動向（短期大学・学科別）	48
4. 学科系統別の動向（短期大学）	54
5. 主な学科別の志願者・入学者動向（短期大学）	58

#### VII 入学定員充足率等の推移（短期大学）

### 大 学 院

#### VIII 大学院の概況

1. 志願者数等の増減状況	64
---------------	----

#### IX 区分ごとの動向（大学院）

1. 研究科系統別の動向（大学院）	66
2. 主な研究科別の志願者・入学者動向（大学院）	68

## 集計の概要

1. 調査基準日 各年度5月1日
2. 調査対象校 私立大学・短期大学（株式会社が設置する学校は除く）
3. 集計の方法 令和2年度から令和6年度に実施した「学校法人基礎調査」から、私立大学・短期大学の入学者数等に関する項目のデータを集計した。
4. 集計値について

令和5年度の集計値については、『令和5(2023)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向』において速報値として公表しているが、これらの数値については、今年度の入学志願動向の数値をもって確定数とする。

また、令和6年度の集計値については、速報値につき修正の可能性があり、次年度の入学志願動向の数値をもって確定数とする。

### 5. 集計学校数

単位：校 ( )内は調査対象校数

年度	大学	短期大学	大学院
R2	593 (599)	291 (307)	472 (475)
R3	597 (605)	286 (303)	479 (483)
R4	598 (606)	279 (297)	482 (486)
R5	600 (607)	276 (289)	485 (488)
R6	598 (608)	272 (284)	487 (490)

※集計学校数は、調査対象校から通信教育部のみを設置する学校及び募集を停止している学校を除いた学校数である。

※大学院のみを設置する学校は「大学院」で集計している。

### 6. 算出方法等

#### [各比率]

- 志願倍率（志願者数÷入学定員）
- 合格率（合格者数÷受験者数）
- 歩留率（入学者数÷合格者数）
- 入学定員充足率（入学者数÷入学定員）

※比率の表記は小数点以下第3位を四捨五入したものである。

#### [入学定員充足率100%未満の学校数]

入学志願動向の状況を示すため、認可されている（又は届出を行っている）入学定員に対する入学者数の割合を集計したもの。定員に対して1名でも満たなければ未充足校としてカウントしている。

なお、未充足であることが、直ちに経営状況が悪化していることを示すものではないことには留意が必要。

### 7. 系統区分について

学部（学群を含む）、学科及び研究科（学府を含む）の系統は、当事業団より発刊の『今日の私学財政（大学・短期大学編）』と同様に区分している。詳細は、27ページ、59ページ、71ページに記載している。

## 4. 学部系統別の動向（大学）

全学部を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（学部系統区分については、27ページを参照）。

系 統 区 分	年 度	集 計 学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
医学	R5	31	人 4,153	人 102,449	人 94,948	人 9,455	人 4,171	倍 24.67	% 9.96	% 44.11	% 100.43
	R6	31	4,243	113,753	105,149	9,751	4,261	26.81	9.27	43.70	100.42
	増減	0	90	11,304	10,201	296	90	2.14	△ 0.69	△ 0.41	△ 0.01
歯学	R5	17	1,995	7,423	6,811	3,875	1,566	3.72	56.89	40.41	78.50
	R6	17	1,995	7,982	7,286	3,795	1,525	4.00	52.09	40.18	76.44
	増減	0	0	559	475	△ 80	△ 41	0.28	△ 4.80	△ 0.23	△ 2.06
薬学	R5	60	11,276	74,627	69,834	32,753	10,674	6.62	46.90	32.59	94.66
	R6	62	11,416	71,663	67,239	31,993	10,304	6.28	47.58	32.21	90.26
	増減	2	140	△ 2,964	△ 2,595	△ 760	△ 370	△ 0.34	0.68	△ 0.38	△ 4.40
保健系	R5	272	40,720	171,920	164,994	80,009	39,414	4.22	48.49	49.26	96.79
	R6	279	41,435	153,563	147,498	78,305	37,724	3.71	53.09	48.18	91.04
	増減	7	715	△ 18,357	△ 17,496	△ 1,704	△ 1,690	△ 0.51	4.60	△ 1.08	△ 5.75
理・工学系	R5	172	60,899	745,076	709,765	293,618	62,044	12.23	41.37	21.13	101.88
	R6	171	60,725	753,291	718,490	298,211	60,355	12.40	41.51	20.24	99.39
	増減	△ 1	△ 174	8,215	8,725	4,593	△ 1,689	0.17	0.14	△ 0.89	△ 2.49
農学系	R5	25	8,850	82,069	77,130	32,361	9,144	9.27	41.96	28.26	103.32
	R6	25	8,890	86,942	82,152	31,883	9,028	9.78	38.81	28.32	101.55
	増減	0	40	4,873	5,022	△ 478	△ 116	0.51	△ 3.15	0.06	△ 1.77
人文科学系	R5	251	68,526	474,386	455,194	206,138	65,979	6.92	45.29	32.01	96.28
	R6	252	68,939	486,534	466,734	209,248	66,154	7.06	44.83	31.62	95.96
	増減	1	413	12,148	11,540	3,110	175	0.14	△ 0.46	△ 0.39	△ 0.32
社会科学系	R5	541	174,614	1,355,134	1,295,485	519,139	179,337	7.76	40.07	34.55	102.70
	R6	543	174,681	1,338,226	1,278,347	517,288	179,019	7.66	40.47	34.61	102.48
	増減	2	67	△ 16,908	△ 17,138	△ 1,851	△ 318	△ 0.10	0.40	0.06	△ 0.22
家政学	R5	81	15,113	46,651	44,251	26,088	13,452	3.09	58.95	51.56	89.01
	R6	82	15,114	41,015	38,585	24,687	12,662	2.71	63.98	51.29	83.78
	増減	1	1	△ 5,636	△ 5,666	△ 1,401	△ 790	△ 0.38	5.03	△ 0.27	△ 5.23
教育学	R5	114	19,038	90,525	86,541	43,267	17,433	4.75	50.00	40.29	91.57
	R6	115	18,838	89,036	84,860	42,165	17,244	4.73	49.69	40.90	91.54
	増減	1	△ 200	△ 1,489	△ 1,681	△ 1,102	△ 189	△ 0.02	△ 0.31	0.61	△ 0.03
体育学	R5	11	5,190	10,413	10,184	7,102	5,191	2.01	69.74	73.09	100.02
	R6	10	4,670	9,417	9,121	6,129	4,579	2.02	67.20	74.71	98.05
	増減	△ 1	△ 520	△ 996	△ 1,063	△ 973	△ 612	0.01	△ 2.54	1.62	△ 1.97
芸術系	R5	57	14,448	60,391	57,834	24,676	15,217	4.18	42.67	61.67	105.32
	R6	56	14,500	63,311	60,393	24,222	15,191	4.37	40.11	62.72	104.77
	増減	△ 1	52	2,920	2,559	△ 454	△ 26	0.19	△ 2.56	1.05	△ 0.55
その他	R5	318	77,813	491,737	470,837	215,543	76,977	6.32	45.78	35.71	98.93
	R6	327	78,428	489,738	468,680	213,003	76,684	6.24	45.45	36.00	97.78
	増減	9	615	△ 1,999	△ 2,157	△ 2,540	△ 293	△ 0.08	△ 0.33	0.29	△ 1.15
合 計	R5	1,950	502,635	3,712,801	3,543,808	1,494,024	500,599	7.39	42.16	33.51	99.59
	R6	1,970	503,874	3,704,471	3,534,534	1,490,680	494,730	7.35	42.17	33.19	98.19
	増減	20	1,239	△ 8,330	△ 9,274	△ 3,344	△ 5,869	△ 0.04	0.01	△ 0.32	△ 1.40

## 国際医療福祉大学 入学者の出身都道府県別集計

(上位5都道府県)

2024年度入学者

	大田原キャンパス	成田キャンパス	小田原キャンパス
1	栃木県	千葉県	神奈川県
	40.1%	43.8%	56.8%
2	茨城県	茨城県	静岡県
	18.3%	14.1%	25.7%
3	福島県	東京都	千葉県、東京都
	13.9%	12.1%	2.4%
4	岩手県	その他	岩手県、茨城県
	4.0%	4.2%	1.9%
5	宮城県	栃木県	
	3.5%	2.7%	

その他:高校卒業程度認定試験および外国の学校等

※本表は、2024年度の本学入学者の出身高等学校所在地データをもとに作成した。

※下段の割合は、各キャンパス入学者に占める出身都道府県の割合を示す。

## 看護師等を養成する私立大学一覧

## 看護師を養成する私立大学

2024年5月1日時点

学校名	学部・学科(専攻)	学力層	入学定員	入学者数	充足率	所在地
国際医療福祉大学	成田看護学部・看護学科	47.5	100	104	104.0%	千葉県成田市
医療創生大学	国際看護学部・看護学科	BF	80	38	47.5%	千葉県柏市
亀田医療大学	看護学部・看護学科	BF	80	38	47.5%	千葉県鴨川市
三育学院大学	看護学部・看護学科	35.0	50	23	46.0%	千葉県夷隅郡大多喜町
秀明大学	看護学部・看護学科	40.0	80	49	61.3%	千葉県八千代市
淑徳大学	看護栄養学部・看護学科	42.5	100	106	106.0%	千葉県千葉市
順天堂大学	医療看護学部・看護学科	52.5	220	225	102.3%	千葉県浦安市
城西国際大学	看護学部・看護学科	40.0	100	104	104.0%	千葉県東金市
聖徳大学	看護学部・看護学科	42.5	80	100	125.0%	千葉県松戸市
千葉科学大学	看護学部・看護学科	BF	90	39	43.3%	千葉県銚子市
帝京平成大学	健康医療スポーツ学部・看護学科	40.0	135	101	74.8%	千葉県市原市
東京医療保健大学	千葉看護学部・看護学科	45.0	100	99	99.0%	千葉県船橋市
東京情報大学	看護学部・看護学科	35.0	100	44	44.0%	千葉県千葉市
東都大学	幕張ヒューマンケア学部・看護学科	37.5	120	108	90.0%	千葉県千葉市
東邦大学	健康科学部・看護学科	45.0	60	68	113.3%	千葉県船橋市
和洋女子大学	看護学部・看護学科	35.0	100	94	94.0%	千葉県市川市
SBC東京医療大学	健康科学部・看護学科	37.5	100	104	104.0%	千葉県浦安市
国際医療福祉大学	小田原看護学部・看護学科	47.5	80	83	103.8%	神奈川県小田原市
神奈川工科大学	健康医療科学部・看護学科	BF	80	59	73.8%	神奈川県厚木市
関東学院大学	看護学部・看護学科	37.5	80	90	112.5%	神奈川県横浜市
北里大学	看護学部・看護学科	50.0	125	137	109.6%	神奈川県相模原市
慶應義塾大学	看護医療学部・看護学科	57.5	100	104	104.0%	神奈川県藤沢市
松蔭大学	看護学部・看護学科	BF	80	22	27.5%	神奈川県厚木市
湘南医療大学	保健医療学部・看護学科	40.0	140	147	105.0%	神奈川県横浜市
湘南鎌倉医療大学	看護学部・看護学科	37.5	100	104	104.0%	神奈川県鎌倉市
昭和医科大学	保健医療学部・看護学科	42.5	95	101	106.3%	神奈川県横浜市
東海大学	医学部・看護学科	47.5	95	93	97.9%	神奈川県伊勢原市
横浜創英大学	看護学部・看護学科	37.5	80	74	92.5%	神奈川県横浜市

## 診療放射線技師を養成する私立大学

2024年5月1日時点

学校名	学部・学科(専攻)	学力層	入学定員	入学者数	充足率	所在地
国際医療福祉大学	成田保健医療学部・放射線・情報科学科	47.5	50	52	104.0%	千葉県成田市
つくば国際大学	医療保健学部・診療放射線学科	37.5	80	104	130.0%	茨城県土浦市
群馬パース大学	医療技術学部・放射線学科	47.5	70	78	111.4%	群馬県高崎市
日本医療科学大学	保健医療学部・診療放射線学科	42.5	90	122	135.6%	埼玉県入間郡毛呂山町
杏林大学	保健学部・診療放射線技術学科	47.5	66	70	106.1%	東京都三鷹市
駒澤大学	医療健康科学部・診療放射線技術学科	47.5	64	64	100.0%	東京都世田谷区
順天堂大学	保健医療学部・診療放射線学科	50.0	120	125	104.2%	東京都文京区
帝京大学	医療技術学部・診療放射線学科	47.5	100	108	108.0%	東京都板橋区
北里大学	医療衛生学部・医療工学科(診療放射線技術科学専攻)	47.5	70	71	101.4%	神奈川県相模原市

## 言語聴覚士を養成する私立大学

2024年5月1日時点

学校名	学部・学科(専攻)	学力層	入学定員	入学者数	充足率	所在地
国際医療福祉大学	保健医療学部・言語聴覚学科	37.5	80	77	96.3%	栃木県大田原市
弘前医療福祉大学	保健学部・医療技術学科(言語聴覚学専攻)	BF	30	19	63.3%	青森県弘前市
東北文化学園大学	医療福祉学部・リハビリテーション学科(言語聴覚学専攻)	35.0	40	18	45.0%	宮城県仙台市
群馬パース大学	リハビリテーション学部・言語聴覚学科	37.5	30	28	93.3%	群馬県高崎市
自白大学	保健医療学部・言語聴覚学科	35.0	40	51	127.5%	埼玉県さいたま市

※上記表は以下WEBサイトを参照し作成した。(閲覧日:2025年4月17日)

- 各職種の養成学校:文部科学大臣指定(認定)医療関係技術者養成学校一覧  
<[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kango/1353401.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kango/1353401.htm)>
- 偏差値:河合塾Kei-Net <<https://www.keinet.ne.jp/>>
- 入学者数:各大学ホームページを参照し2024年4月入学者数を記載

## 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士及び医療事務を養成する私立大学

2024年5月1日時点

学校名	学部・学科(専攻)	学力層	入学定員	入学者数	充足率	所在地
国際医療福祉大学	医療福祉学部・医療福祉・マネジメント学科	BF	140	112	80.0%	栃木県大田原市
東北福祉大学	総合福祉学部・社会福祉学科(通信制は除く)	37.5	400	324	81.0%	宮城県仙台市
	健康科学部・医療経営管理学科	40.0	70	72	102.9%	
高崎健康福祉大学	健康福祉学部・社会福祉学科	42.5	75	80	106.7%	群馬県高崎市
	健康福祉学部・医療情報学科	42.5	80	78	97.5%	

※本表は以下WEBサイトを参照し作成した。(閲覧日:2025年4月30日)

- 3福祉士の養成学校:国家試験「受験の手引」学校コード番号表
- 診療情報管理士の養成学校:一般社団法人日本病院会指定校一覧 <<https://jha-e.jp/front-pages/certifications>>
- 偏差値:河合塾Kei-Net <<https://www.keinet.ne.jp/>>
- 入学者数:各大学ホームページを参照し2024年4月入学者数を記載

## 競合校の教育内容と方法の概要

### ◆群馬パース大学

群馬パース大学は、“豊かな教養と人間愛を備えた質の高い保健医療専門職を育成し、保健・医療・福祉サービスとの協働及び知の創造を通じて、国際社会、地域社会に貢献することを目的”とする。

上記目的のもと、リハビリテーション学部言語聴覚学科では、“言語聴覚士の役割の理解に基づき、人が地域で生活する視点に立ち、誰もが安心、安全に暮らせる「共生の街づくり」に参画できる能力を培うことを教育目的としています。そのため、聴覚障害、言語障害、摂食嚥下障害のある対象者の能力評価はもとより、活動、地域・社会参加の生活機能を多面的に評価、支援でき、またその方法の開発に貢献できる人材の養成”を目標とする。

本人材を養成するため、学位授与の方針及び教育課程の編成方針を以下のとおり定めている。

#### ○ディプロマポリシー

1. QOL の確保・向上を支援するため必要な基本的知識・技術
2. リハビリテーションに関わる多職種、家族、地域住民、共生の街づくりにつながる一般市民とのコミュニケーション能力と協調性
3. 新たな課題、未知の課題に取り組み解決しようとする姿勢
4. 人間の個性と尊厳を尊重し、言語聴覚療法に必要な知識と技術を生涯にわたり学習しようとする倫理観

#### ○カリキュラムポリシー

1. 大学で学ぶことの意味と学習の姿勢、地域への貢献、研究の姿勢、並びにコミュニケーション・スキルの向上、言語聴覚士の役割について、教養科目、専門基礎科目、1 年次の専門科目で学びます。
2. 人間の尊厳並びに権利と障害、障害者の権利（条約）、ICF の理解、個性の基盤である生活と地域・社会参加、それが展開される地域そのものについて、1 年次から 2 年次にかけて専門基礎科目、専門科目により理解を深めます。
3. 言語聴覚機能の評価、機能回復訓練、機能回復の限界と障害を持ちながら地域・社会に参加するための支援並びに街づくりの実践について、2・3 年次の専門基礎科目に地域参加系科目を配置して学習します。
4. 臨床実習は、学んだ知識を確認し、問題解決能力、創造力、実践力、応用力が育つよう 2 年次から 4 年次に配置します。

特色のある教育として、アクティブラーニングゼミ、ピアサポートシステムの導入、共生の街づくりを目指す学び、言語聴覚士・作業療法士・理学療法士をめざす学生が共に学ぶ機会を取り入れている。具体的な内容は以下のとおりである。

#### > アクティブラーニングゼミ

テーマに沿ったグループディスカッションを行い、相互のプレゼンを通して学び合う講義や、学生が社会に向けた事業を企画し実施する演習などで「アクティブラーニング」を取り入れている。「想像力」「表現力」「協調性」「自主性」の習得や、企画・運営の実践体験と達成感を経験することができる。

#### > ピアサポートシステム

教員の指導のもと、上級生が下級生に対し学修や大学生活まで広く支援するシステムを導入している。教員とは違った身近な距離である「ピアソーター（上級生）」が、医療現場に必要なチームアプローチの意識、協調性、リーダーシップを育てる。

#### > 共生の街づくりを目指す学び

リハビリテーションは、障害のある方への対人支援だけでなく、障害のある方が安心、安全に、そして、一般の人とともに暮らせる地域づくり、街づくりでもあるため、フィールドワークを取り入れた地域参加支援演習をとおして、共生の街づくりの知識だけではなく実践も学ぶ。

#### > 言語聴覚士・作業療法士・理学療法士をめざす学生が共に学ぶ機会

3 学科の学生が、合同でグループワークを行う『チーム医療とリハビリテーション』という科目を通して、チーム医療の概念、チームワークの難しさ、リーダーシップなどについて学ぶ。

※競合校の教育内容と方法は、各大学ホームページの掲載情報を参考し記載している。

・群馬パース大学（2025年5月12日閲覧）<https://www.paz.ac.jp/>

### ◆高崎健康福祉大学

高崎健康福祉大学は、「自利利他」の精神のもとで、教育・保育、医療、福祉・健康、生命科学など、さまざまな分野で社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

上記目的のもと、健康福祉学部医療情報学科では、“健康・医療に関する専門知識及び情報技術に関する先進的知識と実践的スキルを兼ね備えた健康・医療分野の情報化を担う人材を養成すること”を目標とする。また社会福祉学科では、“社会福祉に関する専門的知識と実践的技能を兼ね備えた社会福祉分野を担う人材を養成すること”を目標とする。

本人材を養成するため、学位授与の方針及び教育課程の編成方針を以下のとおり定めている。

#### 医療情報学科

##### ○ディプロマポリシー

###### 1. 豊かな人間性と幅広い教養

社会人としての豊かな人間性と幅広い教養を身につけている。

###### 2. 健康・医療及び情報技術に関する知識・技能

健康・医療に関する専門知識及び情報技術に関する先進的な知識と実践的スキルを修得し、健康・医療分野のDXに貢献するための能力を身につけている。

### 3.問題解決力

健康・医療及び情報技術分野に関わる諸問題を、データに基づき分析し、その解決法を提案する論理的思考力を身につけている。

### 4.コミュニケーションスキル

社会人として活躍するために必要なコミュニケーション能力を身につけている。

### 5.環境の変化に自ら対応する態度

環境の変化に伴い発生する諸問題に自ら対応し、解決しようとする態度を身につけている。

#### ○カリキュラムポリシー

- 1.基礎的な教養や豊かな感受性を培い、より深く人間を理解する能力と国際性を養うために、「共通教養科目」「専門教養科目」「専門導入科目」を設置する。
- 2.健康・医療と情報に関する専門的知識を理解するために「専門基幹科目」を設置する。
- 3.健康・医療と情報に関する、分析力と問題解決力を養うために「専門展開科目」を設置する。
- 4.健康・医療に関する高度な専門的知識と情報に関する先端的な技術を基に論理的思考力を培うために、「応用展開科目」を設置する。
- 5.実践的な応用を通じて健康・医療と情報の理解をさらに深め、継続的学修態度を養うために、「応用展開科目」と「卒業研究」を設置する。

### 社会福祉学科

#### ○ディプロマポリシー

##### 1.豊かな人間性

社会福祉従事者ならびに社会人として、豊かな人間性を支える幅広い教養がある。

##### 2.基礎的知識力

社会福祉学に関する基礎的知識がある。

##### 3.問題解決能力・コミュニケーション能力

福祉分野で活躍できる問題解決能力ならびにコミュニケーション能力がある。

##### 4.学際的な視点から取り組む力

人間や社会についての理解を深め、社会福祉の課題に学際的な視点から取り組む力がある。

##### 5.応用・実践する能力

対人援助技術の基本を習得し、応用・実践する能力がある。

##### 6.専門職としての倫理性・福祉社会への貢献力

「社会福祉士会倫理綱領」を遵守し、福祉社会の発展に積極的に関わることができる能力がある。

#### ○カリキュラムポリシー

##### 1.豊かな人間性を育成するための科目

4年間を通じた学修の基礎となる共通教育においては、基礎的な学習能力を養い、人間に対する理解を深めるために、「共通教養科目」・「専門教養科目」を設置する。

## 2.基礎的知識力と学際的な視点から取り組む力を育成するための科目

社会福祉学の基礎を理解するとともに、福祉マインドを育むことを目的とし、必修科目として「専門導入科目」を設置する。

## 3.コミュニケーション能力と応用・実践能力を育成するための科目

少人数制ゼミにより、社会福祉学の知識と技術を実践的に学習する「専門基幹科目」を設置する。

## 4.専門職としての倫理性・福祉社会への貢献力を育成するための科目

社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の指定科目を配置する各科目群と、より専門的・実践的な応用科目群に区分して、各資格に必要となる知識、技術及び問題解決能力を身につけるために、「専門展開科目」を設置する。

## 5.問題解決能力と応用・実践能力を育成するための科目

福祉実践に当たって必要となる知識・技術を統合し、問題の解決や継続的な学習へつなげる能力や姿勢を育成するために「卒業研究および演習」を設置する。

特色のある教育として、アクティブラーニング、サービスラーニング、少人数教育を有機的に取り入れている。具体的な実践内容は以下のとおりである。

### > アクティブラーニング

ゼミ制の授業内で、学生同士で発言し、グループで発表準備をする、学習を取り入れている。学生の活発な発言を促すとともに、発表をしっかりと聞く力を養っている。

### > サービスラーニング

共通教養科目にて、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、それを学生自ら実践することにより、更なる理解につなげている。ボランティアを実践し、社会ニーズに応えることを通じて、人々の問題を把握するとともに、その解決策を考えることにつなげている。

### > 少人数教育

入学当初からアドバイザー制を導入し、学生数名に一人の教員を配置している。教員は、文献の見方、発言の仕方など、講義だけではわからないことをサポートし、さらに学生生活や就職などあらゆる相談にも対応している。

※競合校の教育内容と方法は、各大学ホームページ等の掲載情報を参考し記載している。

- ・高崎健康福祉大学（2025年5月12日閲覧）<https://www.takasaki-u.ac.jp/>
- ・日本私立学校振興・共済事業団 大学ポートレート（2025年5月12日閲覧）  
<https://up-j.shigaku.go.jp/school/category01/00000000141201000.html>

## ◆東京医療保健大学

東京医療保健大学は、「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」、「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、医療分野において特色

ある教育研究を実践することで、時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これから社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決することの出来る人材の育成を目的”とする。

前述の目的のもと、千葉看護学部看護学科は、“確かな情報収集力と倫理観をもとに創造力を伸張”し、「高度な看護アセスメント能力と看護技術を持ちながら自己研さんし続ける」ことができ、「地域で暮らす人々の生活を見えた看護ケアを提供しうる看護職」の育成を図ることを目標とする。

本目標を達成するため、学位授与の方針及び教育課程の編成方針を以下のとおり定めている。

#### ○ディプロマポリシー

地域完結型の保健・医療において看護に期待される役割を果たすとともに、社会の変化に応じて継続的に発展し、看護の新たな価値を創造していく基盤となる力として、以下の能力を修得したと認められる者に学位（看護学）を授与する。

1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持つて看護を実践できる能力。
2. 人びとと社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識・技術を論理的・統合的に活用し、様々な健康段階にある人びとの安心で充実した暮らしを支える看護を実践できる能力。
3. 看護サービスを受ける人びとや他職種と効果的な関係を構築し共通の目的達成に貢献できる連携・協働能力。
4. 看護専門職者として生涯を通じて自己研鑽し、看護実践力の向上と新たな課題発見・解決に向け自律的に取り組める能力。
5. グローバル化・情報ネットワーク化に対応できる視野と語学・情報スキルを持って社会のニーズをとらえ創造的に応えられる能力。

#### ○カリキュラムポリシー

1. 高度な看護が実践できるために『看護実践能力』、『段階的判断能力』及び『柔軟な創造力』の3つの能力を育成します。
  - 『看護実践能力』とは、社会人としての一般的な教養を備えた上で、確かな専門知識をもとに安全で安楽な看護技術を提供できることと、これに加えて、関係する患者・家族及び多職種と協働するためのコミュニケーション能力をもとにチーム医療を推進する能力です。
  - 『段階的判断能力』は、起きている複雑な現象を多角的にとらえ、専門知識をもとにタイムリーな論理的決定を繰り返し、積み上げる能力のことです。また、この中には倫理的な判断が必須です。
  - 『柔軟な創造力』とは、正解のない現代医療・介護の現場で、サービスを利用する人びとにとってよりよいケアと環境とを創造し提案する能力です。これには、現状分析力と総合判断力及び人々に真摯に向き合う姿勢が必要です。
2. カリキュラムの特色としては、基礎的な幅広い知識・教養を身につけるとともに論理力と統合力を強化する科目を設定しています。

- いのち・人間の教育分野として専門職の教育分野の基盤となる論理力の向上をねらう科目と、社会の中の多様性を理解するための科目、コミュニケーション力の向上をねらう科目を複数設定しました。
- 専門職の教育分野では基本的な専門科目に加えて、社会の流れを敏感に察知するための科目や倫理的感受性を高める科目、及び論理力と統合力を高める科目を設定しています。
- また、自身のキャリア及び組織について考える能力の基盤となる科目も複数設定し、学んだ知識を元に、卒業後も自己研鑽し続けることの必要性についての自覚を促します。

特色のある教育として、アクティブラーニング、課題解決型学習（PBL）、サービスラーニング、少人数教育を有機的に取り入れている。具体的な実践内容は以下のとおりである。

#### > アクティブラーニング

学生の能動的な学修を促すため、教室内でのグループ・ワーク及び授業の際に一方通行でなく学生に意見・質問を求める双方向授業を行っている。さらに、授業において授業の進め方、理解した内容等に関するアンケートを実施して、理解力を確認し授業に活かしている。

#### > 課題解決型学習（PBL）

協働実践演習の授業において、学生が健康障害を題材に、問題解決や援助計画について意見交換し、各専門職の役割を認識するとともに、今まで学んだ専門科目の内容を総合的かつ深く理解することをねらいとする。

#### > サービスラーニング

看護は人々へのケアを中心としたサービスであり「専門職の教育」分野の科目すべてがサービスに関する学修である。その他の分野でも例として「ボランティア論」及び「ボランティア活動」の授業の中では奉仕活動等を取り入れた取組みを行っている。

#### > 少人数教育

年次から学生を少人数グループに分け、そのグループに各学科の教員を「アドバイザー」として配置し、修学上の問題や悩みの相談・解決等の支援を行っている。

※競合校の教育内容と方法は、各大学ホームページの掲載情報を参考し記載している。

- ・東京医療保健大学（2025年5月12日閲覧）<https://www.thcu.ac.jp/>
- ・日本私立学校振興・共済事業団 大学ポートレート（2025年5月12日閲覧）  
<https://up-j.shigaku.go.jp/department/category01/00000000271801007.html>

## ◆つくば国際大学

つくば国際大学は、“国際理解に必要な知識、教養を受け、産業、福祉及び医療保健に関する専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的、実践的能力を備え、社会の発展と人類の福祉に

貢献する人材を育成することを目的”とする。

前述の目的のもと、医療保健学部診療放射線学科は、“高度な専門知識・技術・臨床実践能力に加え、豊かな人間性、コミュニケーション能力、生涯にわたる自己研鑽力を備えた、診療放射線技師を育成する。また、研究を通して放射線学分野の学術の発展に寄与する”ことを教育研究上の目標とする。

本目標を達成するため、学位授与の方針及び教育課程の編成方針を以下のとおり定めている。

#### ○ディプロマポリシー

1. 人体に関する正確な医学知識と理工学などの専門知識や技術、応用能力を身につけ、診療放射線技師として活躍することができる。
2. 豊かな人間性、適切なコミュニケーション力を有し、医療現場において他の医療職種と協調しながら業務を行い、チーム医療に貢献できる。
3. 情報画像技術を用いて最新の診療画像情報を国際的基準で分析し、効果的かつ正しく活用することができる。
4. 自らの問題、課題を見つけ医学、理工学、社会科学などの学際的な視点から物事を思考し、問題を解決することができる。
5. 放射線を取扱う者として医療被ばくに関与する社会的責任を自覚し、医療人としての正しい価値観や倫理観を身につけ、社会に貢献することができる。
6. 診療放射線技術の専門職として将来のキャリアプランを構築し、生涯にわたり学び続けることができる。

#### ○カリキュラムポリシー

1. 教育課程は、基礎科目、基礎専門科目、専門科目にて構成される体系的なカリキュラムを編成する。
2. 基礎科目では、医療人としての豊かな人間性の育成、科学的思考の基礎の形成のため、一般教養科目、理数系科目、情報処理、生命倫理などを学修する。
3. 専門基礎科目では、医学的知識、理工学的思考・技術を修得するため、人体の構造と機能および疾病の成り立ち、理工学的基礎、放射線科学・技術の科目を学修する。
4. 専門科目では、1年次から早期導入のため医療保健学セミナー、診療画像技術序論を学修する。2年次以降、診療放射線技師としての専門知識・技能の修得のため診療画像技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医療画像情報学などを学修する。また、放射線を取扱う者として社会的責任の自覚を養うために放射線安全管理学、医療安全管理学を学修する。
5. 学外の病院での臨床実習を配置し、チーム医療の実践を通してコミュニケーション力、高い倫理観、問題解決能力を育成する。さらに、総合演習、診療放射線学セミナー、卒業研究を配置し、新しい知識や技術を習得する研究心を育成するとともに、医療の進歩に対応して生涯にわたり自己の成長を追求できる診療放射線技師を目指す。
6. 教育の工夫として、初年次にはポートフォリオを活用し、学習の目標設定や個別面談を通して自主学修ができる力を育成する。講義・演習については各学年2クラス編成、実習では小グループ

ブに分け、双方向授業を取り入れた少人数教育を実践する。

7. 学修成果の評価としては、シラバスに評価方法を明確に提示し、専門的な知識・技術に対する到達目標の達成度に基づいて厳格に行う。臨床実習の学修成果は、学内での臨床実習審査（客観的臨床能力試験）、実習先の指導者の評価や課題に対する成果物から、将来の診療放射線技師としての適格性を総合的に評価する。

特色のある教育として、演習科目を中心にグループワークやプレゼンテーションなど、学生の能動的な学習（アクティブラーニング）や領域に応じた課題解決型学習（PBL）を取り入れている。学生一人ひとりの潜在能力を引き出す少人数教育を徹底し、演習、学内実習・実験、臨床実習・臨地実習において、基本的な技能や臨床実践能力の習得につなげている。

また、新入生全員を対象に初年次教育を正規科目で行い、医療人としての態度、自己学習法、大学での学習の意義等について演習を交えて説明するとともに、数的処理、文献検索の仕方、文章の読み解き、レポートの書き方、討議法などを教授している。

※競合校の教育内容と方法は、各大学ホームページ等の掲載情報を参考し記載している。

- ・つくば国際大学（2025年5月12日閲覧）<https://www.ktt.ac.jp/tiu/>
- ・日本私立学校振興・共済事業団 大学ポートレート（2025年5月12日閲覧）  
<https://up-j.shigaku.go.jp/school/category01/00000000102901000.html>

## ◆東海大学

東海大学は、“『若き日に汝の思想を培え、若き日に汝の体軀を養え、若き日に汝の智能を磨け、若き日に汝の希望を星につなげ』”という創立者の精神に基づき、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を養成する。さらに、グローバル化し、価値観が多様な現代社会にあっては「常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探求する力（自ら考える力）」、「多様な人々の力を結集する力（集い力）」、「困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力（挑み力）」、「失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力（成し遂げ力）」を身につけた自主的・創造的人材の輩出をもって、調和のとれた文明社会を建設すること”を使命・目的とする。

前述の目的のもと、医学部看護学科では、“さまざまな健康レベルの人々が、あらゆる生活の場で、その人らしい健康な生活を支援する看護が実践でき、温かな人間性をもつ専門職を育成すること”を教育目的として、“そのための幅広い教養、知識、技術を持ち、人権擁護を基盤としたヒューマンケアが実践できる人材の育成”を目標とする。

本目標を達成するため、学位授与の方針及び教育課程の編成方針を以下のとおり定めている。

### ○ディプロマポリシー

#### 『知識・理解』

生活、人間、健康、地域・社会、環境、看護に関する専門的知識の理解ができる。

#### 『汎用的技能』

コミュニケーション力、問題解決能力を基盤とし、対象に適した看護実践上必要なスキルを提供することができる。

#### 『態度・志向性』

「その人らしい健康な生活を支援する看護」を実践するために、自ら学び、国内外で貢献しようとする力を有している。

#### ○カリキュラムポリシー

教養科目で得た知識や自ら考える力などを発展させ、高度な専門知識を効果的に身につけて行くために、区分IV主専攻科目に必修科目 100 単位、選択科目 6 単位を配置しています。カリキュラムは、6 つの区分で構成し、『知識・理解』として「生活/人間/健康」「地域/社会/環境」の科目を『汎用的技能』として「日常生活支援」「療養生活支援」「健康維持増進支援」科目を、そして、『態度・志向性』として「看護の統合」を配置しています。このカリキュラムでの学修成果として、下記の力を身につけることを目標にしています。

1. 温かな人間性を育む—慈愛に満ちた、思いやりの心を培う。
2. コミュニケーション力の育成—さまざまな健康レベルの人と関わることができる、幅広い教養を備え、相手を尊重したコミュニケーションがとれる。人が生活するあらゆる場で看護を提供することから、保健医療福祉等の多職種協働が必要である。その実現のため、自他を知り、円滑なコミュニケーションがとれる。
3. 看護専門職としての役割認識の育成—看護職をめざす者として、アイデンティティの確立を目指す。専門職としての社会的役割と、多職種との連携の重要性について考える看護理論に基づく科学的・論理的思考を学び、看護を創造できる。
4. 看護実践力の育成—看護実践力を高め、人間と社会を幅広く理解するために、近接領域（医学、社会学、心理学等）にある他分野の知識を応用して、根拠に基づく技術を身に着ける。モデル教材、模擬患者等を活用した臨場感のある体験型の学習や、また隣接する医学部付属病院の看護師と本学教員との連携による現場直結の実技指導を通じて現場の医療ニーズに即した看護実践力を獲得できる。
5. 國際的視野の育成—國際的視野を身につけ、4 年間を通して段階的な看護英語を習得する。海外の看護事情を学び、諸外国の看護学生・看護師らとの交流体験を通して、グローバル社会において多様な人々と協働できる国際的な視野を養う。

特色のある教育として、教養科目のなかに、人を身体的、精神的、社会的に統合された存在として幅広く捉え、健康を自然、歴史、文化的環境との相互作用から理解するための科目を豊富に開講している。また、専門領域別の看護学では、小グループによるケーススタディや学内演習を通して応用能力を付ける学修を取り入れている。

看護独自の専門性を発揮するとともに、他職種の役割を理解し、ともに働く調整能力を身につけるため、医学部医学科と健康学部健康マネジメント学科、さらに昭和薬科大学と連携し、他職種との連携の意義を学ぶ機会を設けている。さらに、デンマークやアメリカでの短期海外研修プログラムがあり、学生交流や実際の看護ケアに参加する機会も提供し国際性を涵養している。

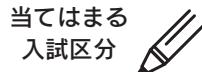
※競合校の教育内容と方法は、各大学ホームページ等の掲載情報を参考し記載している。

・東海大学（2025年5月12日閲覧）<https://www.u-tokai.ac.jp/>

## POINT

7

## 地方試験場

当てはまる  
入試区分

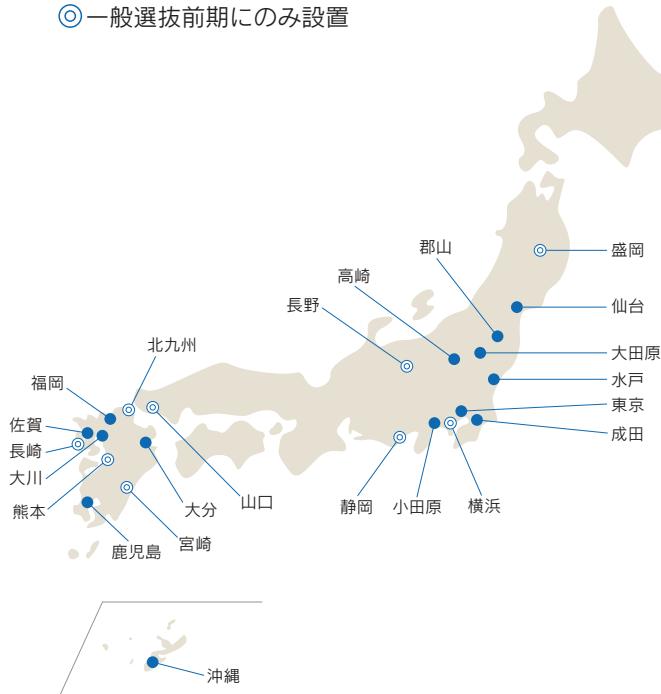
特待奨学生特別選抜

一般選抜前期

地方  
試験場

- 特待奨学生特別選抜と一般選抜前期に設置

- 一般選抜前期にのみ設置



※試験場の詳細については、

2026年度学生募集要項を確認してください。

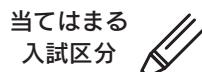
- 特待奨学生特別選抜は14試験場を設置

- 一般選抜前期は23試験場を設置

試験地	特待奨学生 特別選抜	一般選抜前期		
		日程A	日程B	日程C
12月13日		1月28日	1月29日	1月30日
盛岡		●		
仙台	●	●	●	
郡山	●			●
大田原	●	●	●	●
水戸	●	●	●	
高崎	●	●	●	
成田	●	●	●	
東京	●	●	●	●
長野				●
横浜		●	●	
小田原	●	●	●	●
静岡		●	●	
山口		●		
北九州				●
福岡	●	●	●	●
大川	●	●	●	●
佐賀	●	●		
長崎				●
熊本		●		
大分	●	●		
宮崎				●
鹿児島	●	●		
沖縄	●	●		

POINT  
8

## 二段階納入方式

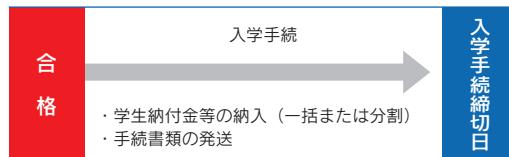
二段階  
納入方式当てはまる  
入試区分

特待奨学生特別選抜

一般選抜前期

大学入学共通テスト利用選抜[前期]

- 通常の学生納付金納入方式



国立大学など  
他大学の結果を  
みてから  
2次手続可能

3/11㊈

- 二段階納入方式

〔対象入試区分〕

- ・特待奨学生特別選抜
- ・一般選抜前期
- ・大学入学共通テスト利用選抜[前期]

▶ 詳細はP.52参照



\* 通常の納入方式の場合、2次手続は不要です。

※医学部の入試制度はホームページまたは医学部学生募集要項を確認してください。

## 試験日及び入学手続期間

時期		国際医療福祉大学		群馬パース大学		高崎健康福祉大学	
		試験日	入学手続	試験日	入学手続	試験日	入学手続
10月	上旬	総合型選抜Ⅰ期					
	中旬			総合型選抜1			
	下旬					総合型選抜(専願・併願)	
11月	上旬		総合型選抜Ⅰ期				
	中旬	学校推薦型選抜		学校推薦型選抜Ⅰ	総合型選抜1		総合型選抜(専願)
	下旬			学校推薦型選抜Ⅱ/群馬県北部地域対象特別選抜		学校推薦型選抜/特別選抜(第1回)	
12月	上旬						学校推薦型選抜/特別選抜(第1回)
	中旬	総合型選抜Ⅱ期/特待奨学生特別選抜	学校推薦型選抜	総合型選抜Ⅱ/社会人対象選抜/帰国生徒対象選抜	学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ/群馬県北部地域対象特別選抜	健大スカラシップ選抜/12月総合型選抜	
	下旬						
1月	上旬		総合型選抜Ⅱ期/特待奨学生特別選抜(一次)				総合型選抜(併願)/健大スカラシップ選抜(一次)/12月総合型選抜
	中旬	大学入学共通テスト利用選抜前期			総合型選抜Ⅱ/社会人対象選抜/帰国生徒対象選抜		
	下旬	一般選抜前期		大学入学共通テスト利用選抜(前期)		一般選抜(A日程)/大学入学共通テスト利用選抜(前期)	
2月	上旬			一般選抜(前期)			
	中旬		一般選抜前期(一次)			一般選抜(A日程)/大学入学共通テスト利用選抜(中期)	学校推薦型選抜2
	下旬	大学入学共通テスト利用選抜後期	大学入学共通テスト利用選抜前期(一次)	大学入学共通テスト利用選抜(後期)	一般選抜(前期)	一般選抜(B日程)/特別選抜(第2回)	一般選抜(A日程)/大学入学共通テスト利用選抜(前期)
3月	上旬	一般選抜後期		一般選抜(後期)	大学入学共通テスト利用選抜(前期)	大学入学共通テスト利用選抜(後期)	
	中旬		一般選抜前期(二次)/特待奨学生特別選抜(二次)/大学入学共通テスト利用選抜前期(二次)・後期/一般選抜後期		一般選抜(後期)/大学入学共通テスト利用選抜(後期)	一般選抜(C日程)	健大スカラシップ選抜(二次)/一般選抜(B日程)/大学入学共通テスト利用選抜(中期)/特別選抜(第2回)
	下旬						一般選抜(C日程)/大学入学共通テスト利用選抜(後期)

※各大学のスケジュールは学生募集要項及びホームページの掲載情報をもとに作成

※大学入学共通テスト利用方式の試験日は願書提出期限にて記載

※学生納付金の分割納入が可能な場合、(一次)及び(二次)を記載

試験日及び入学手続期間

時期		東京医療保健大学		つくば国際大学		東海大学	
		試験日	入学手続	試験日	入学手続	試験日	入学手続
10月	上旬						
	中旬	総合型選抜		総合型選抜1期			
	下旬						
11月	上旬				総合型選抜1期		
	中旬	学校推薦型選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜1期/社会人選抜 1期		学校推薦型選抜(公募・指定)	
	下旬						
12月	上旬		学校推薦型選抜	総合型選抜2期			
	中旬			学校推薦型選抜2期/社会人選抜 2期	学校推薦型選抜1期/社会人選抜 1期		学校推薦型選抜(公募・指定)
	下旬				総合型選抜2期		
1月	上旬						
	中旬				学校推薦型選抜2期/社会人選抜 2期		
	下旬	一般選抜A日程・B日程		大学入学共通テスト利用選抜1期/ 一般選抜1期		大学入学共通テスト利用選抜(前 期)	
2月	上旬	一般選抜C日程/大学入学共通テ スト利用入学試験	一般選抜A日程・B日程(一次)			一般選抜	
	中旬		一般選抜A日程・B日程(二次)	総合型選抜3期	一般選抜1期		大学入学共通テスト利用選抜(前 期)
	下旬	一般選抜特別日程	一般選抜C日程(一次)	大学入学共通テスト利用選抜2期/ 一般選抜2期	大学入学共通テスト利用選抜1期	文系・理系学部統一選抜(後期)	一般選抜
3月	上旬		一般選抜C日程(二次)	大学入学共通テスト利用選抜3期	総合型選抜3期	大学入学共通テスト利用選抜(後 期)	
	中旬		一般選抜特別日程		大学入学共通テスト利用選抜2期/ 一般選抜2期		文系・理系学部統一選抜(後期)/ 大学入学共通テスト利用選抜(後 期)
	下旬		大学入学共通テスト利用入学試験		大学入学共通テスト利用選抜3期		

※各大学のスケジュールは学生募集要項及びホームページの掲載情報をもとに作成

※大学入学共通テスト利用方式の試験日は願書提出期限にて記載

※学生納付金の分割納入が可能な場合、(一次) 及び (二次) を記載

## 競合校の奨学制度等の概要

### ◆群馬パース大学

群馬パース大学は、3つの給付型と1つの貸与型の学費支援制度を用意している。1つ目は入学試験において成績優秀な合格者（特待生）に対する制度、2つ目は学生支援機構など貸与型奨学金制度を利用する在学生に対する制度、3つ目は在学生または同窓生に兄弟姉妹を持つ学生に対する制度、4つ目は卒業後に指定病院等での勤務をもって返還免除となる制度、を設けている。

### ◆高崎健康福祉大学

高崎健康福祉大学は、2つの給付型の学費支援制度を用意している。1つ目は入学試験において成績優秀な合格者（特待生）に対する制度、2つ目は在学生または同窓生に兄弟姉妹を持つ学生に対する制度、を設けている。加えて、経済的困窮や罹災等で学費支弁が困難な者に対して授業料の分納・延納を申出に基づき認める。

### ◆東京医療福祉大学

東京医療福祉大学は、給付型と貸与型の学費支援制度を1ずつ用意している。1つ目は入学試験において成績優秀な合格者（特待生）に対する制度、2つ目は卒業後に指定病院等での勤務をもって返還免除となる制度、を設けている。

### ◆つくば国際大学

つくば国際大学は、2つの給付型の学費支援制度を用意している。1つ目は入学試験において成績優秀な合格者（特待生）に対する制度、2つ目は罹災や家計が急変し学費支弁が困難になった者に対する制度、を設けている。

### ◆東海大学

東海大学は、9つの給付型と4つの貸与型の学費支援制度を用意している。主な制度内容は、入学試験において成績優秀な合格者（特待生）に対する制度、学業優秀な在学生に対する制度、罹災や家計が急変し学費支弁が困難になった者に対する制度、指定病院等での勤務をもって返還免除となる制度、学業や課外活動を推進するための制度など、を設けている。

## 奨学制度・修学支援比較（各大学のホームページ、大学案内、学生募集要項をもとに作成）

### 1. 國際医療福祉大学

#### 特待奨学生奨学金【給付型】

特待奨学生特別選抜の成績上位合格者を対象とした制度  
授業料の全額又は一部相当額の奨学金を正規の在学期間中給付する  
<給付額>  
区分 S) 授業料 100%相当額、区分 A) 授業料 50%相当額、区分 B) 授業料 30%相当額

#### 年間成績優秀賞【給付型】

成績優秀者を対象とした制度  
前年度の成績優秀者から選考し、2年次以降の在学生を対象に各学年1名に給付する  
<給付額>  
授業料の最大 50%を給付（特待奨学生奨学金の区分 S・A 受給者は除く）

#### 在学生卒業生子息子女兄弟姉妹進学支援奨学金【給付型】

卒業生の子息子女や兄弟姉妹又は在学生の兄弟姉妹である者若しくは兄弟姉妹が同じ年度に入学する者(兄弟姉妹が同じ年度に入学する場合、対象者は入学者のうち1名)  
<給付額>  
入学金の 50%相当額を給付

#### あいおいニッセイ同和損害保険(株)奨学金【給付型】

全学部2年次以上の成績優秀者を対象に、年間5～6名を新規採用  
<給付額>  
年間 60万円～180万円を給付

#### 学生支援基金奨学金【貸与型】

学生納付金負担者の不慮の事故等に伴う家計急変者を対象とした制度  
<貸与額>  
年間学生納付金以内の金額を貸与

#### 国際医療福祉大学看護師奨学金【貸与型】

看護学科の1～4年生を対象とした制度  
卒業後、大学附属病院で所定年数を看護師として勤務する場合、返還を免除する  
<貸与額>  
年間 25万円から30万円を2～6口貸与  
※原則として、1学年あたり1口の貸与を受けることができる

### 国際医療福祉大学医療福祉コース「介護福祉士」修学支援奨学金【貸与型】

医療福祉・マネジメント学科介護福祉専攻の学生が対象の制度

卒業後、大学指定の病院・施設で3年間を介護福祉士として勤務する場合、返還を免除する

<貸与額>

年間30万円を4年間貸与

※学生寮に入寮する場合は寮費月額1万5千円も4年間貸与

### 栃木県介護福祉士修学資金等貸付制度【貸与型】

卒業後に介護福祉士資格を取得し、1年以内（国家試験不合格の場合3年以内）に栃木県内で介護等業務に従事し、引き続き5年間当該業務に従事した場合には返還が免除される制度

<貸与額>

年間60万円（月額5万円）を4年間貸与

※別途、1年次に入学準備金20万円、4年次に就職準備金20万円及び、

国家試験受験対策費4万円を貸与

## 2. 群馬パース大学

### 入試特待制度【給付型】

一般選抜（前期）で第一志望学科に合格した者のうち、成績優秀かつ経済的理由により修学困難な者

※主たる家計支持者1名の年間収入が以下に該当する学生は除く

・給与所得者は、源泉徴収票支払金額が841万円以下

・給与所得以外の者は、確定申告等所得金額が355万円以下

<給付額>

区分S) 授業料等100%免除、区分A) 後期授業料等100%免除

区分B) 入学年度の後期授業料等100%免除

### 神戸奨学金【給付型】

日本学生支援機構等の奨学金貸与を受ける2～4年次在籍者の内、各学科から原則1名以内

※主たる家計支持者1名の年間収入が以下に該当する学生は除く

・給与所得者は、源泉徴収票支払金額が841万円以下

・給与所得以外の者は、確定申告等所得金額が355万円以下

<給付額>

後期授業料から30万円を免除

### 兄弟姉妹奨学金【給付型】

卒業者を含め、2名目以上の兄弟姉妹が在籍する者または、同時に兄弟姉妹が入学した者

<給付額>

1年次の後期授業料から10万円免除(特待生奨学金受給者を除く)

### ほたか奨学金制度【貸与型】

看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を養成する学部の在学者

※卒業後に指定病院または福祉施設に入職し所定期間勤務した場合は返済免除

<貸与額>

月額4万円から7万円(別途入学時に10万円貸与)、貸与期間は2年～4年・6年から選択  
1年次の後期授業料から10万円免除(特待生奨学金受給者を除く)

## 3. 高崎健康福祉大学

### 特待生制度【給付型】

指定の入学試験に合格した成績優秀者に4年間(薬学科は6年間)の授業料を免除

<給付額>

SS 特待生 ……健大スカラシップ選抜、一般選抜A日程、既入学手続者特待生選抜  
卒業までの授業料 100%免除

S 特待生 ……一般選抜A日程、既入学手続者特待生選抜、地域枠選抜※  
卒業までの授業料 50%免除 (地域枠選抜は入学金も全額免除)

A 特待生 ……一般選抜A日程、既入学手続者特待生選抜  
卒業までの授業料 25%免除

### 兄弟姉妹支援制【給付型】

在学生および同窓生を兄弟姉妹に持つ受験生

<給付額>

1. 兄弟姉妹支援制度(在学生)：兄弟姉妹が在学生  
入学検定料全額免除・入学金全学免除・兄弟姉妹が卒業するまでの授業料半額免除
2. 兄弟姉妹支援制度(同窓生)：兄弟姉妹が同窓生  
入学検定料全額免除・入学金全学免除
3. 兄弟姉妹支援制度(同一年度)：兄弟姉妹が同じ年度に入学  
1名分の入学金全額免除・1名分の授業料半額免除

## 4. 東京医療保健大学

### スカラシップ制度【給付型】

指定の入学試験に合格した成績優秀者

<給付額>

スカラシップⅠ ……一般選抜C日程：各学科合格者上位1-5位程度  
入学金と1年間の授業料を全額免除

スカラシップⅡ ……一般選抜A日程・B日程・C日程：各学科合格者上位1-5位程度  
1年間の授業料を半額免除

※2～4年次生のスカラシップは、前年度の学業成績に基づいて各学部、学科ごとに選考

### 病院奨学制度【貸与型】

千葉看護学部の学生で、卒業後船橋中央病院に勤務を希望する者に、奨学金を貸与  
卒業後、常勤職員として貸与期間相当の業務に従事すれば返還免除

<貸与額>

1年間に 60 万円を貸与（1 学年 12 名まで）

## 5. つくば国際大学

### 特待生奨学金【給付型】

指定の入学試験に合格した成績優秀者

<給付額>

(一般選抜・大学入学共通テスト利用入試)

1 年次の前期授業料から 30 万円を減免

### 経済的支援制度【給付型】

大規模災害に罹災又は主たる学費負担者の失職、死亡等で家計が急変し、学費支弁が困難な者

<給付額>

授業料の半額又は 1/4 額を免除

## 6. 東海大学

### 特待生奨学金（新入生型：全学部統一試験枠）【給付型】

全学部統一試験（前期）を受験し合格した成績優秀者

<給付額>

学費免除タイプ…入学金・授業料全額免除、入学奨励タイプ…20 万円（減免）

### 特待生奨学金（新入生型・留学生枠）【給付型】

留学生一般選抜（一期・二期）受験者で、学業成績、人物ともに優れた私費外国人留学生

<給付額>

1 種…入学金・授業料全額免除、2 種…20 万円

### 特待生奨学金（在学生型・学部枠）【給付型】

各学部・学科にて人物・学業成績などを総合的に審査し、優秀な学部生

<給付額>

学期 20 万円

### 学部奨学金【給付型】

前学期までの学業・人物ともに優れた第2～第8セメスターの学部生

<給付額>

1種（大学選考）…学期20万円、2種（自己推薦）…学期10万円

### キャンパス間留学奨学金【給付型】

キャンパス間留学を希望している人物・学業成績ともに優れた学部生

<給付額>

28万円もしくは14万円（留学タイプまたは居住形態による）、短期2万円

### 建学記念奨学金【給付型】

本学が指定する課題について独創力豊かな論文を提出した学生

<給付額>

最優秀賞20万円、優秀賞10万円、入選5万円

### 自己研鑽奨学金【給付型】

文化活動、スポーツ活動、社会活動、ボランティア活動などの各分野において優れた計画を持ち、その実現に努力している学生

<給付額>

個人30万円以内、グループ50万円以内

### 佐藤兼蔵貸与奨学金【貸与型】

家計の急変で就学が困難になった医学部学生

<貸与額（無利子）>

医学科…上限年額300万円、看護学科…上限年額100万円

### 医学部看護学科望星奨学金【貸与型】

医学部看護学科に在籍し、健康にして、学業成績、人物ともに優れ、経済的支援を必要とする者  
(返還免除要件有り)

<貸与額（無利子）>

月額3万円（年額36万円）

### 神奈川県看護師等修学資金【貸与型】

卒業後、神奈川県内で看護職として従事する意思がある医学部看護学科学生

(返還免除要件有り)

<貸与額（無利子）>

一般修学資金…月額2万円、特例貸付修学資金…月額4万円（初回加算金10万円）

### 応急奨学金【給付型】

(1) 以下の A～C の要件を満たし、尚且つ①～④のいずれかに該当する者

A.日本学生支援機構第二種貸与奨学金の収入基準に準ずる世帯収入であること（原則）

B.申請時に修学支援区分医Ⅰ・Ⅱを受給していない者

C.懲戒処分を受けていない者

(2) 急変事由

①家計支持者両親のうち収入が多い者またはこれに代わって家計を支えている者が死亡した場合

②家計支持者が会社の倒産・解雇等により失職※定年退職・自己都合による退職は対象外

③家計支持者が破産した場合

④家計支持者が事故または病気により半年以上就労困難と判断された場合

⑤その他大学が認めた場合

<給付額>

授業料の半額程度（40万円上限）

### 応急奨学金【貸与型】

天災や人災等により家屋が被災、あるいは家計支持者等の死亡・失職・入院等により、家計が急変し学費の納入が困難になった学生

<貸与額（無利子）>

当該学期に納付すべき学費相当額以内（60万円以内）※次学期に限り再申請可

### 大規模自然災害等被災学生支援【給付型】

保証人・学費納付者が「災害救助法適用地域」に在住し被災された学部生

<給付額>

第1種：学費相当額（1年）/給付金 10万円

第2種：学費相当額（半期）/給付金 5万円

見舞金：「東海大学学生安全会」に加入している学生に対し 10万円給付

## 国際医療福祉大学 2024年度の地域別求人件数及び就職率

HOME > 就職・キャリア > 地域別求人件数

- 就職・キャリア >
- > 資格について
- > 国家試験合格率
- > 地域別求人件数
- > 卒業生就職先一覧
- > 教職課程
- > 病院・施設・企業様向けご案内
- > 求人申込票裏面の「本学卒業生」欄についてのお願い

### 圧倒的な求人件数

一人ひとりの適性に合った、満足できる就職先へ。  
毎年就職率100%を実現する「就職に強い大学」。

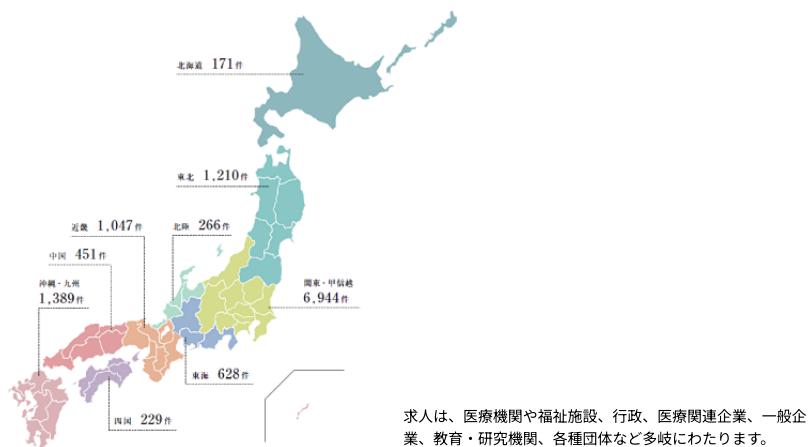
本学は、これまでに約37,000人の卒業生を医療福祉分野に送り出してきました。  
その先輩たちが築き上げてきた「国際医療福祉大学の卒業生なら安心」という評価と信頼が、多数の求人件数につながり、毎年100%の就職率を維持しています。  
この信頼を通して、学生一人ひとりが満足できる就職先に導き、「就職に強い大学」を実現しています。

### 求人件数

# 12,335 件

2024年度実績（2025年3月31日現在）  
※求人件数1件には、1人～複数人の求人が含まれます。

#### 2024年度 都道府県別求人件数 [2025.3.31現在]



北海道	171 件
青森県	112 件
岩手県	124 件
宮城県	194 件
秋田県	99 件
山形県	191 件
福島県	490 件
茨城県	488 件
栃木県	682 件
群馬県	325 件
埼玉県	947 件
千葉県	955 件
東京都	1844 件
神奈川県	1151 件
新潟県	186 件
富山県	89 件
石川県	104 件
福井県	73 件
山梨県	147 件
長野県	219 件
岐阜県	16 件
静岡県	414 件
愛知県	198 件
三重県	28 件
滋賀県	50 件
京都府	162 件
大阪府	464 件
兵庫県	285 件
奈良県	47 件
和歌山県	11 件
鳥取県	51 件
島根県	53 件
岡山県	68 件
広島県	195 件
山口県	84 件
徳島県	28 件
香川県	42 件
愛媛県	115 件
高知県	44 件
福岡県	569 件
佐賀県	111 件
長崎県	107 件
熊本県	187 件
大分県	103 件
宮崎県	65 件
鹿児島県	180 件
沖縄県	67 件

## 高い就職率

就職率は毎年100% 学生一人ひとりが満足できる就職を支援

就職は、ゴールではなく新たなスタートライン。社会人として、医療福祉専門職としてどのようにキャリアを形成していくいかを一緒に考えていきます。学科教員による丁寧な個別指導はもちろん、キャリア支援センターのサポートで、大学を挙げて、学生の希望に沿い、個々の長所を生かせる就職先へと導きます。

## 就職率 (2024年度卒業生)

100%  
就職者数 1,726人、就職希望者数 1,726人、2025年5月1日現在

学生一人ひとりが満足できる就職を支援。

「就職に強い大学」を実現する キャリア支援センターと各種サポート。

### ■教員によるサポート

学科教員による手厚いサポートで最適な就職先へと導きます。

担任やチューター、ゼミ担当教員による就職サポート体制が整っています。個別相談では、学生に専門職としての自信を持たせることを心がけ、教員が有する幅広い情報網や同窓生とのネットワークを駆使して本人の希望や性格、特性に合った就職先と一緒に考え、内定に向けてきめ細かくサポートしていきます。また、第一線で活躍する卒業生を招いて講義や交流会を開催するなど、将来像がイメージしやすくなりキャリア意識を高められる支援も行っています。

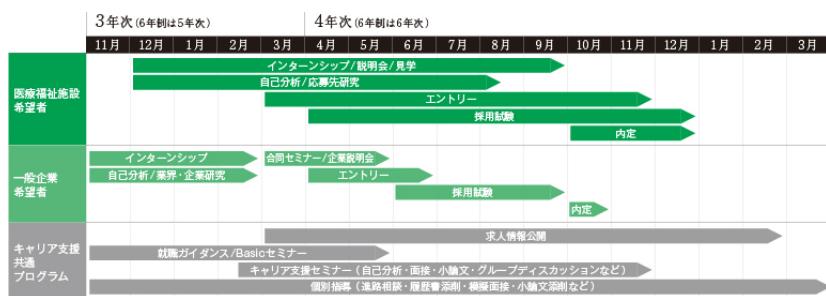
## ■キャリア支援センターによるサポート

キャリアコンサルタントが在学中だけでなく卒業後も支援します。

キャリア支援センターでは、求人情報や就職ガイダンス・就職試験対策セミナーなど、さまざまなキャリア支援プログラムを提供し、在学中から卒業後までサポートしています。学生一人ひとりが希望の進路を実現できるように、常駐キャリアコンサルタントが親身になって支援します。新たに導入した就職支援システムでは、求人情報はもちろん、先輩たちのリアルな試験内容もWeb上で閲覧できます。

セミナー	個別指導
<ul style="list-style-type: none"><li>●自己分析</li><li>●ビジネスマナー</li><li>●履歴書・エントリーシート作成</li><li>●面接対策</li><li>●小論文対策</li><li>●筆記試験対策</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●履歴書・エントリーシート添削</li><li>●模擬面接</li><li>●小論文添削</li><li>●進路相談</li><li>●キャリアカウンセリング</li></ul>

## ■就職活動スケジュール



## 国際医療福祉大学 2021年度から2023年度までの就職率

2024年5月1日現在

区分		2021年度						2022年度						2023年度								
		就職希望者数			就職決定者数			就職率 (%)	就職希望者数			就職決定者数			就職率 (%)	就職希望者数			就職決定者数			就職率 (%)
学部学科		計	男	女	計	男	女		計	男	女	計	男	女		計	男	女	計	男	女	
保健医療学部	看護学科	96	11	85	(58)	(7)	(51)	100%	107	14	93	107	(6)	(48)	100%	107	13	94	(59)	(11)	(48)	100%
	理学療法学科	90	53	37	(10)	(8)	(2)	100%	97	47	50	(13)	(5)	(8)	100%	91	51	40	(13)	(6)	(7)	100%
	作業療法学科	61	15	46	(9)	(3)	(6)	100%	72	25	47	(11)	(3)	(8)	100%	70	16	54	(7)	(3)	(4)	100%
	言語聴覚学科	66	8	58	66	(1)	(8)	100%	62	8	54	(12)	(3)	(9)	100%	61	12	49	(5)	(1)	(4)	100%
	視機能療法学科	42	8	34	(2)	(2)	(2)	100%	45	14	31	(5)	(1)	(4)	100%	51	8	43	(5)	(2)	(3)	100%
	放射線・情報科学科	97	55	42	(12)	(7)	(5)	100%	95	53	42	(9)	(5)	(4)	100%	98	49	49	(12)	(7)	(5)	100%
	計	452	150	302	(100)	(28)	(72)	100%	478	161	317	(104)	(23)	(81)	100%	478	149	329	(101)	(30)	(71)	100%
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科(経営系)	39	14	25	(5)	(3)	(2)	100%	50	17	33	(7)	(2)	(5)	100%	44	16	28	(7)	(3)	(4)	100%
	医療福祉・マネジメント学科(福祉系)	84	35	49	(6)	(4)	(2)	100%	83	25	58	(10)	(5)	(5)	100%	88	33	55	(12)	(2)	(10)	100%
	計	123	49	74	(11)	(7)	(4)	100%	133	42	91	(17)	(7)	(10)	100%	132	49	83	(19)	(5)	(14)	100%
薬学部	薬学科(6年制)	137	50	87	(5)	(2)	(3)	100%	109	40	69	109	(8)	(4)	100%	137	53	84	137	53	84	100%
	計	137	50	87	(5)	(2)	(3)	100%	109	40	69	(8)	(4)	(4)	100%	137	53	84	(8)	(4)	(4)	100%
大田原キャンパス合計		712	249	463	(116)	(37)	(79)	100%	720	243	477	(129)	(34)	(95)	100%	747	251	496	(128)	(39)	(89)	100%
医学部	医学科								124	72	52	(40)	(22)	(18)					(31)	(19)	(12)	
鹿児島学部	看護学科	103	10	93	(59)	(6)	(53)	100%	97	9	88	(52)	(4)	(48)	100.0%	128	79	49	128	79	49	100.0%
	計	103	10	93	(59)	(6)	(53)	100%	97	9	88	(52)	(4)	(48)	100.0%	105	11	94	(52)	(6)	(46)	100%
成田保健医療学部	理学療法学科	80	41	39	(9)	(2)	(7)	100%	79	33	46	(9)	(4)	(5)	100%	79	37	42	(15)	(8)	(7)	100%
	作業療法学科	41	11	30	(3)	(1)	(2)	100%	45	10	35	(9)	(1)	(8)	100%	33	9	24	(5)	(1)	(4)	100%
	言語聴覚学科	37	3	34	(2)	(1)	(1)	100%	38	3	35	(3)	(0)	(3)	100%	38	4	34	(6)	(1)	(5)	100%
	医学検査学科	58	14	44	(22)	(5)	(17)	100%	65	17	48	(18)	(5)	(13)	100%	65	16	49	(12)	(4)	(8)	100%
	放射線・情報科学科															36	19	17	(3)	(2)	(1)	100%
	計	(0)	(0)	(0)	(36)	(9)	(27)	100%	(0)	(0)	(0)	(39)	(10)	(29)	100%	251	85	166	(41)	(16)	(25)	100%
	臨床工学特別専攻科															8	5	3	1	0	1	
成田キャンパス合計		319	79	240	(95)	(15)	(80)	100%	448	144	304	(131)	(36)	(95)	100%	492	180	312	(125)	(41)	(84)	100%
メソブロックマネジメント学部	心理学科	22	11	11	(5)	(5)	(5)	100%	32	8	24	(4)	(0)	(4)	100%	28	5	23	(1)	(0)	(1)	100%
	医療マネジメント科	45	13	32	(15)	(7)	(8)	100%	60	23	37	(6)	(4)	(2)	100%	50	11	39	(6)	(1)	(5)	100%
東京赤坂キャンパス合計		67	24	43	(20)	(12)	(8)	100%	92	31	61	(10)	(4)	(6)	100%	78	16	62	(7)	(1)	(6)	100%
保健医療学部	看護学科	87	10	77	(31)	(1)	(30)	100%	80	13	67	(33)	(4)	(29)	100%	79	8	71	(30)	(3)	(27)	100%
	理学療法学科	65	38	27	(6)	(6)	(6)	100%	78	35	43	(7)	(3)	(4)	100%	75	37	38	(6)	(2)	(4)	100%
	作業療法学科	37	6	31	(6)	(2)	(4)	100%	33	7	26	(3)	(1)	(2)	100%	32	7	25	(5)	(2)	(3)	100%
小田原キャンパス合計		189	54	135	(43)	(9)	(34)	100%	191	55	136	(43)	(8)	(35)	100%	186	52	134	(41)	(7)	(34)	100%
福岡保健医療学部	理学療法学科	67	33	34	(7)	(4)	(3)	100%	78	43	35	(7)	(4)	(3)	100%	57	34	23	(7)	(5)	(2)	100%
	作業療法学科	41	9	32	(1)	(1)	(1)	100%	32	13	19	(1)	(1)	(1)	100%	33	13	20	(3)	(2)	(1)	100%
	言語聴覚学科	35	8	27	(3)	(2)	(1)	100%	35	3	32	(3)	(2)	(1)	100%	28	3	25	(2)	(0)	(2)	100%
	医学検査学科	60	16	44	(9)	(1)	(8)	100%	56	19	37	(9)	(1)	(8)	100%	62	17	45	(7)	(2)	(5)	100%
大川キャンパス合計		203	66	137	(20)	(8)	(12)	100%	201	78	123	(20)	(8)	(12)	100%	180	67	113	(19)	(9)	(10)	100%
全キャンパス合計		1,490	472	1,018	(294)	(81)	(213)	100%	1,652	551	1,101	(333)	(90)	(243)	100%	1,683	566	1,117	(320)	(97)	(223)	100%

【注1】就職率は就職希望者に対する就職決定者の割合

【注2】就職決定者数欄の( )内は大学附属及び大学関連施設に就職した人数

【注3】学年進行中の学部・学科は不掲載

# キャリア支援セミナー

## Basic 2024

- ① 就職活動の進め方／自己分析・応募先分析
- ② ビジネスマナーを身に付けよう
- ③ 履歴書・エントリーシート／自己 PR 対策
- ④ 選ばれるための面接対策



国際医療福祉大学

# 目次

はじめに	1
学生の就職活動に関する心得	2
◆ 就職活動ガイド	
・ キャリア支援センターについて	5
・ IUHW キャリアサポートについて	7
・ 各種事務手続き	11
・ 個人情報の取り扱いについて	13
◆ テキスト	
① 就職活動の進め方／自己分析・応募先分析	
■ 就職活動の進め方	15
■ 自己分析・応募先分析	16
■ 求人票を見てみよう	19
■ 【参考】求人申込票	20
② ビジネスマナーを身に付けよう	
■ 好印象を与えるマナーの基本	22
■ 言葉づかいの確認	24
■ 電話・メール・手紙のマナー	25
■ オンラインのマナー	29
■ 就職活動の場面では	30
■ 【参考】お礼状例文	32
③ 履歴書・エントリーシート／自己PR対策	
■ 履歴書・エントリーシートの書き方	34
■ 大学履歴書・自己紹介書見本	36・37
■ 志望動機の書き方	38
■ 自己PR対策	40
④ 選ばれるための面接対策	
■ 就職試験の面接とは	44
■ 面接の種類	45
■ 面接のポイントと対策	46
■ 自己分析をもとに話す内容を考えてみよう	50
◆ 資料・ワークシート	
・ 【見本】履歴書・自己紹介書	56
・ 【自己分析シート1】自分の価値観を見つけよう	57
・ 【応募先分析シート】病院・施設・企業	58・59
・ 【志望動機シート】	60
・ 【自己分析シート2】アピールポイントを見つけよう	61
・ 【PREP 法練習シート】自己 PR を書いてみよう	62
・ 【面接評価シート】	63
おわりに	64

# キャリア支援センターについて

- 学生一人ひとりが満足できるキャリアを支援するため、キャリア支援センターを設置しています

## ◇就職・進学等キャリア支援体制

学科教員	キャリア支援センター	
担任やチーフ、ゼミ担当教員による、学生の希望や特性に応じた個別指導専門職としてのサポート	就職・進路に関する情報提供 専任のキャリアコンサルタントによる、進路相談や実践的なサポート	就職・進路など進路に関する相談や質問は、学科の担当教員または、キャリア支援センターにお問い合わせください。

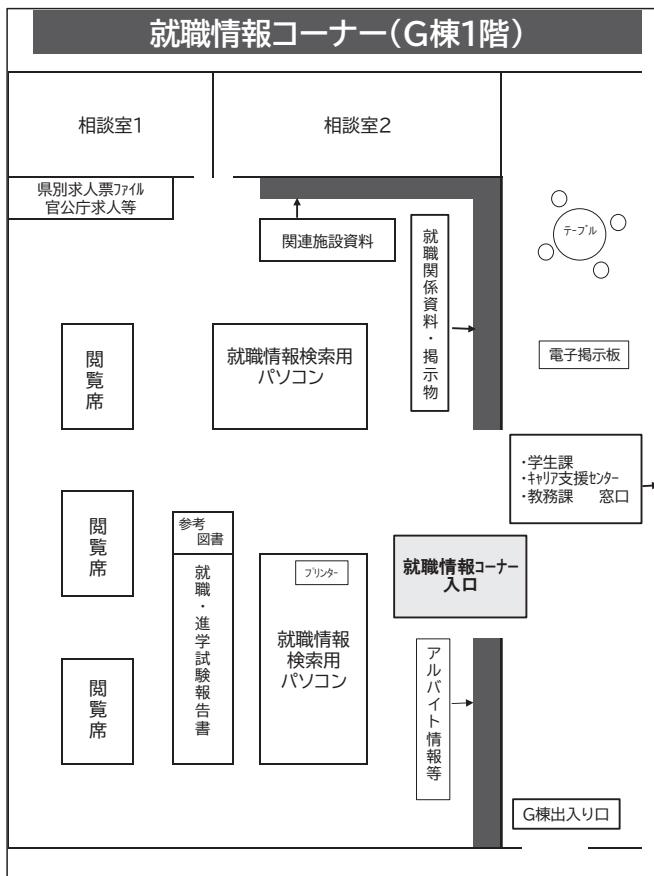
## ◇キャリア支援センターが行う各種サポート

サポート	内容
就職ガイダンス	就職活動の進め方、事務手続き 3・4年次(薬学部は5年次)に適宜実施しています。
キャリア支援セミナー	自己分析・応募先分析／ビジネスマナー／履歴書・エントリーシート対策／面接対策
就職試験対策	小論文／グループディスカッション／筆記試験
個別相談	進路相談／履歴書作成／模擬面接／小論文指導

詳しくは、キャリア支援センター ホームページをご覧ください。  
<https://career.g.iuhw.ac.jp/>



## ◇就職情報コーナー(利用時間 平日・授業日 9:00~17:00) \*相談業務は平日のみ



### 【就職情報コーナーの資料】

- 求人票ファイル
- 就職・進路試験報告書ファイル
- 過去5年間の就職実績
- 本学関連施設資料
- 官公庁関係資料
- 各種イベント案内
- インターンシップ情報

### 【就職・進路に関する書類申請・届出について】

就職・進路に関する書類申請は学生課・教務課窓口で、報告等はWEBで受付けています。

- 【教務課窓口】成績証明書、卒業見込み証明書  
【学生課窓口】健康診断書、推薦書、インターンシップ届  
【オンライン】進路希望登録、就職試験報告  
進路決定届





学籍番号

名前

2024年度版

# キャリア支援ハンドブック

CAREER SUPPORT HANDBOOK

保護者編



国際医療福祉大学

## 目次

学長挨拶 .....	1
I 国際医療福祉大学におけるキャリア支援について .....	4
1. 就職・キャリアに関する情報提供	
2. 「IUHW キャリアサポート」(就職支援システム)による支援	
3. 就職ガイダンス・キャリア支援セミナーの開催	
4. 個別相談	
5. ハローワークとの提携	
6. 就職支援資料冊子の作成・配布	
II 就職・キャリアに関する情報提供について .....	5・6
【就職情報コーナー】	
1. 場所、利用時間について	
2. 常設の設備、資料等について	
3. 求人票、就職・進学試験報告書、就職先情報ファイルの閲覧について	
4. 関連施設情報コーナー	
5. 参考図書	
【IUHWキャリアサポート】本学学生専用就職支援システム	
1. 情報の閲覧について	
2. 個別相談予約について	
3. 登録手続きについて	
III キャリア支援内容について .....	7
1. 学科別キャリア支援セミナー	
2. 個別相談	
IV 就職活動スケジュール .....	8・9

V 就職に関する事務手続きについて ..... 10・11

1. 「進路希望」(求職票)の登録
2. 「入社試験情報」(就職・進学試験報告)の登録
3. 「進路決定届」の登録
4. 「推薦書」の発行
5. 「内定辞退願」について
6. その他

VI 保護者の方へのお願い ..... 12・13

1. 学生の精神的支えとなってください
2. 就職活動資金を援助してください
3. 学生の意見や考えをよく聞いてください
4. 選択肢の広がるようなアドバイスをしてください
5. 学生の主体的な行動を応援してください
6. 周囲と比較しないでください
7. 学業成績のみで、就職できる・できないを判断しないでください
8. キャリア支援センターの利用を勧めてください
9. 新聞を読み、情報収集するようアドバイスをしてください
10. ハローワークでも求人情報等が得られることをお伝えください

VII 国際医療福祉大学・高邦会グループへの就職について ..... 14

VIII 国際医療福祉大学大学院への進学について ..... 15



# 国際医療福祉大学

## キャリア支援ハンドブック【保護者編】

2023年12月1日 発行

発行 国際医療福祉大学

編集 国際医療福祉大学 学生課キャリア支援センター

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸 2600-1

TEL:0287-24-3003(学生課)



## 国家試験の合格率（令和4年度～令和6年度）

### 国際医療福祉大学

資格	キャンパス	2024年度	2023年度	2022年度
医師	成田	100% 合格率全国第1位 (既卒者含む)	99.2% 合格率全国2位	99.2% 合格率全国2位
薬剤師	大田原	92.9%	97.1% 合格率全国2位 (受験者数100人以上の大学)	92.8%
看護師	大田原	98.3%	98.2%	97.5%
	成田	100%	99.1%	98.1%
	小田原	98.8%	98.8%	100%
保健師	大田原	98.0%	100%	98.3%
	成田	100% (6年連続)	100%	100%
	小田原	96.0%	100%	100%
理学療法士	大田原	100%	100%	100% 合格者数全国3位 (97人合格)
	成田	100%	100%	100%
	小田原	100%	100%	98.7%
	大川	100%	100%	100%
作業療法士	大田原	98.9% 合格者数全国1位 (89人合格)	100% 合格者数全国1位 (70人合格)	100% 合格者数全国1位 (72人合格)
	成田	97.7%	94.4%	97.9%
	小田原	95.1%	100%	100%
	大川	100%	94.1%	100%
言語聴覚士	大田原	98.7% 合格者数全国1位 (74人合格)	95.5% 合格者数全国1位 (63人合格)	98.4% 合格者数全国1位 (61人合格)
	成田	91.7%	100%	100%
	大川	97.3%	96.4%	100%

資格	キャンパス	2024年度	2023年度	2022年度
視能訓練士	大田原	100%	合格者数全国2位 (47人合格)	100% 合格者数全国2位 (52人合格)
診療放射線技師	大田原	97.9%	合格者数全国3位 (95人合格)	92.5% 合格者数全国2位 (98人合格)
	成田	97.7%	90.2%	—
臨床検査技師	成田	98.9%	93.2%	85.9%
	大川	97.6%	97.1%	92.3%
社会福祉士	大田原	85.7%	88.5%	84.8%
精神保健福祉士	大田原	94.9% 合格者数全国2位 (37人合格)	97.4% 合格者数全国2位 (37人合格)	82.1%
介護福祉士	大田原	100% (8年連続)	100%	100%
	成田	100%	—	—

\*厚生労働省資料より本学調べ。合格者数および合格率の順位は4年制大学（薬学部は6年制大学）養成校（通信教育課程を除く）における新卒者の順位。医師は既卒者も含む順位。

## 競合校の入学志願動向

学校名/学部等	入学年度	入学定員	志願者数	志願倍率(倍)	合格者数	入学者数	定員充足率(%)
群馬パース大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科	2024	30	103	3.4	41	28	93
	2023	30	128	4.3	58	33	110
	2022	30	172	5.7	47	34	113
	平均	30	134	4.5	49	32	106
高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科	2024	75	184	2.5	140	80	107
	2023	75	208	2.8	150	80	107
	2022	60	270	4.5	115	86	143
	平均	70	221	3.2	135	82	117
高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科	2024	80	223	2.8	147	78	98
	2023	80	233	2.9	135	84	105
	2022	70	279	4.0	108	92	131
	平均	77	245	3.2	130	85	110
東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科	2024	100	526	5.3	204	99	99
	2023	100	541	5.4	233	136	136
	2022	100	645	6.5	243	110	110
	平均	100	571	5.7	227	115	115
つくば国際大学 医療保健学部 診療放射線学科	2024	80	256	3.2	135	104	130
	2023	80	291	3.6	177	107	134
	2022	80	非公開	非公開	非公開	102	128
	平均	80	274	3.4	156	104	130
東海大学 医学部 看護学科	2024	95	652	6.9	230	93	98
	2023	95	686	7.2	253	92	97
	2022	95	722	7.6	203	105	111
	平均	95	687	7.2	229	97	102

※本資料は各大学の公表データ及び大学情報サイト掲載データをもとに作成した。

旺文社パスナビ:<https://passnavi.obunsha.co.jp/>(2025/5/19閲覧)

河合塾Kei-Net:<https://www.keinet.ne.jp/>(2025/5/19閲覧)

※志願倍率=志願者数÷入学定員

※定員充足率=入学者数÷入学定員

## 収容定員を変更する組織の学生納付金

(2026年4月入学生)

学部/学科	学年	入学金	授業料	実験実習費 実習・文献費	施設設備費 施設費	年度合計	4年間総額
保健医療学部 言語聴覚学科	初年度	30万円	90万円	5万円	35万円	160万円	610万円
	2年次以降	－	90万円	25万円	35万円	150万円	
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉専攻除く)	初年度	20万円	70万円	3万円	13万円	106万円	412万円
	2年次以降	－	70万円	19万円	13万円	102万円	
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉専攻)	初年度	20万円	60万円	3万円	13万円	96万円	372万円
	2年次以降	－	60万円	19万円	13万円	92万円	
成田看護学部 看護学科	初年度	30万円	90万円	5万円	36万円	161万円	614万円
	2年次以降	－	90万円	25万円	36万円	151万円	
成田保健医療学部 放射線・情報科学科	初年度	30万円	90万円	5万円	36万円	161万円	614万円
	2年次以降	－	90万円	25万円	36万円	151万円	
小田原保健医療学部 看護学科	初年度	30万円	90万円	5万円	36万円	161万円	614万円
	2年次以降	－	90万円	25万円	36万円	151万円	

※成田看護学部看護学科は、保健師履修コースを履修する場合、履修決定後に5万円の履修費が別途必要

※小田原保健医療学部看護学科は、保健師履修コースを履修する場合、履修決定後に5万円の履修費が別途必要

※小田原保健医療学部看護学科は、養護教諭一種免許状課程を履修する場合、4年間で6万円の履修費が別途必要

## 看護師等を養成する私立大学の学生納付金(4年間総額)

## 看護師を養成する私立大学(千葉県)

学校名	学部・学科(専攻)	学生納付金	所在地	2025年4月1日時点
亀田医療大学	看護学部・看護学科	480万円	千葉県鴨川市	
SBC東京医療大学	健康科学部・看護学科	580万円	千葉県浦安市	
秀明大学	看護学部・看護学科	610万円	千葉県八千代市	
国際医療福祉大学	成田看護学部・看護学科	614万円	千葉県成田市	
東都大学	幕張ヒューマンケア学部・看護学科	625万円	千葉県千葉市	
医療創生大学	国際看護学部・看護学科	632万円	千葉県柏市	
帝京平成大学	健康医療スポーツ学部・看護学科	638万円	千葉県市原市	
順天堂大学	医療看護学部・看護学科	650万円	千葉県浦安市	
城西国際大学	看護学部・看護学科	659万円	千葉県東金市	
東京医療保健大学	千葉看護学部・看護学科	660万円	千葉県船橋市	
東京情報大学	看護学部・看護学科	664万円	千葉県千葉市	
三育学院大学	看護学部・看護学科	680万円	千葉県夷隅郡大多喜町	
淑徳大学	看護栄養学部・看護学科	680万円	千葉県千葉市	
和洋女子大学	看護学部・看護学科	681万円	千葉県市川市	
千葉科学大学	看護学部・看護学科	697万円	千葉県銚子市	
東邦大学	健康科学部・看護学科	700万円	千葉県船橋市	
聖徳大学	看護学部・看護学科	716万円	千葉県松戸市	
				平均 645

## 看護師を養成する私立大学(神奈川県)

学校名	学部・学科(専攻)	学生納付金	所在地	2025年4月1日時点
東海大学	医学部・看護学科	571万円	神奈川県伊勢原市	
昭和医科大学	保健医療学部・看護学科	609万円	神奈川県横浜市	
国際医療福祉大学	小田原看護学部・看護学科	614万円	神奈川県小田原市	
湘南鎌倉医療大学	看護学部・看護学科	620万円	神奈川県鎌倉市	
松蔭大学	看護学部・看護学科	625万円	神奈川県厚木市	
横浜創英大学	看護学部・看護学科	657万円	神奈川県横浜市	
関東学院大学	看護学部・看護学科	658万円	神奈川県横浜市	
湘南医療大学	保健医療学部・看護学科	660万円	神奈川県横浜市	
神奈川工科大学	健康医療科学部・看護学科	690万円	神奈川県厚木市	
北里大学	看護学部・看護学科	700万円	神奈川県相模原市	
慶應義塾大学	看護医療学部・看護学科	748万円	神奈川県藤沢市	
				平均 650

## 診療放射線技師を養成する私立大学

学校名	学部・学科(専攻)	学生納付金	所在地	2025年4月1日時点
国際医療福祉大学	成田保健医療学部・放射線・情報科学科	614万円	千葉県成田市	
つくば国際大学	医療保健学部・診療放射線学科	650万円	茨城県土浦市	
群馬パース大学	医療技術学部・放射線学科	655万円	群馬県高崎市	
駒澤大学	医療健康科学部・診療放射線技術学科	673万円	東京都世田谷区	
帝京大学	医療技術学部・診療放射線学科	695万円	東京都板橋区	
日本医療科学大学	保健医療学部・診療放射線学科	697万円	埼玉県入間郡毛呂山町	
杏林大学	保健学部・診療放射線技術学科	705万円	東京都三鷹市	
北里大学	医療衛生学部・医療工学科(診療放射線技術科学専攻)	705万円	神奈川県相模原市	
順天堂大学	保健医療学部・診療放射線学科	709万円	東京都文京区	
				平均 678

## 言語聴覚士を養成する私立大学

学校名	学部・学科(専攻)	学生納付金	所在地	2025年4月1日時点
弘前医療福祉大学	保健学部・医療技術学科(言語聴覚学専攻)	581万円	青森県弘前市	
国際医療福祉大学	保健医療学部・言語聴覚学科	610万円	栃木県大田原市	
群馬パース大学	リハビリテーション学部・言語聴覚学科	625万円	群馬県高崎市	
目白大学	保健医療学部・言語聴覚学科	661万円	埼玉県さいたま市	
東北文化学園大学	医療福祉学部・リハビリテーション学科(言語聴覚学専攻)	710万円	宮城県仙台市	
				平均 637

## 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士及び医療事務を養成する私立大学

学校名	学部・学科(専攻)	学生納付金	所在地	2025年4月1日時点
国際医療福祉大学	医療福祉学部・医療福祉・マネジメント学科(介護福祉専攻)	372万円	栃木県大田原市	
	医療福祉学部・医療福祉・マネジメント学科	412万円		
東北福祉大学	総合福祉学部・社会福祉学科(通信制は除く)	442万円	宮城県仙台市	
	健康科学部・医療経営管理学科	442万円		
高崎健康福祉大学	健康福祉学部・社会福祉学科	494万円	群馬県高崎市	
	健康福祉学部・医療情報学科	494万円		
				平均 443

※上記表は各大学のWEBサイトを参照し作成した(閲覧日:2025年4月30日)

## 全体集計

## 卒業生の就職先に対するアンケート

回答期間 2025年1月10日～2025年1月31日(郵送で依頼、回答はWEBまたは書面)

対象 571施設(過去3年間の就職者数から見て就職者の多い上位7割以上の施設)

回答数 169件(29.60%)

## 設問

- 問1. 所在地(都道府県名)を教えてください。
- 問2. 貴院・貴施設・貴社の業種を教えてください。
- 問3. 貴院・貴施設・貴社で勤務している本学卒業生のおよその人数を教えてください。
- 問4. 貴院・貴施設・貴社に勤務している本学卒業生の職種とおよその人数を教えてください。
- 問5. 本学卒業生の社会人基礎力等を4段階で評価してください。
- 問6. 職種別に本学卒業生の能力や職務に対する意識・姿勢について評価してください。
- 問7. 次年度以降も、本学の卒業生を入職させたいと思いますか。
- 問8. 貴院・貴施設・貴社で、学生の採用にあたり、重視している社会人基礎力を教えてください。
- 問9. 本学の教育や活動に対してご意見やご要望をご記載ください。(自由記述)
- 問10. 差し支えなければ、病院・施設・企業名をご回答ください。(自由記述)

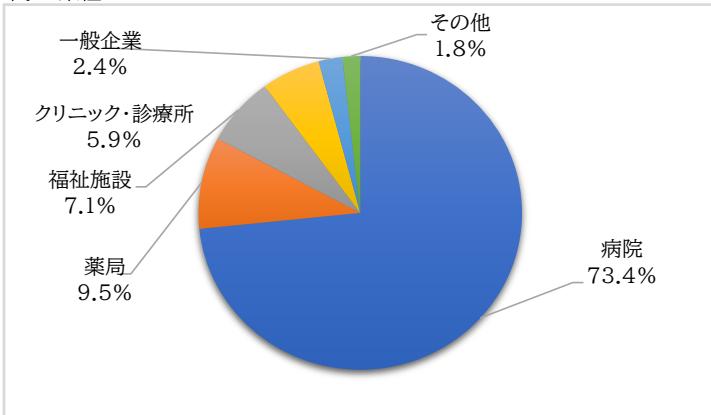
## 結果

※以下、%の母数は回答数169件

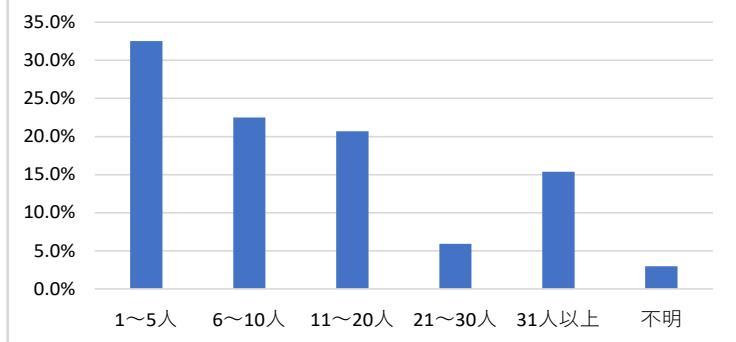
所在地(都道府県名)	回答数	%	(昨年度)
北海道	2	1.2%	(1.0%)
青森県	2	1.2%	(0.5%)
岩手県	1	0.6%	(0.5%)
宮城県	5	3.0%	(1.0%)
秋田県	2	1.2%	-
福島県	16	9.5%	(6.4%)
茨城県	12	7.1%	(6.4%)
栃木県	36	21.3%	(18.7%)
群馬県	3	1.8%	(1.5%)
埼玉県	12	7.1%	(5.9%)
千葉県	17	10.1%	(14.8%)
東京都	11	6.5%	(9.4%)
神奈川県	20	11.8%	(13.3%)
山梨県	1	0.6%	-
長野県	1	0.6%	(0.5%)
静岡県	4	2.4%	(2.0%)
愛知県	2	1.2%	-
山口県	3	1.8%	(1.0%)
福岡県	13	7.7%	(6.9%)
佐賀県	1	0.6%	(1.5%)
長崎県	1	0.6%	(1.5%)
熊本県	1	0.6%	(1.0%)
沖縄県	1	0.6%	(0.5%)
全国各地	2	1.2%	(0.5%)
合計	169	100%	(100.0%)

問2	業種	回答数	%	(昨年度)
	病院	124	73.4%	(68.5%)
	薬局(調剤・ドラッグストア)	16	9.5%	(10.3%)
	福祉施設	12	7.1%	(6.9%)
	クリニック・診療所	10	5.9%	(6.9%)
	一般企業(医薬品関係企業を除く)	4	2.4%	(2.0%)
	その他	3	1.8%	(0.5%)
	合計	169	100%	(100.0%)

## 問2. 業種



## 問3. 本学卒業生のおよその人数



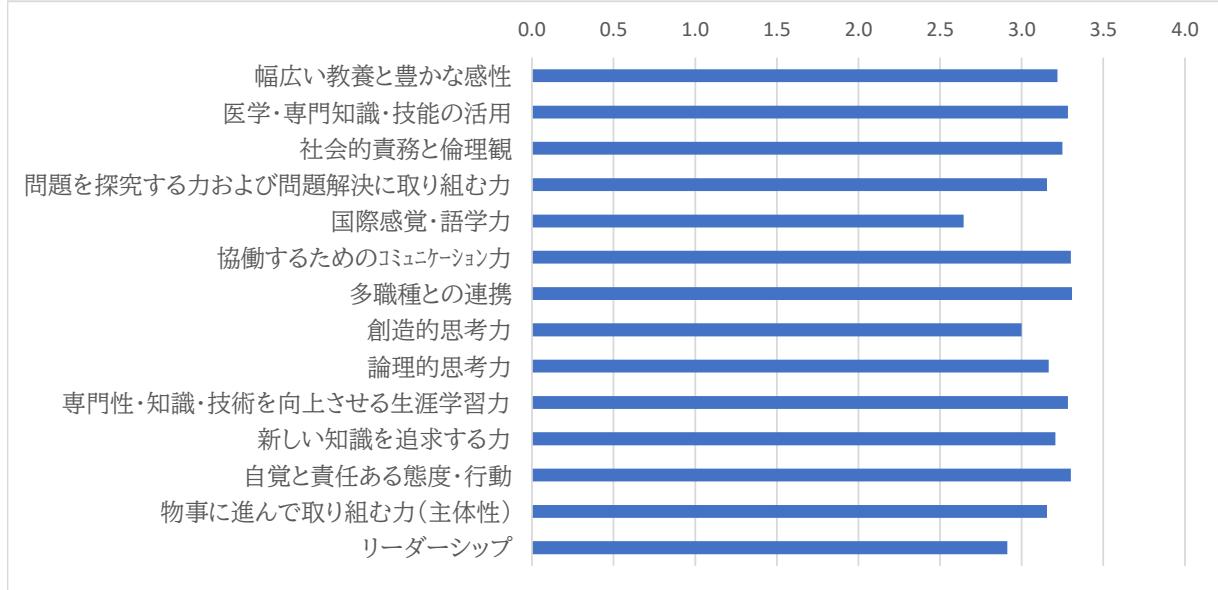
## 全体集計

問4	本学卒業生の職種とおよその人数											
	1~5人			6~10人			11人以上			計		
	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)
看護師	37	21.9%	(20.2%)	6	3.6%	(3.9%)	6	3.6%	(5.9%)	49	29.0%	(30.0%)
保健師	14	8.3%	(5.9%)	0	0.0%	(1.5%)	0	0.0%	(0.5%)	14	8.3%	(7.9%)
理学療法士	63	37.3%	(38.4%)	17	10.1%	(11.3%)	19	11.2%	(6.4%)	99	58.6%	(56.2%)
作業療法士	65	38.5%	(35.0%)	16	9.5%	(4.9%)	11	6.5%	(4.4%)	92	54.4%	(44.3%)
言語聴覚士	47	27.8%	(35.0%)	12	7.1%	(4.4%)	12	7.1%	(2.5%)	71	42.0%	(41.9%)
視能訓練士	17	10.1%	(9.4%)	2	1.2%	(1.5%)	1	0.6%	(0.0%)	20	11.8%	(10.8%)
診療放射線技師	26	15.4%	(16.3%)	17	10.1%	(8.4%)	7	4.1%	(3.0%)	50	29.6%	(27.6%)
臨床検査技師	11	6.5%	(10.8%)	3	1.8%	(3.0%)	2	1.2%	(1.5%)	16	9.5%	(15.3%)
医療事務	22	13.0%	(7.9%)	6	3.6%	(1.5%)	2	1.2%	(1.5%)	30	17.8%	(10.8%)
診療情報管理士	17	10.1%	(7.4%)	2	1.2%	(1.5%)	2	1.2%	(1.0%)	21	12.4%	(9.9%)
社会福祉士	21	12.4%	(14.3%)	2	1.2%	(0.5%)	3	1.8%	(1.0%)	26	15.4%	(15.8%)
精神保健福祉士	4	2.4%	(3.0%)	1	0.6%	(0.5%)	1	0.6%	(0.0%)	6	3.6%	(3.4%)
介護福祉士	5	3.0%	(4.9%)	2	1.2%	(0.5%)	1	0.6%	(1.0%)	8	4.7%	(6.4%)
薬剤師	37	21.9%	(13.3%)	2	1.2%	(2.5%)	9	5.3%	(8.4%)	48	28.4%	(24.1%)
公認心理師・認定心理士	1	0.6%	(0.5%)	0	0.0%	(0.0%)	0	0.0%	(0.0%)	1	0.6%	(0.5%)
一般事務職	15	8.9%	(9.9%)	4	2.4%	(0.0%)	1	0.6%	(0.5%)	20	11.8%	(10.3%)
臨床工学技士	1	0.6%	(0.5%)	0	0.0%	(0.0%)	1	0.6%	(0.0%)	2	1.2%	(0.5%)
医師	6	3.6%	(3.0%)	0	0.0%	(0.5%)	0	0.0%	(0.5%)	6	3.6%	(3.9%)
その他	17	10.1%	(10.3%)	0	0.0%	(0.5%)	1	0.6%	(0.5%)	18	10.7%	(11.3%)
合 計	426	13.3%	(12.9%)	92	2.9%	(2.5%)	79	2.5%	(2.0%)	597	18.6%	(17.4%)

問5	本学卒業生の社会人基礎力等の評価												
	優れている 4			やや優れている 3			あまり優れていない 2			優れていない 1			評価
	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	
幅広い教養と豊かな感性	51	30.2%	(31.7%)	105	62.1%	(61.3%)	12	7.1%	(7.0%)	1	0.6%	(0.0%)	3.2
医学・専門知識・技能の活用	56	33.1%	(32.2%)	106	62.7%	(64.3%)	6	3.6%	(2.5%)	1	0.6%	(1.0%)	3.3
社会的責務と倫理観	59	34.9%	(29.1%)	96	56.8%	(64.8%)	11	6.5%	(5.5%)	3	1.8%	(0.5%)	3.2
問題を探究する力および問題解決に取り組む力	50	29.6%	(32.2%)	97	57.4%	(59.8%)	20	11.8%	(8.0%)	2	1.2%	(0.0%)	3.2
国際感覚・語学力	21	12.4%	(8.6%)	78	46.2%	(52.0%)	59	34.9%	(30.3%)	11	6.5%	(9.1%)	2.6
協働するためのコミュニケーション力	70	41.4%	(34.3%)	81	47.9%	(57.1%)	17	10.1%	(8.1%)	1	0.6%	(0.5%)	3.3
多職種との連携	72	42.6%	(37.7%)	79	46.7%	(55.8%)	16	9.5%	(6.0%)	2	1.2%	(0.5%)	3.3
創造的思考力	35	20.7%	(19.6%)	101	59.8%	(60.3%)	31	18.3%	(20.1%)	2	1.2%	(0.0%)	3.0
論理的思考力	46	27.2%	(23.1%)	106	62.7%	(62.8%)	16	9.5%	(13.6%)	1	0.6%	(0.5%)	3.2
専門性・知識・技術を向上させる生涯学習力	66	39.1%	(33.2%)	86	50.9%	(59.8%)	16	9.5%	(7.0%)	1	0.6%	(0.0%)	3.3
新しい知識を追求する力	59	34.9%	(29.6%)	87	51.5%	(59.3%)	22	13.0%	(11.1%)	1	0.6%	(0.0%)	3.2
自覚と責任ある態度・行動	71	42.0%	(37.4%)	81	47.9%	(55.6%)	14	8.3%	(6.6%)	3	1.8%	(0.5%)	3.3
物事に進んで取り組む力(主体性)	57	33.7%	(32.2%)	84	49.7%	(53.8%)	25	14.8%	(14.1%)	3	1.8%	(0.0%)	3.2
リーダーシップ	34	20.1%	(17.1%)	92	54.4%	(57.8%)	37	21.9%	(24.1%)	6	3.6%	(1.0%)	2.9
合 計	747	31.6%	(28.4%)	1279	54.1%	(58.9%)	302	12.8%	(11.7%)	38	1.6%	(1.0%)	3.2

※肯定回答 85.6% (87.3%)

## 問5. 社会人基礎力の評価



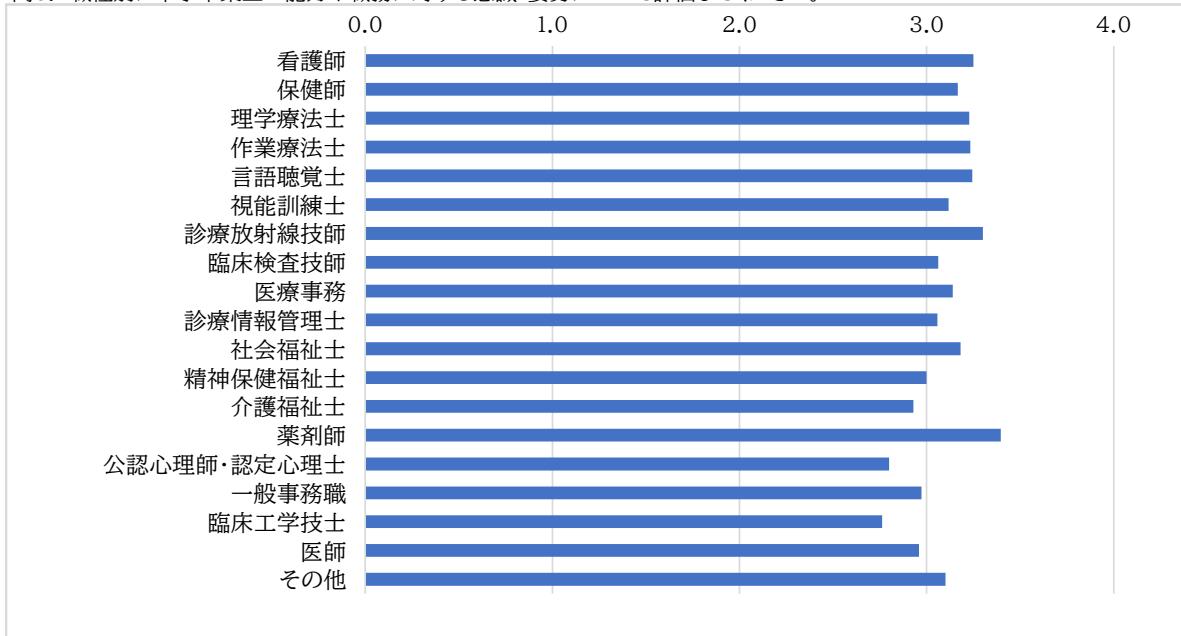
## 全体集計

※問6、%の母数は「該当なし」を除く

問6	職種別に本学卒業生の能力や職務に対する意識・姿勢について評価													
	高い 4			やや高い 3			やや低い 2			低い 1			評価	(昨年度)
	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)		
看護師	25	39.1%	(32.1%)	33	51.6%	(62.5%)	3	4.7%	(5.4%)	3	4.7%	(0.0%)	3.3	3.3
保健師	12	40.0%	(46.7%)	14	46.7%	(53.3%)	1	3.3%	(0.0%)	3	10.0%	(0.0%)	3.2	3.5
理学療法士	38	34.5%	(41.6%)	63	57.3%	(54.9%)	5	4.5%	(3.5%)	4	3.6%	(0.0%)	3.2	3.4
作業療法士	35	34.0%	(47.8%)	61	59.2%	(46.7%)	3	2.9%	(5.4%)	4	3.9%	(0.0%)	3.2	3.4
言語聴覚士	31	37.8%	(45.2%)	45	54.9%	(51.2%)	1	1.2%	(3.6%)	5	6.1%	(0.0%)	3.2	3.4
視能訓練士	13	38.2%	(45.0%)	16	47.1%	(45.0%)	1	2.9%	(10.0%)	4	11.8%	(0.0%)	3.1	3.4
診療放射線技師	26	43.3%	(36.5%)	30	50.0%	(57.7%)	0	0.0%	(3.8%)	4	6.7%	(1.9%)	3.3	3.3
臨床検査技師	11	34.4%	(39.3%)	16	50.0%	(60.7%)	1	3.1%	(0.0%)	4	12.5%	(0.0%)	3.1	-
医療事務	14	32.6%	(37.5%)	23	53.5%	(58.3%)	4	9.3%	(4.2%)	2	4.7%	(0.0%)	3.1	-
診療情報管理士	12	34.3%	(42.1%)	17	48.6%	(47.4%)	2	5.7%	(5.3%)	4	11.4%	(5.3%)	3.1	3.3
社会福祉士	20	45.5%	(45.5%)	17	38.6%	(51.5%)	2	4.5%	(3.0%)	5	11.4%	(0.0%)	3.2	3.4
精神保健福祉士	10	38.5%	(40.0%)	11	42.3%	(50.0%)	0	0.0%	(10.0%)	5	19.2%	(0.0%)	3.0	3.3
介護福祉士	8	28.6%	(38.5%)	15	53.6%	(61.5%)	0	0.0%	(0.0%)	5	17.9%	(0.0%)	2.9	3.4
薬剤師	29	50.0%	(74.5%)	26	44.8%	(23.4%)	0	0.0%	(2.1%)	3	5.2%	(0.0%)	3.4	3.7
公認心理師・認定心理士	6	30.0%	(66.7%)	9	45.0%	(33.3%)	0	0.0%	(0.0%)	5	25.0%	(0.0%)	2.8	3.7
一般事務職	11	29.7%	(63.2%)	19	51.4%	(36.8%)	2	5.4%	(0.0%)	5	13.5%	(0.0%)	3.0	3.6
臨床工学技士	6	28.6%	(33.3%)	9	42.9%	(66.7%)	1	4.8%	(0.0%)	5	23.8%	(0.0%)	2.8	3.3
医師	9	37.5%	(55.6%)	10	41.7%	(44.4%)	0	0.0%	(0.0%)	5	20.8%	(0.0%)	3.0	3.6
その他	11	36.7%	(45.8%)	14	46.7%	(45.8%)	2	6.7%	(8.3%)	3	10.0%	(0.0%)	3.1	3.4
合 計	327	37.1%	(45.2%)	448	50.9%	(50.6%)	28	3.2%	(3.9%)	78	8.9%	(0.3%)	3.1	3.4

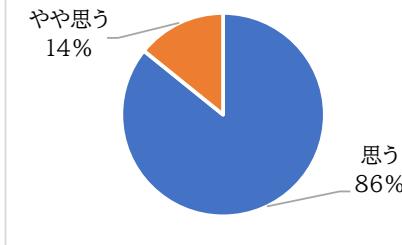
※肯定回答 88.0% (95.8%)

問6. 職種別に本学卒業生の能力や職務に対する意識・姿勢について評価してください。



問7	次年度以降も本学卒業生を入職させたいか			
		回答数	%	(昨年度)
思う	145	85.8%	(84.9%)	肯定回答 (100.0%)
やや思う	24	14.2%	(14.6%)	
あまり思わない	0	0	(0.5%)	
思わない	0	0	(0.0%)	
合計	169	100.0%	(100.0%)	

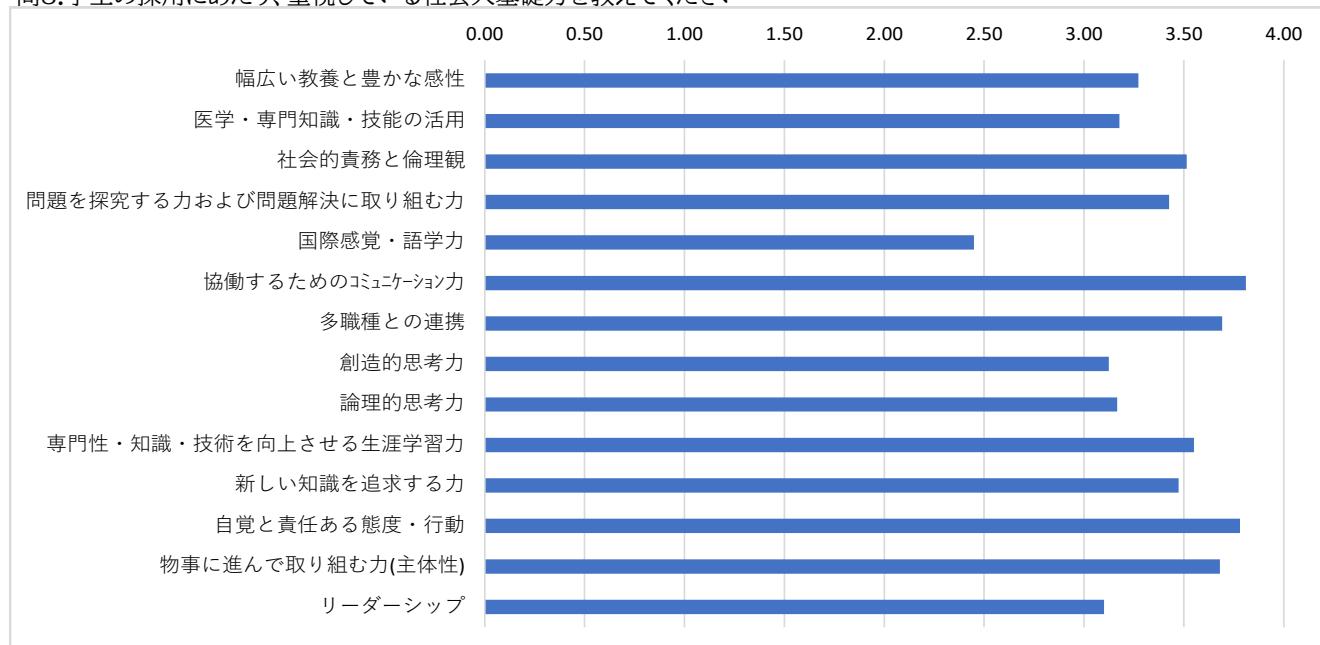
問7. 次年度も本学の卒業生を入職させたいか



## 全体集計

問8	学生の採用にあたり重視している社会人基礎力											
	重視している 4			やや重視している 3			あまり重視していない 2			重視していない 1		
	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)	回答数	%	(昨年度)
幅広い教養と豊かな感性	61	36.1%	-	93	55.0%	-	15	8.9%	-	0	0.0%	-
医学・専門知識・技能の活用	49	29.0%	-	102	60.4%	-	17	10.1%	-	1	0.6%	-
社会的責務と倫理観	93	55.0%	-	71	42.0%	-	4	2.4%	-	1	0.6%	-
問題を探究する力および問題解決に取り組む力	82	48.5%	-	79	46.7%	-	6	3.6%	-	2	1.2%	-
国際感覚・語学力	15	8.9%	-	62	36.7%	-	76	45.0%	-	16	9.5%	-
協働するためのコミュニケーション力	138	81.7%	-	30	17.8%	-	1	0.6%	-	0	0.0%	-
多職種との連携	120	71.0%	-	46	27.2%	-	3	1.8%	-	0	0.0%	-
創造的思考力	43	25.4%	-	107	63.3%	-	16	9.5%	-	3	1.8%	-
論理的思考力	48	28.4%	-	104	61.5%	-	14	8.3%	-	3	1.8%	-
専門性・知識・技術を向上させる生涯学習力	101	59.8%	-	61	36.1%	-	6	3.6%	-	1	0.6%	-
新しい知識を追求する力	88	52.1%	-	75	44.4%	-	4	2.4%	-	2	1.2%	-
自覚と責任ある態度・行動	133	78.7%	-	35	20.7%	-	1	0.6%	-	0	0.0%	-
物事に進んで取り組む力(主体性)	120	71.0%	-	46	27.2%	-	1	0.6%	-	2	1.2%	-
リーダーシップ	45	26.6%	-	100	59.2%	-	20	11.8%	-	4	2.4%	-
合 計	1136	31.6%	-	1011	54.1%	-	184	12.8%	-	35	1.6%	-
												3.4

問8.学生の採用にあたり、重視している社会人基礎力を教えてください



## 教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現職 (就任年月)
—	学長	スズキ カズヒロ 鈴木 康裕 <令和4年4月>		博士（医学）		国際医療福祉大学 学長 (令和4.4～令和10.3)